FMPRシリーズ

B5WY-1231-04 Z0

FMPRシリーズ

オンラインマニュアル

水平漢字プリンター15（FMPR5110G/5010）

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

● 本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

● VCCI 適合基準について

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ＶＣＣＩ－Ｂ

● 本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

● 本製品の廃棄について

製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

法人、企業のお客様へ
本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

● 漏えい電流自主規制について

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

● 電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

● 矩形波が出力される機器について

矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。

● 突入電流について

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。

はじめに

このたびは、水平漢字プリンタ-15（FMPR5110G/5010）をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にマニュアルをよくお読みいただき、プリンタが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

2010 年 8 月

● 本文中の略語について

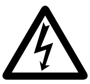
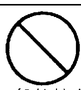
表：製品名称の表記

製品名称	本マニュアルでの表記	
Windows® 7 Ultimate (32 ビット版/64 ビット版)	Windows	7
Windows® 7 Enterprise (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Professional (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Home Premium (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Starter		
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard		2008 R2
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (32-bit/64-bit)		2008
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit/64-bit)		
Windows Vista® Ultimate (32 ビット版/64 ビット版)		Vista
Windows Vista® Enterprise (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows Vista® Business (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows Vista® Home Premium (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows Vista® Home Basic (32 ビット版/64 ビット版)		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition		2003
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition		
Microsoft® Windows® XP Professional Edition		XP
Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition		
Microsoft® Windows® XP Home Edition		
Microsoft® Windows® 2000 Professional		2000
Microsoft® Windows® 2000 Server		
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0		NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0		
Microsoft® Windows® Millennium Edition		Me
Microsoft® Windows® 98		98
Adobe® Reader®	Adobe Reader	

● 安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると､人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントか抜いてください）が描かれています。
 高温注意	高温による傷害の危険性について記述していることを示します。
 発火注意	発火する危険性について記述していることを示します。
 接触禁止	触れることによって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 分解禁止	機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 一般的禁止	一般的な禁止事項を記述していることを示します。
 一般的注意	一般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上のご注意

■　プリンタ設置および移動時のご注意

⚠ 警告

プリンタの上にまたは近くに花びん・植木鉢・コップなどの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、10A 未満のコンセントには差しこまないでください。また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。

同梱の電源コードセットは本製品以外の電気機器には使用しないでください。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。

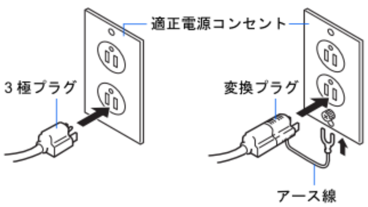
・電源コンセントのアース線

・銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの

・D 種（旧：第３種）接地工事を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

アース接続は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。



風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、プリンタ本体およびパソコン本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意

プリンタの開口部（通風口など）をふさがないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

プリンタを移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブル類をはずしてください。作業を行うときは、足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタケーブルの抜き差しは、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってから行ってください。

電源を切らずに行うと、パソコンやプリンタが故障する原因となることがあります。

■　プリンタ使用時のご注意

⚠ 警告

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。故障の修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（167 ページ参照）にご依頼ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。

火災・感電の原因となります。

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となります。

プリンタ本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（167 ページ参照）にご依頼ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタをお客様自身で改造しないでください。

感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

⚠ 警告

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認してお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（167 ページ参照）にご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

異物（水・金属片・液体など）がプリンタの内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（167 ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（167 ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタの清掃および保守、故障の処理を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

移動中に落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源コードを束ねて使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。

長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。

入れたままにしておくと、プリンタを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。

けがの原因となることがあります。

プリンタケーブルコネクタや印字ヘッドの金属部には触らないでください。

けがやプリンタの故障の原因となることがあります。

印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットを適正状態で取り扱ってください。

リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。

**リボンカセットはインク補給機構を内蔵し、濃い印字を長く持続します。
インクを使い切ると印字が薄くなり、そのまま使い続けるとリボンの布地がケバ立ち、繊維クズが発生することがあります。この様な現象が見られたら早目にリボンカセットを交換してください。
なお、プリンタの内部やローラ部に繊維クズがたまっている場合は、定期的に清掃してください。**

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。

リボンがロックして回転できなくなります。

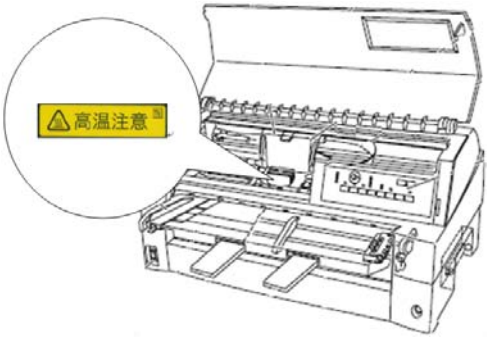
リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンがからまったり、リボンの巻取りがロックすることがあります。

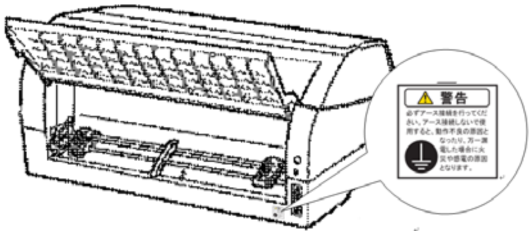
使用済のリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。リボン交換時は温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドをリボン交換位置に移動してください。

■ 警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。指示内容をご覧になり、安全にご利用ください。なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。





マニュアルの種類

本プリンタでは､次のマニュアルを用意しています｡目的に応じて参照してください｡

取扱説明書
プリンタの設置と運用について、基本的なことを説明した印刷物です。
オンラインマニュアル（PDF）
添付の CD-ROM 内に PDF ファイルとして収められています。 本製品の設置・運用に必要な手順および本プリンタの持つすべての機能について説明しています。
はじめにお読みください（PDF）
添付の CD-ROM 内に PDF ファイルとして収められています。 本製品を Windows 7/2008 R2 上で使用する方法について説明しています。

マニュアルの構成

本プリンタのマニュアルの構成を以下に示します。

◆ 取扱説明書

目次		内容
第 1 章	お使いになる前に	お使いになる前に知っておいていただきたいこと、設置のしかた、リボンカセットの取付けかた、電源の投入／切断について説明します。
第 2 章	プリンタの機能とその使いかた	操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。
第 3 章	用紙のセット	連続帳票用紙、単票用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印刷開始位置の調整のしかたを説明します。
第 4 章	用紙について	このプリンタで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。
第 5 章	保守と点検	リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかた、テスト印字のしかた、およびアフタサービスなどについて説明します。
第 6 章	オプション	このプリンタのオプションの取り付け取り外しをはじめ、基本的な使いかたについて説明します。
付録		このプリンタの仕様などの技術情報について説明します。 * コマンド一覧表およびコード一覧表はオンラインマニュアルを参照してください。

◆ オンラインマニュアル

目次		内容
プリンタ編		
第 1 章	お使いになる前に	お使いになる前に知っておいていただきたいこと、設置のしかた、リボンカセットの取付けかた、電源の投入／切断について説明します。
第 2 章	プリンタの機能とその使いかた	操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。
第 3 章	用紙のセット	連続帳票用紙、単票用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印刷開始位置の調整のしかたを説明します。
第 4 章	用紙について	このプリンタで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。
第 5 章	保守と点検	リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかた、テスト印字のしかた、およびアフタサービスなどについて説明します。
第 6 章	オプション	このプリンタのオプションの取り付け取り外しをはじめ、基本的な使いかたについて説明します。
付録		プリンタの仕様、コマンド一覧表および文字コード一覧表など、プリンタを使用する上で補助的に必要になることがらについて説明します。
ソフトウェア編		
第 1 章	ソフトウェアの概要	プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことがらやインストール方法について説明します。
第 2 章	プリンタドライバの設定	プリンタドライバのインストールと設定方法について説明します。
第 3 章	FMPR ステータスモニタ	FMPR ステータスモニタについて説明します。
第 4 章	FMPR リモートパネル	FMPR リモートパネルについて説明します。
第 5 章	こんなときは	ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明します。
付録		FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表を記載します。

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されている CD-ROM に、PDF ファイルとして収録されています。
PDF ファイルの内容を参照するには、「Adobe Reader」というソフトウェアが必要です。
お使いのパソコンに「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社ホームページからダウンロードしてください。

ガイド

- Adobe Reader は PDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。
- 最新版の Adobe Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。

アドビシステムズ社：http://www.adobe.com/jp/

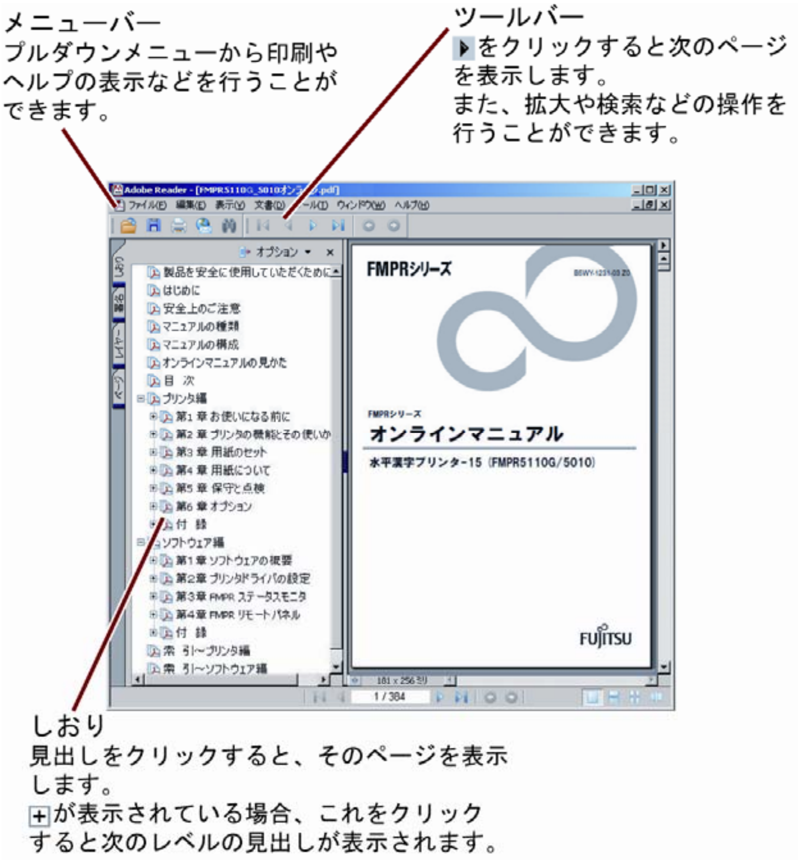
■ オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Adobe Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1 **添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

2 **エクスプローラで CD-ROM の「Manual」フォルダにある「INDEX.pdf」をダブルクリックする**

Adobe Reader が起動し、オンラインマニュアルが表示されます。



目　次

製品を安全に使用していただくために
はじめに ・・・ iii
安全上のご注意 ・・・ v
　プリンタ設置および移動時のご注意 ・・・ v
　プリンタ使用時のご注意 ・・・ viii
　警告ラベル／注意ラベル ・・・ xii
マニュアルの種類 ・・・ xiii
マニュアルの構成 ・・・ xiii
オンラインマニュアルの見かた ・・・ xv
　オンラインマニュアルの使いかた ・・・ xvi

プリンタ編 ・・・ 1

第１章　お使いになる前に ・・・ 3

主な特長 ・・・ 5
製品の内容 ・・・ 7
使用上のお願い ・・・ 8
　設置場所について ・・・ 8
　電源について ・・・ 8
　使用方法について ・・・ 9
　Windows 環境とプリンタドライバについて ・・・ 9
各部の名称とはたらき ・・・ 10
　各部の名称 ・・・ 10
　各部のはたらき ・・・ 11
プリンタを設置する ・・・ 13
　設置手順 ・・・ 13
　輸送用固定材の取り外し ・・・ 14
　単票テーブルのセット ・・・ 15
　単票テーブルの取り扱いについて ・・・ 16
　リアスタッカの取り付け ・・・ 17
　パソコンとの接続 ・・・ 18
　電源コードの接続 ・・・ 21
電源の投入と切断 ・・・ 22
　電源を入れる ・・・ 22
　電源を切る ・・・ 23
リボンカセットを取り付ける ・・・ 24
トラクタユニットの位置を決める ・・・ 26
　トラクタユニットの着脱について ・・・ 27
オプション品のご紹介 ・・・ 31
　カットシートフィーダ ・・・ 31
　トラクタユニット ・・・ 31
　プリンタ LAN カード ・・・ 31
　プリンタケーブル ・・・ 32

第２章 プリンタの機能とその使いかた …… 33

操作パネルの機能 …… 34
ランプ …… 35
スイッチ …… 37
ダイヤル …… 41
機能設定を変える …… 42
機能設定の変えかた …… 42
オフラインセットアップモードでの設定変更例(設定一覧を印字する場合) … 44
モード設定で ESC/P(点灯)を FM(消灯)に変更する例 …… 45
設定を工場出荷値に戻す …… 46
機能設定の種類 …… 46
用紙外印字防止機能について …… 58
行間ズレを直す …… 59
用紙吸入量を調整する …… 61
連続帳票用紙をカット位置に送る …… 62
カット位置に送る …… 62
自動検出機能 …… 64
エラー表示機能 …… 65

第３章 用紙のセット …… 69

用紙をセットする …… 70
連続帳票用紙をセットする（前トラクタ給紙の場合） …… 70
連続帳票用紙をセットする（後トラクタ給紙の場合） …… 76
単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時） …… 82
単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時） …… 86
単票用紙をセットする （カットシートフィーダを取り付けた場合） … 89
用紙厚を調整する …… 93
印字開始位置について …… 96
印字開始位置（行方向）を微調整する …… 97
実力値について …… 98
印字位置精度について …… 98

第４章 用紙について …… 99

用紙使用上のご注意 …… 100
連続帳票普通紙 …… 100
連続帳票特殊紙 …… 101
単票普通紙 …… 104
単票特殊紙 …… 105
連続帳票用紙 …… 108
一般用紙（前・後連帳） …… 112
はがき用紙（前連帳） …… 113
封筒用紙 …… 114
タック用紙（前・後連帳） …… 116
宅配伝票（前連帳） …… 118
手差しで使用する単票用紙 …… 119
一般用紙 …… 119
用紙のとじ方法 …… 120
はがき …… 121

封筒 ･･･ 121
宅配伝票 ･･･ 123
カットシートフィーダ（オプション）で使用する単票用紙 ･･･ 124
一般用紙 ･･･ 124
用紙のとじ方法 ･･･ 125
はがき ･･･ 126
封筒 ･･･ 126
とじ穴の開けかた ･･･ 127
プレプリント用紙を使用するとき ･･･ 128
用紙の形状について ･･･ 130
取り扱い上のご注意 ･･･ 131

第５章 保守と点検 ･･･ 133

リボンカセットを交換する ･･･ 135
用紙づまりのとき ･･･ 137
連続帳票用紙がつまったとき ･･･ 137
単票用紙がつまったとき ･･･ 142
リアスタッカ部に用紙がつまったとき
または用紙が排出しきれずにローラ部に残ったとき ･･･ 144
カットシートフィーダから吸入した用紙がつまったとき ･･･ 146
プリンタがうまく動かないとき ･･･ 149
電源投入時の不具合 ･･･ 149
単票用紙吸入時の不具合 ･･･ 150
連帳用紙吸入時の不具合 ･･･ 151
印字中の問題点 ･･･ 152
印字結果の問題点 ･･･ 153
印字位置の問題点 ･･･ 155
印字位置がページによってズレる ･･･ 156
カットシートフィーダ使用時の不具合 ･･･ 156
テスト印字をする ･･･ 158
HEX ダンプ印字をする ･･･ 160
清掃のしかた ･･･ 161
プリンタを輸送するとき ･･･ 162
有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24 時間運用について ･･･ 163
有寿命部品について ･･･ 163
消耗品について ･･･ 163
定期交換部品について ･･･ 164
24 時間運用について ･･･ 164
消耗品の廃却について ･･･ 165
プリンタドライバの入手方法 ･･･ 166
アフターサービス ･･･ 167

第６章 オプション ･･･ 169

オプションの概要 ･･･ 170
カットシートフィーダを取り付ける ･･･ 171
プリンタ前部に取り付ける ･･･ 171
プリンタ後部に取り付ける ･･･ 175
カットシートフィーダを取り外す ･･･ 178

プリンタ LAN カードのご使用方法 ・・・ 179
プリンタ LAN カード搭載方法 ・・・ 180
プリンタ LAN カードの取り外し ・・・ 182

付　録 ・・・ 185

プリンタの概略仕様 ・・・ 186
外観図 ・・・ 189
標準外観図 ・・・ 189
カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図 ・・・ 190
インターフェース仕様 ・・・ 191
パラレルインターフェース ・・・ 191
USB インターフェース仕様 ・・・ 195
ESC/P モードの制限事項 ・・・ 196
初期状態 ・・・ 197
FM モード ・・・ 197
ESC/P モード ・・・ 198
コマンド一覧表 ・・・ 199
FM モードコマンド一覧表 ・・・ 200
ESC/P モードコマンド一覧表 ・・・ 208
キャラクタコード一覧表 ・・・ 213
FM モードキャラクタコード一覧表 ・・・ 213
ESC/P モードキャラクタコード一覧表 ・・・ 214
非漢字一覧表 ・・・ 216
JIS-90第一水準漢字一覧表 ・・・ 222
JIS-90第二水準漢字一覧表 ・・・ 225
ご注意 ・・・ 228

ソフトウェア編 ・・・ 231

第１章 ソフトウェアの概要 ・・・ 233

添付ソフトウェアの機能 ・・・ 234
添付ソフトウェアの動作環境 ・・・ 236
プリンタの動作環境 ・・・ 236
パソコンの接続方法 ・・・ 237
CD-ROM の内容 ・・・ 238
プリンタドライバセットアップディスク ・・・ 238
ソフトウェアのインストール ・・・ 240
プリンタドライバのインストール ・・・ 241
Windows 7/2008 R2 のとき ・・・ 241
Windows Server 2008 のとき ・・・ 255
Windows Vista のとき ・・・ 267
Windows Server 2003 のとき ・・・ 279
Windows XP のとき ・・・ 291
Windows 2000 のとき ・・・ 303
Windows NT 4.0 のとき ・・・ 316
Windows Me のとき ・・・ 323
Windows 98 のとき ・・・ 336

FMPR プリンタユーティリティのインストール …… 350
初めてインストールするとき …… 351
FMPR プリンタユーティリティをメンテナンスするとき …… 354

第２章 プリンタドライバの設定 …… 357

プリンタドライバの設定 …… 358
Windows 7/2008 R2 の設定画面 …… 358
Windows Vista/2008 の設定画面 …… 368
Windows 2000/XP/2003 の設定画面 …… 377
Windows NT 4.0 の設定画面 …… 386
Windows 98/Me の設定画面 …… 396
印刷可能領域 …… 404
印刷の向き …… 410
給紙方法 …… 411
印刷品質 …… 412
用紙の種類またはメディア …… 413
印字圧 …… 413
排出方向 …… 414
ユーザー定義サイズ用紙の作成方法 …… 415

第３章 FMPR ステータスモニタ …… 421

FMPR ステータスモニタのインストール …… 422
FMPR ステータスモニタの機能 …… 422
FMPR ステータスモニタの起動 …… 423
ステータス表示ウィンドウ …… 424

第４章 FMPR リモートパネル …… 427

FMPR リモートパネルのインストール …… 428
FMPR リモートパネルの機能 …… 428
FMPR リモートパネルの起動 …… 429
プリンタの機能設定 …… 432

第５章 こんなときは …… 441

ソフトウェアに関する留意事項 …… 442
プリンタドライバをインストールする前に
プリンタとパソコンを接続したとき …… 442
セットアッププログラム実行中にエラーが表示されたとき …… 452
Windows をアップグレードするとき …… 453
プリンタがうまく動かないとき …… 454
プリンタがうまく動かないとき …… 454
給紙口/用紙名を正しく設定する …… 455
用紙サイズを正しく設定する …… 458

付　録 …… 465

FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表 …… 466

索　引～プリンタ編 …… 469

索　引～ソフトウェア編 …… 473

プリンタ編

第1章

お使いになる前に

この章では、プリンタの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置のしかた、リボンカセットの取り付け、電源の投入/切断について説明します。

主な特長 …… 5
製品の内容 …… 7
使用上のお願い …… 8
　設置場所について …… 8
　電源について …… 8
　使用方法について …… 9
　Windows 環境とプリンタドライバについて …… 9
各部の名称とはたらき …… 10
　各部の名称 …… 10
　各部のはたらき …… 11
プリンタを設置する …… 13
　設置手順 …… 13
　輸送用固定材の取り外し …… 14
　単票テーブルのセット …… 15
　単票テーブルの取り扱いについて …… 16
　リアスタッカの取り付け …… 17
　パソコンとの接続 …… 18
　電源コードの接続 …… 21
電源の投入と切断 …… 22
　電源を入れる …… 22
　電源を切る …… 23
リボンカセットを取り付ける …… 24

トラクタユニットの位置を決める…………… 26
　トラクタユニットの着脱について …………27
オプション品のご紹介……………………… 31
　カットシートフィーダ ……………………31
　トラクタユニット …………………………31
　プリンタ LAN カード ………………………31
　プリンタケーブル …………………………32

主な特長

◆ 優れた印字品質

・ピン径 0.2mm の 24 ピン印字ヘッドは、日本語の表現に適した見やすく優れた印字品質を実現します。

◆ 印字処理時間の短縮

・同一行内に漢字、ANK が混在したときは、自動的に速度を切り替えて高速度で印字します。

・自動的に正逆方向の最短距離を判別して印字します。

・印字中に新しいデータを受信するダブルバッファ方式を採用し、印字処理時間の短縮をはかっています。

・ドットの間引き印字（高速印字モード）により、さらに高速度で印字できます。

・FMPR5110G … 漢字 80 字/秒の印字速度(漢字 160 字/秒：高速)

・FMPR5010　 … 漢字 67 字/秒の印字速度(漢字 134 字/秒：高速)

お願い

本装置は、印字ヘッドピンを保護するために用紙外印字防止機能を有しております。「用紙外印字防止機能について」（58 ページ）をよくお読みになり正しくご使用ください。

◆ 専用 Windows プリンタドライバ添付

・ Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 対応の専用プリンタドライバを添付しています。

・ 専用プリンタドライバを使用することで、用紙サイズ選択の他に用紙給紙口の切り替え、印字速度の切り替え、紙厚設定がプリンタドライバで設定可能です。

お願い

最新情報は富士通製品情報ページ
(http://www.fmworld.net/biz/)でご確認ください。

◆ ユーティリティソフトの添付

- Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 対応の専用ユーティリティソフトを添付しています。
- 専用ユーティリティソフトによりプリンタの状態監視、セットアップの設定が可能です。
  「FMPR ステータスモニタ」はパラレルまたは USB インターフェースで動作します。
  「FMPR リモートパネル」はパラレル、USB または LAN（オプション）インターフェースで動作します。

◆ 優れた操作性

水平用紙パスの採用により、連帳、単票ともにプリンタの前後から用紙吸入が可能であり、多様な設置環境に対応できます。また、単票の排出方向が前後に設定でき、後部には用紙スタックが可能です。APTC 機構（自動紙厚調整機構）、HCPP 機構（連単自動切換機構）、用紙自動吸入後の印字開始位置を補正する単票セットフリー機能を標準装備することで、用紙のセット性を容易にしています。

◆ 複写紙対応のカットシートフィーダ（オプション）

オプションのカットシートフィーダはプリンタの前後に搭載可能で、最大 5P までの複写紙が使用できます。

◆ 着脱式トラクタ

標準装備のトラクタは、着脱式で用途に合わせてプリンタの前後に装着して使用できます。また、オプションのトラクタユニットを追加することで、前後同時装着も可能です。

◆ プリンタ LAN カード（オプション）

オプションのプリンタ LAN カードを搭載することにより、100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。LAN カード搭載時はパラレルインターフェースおよび USB インターフェースとの同時接続はできません。

◆ 高い複写能力

標準モードで 5P までの複写能力を実現しています。さらに、高複写モードにすることにより、最大 8P まで使用可能です。

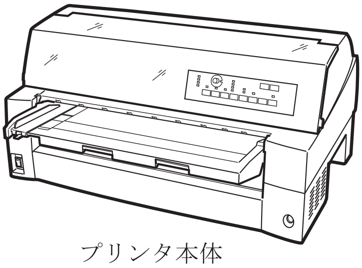
◆ SVF 帳票基盤ソリューションと連携

ウイングアークテクノロジーズ株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時は、プリンタのエミュレーション設定を「ESC/P」にすることで、本製品への印刷が可能です。

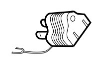
製品の内容

お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。

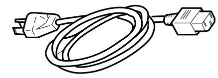
なお、プリンタが入っていた箱は、プリンタの保管・輸送の際に必要になりますので捨てないでください。



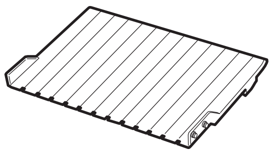
プリンタ本体



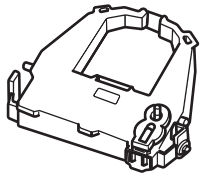
変換プラグ



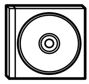
電源コード



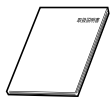
リアスタッカ



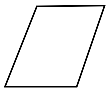
リボンカセット（黒、１個）



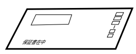
FMPR
セットアップ
ディスク



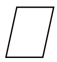
取扱説明書



用紙について



保証書
（梱包箱に貼付）



センドバックラベル

お願い

- 本プリンタにプリンタケーブルは含まれていません。プリンタケーブルは「オプション品のご紹介」（31ページ）を参照してください。
- 保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。
  お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- 保証書は大切に保管してください。

使用上のお願い

このプリンタを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。不明な点については、お買い上げの販売店、またはハードウェア修理相談センター（167 ページ）にご相談ください。

■ 設置場所について

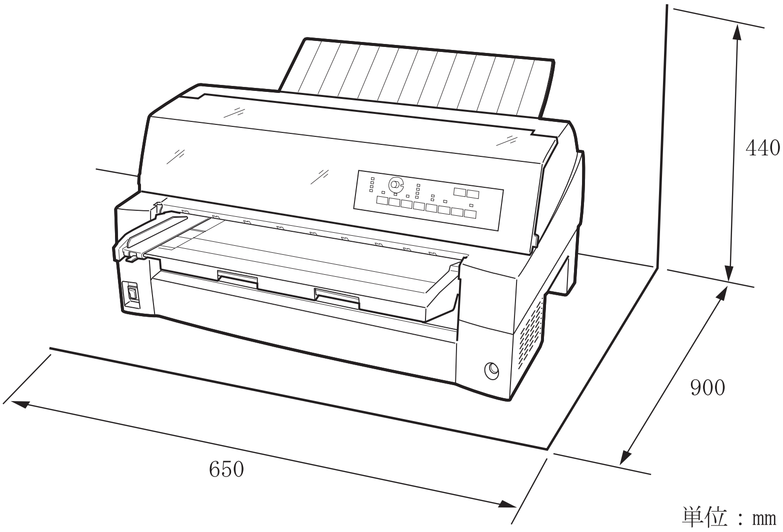
・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。
温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。

・周囲温度：5℃～35℃
・周囲湿度：30％～80％（結露しないこと）

・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。

・磁石はもちろん、テレビやスピーカなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。

・プリンタを設置するときに必要なスペースは下図のとおりです。



十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある設置場所を確保してください。

■ 電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を使用してください。

・電源電圧　：AC100V±10％

・電源周波数：50/60±1Hz

■　使用方法について

- 用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。印字ヘッドやプラテンが傷む原因となります。
- 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。プリンタの故障の原因となります。

■　Windows 環境とプリンタドライバについて

以下のプリンタドライバで印刷することができます。

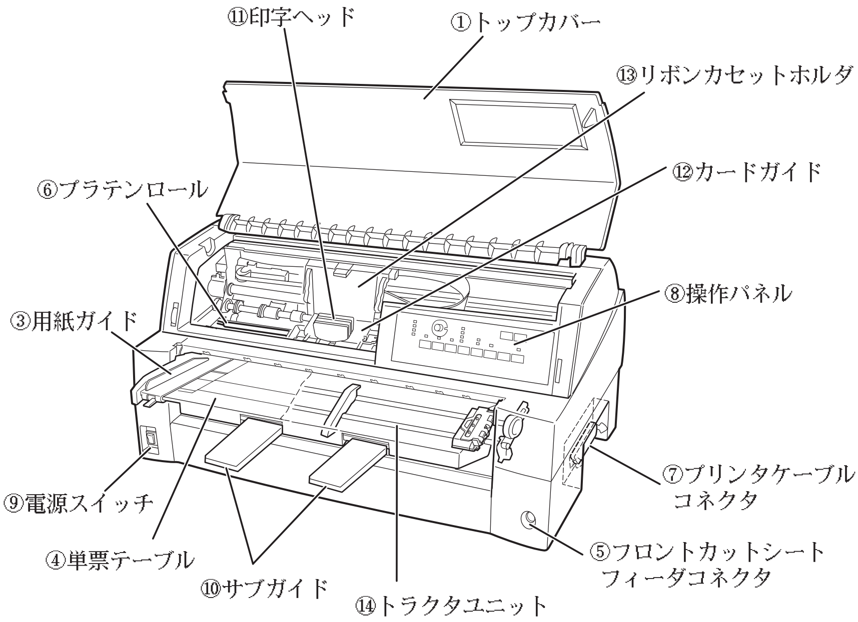
<table>
<tr><th>モード設定 / Windows 環境</th><th>FM モード</th><th>ESC/P モード</th></tr>
<tr><td>Windows 98</td><td rowspan="3">FMPR 180
*1</td><td rowspan="10">FMPR5110
FMPR5010
*2
*3</td></tr>
<tr><td>Windows Me</td></tr>
<tr><td>Windows NT 4.0</td></tr>
<tr><td>Windows 2000</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows XP</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows Server 2003</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows Vista</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows Server 2008</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows 7</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows Server 2008 R2</td><td>—</td></tr>
</table>

*1：OS 添付ドライバ
*2：プリンタ装置添付ドライバ
*3：最新のプリンタドライバは、「富士通製品情報ページ」からダウンロードすることができます。（「プリンタドライバの入手方法」166 ページ参照）
—：印刷できるドライバはありません。

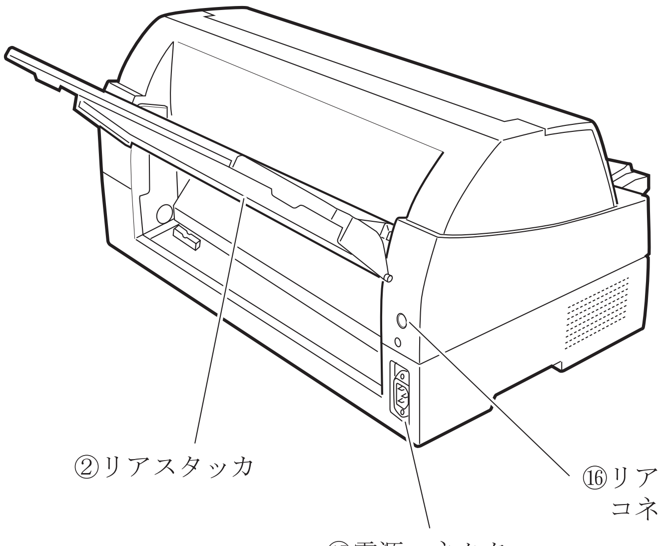
各部の名称とはたらき

■　各部の名称

◆ 正　面



◆ 背　面



■ 各部のはたらき

各 部 の 名 称	は　た　ら　き
①トップカバー	オペレータが動作中の印字ヘッドに触れない様に保護します。また印字ヘッドをホコリやチリから守ります。トップカバーを開けるとプリンタはオフライン状態になります。印字を行う場合は、トップカバーを閉じて、オンライン状態にしてください。
②リアスタッカ	単票用紙をスタックします。
③用紙ガイド	単票セットフリーオフの場合に、単票手差し時に用紙の左端を支えます。印字開始位置に対して用紙ガイドを移動することにより、左端余白を調整できます。 単票セットフリーオンの場合は使用しないので、左端に寄せておきます。
④単票テーブル	単票用紙を挿入するときのガイドです。単票用紙は１枚ずつ挿入します。
⑤フロントカットシート フィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを前部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。
⑥プラテンロール	印字時に用紙を支えます。
⑦プリンタケーブル コネクタ	プリンタケーブルをここに接続して、プリンタとパソコンをつなぎます。 オプションのプリンタ LAN カードを接続する場合は、オプションインターフェースカバーを外して挿入します。
⑧操作パネル	プリンタの状態を示すランプ、プリンタを操作するための各種スイッチがあります。（詳細は、「操作パネルの機能」（34 ページ）を参照）
⑨電源スイッチ	「｜」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。
⑩サブガイド	長い単票を使用するとき、引き伸ばして用紙がプリンタから外れないようにするものです。
⑪印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑫カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上の二本線は、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
⑬リボンカセットホルダ	リボンカセットを取り付けるところです。
⑭トラクタユニット	連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。プリンタの前部または後部に取り付けることができます。

各 部 の 名 称	は た ら き
⑮電源コネクタ	電源コードを接続します。
⑯リアカットシート フィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを後部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。

お願い

・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
・印字中は、トップカバーを開けないでください。
印字の途中でトップカバーを開けると、データ保護のためにオンライン状態のまま停止することがあります。この場合は、速やかにトップカバーを閉めてください。

プリンタを設置する

■ 設置手順

プリンタは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 製品がすべてそろっていることを確認する

梱包されている製品は「製品の内容」（7ページ）を参照してください。

2 カバー部品を固定しているテーピング、固定部材を外す

3 トップカバーを開けて輸送用固定材を外す

輸送用固定材の取り外しについては「輸送用固定材の取り外し」（14ページ）を参照してください。

4 単票テーブルをセットする

単票テーブルのセットについては「単票テーブルのセット」（15ページ）を参照してください。

5 リアスタッカを取り付ける

リアスタッカの取り付けについては「リアスタッカの取り付け」（17ページ）を参照してください。

6 トラクタの前後の位置を選択する

トラクタ前後の選択については「トラクタユニットの位置を決める」（26ページ）を参照してください。トラクタの位置変更については、「トラクタユニットの着脱について」（27ページ）を参照してください。

7 電源コードを接続する

電源コードの接続については「電源コードの接続」（21ページ）を参照してください。

8 リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けについては、「リボンカセットを取り付ける」（24ページ）を参照してください。

9 パソコンと接続する

プリンタケーブル（別売）を準備します。パソコンとの接続については「パソコンとの接続」（18ページ）を参照してください。

お願い

Windows7/2008R2 の場合は、プリンタとパソコンを接続する前に、プラグアンドプレイの準備が必要ですので、『ソフトウェア編』を参照してください。

10 プリンタドライバをインストールする

プリンタドライバのインストールについては、『ソフトウェア編』を参照してください。

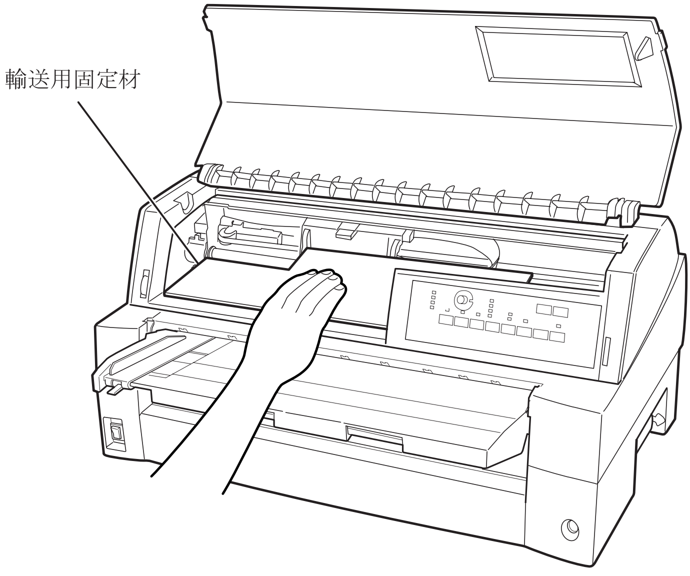
■ 輸送用固定材の取り外し

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンタを使用する前に、必ず取り外してください。

お願い

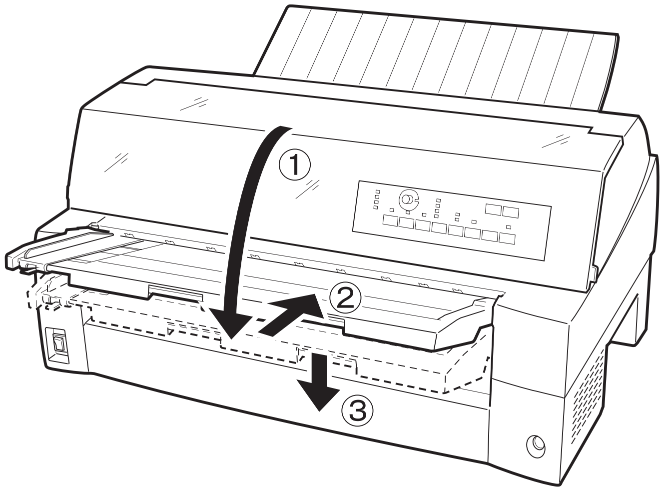
取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンタを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

トップカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を抜き取ります。

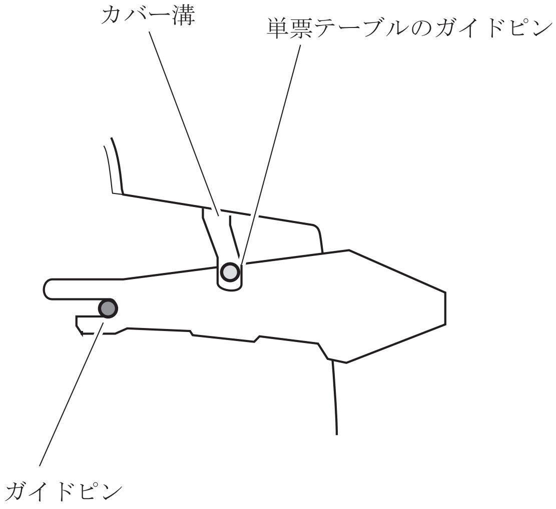


■　単票テーブルのセット

下図のように単票テーブルを回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）セットします（③）。



セット完了状態は下図のように、単票テーブルの先端がプリンタのガイドピンに挿入され単票テーブルのガイドピンがカバーの溝に入っていることを確認してください。



お願い

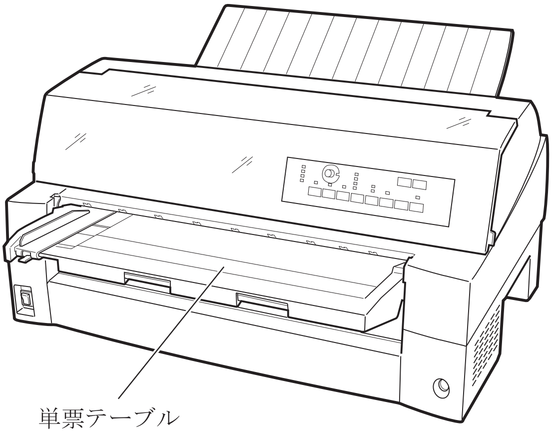
単票テーブルの操作の途中で、無理な力をかけないでください。破損の原因となります。また、途中の状態で放置しないようにしてください。単票テーブルをセットしている途中の状態で使用すると、用紙づまりの原因となります。

■　単票テーブルの取り扱いについて

単票テーブルは、連続帳票用紙を前トラクタ給紙するときや、カットシートフィーダをプリンタ前部に取り付けるときに、一旦開閉する必要があります。

◆ 通常時

通常は下図のような状態です。

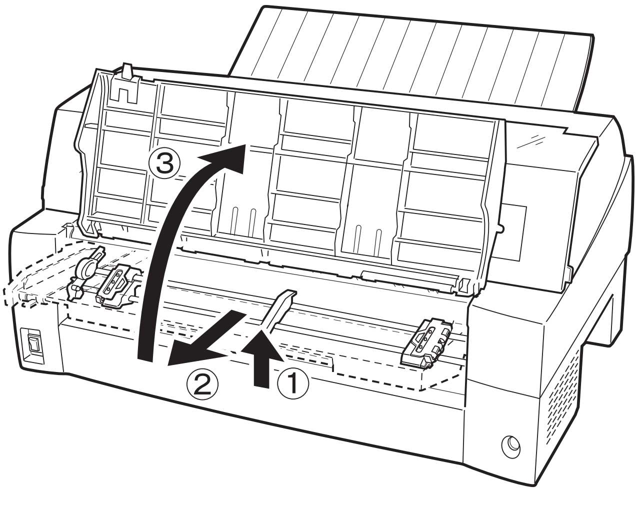


◆ 前トラクタ着脱時、連続帳票用紙前トラクタ給紙時（開いた状態）

オプションのカットシートフィーダを、プリンタの前部に取り付ける場合に単票テーブルを開いた状態にします。以下の方法で行います。

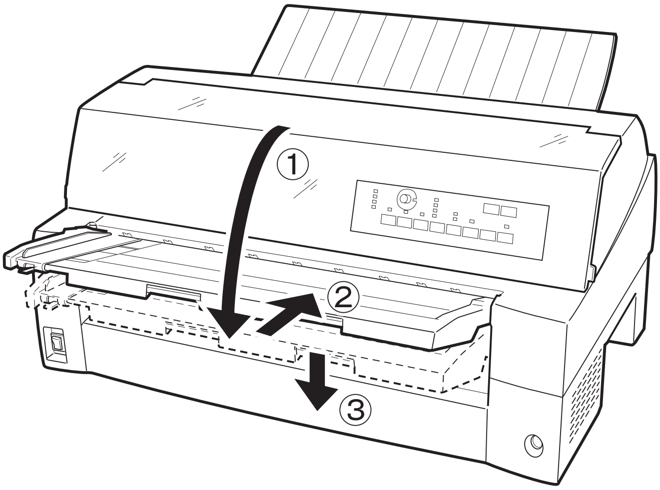
1　単票テーブルを開く

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



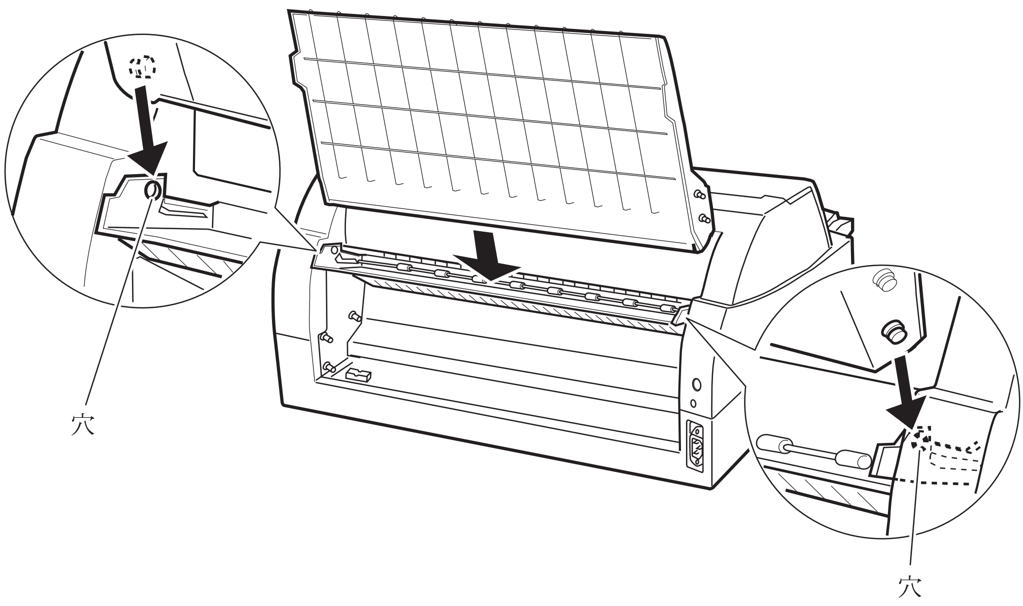
2　単票テーブルを閉じる

下図のように回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）閉じます（③）。



■　リアスタッカの取り付け

下図の様にプリンタ背面のスタッカガイドの内側の穴にリアスタッカ両側の突起をはめます。



■ パソコンとの接続

このプリンタはパラレルインターフェースおよびUSBインターフェースを備えています。プリンタケーブルは接続するパソコンによって異なります。別途用意してください。

⚠ 警告	**感　電**	**プリンタケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。**

⚠ 注意	**感　電**	**ケーブルの接続は間違いがないようにしてください。** **誤った接続状態で使用すると、プリンタ本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。**

パソコンとの接続は、次の手順で行います。

お願い

Windows7/2008R2の場合は､プリンタとパソコンを接続する前に、プラグアンドプレイの準備が必要ですので、『ソフトウェア編』を参照してください。

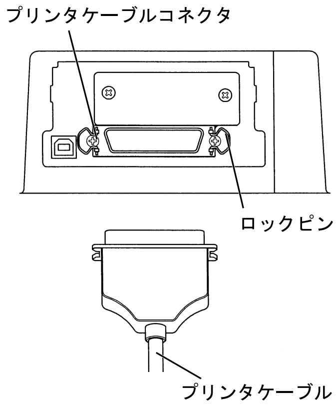
1　プリンタとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

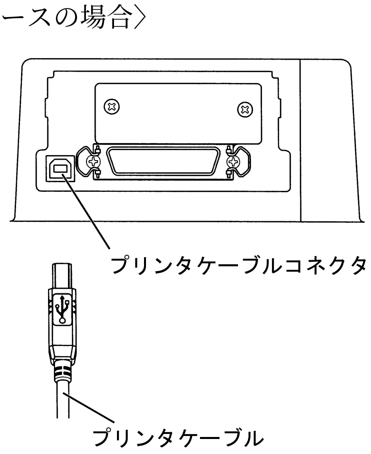
2　プリンタケーブルをプリンタに接続する

プリンタケーブルの一方を、プリンタ右側面のプリンタケーブル接続コネクタに差し込みます。

〈パラレルおよびUSBインターフェースの場合〉



◆パラレルインターフェース



◆USBインターフェース

お願い

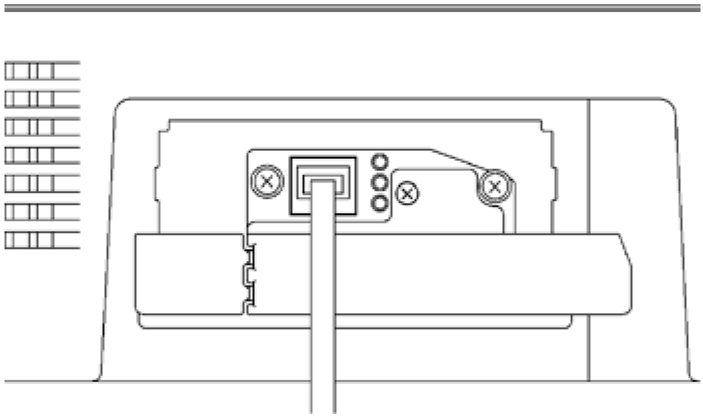
- USB インターフェースで接続した場合、パラレルインターフェースとの同時接続はできません。
- USB インターフェースはすべての USB 対応機器との接続を保証するものではありません。
- パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- 本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- Windows NT 4.0 では USB インターフェースをサポートしていません。

ガイド

- USB1.1 または USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。
  ただし、USB2.0 のケーブルを使用しても、本プリンタとの接続時は USB1.1 で動作します。

- 別売ケーブルとしてプリンタケーブル（FMV-CBL716）、プリンタ USB ケーブル（XL-CBLU2G）が用意されています。（32 ページ）を参照してください。

〈LAN インターフェースの場合〉



◆ LAN インターフェース

ガイド

・オプションのプリンタ LAN カード（FMPR-LN1G）を取り付けることにより、100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。プリンタ LAN カードの取り付け方法については、プリンタ LAN カード添付のオンラインマニュアルを参照してください。

・LAN カード搭載時はパラレルインターフェースおよび USB インターフェースとの同時接続はできません。

3　ケーブルのもう一方をパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。

■ 電源コードの接続

⚠ 警告	感　電	添付の電源コード以外は使用しないでください。変換プラグを使用する場合、プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。 ・電源コンセントのアース線 ・銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの ・D 種（旧：第３種）接地工事を行なっている接地端子アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

電源コードの接続は、次の手順で行います。

1 プリンタとパソコンの電源を切る

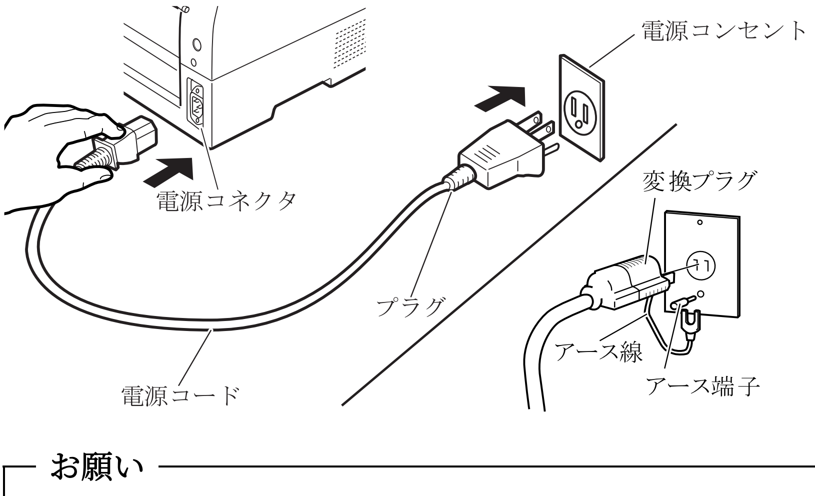
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタに電源コードを差し込む

プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを接続します。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

できるだけ 3 ピンの電源コンセントを使用してください。もし 3 ピンのコンセントがない場合は、添付の変換プラグを使用し、変換プラグのアース端子を接続してから変換プラグを差し込んでください。



お願い

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。

電源の投入と切断

プリンタの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

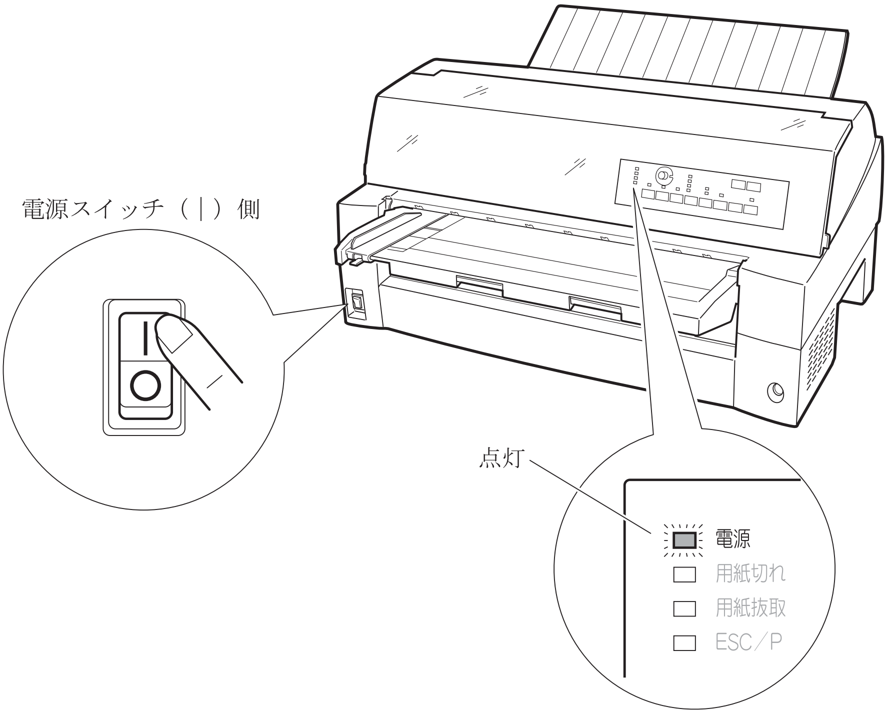
■ 電源を入れる

お願い

購入後初めてプリンタに電源を入れるときは、次の点を確認してください。
- 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
- 電源コンセントの電源電圧が 100V、周波数が 50 または 60Hz であること

プリンタの前面にある電源スイッチを（｜）側に倒します。

「電源」ランプが点灯します。



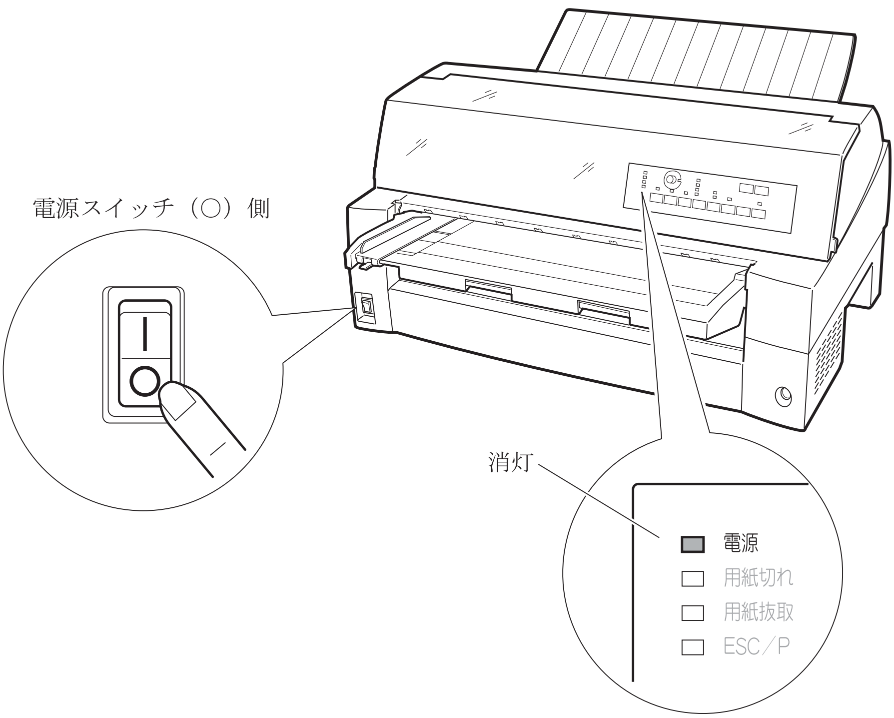
■　電源を切る

お願い

- 電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源コンセントを抜いて電源を切ると、プリンタ内の回路を傷めたり、印字データを壊したりする場合があります。
- 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れる場合は、4 秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

「電源」ランプが点灯しているときは、電源スイッチを（○）側に倒します。

「電源」ランプが消灯します。



リボンカセットを取り付ける

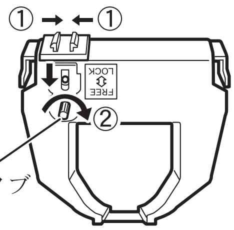
リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

1 リボンのたるみを取る

リボンカセットのローラ離反ツメのロックを外し(矢印①)、ローラを"Free"側にします。リボン巻取りノブを時計方向に回して(矢印②)、リボンのたるみを取ります。

お願い

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。



2 プリンタをリボンが交換できる状態にする

印字ヘッドの輸送用固定材が取り外されていることを確認した後、トップカバーを閉じた状態で電源を投入します。印字ヘッドが移動し、リボン交換位置に停止することを確認します。

ガイド

トップカバーが開いていると印字ヘッドは動作しません。
トップカバーを閉めて電源を投入してください。

3 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

4 トップカバーを開ける

5 印字ヘッドがリボン交換位置（プリンタ本体に刻印があります）にあることを確認する

印字ヘッドがリボン交換位置にない場合は、印字ヘッド部分を持ち、ゆっくり横方向へ移動させてください。

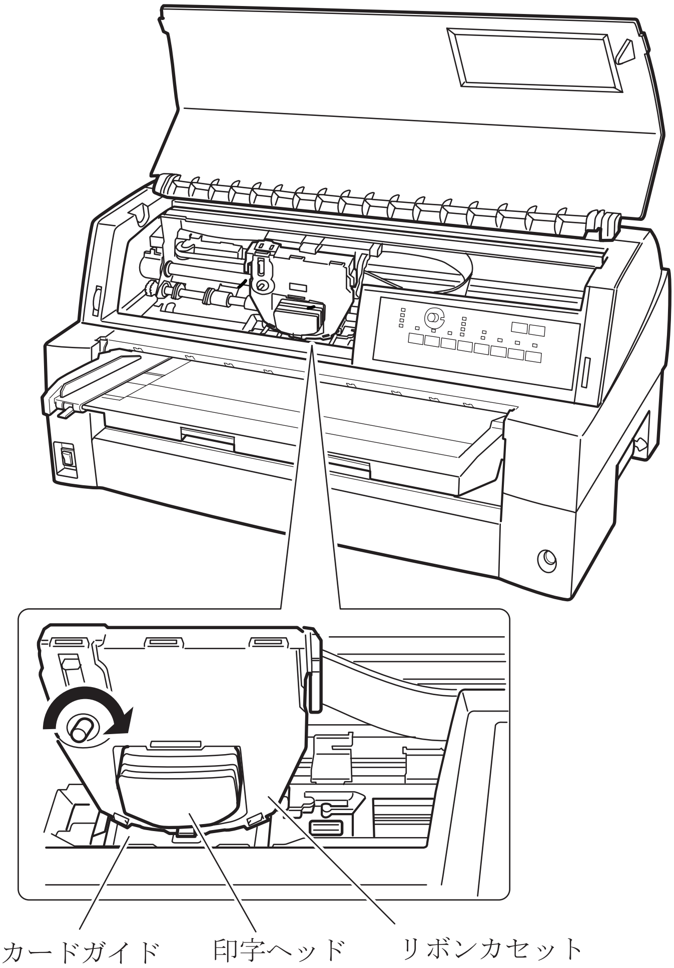
⚠ 注意	高　温	使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

6　リボンカセットを取り付ける

印字ヘッドとカードガイドの間にリボンを通し、リボンカセットをゆっくり押し込みます。

7　リボンのたるみを取る

リボン巻取りノブを時計方向に回して、リボンのたるみを取ります。



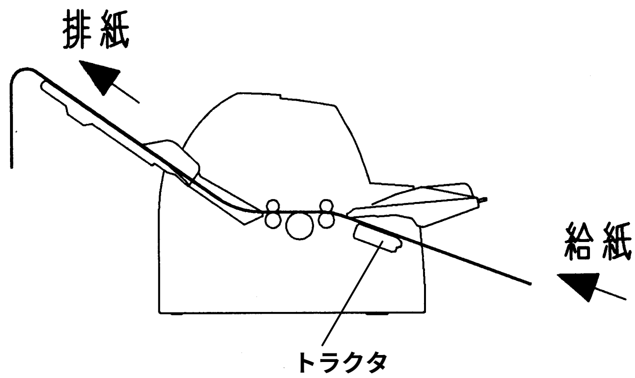
8　トップカバーを閉める

トラクタユニットの位置を決める

ガイド

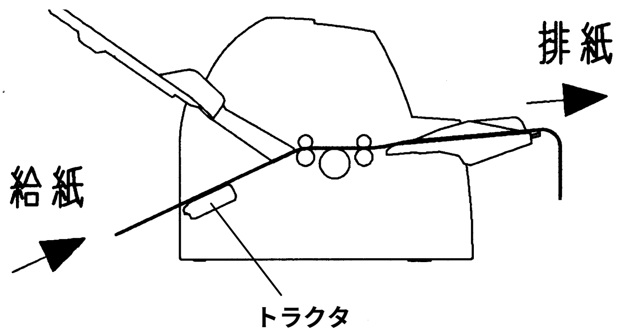
本プリンタは前後共通の着脱式トラクタを使用しているため、設置条件、業務形態に応じてトラクタの前後の位置を選択して使用できます。工場出荷時は前側に搭載されていますが、必要に応じて後ろに付け替えてご使用ください。なお、オプションのトラクタユニット（FMPR-TU8G）を追加すれば、前後にトラクタを取り付けて使用することができます。

◆ トラクタを前に搭載したときの特長



手前側より連続用紙を交換することができ、頻繁に用紙を交換する業務に適しています。

◆ トラクタを後に搭載したときの特長



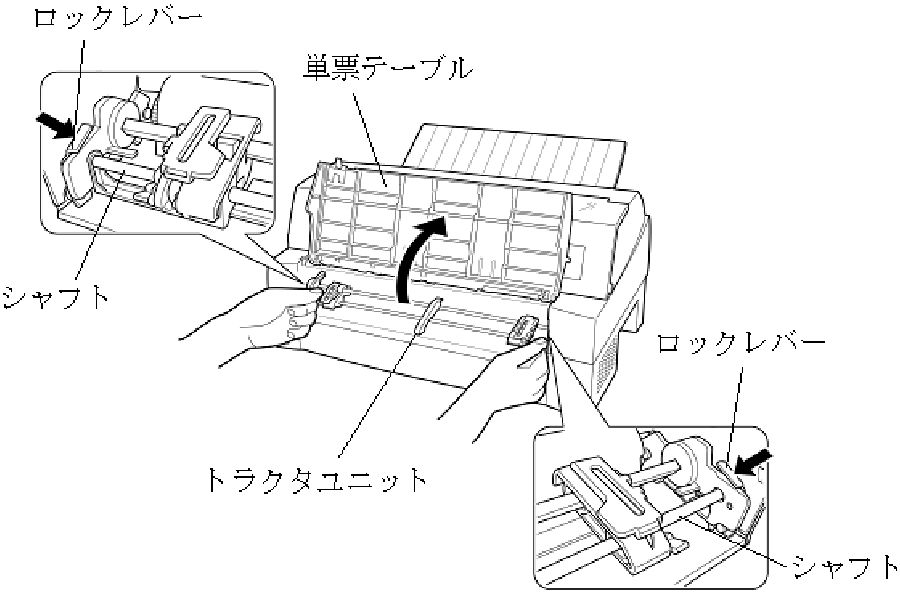
手前側で用紙のカットが行いやすく、頻繁に用紙をカットするような業務に適しています。用紙のカット方法は「連続帳票用紙をカット位置に送る」(62 ページ)を参照してください。

■　トラクタユニットの着脱について

◆ 前側のトラクタユニットの場合

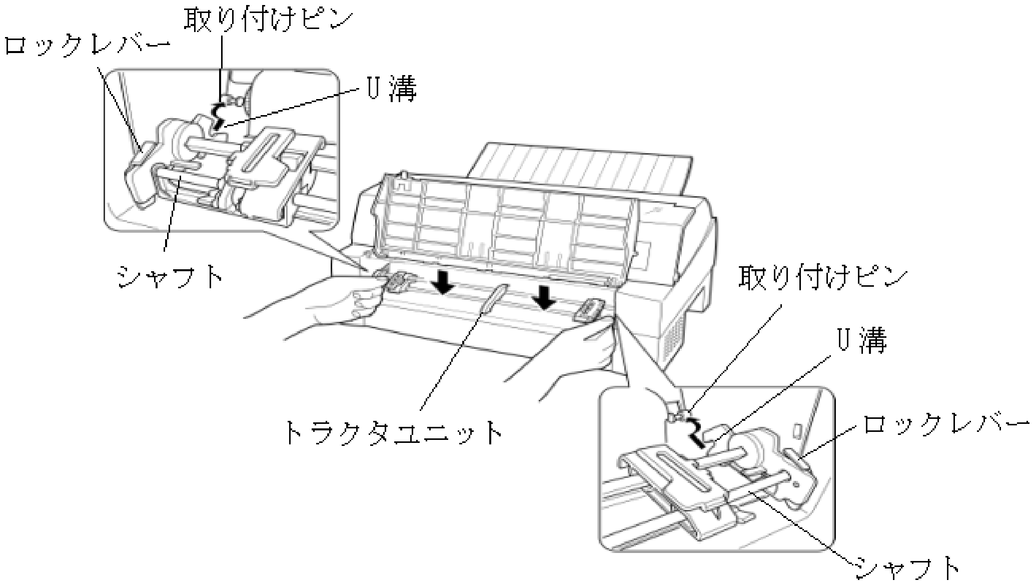
【取り外しかた】

単票テーブルを開きます。トラクタユニットの左右にあるトラクタフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクタユニットを上方に持ち上げて外します。

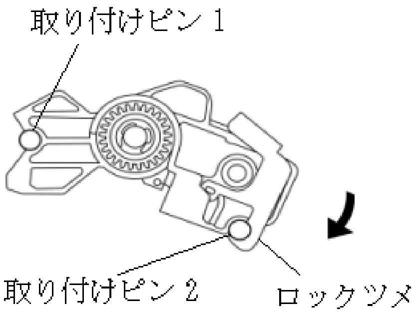


【取り付けかた】

1)　トラクタユニット左右のＵ溝をプリンタの取り付けピンに合わせます。（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）
2)　トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。（押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。



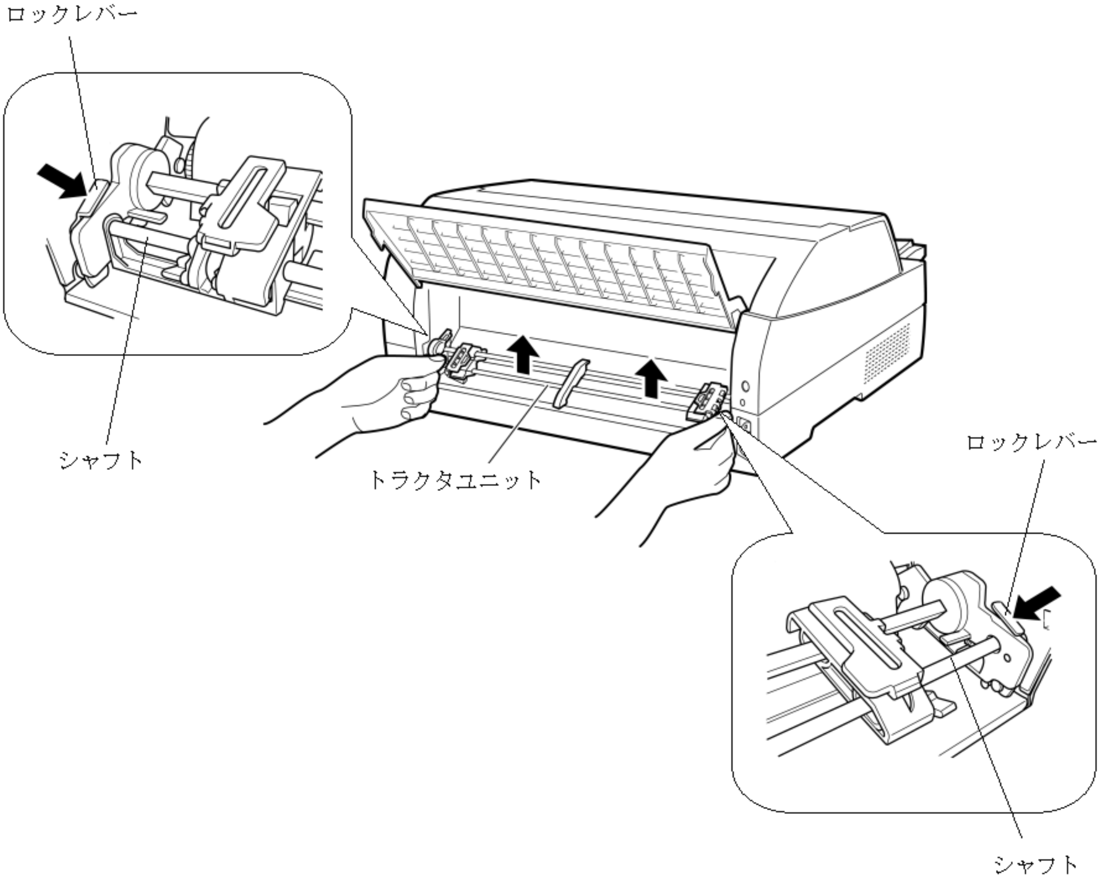
3)　下図のように取り付けピン２にトラクタユニットの左右のツメが、しっかりかかっていることを確認してください。



◆ 後側のトラクタユニットの場合

【取り外しかた】

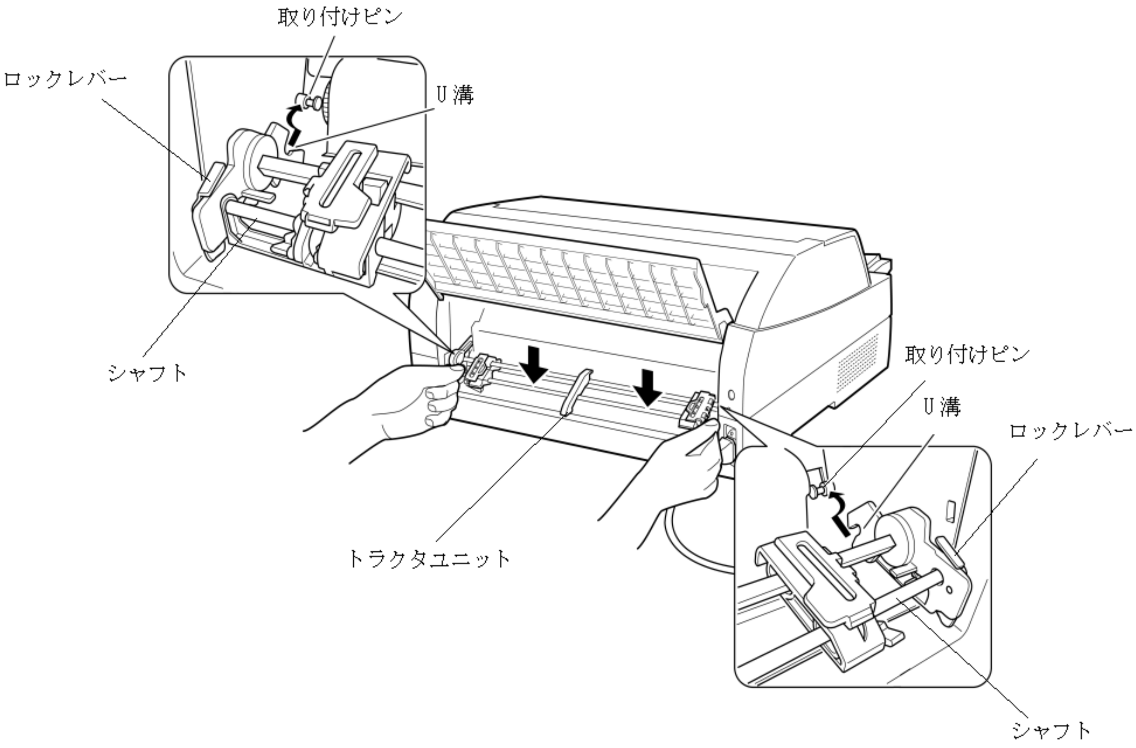
トラクタユニットの左右にあるトラクタフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクタユニットを上方に持ち上げて外します。



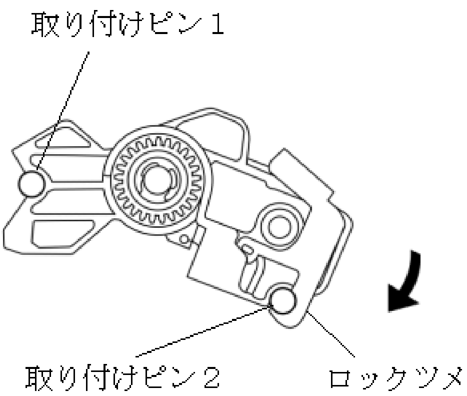
【取り付けかた】

1)　トラクタユニット左右のＵ溝をプリンタの取り付けピンに合わせます。（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）

2)　トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。（押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。）



3)　下図のように取り付けピン２にトラクタユニットの左右のロックツメが、しっかりかかっていることを確認してください。



オプション品のご紹介

本プリンタは、次のオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。

■ カットシートフィーダ

品名	型名	内容
カットシートフィーダ	FMPR-CF1G	単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。 A4普通紙55kgでの用紙セット枚数は120枚です。

■ トラクタユニット

品名	型名	内容
トラクタユニット	FMPR-TU8G	連続帳票用紙をセットする装置です。プリンタに標準添付されているトラクタ同様にプリンタの前方、後方のどちらにでも取り付けることができます。

■ プリンタ LAN カード

品名	型名	内容
プリンタLANカード	FMPR-LN1G	100BASE-TX/10BASE-T に対応したLANカードです。TCP/IPに対応しています。取り付け方法については、プリンタLANカード添付のオンラインマニュアルを参照してください。LANカード搭載時はパラレルインターフェースおよびUSBインターフェースとの同時接続はできません。

■ プリンタケーブル

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売ケーブルをお使いください。

別売ケーブルは以下のものが用意されています。

◆ パラレルインターフェースケーブル

品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMV-CBL716	FMVシリーズ、各社AT互換機に接続できます。（1.5m）

◆ USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	Windows 98/Me/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルはUSB2.0 に対応していますが、本プリンタとの接続時はUSB 1.1で動作します。（1.5m）

第2章

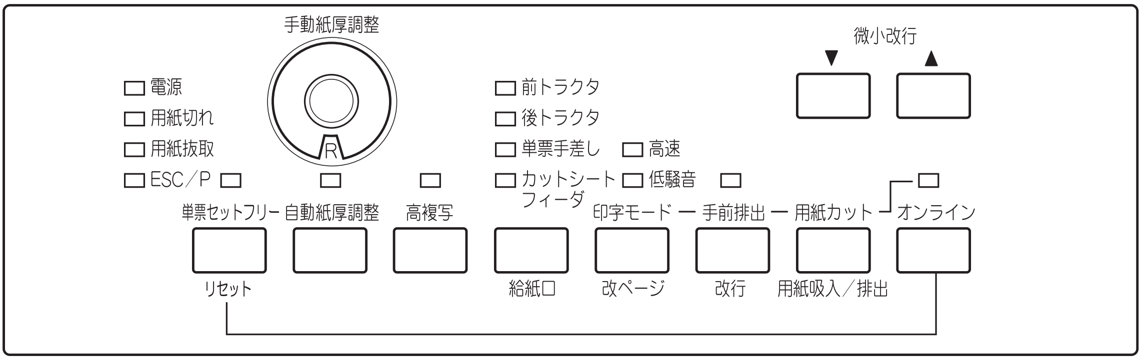
プリンタの機能とその使いかた

この章では、操作パネルの機能、機能設定の変えかた、行間ズレの修正のしかた、用紙吸入量の調整のしかた、および自動検出機能などプリンタの機能とその使いかたについて説明します。

操作パネルの機能 …… 34
ランプ …… 35
スイッチ …… 37
ダイヤル …… 41
機能設定を変える …… 42
機能設定の変えかた …… 42
オフラインセットアップモードでの設定変更例(設定一覧を印字する場合) …… 44
モード設定でESC/P(点灯)をFM(消灯)に変更する例 …… 45
設定を工場出荷値に戻す …… 46
機能設定の種類 …… 46
用紙外印字防止機能について …… 58
行間ズレを直す …… 59
用紙吸入量を調整する …… 61
連続帳票用紙をカット位置に送る …… 62
カット位置に送る …… 62
自動検出機能 …… 64
エラー表示機能 …… 65

操作パネルの機能

操作パネルには、プリンタの状態を示すランプとプリンタを操作するためのスイッチおよびダイヤルが付いています。



ガイド

各スイッチの真上のランプは、各スイッチと連動した機能になります。

■ ランプ

各ランプの機能は下表のとおりです。

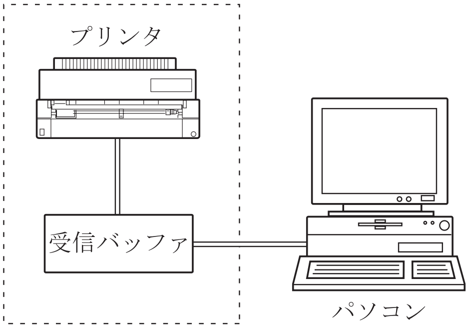
ランプ名称	色	機　能
電源	緑	電源スイッチを入れる((｜)側に倒す)と点灯します。
用紙切れ	橙	用紙がなくなると点灯します。アラーム発生時に点滅します。
用紙抜取 (注 1)	緑	手前に排出した用紙が抜き取り待ち状態のときに点滅します。
ESC/P	緑	ESC/P モードの場合に点灯します。ESC/P ハガキモードのときは点滅します。
単票セット フリー	緑	単票セットフリー機能がオンの状態で点灯します。
自動紙厚調整	緑	自動紙厚調整の場合に点灯します。
高複写	緑	高複写印字モードのときに点灯します。
前トラクタ	緑	前トラクタからの用紙を使用する場合に点灯します。
後トラクタ	緑	後トラクタからの用紙を使用する場合に点灯します。
単票手差し	緑	単票手差しからの用紙を使用する場合に点灯します。
カットシート フィーダ	緑	カットシートフィーダまたは単票手差しからの用紙を使用する場合に点灯します。
高速	緑	高速印字モード（間引き印字）のときに点灯します。
低騒音	緑	低騒音印字モード（間引き印字）のときに点灯します。
手前排出	緑	単票の排出方向が「手前排出」のときに点灯します。手前に排出した単票用紙が抜き取り待ち状態のときに点滅します。
オンライン (注 2)	緑	オンライン状態で点灯します。

注 1）　単票用紙の抜き取り待ち状態とは、下記の不具合を防止するために単票テーブルに排出した用紙が除去されるまで動作を停止し、用紙抜取ランプを点滅させ、オペレータに排出された用紙の除去を促します。
・単票テーブルに排出した用紙が誤って再吸入される。
・単票テーブルに連続排出された用紙が単票テーブルから落下する。

注 2）　電源投入時およびパソコンからのリセットによる初期診断時に印字ヘッドの交換時期を検知すると、5 秒間「オンライン」ランプが点滅します。（「第 5 章　保守と点検」参照）

◆ オンライン状態、オフライン状態とは

プリンタにはオンライン状態とオフライン状態があります。
オンライン状態とはパソコンからのデータを受信し、印字することができる状態です。
オフライン状態とはパソコンからのデータの受信と印字を停止している状態です。



オンライン状態からオフライン状態にして印字を停止した場合に、受信バッファにデータが残っていることがあります。再度オンライン状態にすると、印字を続行します。

■ スイッチ

用紙カット/用紙吸入/排出、手前排出/改行、印字モード/改ページのように、スイッチの上下に名称が書かれている場合、そのスイッチの機能はオンライン状態のときは上側、オフライン状態のときは下側になります。
以下、連続帳票用紙の前トラクタ給紙（70 ページ参照）を前連帳、後トラクタ給紙（76 ページ参照）を後連帳と表記します。

ガイド

プリンタのトップカバーが開いていると、微小改行▲、微小改行▼以外のスイッチは操作できません。

スイッチ名称	機　能
オンライン 連動ランプ ・「オンライン」	・オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。 オンライン状態のときは、「オンライン」ランプが点灯します。 「用紙切れ」ランプ点灯後にオフライン状態になった場合に、本スイッチを押すと、下端余白部に強制的に 1 行印字します（オーバーライド機能といいます）。
用紙カット	<u>オンライン状態のとき</u> 前/後連帳時に本スイッチを押すと、あらかじめセットしたプリンタの用紙がカット位置にくるように用紙送りを行います。（62ページ参照） 再度押すと、元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。 単票モードの場合は、本スイッチは無効になります。
用紙吸入／排出	<u>オフライン状態のとき</u> 用紙無し状態の場合、連帳用紙を印字開始位置まで吸入します。 用紙有り状態の場合、連帳用紙を待機位置まで後退します。

スイッチ名称	機　能
用紙吸入／排出	オフライン状態のとき 単票用紙セット（手差しモード）時 用紙無し状態で本スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。 用紙有り状態で本スイッチを押すと、単票用紙の排出を行います。 ・排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。 単票用紙セット（カットシートフィーダ搭載）時 用紙未吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。用紙吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を排出します。 ・排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。 カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、前カットシートフィーダおよび後カットシートフィーダのどちらをビン 1、ビン 2 に割り当てるかは、機能設定の「CSFビン 1 選択」（50ページ参照）に従います。
手前排出 連動ランプ ・「手前排出」	オンライン状態のとき ・単票用紙の排出方向の切り替えを行います。 単票用紙の排出方向には、手前（テーブル側）と後方（スタッカ側）の 2 つがあります。 ・「手前排出」ランプ消灯時に本スイッチを押すと、「手前排出」ランプが点灯し、単票用紙の排出方向は手前排出となります。 ・「手前排出」ランプ点灯時に本スイッチを押すと、「手前排出」ランプが消灯し、単票用紙の排出方向は後方排出となります。 排出方向は、単票手差し、前カットシートフィーダ、後カットシートフィーダとも用紙繰り出し方向です。 Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティで設定する必要があります。
改行	オフライン状態のとき 本スイッチを 1 回押すと、正改行（用紙繰り出し方向）動作を行います。 正改行の方向は、プリンタ前面から吸入する用紙（前連帳、単票、前カットシートフィーダ）と、プリンタ背面から吸入する用紙（後連帳、後カットシートフィーダ）では、用紙繰り出し方向が異なります。 押し続けると、連続正改行動作となります。 (正改行の送り量は、プリンタの電源投入直後は 1/6 インチです。その後は、印刷実行時の改行量に置き替わります。) FMPR5010 の場合は、本スイッチを押し続けて送り量が 110 インチに達した場合に改行動作が停止します。改行動作停止後に再度本スイッチを押すことにより、改行動作が再開します。

スイッチ名称	機　能
印字モード 連動ランプ ・「高速」 ・「低騒音」	オンライン状態のとき →『標準印字モード』→『高速印字モード』→『低騒音印字モード』→（『標準印字モード』に戻る） を切り替えます。 標準印字モード　：180dpi の解像度で印刷します。 高速印字モード　：間引き印字することにより、標準の 2 倍の速度で印字します。 低騒音印字モード：高速印字モード（間引き印字）のパターンを標準印字速度で印字し、騒音を低減します。プリンタドライバからの高速印字、高品質（標準印字）の指定は、低騒音印字モードが解除されると有効になります。 Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティで設定する必要があります。
改ページ	オフライン状態のとき 前/後連帳時 用紙を次のページの先頭行に送ります。このときのページの長さは、機能設定により設定されます（初期設定 11 インチ）「連帳ページ長」（55ページ参照）。印刷実行後はプリンタドライバ、アプリケーションから設定した値になります。 単票用紙手差し時 用紙を排出します。 (機能設定で「単票モード時のFFコード」を「ページ長送り」（47ページ参照）に変更した場合はページ長分用紙を送ります) 単票用紙セット（カットシートフィーダ搭載）時 印刷される用紙がプリンタ内に無い状態で本スイッチを押すと、カットシートフィーダの単票用紙を吸入します。印刷される用紙がプリンタ内に有る状態で本スイッチを押すと、この用紙を排出後、カットシートフィーダの用紙を吸入します。 単票用紙セット（前後カットシートフィーダ同時搭載）時 前カットシートフィーダおよび後カットシートフィーダのどちらをビン 1、ビン 2 に割り当てるかは、機能設定の「CSFビン 1 選択」（50ページ参照）に従います。

スイッチ名称	機　能
給紙口 連動ランプ ・「前トラクタ」 ・「後トラクタ」 ・「単票手差し」 ・「カットシート 　フィーダ」	オフライン状態のとき 使用する給紙口を選択します。 本スイッチを１回押すごとに、給紙口が、 →『前トラクタ』→『後トラクタ』→『単票手差し』→『カットシートフィーダ』→（『前トラクタ』へ戻る） の順に切り替わり、選択した用紙に対応するランプが点灯します。(『カットシートフィーダ』はカットシートフィーダ搭載時のみ点灯します)。 Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティで設定する必要があります。
高複写 連動ランプ ・「高複写」	オンライン状態、オフライン状態のとき 高複写モードにします。 高複写モードのときは、「高複写」ランプが点灯します。 高複写印字モードを解除する（標準印字モードにする）ときは、高複写スイッチを押して「高複写」ランプを消灯させます。 Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティで設定する必要があります。
自動紙厚調整 連動ランプ ・「自動紙厚調整」	オフライン状態のとき ２秒間押すと自動紙厚調整と手動紙厚調整とを切り替えます（自動紙厚調整の場合はランプが点灯します）。 自動紙厚調整の場合は、プリンタドライバのプロパティでの用紙厚設定が優先されるので、プリンタドライバのプロパティで用紙厚を正しく設定する必要があります。 手動紙厚調整の場合は、プリンタドライバのプロパティで設定した内容を無視し、手動紙厚調整ダイヤルの設定値が有効となります。
単票セットフリー 連動ランプ ・「単票セットフリー」	オンライン状態、オフライン状態のとき 単票手差しの方法を切り替えます。 ・単票セットフリーオフ時 用紙ガイドに用紙左端を沿わせてセットします。印字開始位置は、用紙ガイド（左）を移動させて余白を調整してください。 ・単票セットフリーオン時 用紙を単票テーブルの用紙吸入口に軽く押し込むだけで用紙がセットされます。「単票セットフリー」ランプが点灯します。印字開始位置は機能設定の「単票左端余白量」で設定した値になります（53ページ参照）。オートローディングが無効の場合（46ページ参照）は、**用紙吸入/排出**スイッチを押さないと用紙を吸入しません。

スイッチ名称	機　能
微小改行▲	オンライン状態、オフライン状態のとき 本スイッチを 1 回押すと、1/180 インチの微小改行動作を行います。改行方向は、スイッチの上に表示されている▲（順送り）の方向です。単票用紙、前カットシートフィーダの用紙および前連帳の用紙に対しては正改行（用紙繰り出し方向）となります。 後カットシートフィーダの用紙および後連帳の用紙に対しては逆方向が用紙繰り出し方向となります。本スイッチを押し続けると、連続微小改行動作となります。
微小改行▼	オンライン状態、オフライン状態のとき 本スイッチを 1 回押すと、1/180 インチの微小改行動作を行います。改行方向は、スイッチの上に表示されている▼（逆送り）の方向です。単票用紙、前カットシートフィーダの用紙および前連帳の用紙に対しては逆改行となります。 後カットシートフィーダの用紙および後連帳の用紙に対しては正改行となります。本スイッチを押し続けると、連続微小改行動作となります。

◆ 2 個のスイッチを使って操作するとき

次のスイッチの組み合わせで、以下の操作を行うことができます。

名称	スイッチ	機　能
リセット	**オンライン** ＋ **単票セットフリー**	オフライン状態のとき **オンライン**を押しながら**単票セットフリー**を押すとブザーが鳴り、未印刷データが消去されます。

■　ダイヤル

ダイヤル名称	機　能
手動紙厚調整 連動ランプ ・「自動紙厚調整」	手動紙厚調整時の紙厚を設定します。 電源スイッチを入れ((｜)側に倒し)、オフライン状態にします。**自動紙厚調整**スイッチを 2 秒間押して、「自動紙厚調整」ランプを消灯させ、手動紙厚調整ダイヤルを回してセットします。（「自動紙厚調整」ランプが点灯しているときは、働きません。）

ガイド

手動紙厚調整ダイヤルの位置の詳細は「用紙厚を調整する」（93 ページ）を参照してください。

機能設定を変える

ここでは、機能設定の変えかたと動作モード（FM、ESC/P）ごとに設定できる機能の内容ついて説明します。

■ 機能設定の変えかた

機能設定は、「オフラインセットアップモード」で行います。

オフラインセットアップモードによる設定手順は次のとおりです。

1　プリンタに単票用紙をセットする

2　オフラインセットアップモードへ入る

ESC/P モードの場合、**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押しながら電源を入れます。一度すべてのランプが点灯してからスイッチを離してください。
以下のトップメニューを印字します。

FM モードの場合、**印字モード/改ページ**スイッチを押しながら電源を入れます。一度すべてのランプが点灯してからスイッチを離してください。

```
セットアップ開始
設　定　　終　了　　設定一覧　　　初期化
```

メニューの内容は次のとおりです。

メニュー名	内　容
設定	プリンタの機能設定を変更します。
終了	プリンタの機能設定を終了します。
設定一覧	現在の設定内容をすべて印字します。
初期化	現在の設定内容を初期設定に戻します。

3　オフラインセットアップを実行する

操作パネルによる操作により、選択項目に印字ヘッドを移動させ、オフラインセットアップを行います。オフラインセットアップモードによる機能設定の操作は以下のスイッチで行います。

	操作内容	使用するスイッチ
1	印字ヘッドを移動し、メニューを選択する。	**印字モード/改ページ**
2	印字ヘッド位置の機能を確定し、次の設定項目に進む。	**微小改行▼**
3	印字ヘッド位置の機能を確定し、一つ前の設定項目に戻る。	**微小改行▲**
4	用紙無し状態時の用紙吸入を行う。	**用紙カット/用紙吸入/排出**
5	機能設定開始状態（トップメニュー）に戻る。	**オンライン**

■　オフラインセットアップモードでの設定変更例 (設定一覧を印字する場合)

印字結果の例

```
セットアップ開始

設　定　　　終　了　　　設定一覧　　　初期化　　　………………………（１）

［共通セットアップ項目］

ホストインタフェース　　　　　　ＡＴ
モード設定　　　　　　　　　　　ＥＳＣ／Ｐ（点灯）
オートローディング　　　　　　　１．５秒
前用紙吸入時のキャリア位置　　　ポジション１
　　　　・　　　　　　　　　　　　・
　　　　・　　　　　　　　　　　　・　　　　　　　………………………（２）
　　　　・　　　　　　　　　　　　・
ＳＬＣＴＩＮ　　　　　　　　　　有効
ＤＣ１／ＤＣ３　　　　　　　　　無効
ＳＬＣＴ　　　　　　　　　　　　ＨＩＧＨ固定
受信バッファ（ＵＳＢ）　　　　有り

設　定　　　終　了　　　設定一覧　　　初期化　　　………………………（３）

セットアップ終了
```

1）**用紙カット／用紙吸入／排出**スイッチを押してトップメニューを印字します。（１）

2）**印字モード／改ページ**スイッチを２回押し、印字ヘッドを「設定一覧」の位置に移動させ、**微小改行▼**スイッチを押すと設定一覧を印字します。

3）途中用紙がなくなり、用紙が排出されたら、新しい用紙をセットします。（２）

4）設定一覧の印字が終了したら**オンライン**スイッチを押すとトップメニューが印字されます（３）

5）**印字モード／改ページ**スイッチを１回押し、印字ヘッドを「終　了」の位置に移動させ**微小改行▼**スイッチを押すと、オフラインセットアップモードを終了します。

注)　カットシートフィーダを取り付けているときは、用紙設定状態に関わらず機能設定に入れません。

■　モード設定でESC/P(点灯)をFM(消灯)に変更する例

印字結果の例

セットアップ開始				
設　定	終　了	設定一覧	初期化	……………………………………（１）
［共通セットアップ項目］				
ホストインタフェース				
<u>ＡＴ</u>	ＲＳＶ１	ＲＳＶ２		…………………（２）
<u>ＡＴ</u>	ＲＳＶ１	ＲＳＶ２		
モード設定				
<u>ＥＳＣ／Ｐ（点灯）</u>	ＦＭ（消灯）	ＲＳＶ３		…………………（３）
ＥＳＣ／Ｐ（点灯）	<u>ＦＭ（消灯）</u>	ＲＳＶ３		
オートローディング				
無効	１．０秒	<u>１．５秒</u>	２．０秒	…（４）
設　定	終　了	設定一覧	初期化	……………………………………（５）
セットアップ終了				

1) **用紙カット／用紙吸入／排出**スイッチを押してトップメニューを印字します。（１）

2) 印字ヘッドが「設　定」の位置に移動していることを確認し、**微小改行▼**スイッチを押すと最初の設定項目を印字します（「AT」が選択されており、その位置に印字ヘッドが移動している）。（２）

3) 印字された設定項目を変更する必要が無い場合は**微小改行▼**スイッチを押すと、次の設定項目を印字します(「ESC/P（点灯）」が選択されており、その位置に印字ヘッドが移動している）。（３）

4) ここで、**印字モード/改ページ**スイッチを１回押し、印字ヘッドを「FM（消灯）」の位置に移動させ、**微小改行▼**スイッチを押すと、選択した項目が決定され、次の項目を印字します。（４）

5) 変更する作業が終了した後、**オンライン**スイッチを押すと、トップメニューが印字されます（５）

6) **印字モード/改ページ**スイッチを１回押し、印字ヘッドを「終　了」の位置に移動させ、**微小改行▼**スイッチを押すと、オフラインセットアップモードを終了します。

注)　機能設定を変更中に電源が切れた場合には、設定した内容は保証されません。

■ 設定を工場出荷値に戻す

オンラインスイッチと**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押しながら、電源を投入します。一度、すべてのランプが点灯し、印字可能状態になったら完了です。すべての設定が工場出荷値に戻ります。

■ 機能設定の種類

設定できる機能について、動作モードごとに説明します。
設定できる機能には、両モードで共通のものと個別のものがあります。
共通の機能と、動作モード個別のものに分けて説明します。
表中の初期設定とは、ご購入時にすでに設定してある値をいいます。
○印のついている設定項目が初期設定です。

◆ 各モード共通の設定項目

FM モードと ESC/P モードで共通の項目について説明します。
機能名の「CSF」とは、カットシートフィーダの略称です。

機能名	設定内容	初期設定	内　容
ホスト インタフェース	AT	○	プリンタが接続されているホストを設定します。RSV1、RSV2 は保守用の機能です。誤作動の原因となりますので、AT 以外に設定しないでください。
	RSV1		
	RSV2		
モード設定	ESC/P(点灯)	○	電源投入直後のエミュレーションモードを設定します。RSV3 は保守用の機能です。誤作動の原因となりますので、設定しないでください。
	FM (消灯)		
	RSV3		
オート ローディング (注 1) (注 2)	無効		単票用紙に印刷するときに、自動的に給紙するかどうかを設定します。自動的に給紙する場合は、単票用紙がセットされてから用紙の吸入が開始されるまでの時間を選択します。単票用紙セットの操作性に合わせ設定を変更してください。
	1.0 秒		
	1.5 秒	○	
	2.0 秒		

注 1）　FM モードでカットシートフィーダ搭載時は、オートローディングは無効です。
注 2）　「単票セットフリー」が「有効」」に設定されているときは、本項目での時間設定は無効です。

機能名	設定内容	初期設定	内　容
前用紙吸入時のキャリア位置	ポジション1	○	単票手挿入、前連帳、前カットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション1：約31桁目 ・ポジション2：約42桁目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。
	ポジション2		
後用紙吸入時のキャリア位置	ポジション1	○	後連帳、後カットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション1：約31桁目 ・ポジション2：約42桁目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。
	ポジション2		
用紙吸入時の斜行検出	有効	○	単票用紙を吸入するときに斜行を検出するかしないかを設定します。
	無効		
単票自動オンライン	有効		単票用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
	無効	○	
連帳自動オンライン	有効		連帳用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
	無効	○	
単票自動排出	排出する	○	単票用紙無し検出が有効に設定されているとき、単票用紙無しを検出したときに用紙を自動的に排出するかしないかを設定します。
	排出しない		
排出方向(単票)	手前排出	○	電源投入時の手差しモード時の単票用紙の排出方向を設定します。操作パネルにより変更できます。また、プリンタドライバで設定することができます。
	後方排出		
排出方向(CSF)	手前排出		電源投入時のカットシートフィーダ搭載時の単票用紙の排出方向を設定します。
	後方排出	○	
単票モード時のFFコード	ページ長送り		単票用紙セット時（手差しモード時）のFFコードおよび**改ページ**スイッチの処理方法を設定します。
	排出	○	

機能名	設定内容	初期設定	内　容
単票用紙無し検出	検出する	○	カットシートフィーダ未搭載時の、単票用紙無しを検出する/しないを設定します。カットシートフィーダ搭載時は、本設定は無効となります。
	検出しない		
用紙厚さ調整	自動	○	電源投入時の紙厚調整方法を選択します。電源投入後は操作パネルにより変更可能です。 ・自動紙厚調整の場合、自動またはプリンタドライバのプロパティ設定にしたがいます。 ・手動調整の場合、プリンタドライバのプロパティ設定を無視し、ダイヤルで設定した用紙厚に設定されます。
	手動		
印字方向	両方向	○	電源投入時の印字方向を、両方向または片方向に設定します。プリンタドライバからの設定が優先されるので、プリンタドライバのプロパティ設定を行う必要があります。
	片方向		
印字圧モード	標準印字圧	○	電源投入時の印字圧モードを設定します。
	高印字圧		
用紙外印字防止 (注 3) (注 4)	有効	○	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。 「** 連帳印字カット量 **」を何れか一つでも「10.0mm」に設定異した場合に限り、選択が可能になります。 注)用紙の左右端を誤検出するプレプリント用紙を使用の場合を除き、本設定は「有効」（デフォルト）でご使用ください。 「無効」に設定して印字領域を超えるデータを印刷した場合、印字ヘッドピン折れ（ドット抜け）が発生することがあります。
	無効		

注 3)　カットシートフィーダ使用時、用紙外印字防止が有効の場合でも、114 桁を越える媒体(約 A4 横以上の単票、約 11 インチ幅以上の連帳)では、右側の用紙外印字防止が作動しませんので、注意してください。

注 4)　連続帳票への左右の印字余白が16mm未満となる場合は、「** 連帳印字カット量 **」を「10.0mm」に設定してください。
本機能の正しい使用方法について「用紙外印字防止機能について」(58ページ) を参照してください。
** 部は、前/後および L/R となります。

機能名	設定内容	初期設定	内　容
前連帳印字カット量L(注4)	10.0㎜		前トラクタにセットした連帳左端面印字カット量(余白量)を設定します。左端のデータが印字できない場合に「10.0㎜」に設定しご使用ください。ただし、10㎜付近にミシン目がある場合、データがミシン目にかかると印字ヘッドピンが引っ掛かり折れるため、データはミシン目より用紙の内側にしてください。
	14.0㎜	○	
	18.0㎜		
	22.0㎜		
	26.0㎜		
	30.0㎜		
	34.0㎜		
後連帳印字カット量L(注4)	10.0㎜		後トラクタにセットした連帳左端面印字カット量(余白量)を設定します。左端のデータが印字できない場合に「10.0㎜」に設定しご使用ください。ただし、10㎜付近にミシン目がある場合、データがミシン目にかかると印字ヘッドピンが引っ掛かり折れるため、データはミシン目より用紙の内側にしてください。
	14.0㎜	○	
	18.0㎜		
	22.0㎜		
	26.0㎜		
	30.0㎜		
	34.0㎜		
前連帳印字カット量R(注4)	10.0㎜		前トラクタにセットした連帳右端面印字カット量(余白量)を設定します。左端のデータが印字できない場合に「10.0㎜」に設定しご使用ください。ただし、10㎜付近にミシン目がある場合、データがミシン目にかかると印字ヘッドピンが引っ掛かり折れるため、データはミシン目より用紙の内側にしてください。
	11.0㎜		
	12.0㎜		
	13.0㎜		
	14.0㎜	○	
後連帳印字カット量R(注4)	10.0㎜		後トラクタにセットした連帳右端面印字カット量(余白量)を設定します。左端のデータが印字できない場合に「10.0㎜」に設定しご使用ください。ただし、10㎜付近にミシン目がある場合、データがミシン目にかかると印字ヘッドピンが引っ掛かり折れるため、データはミシン目より用紙の内側にしてください。
	11.0㎜		
	12.0㎜		
	13.0㎜		
	14.0㎜	○	

注4)　連続帳票への左右の印字余白が16mm未満となる場合は、「** 連帳印字カット量 **」を「10.0mm」に設定してください。
本機能の正しい使用方法について「用紙外印字防止機能について」(58ページ)を参照してください。
** 部は、前/後および L/R となります。

機能名	設定内容	初期設定	内　容
単票印字カット量(注 3)	2.8mm	○	単票セットフリーオフのときの単票左端面印字カット量(余白量)を設定します。注)右端面は、2.8mm 固定です。
	15.0mm		
漢字書体	明朝体	○	電源投入時の全角漢字および半角漢字の書体を、明朝体またはゴシック体に設定します。
	ゴシック体		
ブザー	鳴動する	○	ブザーの鳴動する/しないを設定します。鳴動しないを選択すると、一切鳴らなくなります。
	鳴動しない		
オーバーライド	有効	○	オーバーライド機能(37ページ参照)を有効とするか無効とするかを設定します。
	無効		
印字領域	標準	○	印字領域を全体的に左側へずらす機能です。「標準」の場合、第一ドット目印字開始位置が目盛り(87 ページ参照)の位置となり、「左寄せ」の場合、12.7mm 左になります。
	左寄せ		
CSF ビン 1 選択	前 CSF	○	前/後カットシートフィーダを同時搭載した場合に、どのカットシートフィーダをビン 1 として使用するかを設定します。選択されなかったカットシートフィーダがビン 2 となります。本項目は、前/後カットシートフィーダを同時搭載した場合のみ有効となる設定です。
	後 CSF		
CSF 吸入方式	標準	○	前／後カットシートフィーダからの吸入方式を設定します。「標準」は、カットシートフィーダホッパから用紙を直接吸入する方式です。「スイッチバック」に比べ、カットシートフィーダ処理時間が短縮されます。「スイッチバック」は、カットシートフィーダホッパの用紙を一旦単票テーブルへ排出させた後に、もう一度単票テーブルから吸入する方式です。「標準」に比べ、改行精度が向上します。
	スイッチバック		
逆改行抑制制御	有効		逆改行抑制制御を行うかどうかを設定します。
	無効	○	

注 3)　カットシートフィーダ使用時、用紙外印字防止が有効の場合でも、114 桁を越える媒体(約 A4 横以上の単票、約 11 インチ幅以上の連帳)では、右側の用紙外印字防止が作動しませんので、注意してください。

機能名	設定内容	初期設定	内　容
上端余白量指定	ドライバ指定優先	○	「ドライバ指定優先」にすると、本セットアップモードで設定されている上端余白量にかかわらず、プリンタドライバで指定した上端余白量となります(前後トラクタフィーダ選択時は 4.2㎜)。「セットアップ優先」にすると、本セットアップモードで設定されている上端余白量になります。
	セットアップ優先		
給紙口指定	ドライバ指定優先	○	給紙口（用紙パス）の指定を、ドライバの指定またはプリンタ側の設定のどちらを優先するか設定します。
	プリンタ優先		
単票（手差し）改行補正量	+1.0㎜		手差し単票用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約 254㎜ 改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
	+0.6㎜		
	+0.3㎜		
	0㎜	○	
	-0.3㎜		
	-0.6㎜		
	-1.0㎜		
前 CSF 改行補正量	+1.0㎜		前カットシートフィーダ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約 254㎜ 改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
	+0.6㎜		
	+0.3㎜		
	0㎜	○	
	-0.3㎜		
	-0.6㎜		
	-1.0㎜		
後 CSF 改行補正量	+1.0㎜		後カットシートフィーダ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約 254㎜ 改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
	+0.6㎜		
	+0.3㎜		
	0㎜	○	
	-0.3㎜		
	-0.6㎜		
	-1.0㎜		

機能名	設定内容	初期設定	内　容
前連帳改行補正量	+1.0㎜		前連帳用紙に対する累積改行補正量を設定します。(１ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います)。
	+0.6㎜		
	+0.3㎜		
	0㎜	○	
	-0.3㎜		
	-0.6㎜		
	-1.0㎜		
前連帳改行補正量(最終頁)	+1.0㎜		前連帳用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約100㎜間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います)。
	+0.6㎜		
	+0.3㎜		
	0㎜	○	
	-0.3㎜		
	-0.6㎜		
	-1.0㎜		
後連帳改行補正量	+1.0㎜		前連帳用紙に対する累積改行補正量を設定します。(１ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います)。
	+0.6㎜		
	+0.3㎜		
	0㎜	○	
	-0.3㎜		
	-0.6㎜		
	-1.0㎜		
後連帳改行補正量(最終頁)	+1.0㎜		前連帳用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約155㎜間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います)。
	+0.6㎜		
	+0.3㎜		
	0㎜	○	
	-0.3㎜		
	-0.6㎜		
	-1.0㎜		
前連帳下端余白量	4.2㎜	○	前連帳用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。
	101㎜		
後連帳下端余白量	4.2㎜	○	後連帳用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。
	157㎜		

機能名	設定内容	初期設定	内　容
単票左端余白量	5㎜	○	単票セットフリーオン時の左端余白量（用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量）を設定します。
	10㎜		
	15㎜		
	20㎜		
	25㎜		
	30㎜		
連帳改行時 リボン保護制御	有効		連帳改行時に印字ヘッドが用紙送り穴位置に停止した場合、用紙送り穴位置を避けて改行し、リボンを保護するかしないかを設定します。
	無効	○	
ヘッド交換表示	有効	○	印字ヘッドの交換時期が近づくと電源投入時に「オンライン」ランプの点滅で通知します。設定一覧を印刷すると、詳細内容をパーセントで表示します。
	無効		
単票セットフリー	有効	○	電源投入時の単票セットフリー機能の有効／無効を設定します。
	無効		
スキップ印字	有効	○	1 行中の印字データ間に一定量の空白部分がある場合に、空白部分をスキップ（変速動作）するかどうかを設定します。 ただし、空白の前後にある印字データの印字速度が異なる場合（LQ 文字＋空白＋CQ 文字等）は、本設定に関わらず、空白部分での変速動作を行います。
	無効		
連帳給紙制御	精度優先	○	連帳用紙の吸入動作を設定します 『精度優先』を選択した場合、用紙吸入時に APTC による用紙厚検出動作を行います。 検出した用紙厚に応じて吸入時の改行補正を行うため、『速度優先』に比べて用紙吸入後の改行精度が向上します。 『速度優先』を選択した場合は、用紙吸入時に APTC による用紙厚検出動作は行いません。『精度優先』に比べ、吸入時間が短縮されます。 用紙厚に関わらず、改行補正は一定値で行われるため、用紙の種類によっては吸入後の改行精度が若干悪くなる場合があります。 紙厚調整モードが『手動』に設定されている場合、特殊モード実行中はセットアップの設定に関わらず、『速度優先』による吸入制御となります。
	速度優先		

機能名	設定 内容	初期 設定	内　容
用紙カット 引き戻し制御	精度優先	○	用紙カットの動作方法を設定します 『速度優先』設定時は、用紙送り出しを行った分だけ引き戻しを行い、元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。 『精度優先』設定時は、一定量（用紙上端が TOF センサから外れる位置まで）用紙を後退させた後、用紙送りにより元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。 一定量の用紙後退により、TOF センサで用紙無しを検出した場合（用紙が切り取られた場合）は、一度用紙後退動作を行ってから用紙再吸入動作を行います。
	速度優先		

◆ ESC/P モードの設定項目

機能名	設定内容	初期設定	内　容
LAN 接続	有効	○	LAN 接続の設定は有効で固定です。 本項目は、LAN カード（オプション）搭載時のみ表示されます。
単票（前 CSF） 上端余白量	4.2mm		手差し口および前カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	8.5mm	○	
	22.0mm		
後 CSF 上端余白量	4.2mm		後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	8.5mm	○	
	22.0mm		
前連帳 上端余白量	4.2mm		前連帳用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	8.5mm	○	
	22.0mm		
後連帳 上端余白量	4.2mm		後連帳用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	8.5mm	○	
	22.0mm		
連帳ページ長	11 インチ	○	連帳用紙のページ長を設定します。 前連帳および後連帳用紙の両方に有効な値です。Windows から印字した場合は、ドライバからの指定値に変更されます。
	12 インチ		
連帳ミシン目 スキップ	0 インチ	○	連帳用紙のミシン目の手前でスキップする量を設定します。前連帳および後連帳用紙の両方に有効な値です。Windows でユーザ定義サイズを指定して印字した場合、本機能は動作しません。
	1 インチ		
文字品位	LQ	○	文字品位を設定します。
	DRAFT		
縮小文字	標準印字	○	印字文字の大きさ（標準文字/縮小文字）を設定します。
	縮小印字		
コードテーブル	カタカナ	○	ANK コード表を設定します。
	拡張グラフィックス		
ANK 書体	クーリエ	○	ANK 文字の書体を設定します。
	サンセリフ		
数字フォント幅	標準	○	数字フォント（0～9）のフォント幅を選択します。本設定は、漢字全角文字（明朝体/ゴシック体）に対してのみ有効です。
	幅広		

機能名	設定内容	初期設定	内　容
ゼロフォント字体	スラッシュ無し	○	ANK コードの 0（ゼロ）の字体を「0」とするか「Ø」とするかを設定します。クーリエフォントに対してのみ有効となります。
	スラッシュ有り		
国際文字	日本	○	国際文字の出力種類を設定します。
	アメリカ		
文字間	10CPI	○	ANK 文字の文字ピッチの大きさを設定します。
	12CPI		
行間	6LPI	○	改行ピッチの大きさを設定します。
	8LPI		
CR コード	CR	○	CR コードの機能を印字指令とするか、印字改行指令とするかを設定します。N-CR を選択した場合、CR コードでは印字起動を行わず、受信位置の復帰（レフトマージン位置に戻す）のみを行います。
	CR＋LF		
	＊AFXT (注 5)		
	N-CR		
オートティアオフ	有効 (注 6)		連帳用紙のオートティアオフの有効/無効を設定します。オートティアオフとは、印刷が終わる（または印刷データを印刷し終わる）ごとに自動的に用紙カット位置まで用紙を送る機能です。
	無効	○	
SLCTIN	有効	○	SLCTIN 信号の有効/無効を設定します。本項目は、「インターフェースタイプ」設定において、自動またはパラレルインターフェースを選択した場合のみ設定可能となります。
	無効		
DC1/DC3	有効		DC1/DC3 コマンドの有効/無効を設定します。
	無効	○	
SLCT	HIGH 固定	○	SLCT 信号を HIGH 固定とするか、プリンタの状態により可変とるすかを設定します。
	可変		
受信バッファ (USB)	有り	○	受信バッファの有無と USB 使用の可否を設定します。
	無し		
エラー監視機能	有効	○	ニブルモード要求により、ステータス情報を送信バッファにセットするかどうかを設定します。
	無効		
受信バッファ (16KB)	有り	○	受信バッファ(16KB)の有無を設定します。
	無し		
用紙長インチ変換	有効	○	連帳用紙の長さをミリメートルで設定した場合に、本来のインチに換算する機能の有効/無効を設定します。
	無効		

注 5）　ハード信号の制御にしたがいます。
　　　詳しくは、192 ページの＊AUTO FEED XT を参照願います。

注 6）　本機能を有効で運用している場合に電源を切断し再投入したときは、用紙を再セットしてから印刷をしてください。
　　　そのままの状態で印刷すると、用紙カット位置まで用紙が送られた状態から印刷を開始するため、用紙の上端部分が白紙になります。

◆ FMモードの設定項目

機能名	設定内容	初期設定	内　容
単票(前CSF) 上端余白量	4.2mm		手差し口および前カットシートフィーダからの用紙を吸入後(前カットシートフィーダ)の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 9.1mm：はがき（横）印刷時 14.3mm：はがき（縦）印刷時
	9.1mm		
	14.3mm		
	22.0mm	○	
後CSF 上端余白量	4.2mm		後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 9.1mm：はがき（横）印刷時 14.3mm：はがき（縦）印刷時
	9.1mm		
	14.3mm		
	22.0mm	○	
前連帳 上端余白量	4.2mm		前連帳用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	22.0mm	○	
後連帳 上端余白量	4.2mm		後連帳用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	22.0mm	○	

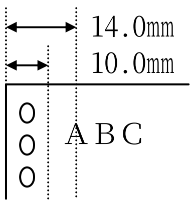
用紙外印字防止機能について

本装置は、印字ヘッドピンを保護するために印字領域を超えた分の印字をカットする（印字しない）「用紙外印字防止機能」を有しております。
製品出荷時には「用紙外印字防止機能」は「有効」に設定されていますので、変更せずにそのままの状態でご使用ください。（48ページ参照）

規格外のプレプリント用紙(禁止領域にプレプリントがある)の場合、用紙の左右端を正しく検出できずに、印字がカットされることがあります。この場合は**規格にあった用紙への変更**をお願いします。用紙変更までの間は、「用紙外印字防止機能」を「無効」に変更してご使用ください。ただし、**セットした用紙の本来の印字領域を超える印字データを受信すると、印字ヘッドピン折れを招きます**ので、用紙の付け替えミス等が無いよう、十分にご注意ください。用紙の変更が終わり次第、「用紙外印字防止機能」を「有効」に戻してください。（「プレプリント用紙を使用するとき」128 ページ参照）

また、連帳の縦ミシン目を考慮して、製品出荷時には「連帳印字カット量」（左右端の余白量）は「14.0㎜」に設定してあります。
そのため下図のような印字データでは、「Ａ」の左半分が欠けて印字されますので、この場合は「連帳印字カット量」を「10.0㎜」に設定してください。(49ページ参照)

ただし、縦ミシン目やとじ穴部分に印字を行なうと印字ヘッドピン折れを招きますので、印字しないようにアプリケーションでの対応をお願いします。



連帳印字カット量（左端余白量）が
14.0㎜のままではＡの左半分が印字されない。
→10.0㎜に変更すれば印字される。

なお、印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙は、印字ヘッドピン折れの原因となりますので使用しないでください。

ガイド

印字ヘッドピンが折れた場合は印字データ欠けとなり、印字ヘッドを交換しなければ、復旧することができません。

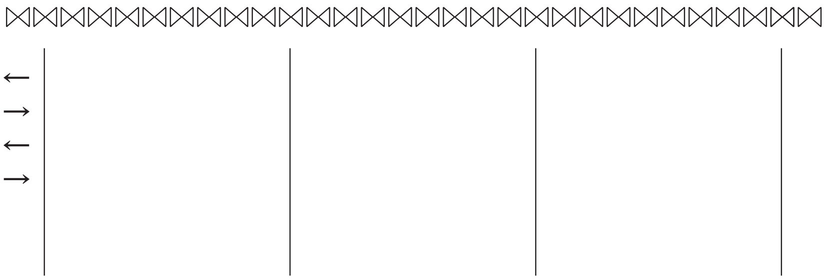
行間ズレを直す

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。
標準印字圧と高複写モードの 2 つの印字圧についてそれぞれ標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の 3 倍の速度で印字するモードです。行間ズレは、次の手順で直します。行間ズレを直すときは、必ず用紙をセットしておいてください。

1　前側より 15 インチ幅以上の連続用紙または A4 タテ以上の単票用紙をセットする

2　用紙カット/用紙吸入/排出スイッチと印字モード/改ページスイッチを押しながら電源を入れる

標準印字圧の標準印字モードで調整用パターンを印字します。
矢印（←と→）は、印字ヘッドの移動方向を示します。



3　調整用パターンの印字が始まったら調整を行う

印字ヘッドの移動方向と同じ方向に印字結果を移動させるとき

微小改行▲スイッチを押します。
押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに 0.03㎜ ずつ矢印と同じ方向に印字結果が移動します。

印字ヘッドの移動と逆の方向に印字結果を移動させるとき

微小改行▼スイッチを押します。
押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに約 0.03㎜ ずつ矢印と逆の方向に印字結果が移動します。

4　印字モードを切り替えて、高速印字モード、ドラフト印字モードで手順 3の調整を行う

印字モードの切り替えかた

調整パターン印字中に**印字モード/改ページ**スイッチを押します。
印字モード/改ページスイッチを押すたびに、以下の順に印字速度が切り替わります。

→ 高速印字モード→ドラフト印字モード→標準印字モード ─┘

5　高複写スイッチを押して高複写モードにする

6　高複写モードの標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードそれぞれで手順 3の調整を行う

7　調整が終わったらオンラインスイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、調整パターンの印字が終了して、オンライン状態になります。

注)　**オンライン**スイッチを押さないと調整した内容がプリンタに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。
調整は、標準印字モード、高速印字モード、およびドラフト印字モードの順で行ってください。

用紙吸入量を調整する

用紙の自動吸入（オートロード）時の用紙吸入位置を、行方向に微調整します。工場出荷時に用紙の吸入量（印字開始位置）は、初期設定値に調整されていますが、ずれている場合はこの機能で調整してください。連続帳票用紙、単票用紙それぞれの吸入量を調整できます。

用紙の吸入量は、次の手順で調整します。

1　用紙をセットする

2　オフライン状態で［オンライン］スイッチを押しながら、［用紙カット/用紙吸入/排出］スイッチを押す

用紙吸入量調整モードになります。

3　本モード中にし、［手前排出/改行］スイッチを押すと、⋈が印字され、用紙吸入量を確認できる

4　用紙の吸入位置を調整する

・前方から吸入された用紙に対して上端余白を大きくしたいときは、［微小改行▲］スイッチを押します。
後方から吸入された用紙に対しては、上端余白が小さくなります。
・前方から吸入された用紙に対して上端余白を小さくしたいときは、［微小改行▼］スイッチを押します。
後方から吸入された用紙に対しては、上端余白が大きくなります。
１回押すたびに、約0.14㎜補正されます。
調整量は約±9㎜まで可能です。

・用紙位置の補正は、単票(前カットシートフィーダも含む)、後カットシートフィーダ、前連帳、および後連帳を各々独立して行うことができます。
・［給紙口］スイッチで用紙パスを選択し、補正を行います。

5　調整が終わったら［オンライン］スイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、オフライン状態になります。

注）［オンライン］スイッチを押さないと、調整した内容がプリンタに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。

ガイド

［微小改行］スイッチを押して調整した用紙の吸入位置は、常に積算されます。
調整中に［印字モード/改ページ］スイッチを押すとブザーが鳴り、調整前の用紙吸入位置に戻ります。

連続帳票用紙をカット位置に送る

あらかじめセットした連続帳票用紙のミシン目がカットしやすい位置（カット位置）にくるように、用紙を送る機能です。

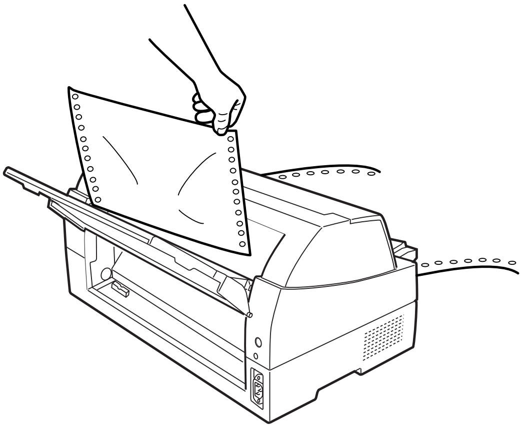
■　カット位置に送る

次の手順で、連続帳票用紙をカット位置に送ります。

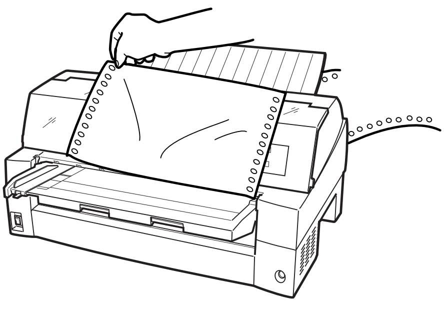
1　オンライン状態で用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押す

ミシン目が用紙カット位置まで送られます。
ESC/Pモード時、機能設定で「オートティアオフ」を「有効」に設定している場合は（「機能設定を変える」42ページ参照）、印刷が終わる（または印刷データを印刷し終わる）毎に自動的に用紙カット位置まで用紙が送られます。

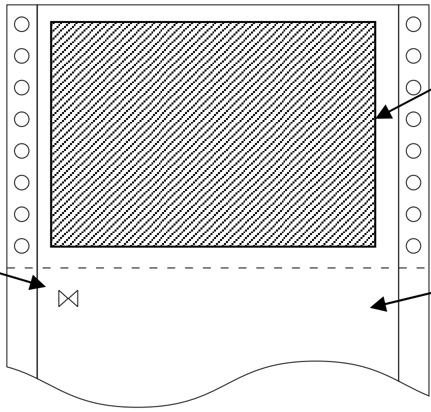
〈連続帳票用紙を前方からセットした場合〉



〈連続帳票用紙を後方からセットした場合〉



印字ヘッドの位置が次のページの先頭行にあるときには、ミシン目がカット位置まで送られます。



注）　ページ長設定が正しくないとき、および **微小改行▲** **微小改行▼** スイッチで用紙を移動させた場合はカット位置が合わなくなります。

2　用紙を切り取る

3　もう一度、用紙カット/用紙吸入/排出を押す

用紙が印字開始位置に戻ります。

この操作を行わない場合は、次の印字データを受信すると自動的に元の位置に戻ります。

自動検出機能

このプリンタには、次の 4 つの自動検出機能があります。

◆ 用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して「用紙切れ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。
このとき（用紙無し検出時）に強制的に一行分印字させることができます。この機能をオーバーライド機能といいます。

用紙無しを検出して印字動作が停止（オフライン状態）のまま、**オンライン**スイッチを押すと、後続のデータがある場合、1 行だけ印字を行います。この操作は何度も繰り返しできますが、プラテン面に用紙があることを確認しながら印字させてください。

◆ 印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの加熱状態を検出すると、1 行を 3 回に分けて印字して印字ヘッドの劣化を防止します。

◆ ヘビーデューティ検出

高密度の印字（50%以上）を行うと、1 行を 3 回に分けて印字します。

◆ 異常電流検出

プリンタ内で異常電流が流れたときは、プリンタ保護のために、自動的に電流を遮断します。この状態で電源スイッチを“ON"にしても、約 5 分間は電源が投入できません。数分後、電源を再投入してください。
それでも電源が投入できないときは、プリンタの故障ですので、コンセントを抜いてお買い求めの販売店または富士通ハードウェア修理相談センター（167 ページ参照）に相談してください。

エラー表示機能

このプリンタには、操作パネルの各ランプの点滅でアラーム内容を識別する機能があります。

エラー発生時に点滅するランプによりアラーム内容を下表のように識別できます。対処方法については「第５章 保守と点検」の「プリンタがうまく動かないとき」の「電源投入後「用紙切れ」ランプが点滅する。」（149 ページ）を参照してください。

下記アラームが発生した場合、オペレータ・パネルの LED ランプ点滅により、アラームを通知します。

ランプ ＼ アラーム名	用紙切れ	低騒音	単票セットフリー	高複写	自動紙厚調整	前トラクタ	後トラクタ	単票手差し	カットシートフィーダ	手前排出	高速	用紙抜取	ESC／P	オンライン	発生条件
LES アラーム	●	●					●								スペースイニシャル動作実行中に LES 検出ができなかった
ｽﾍﾟｰｽ脱調ｱﾗｰﾑ	●	●						●							LRES センサの遮蔽板検出が正常に検出しなかった
斜行補正ｱﾗｰﾑ	●		●				●								斜行補正ローラ回転時に基準位置が正常でなかった
HCPP(連単切り換え機構）ｱﾗｰﾑ	●		●					●							連帳/単票の切り替えができなかった
ｵｰﾊﾞｰﾛｰﾄﾞ(過負荷)ｱﾗｰﾑ	●			●			●								印字中に過負荷となり 3 分割印字となったが電源電圧が復旧しなかった
低電圧ｱﾗｰﾑ	●			●				●							印字中以外に電源電圧が所定のレベルより低下した

ランプ ＼ アラーム名	用紙切れ	低騒音	単票セットフリー	高複写	自動紙厚調整	前トラクタ	後トラクタ	単票手差し	カットシートフィーダ	手前排出	高速	用紙抜取	ESC／P	オンライン	発　生　条　件
APTCｷﾞｬｯﾌﾟｱﾗｰﾑ	●				●	●									APTC 動作において、アプローチ動作開始直後すぐに媒体を検出した、または媒体を検出できなかった
APTCﾎｰﾑﾎﾟｼﾞｼｮﾝｾﾝｻｱﾗｰﾑ	●				●		●								APTC 動作において基準位置が検出されなかった
ROM/RAM ｱﾗｰﾑ	●				●			●							サムチェックエラー、リード/ライトエラー、CG-ROM 未搭載

*1 ●は、ランプ点滅を表します。
空白は、消灯を表します。

下記エラーが発生した場合、オペレータ・パネルの LED ランプ点滅により、エラーを通知します。

ランプ ＼ エラー名	ESC／P	発 生 条 件	対処方法
指定外用紙エラー	●	単票(CSF)モードでユーザ定義サイズのページ長が 70㎜ 未満(単票用紙の印刷範囲外)を受信した。	・帳票を印刷したかったのに、プリンタが単票モードだった場合は、連帳モードに切り換え、連帳用紙を吸入後に「オンライン」スイッチを押してアラームを解除してください。 ・単票を印刷したかったが、ユーザー定義サイズ設定を間違えていた場合は、パソコン側の印刷データをキャンセルした後、プリンタをリセット（オフライン状態でオンライン＋高速スイッチを押します）します。再印刷時にサポート範囲のユーザ定義サイズに変更してください。

⚠ 注意	**高　温　　使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。**

第3章

用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、および印字開始位置について説明します。

用紙をセットする ･････････････････････････ 70

連続帳票用紙をセットする
（前トラクタ給紙の場合） ･･････････････ 70

連続帳票用紙をセットする
（後トラクタ給紙の場合） ･･････････････ 76

単票用紙をセットする
（単票セットフリーオン時） ････････････ 82

単票用紙をセットする
（単票セットフリーオフ時） ････････････ 86

単票用紙をセットする
（カットシートフィーダを取り付けた場合） ･･ 89

用紙厚を調整する ･････････････････････････ 93

印字開始位置について ･････････････････････ 96

印字開始位置（行方向）を微調整する･････････ 97

実力値について ･･･････････････････････････ 98

印字位置精度について ････････････････････ 98

用紙をセットする

このプリンタでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。

ガイド

トラクタユニットは、着脱式でプリンタの前後に取り付け可能です。
オプションのトラクタユニットをプリンタ後面にセットすることにより、前後同時搭載が可能となります。

■　連続帳票用紙をセットする（前トラクタ給紙の場合）

連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

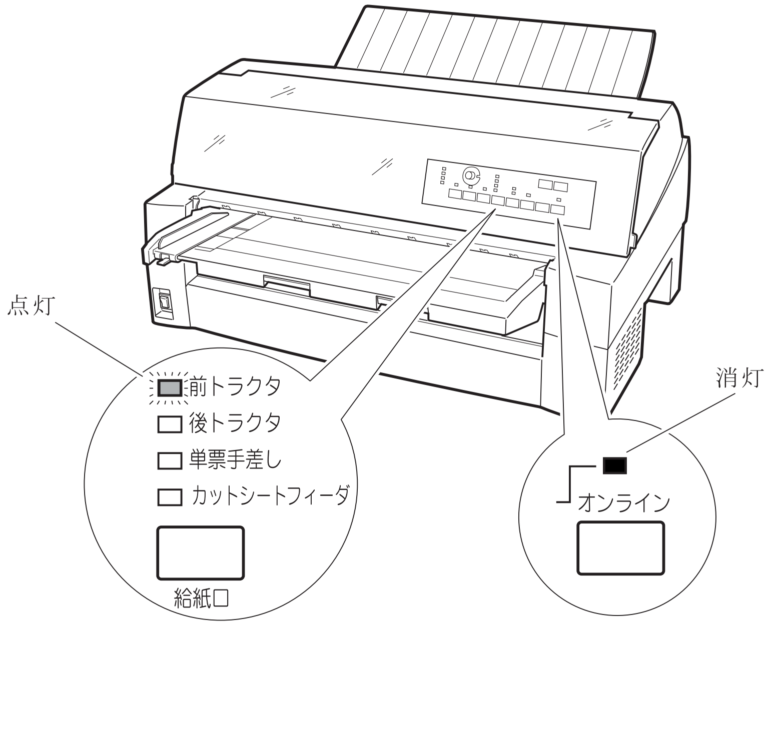
1　プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

2　オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

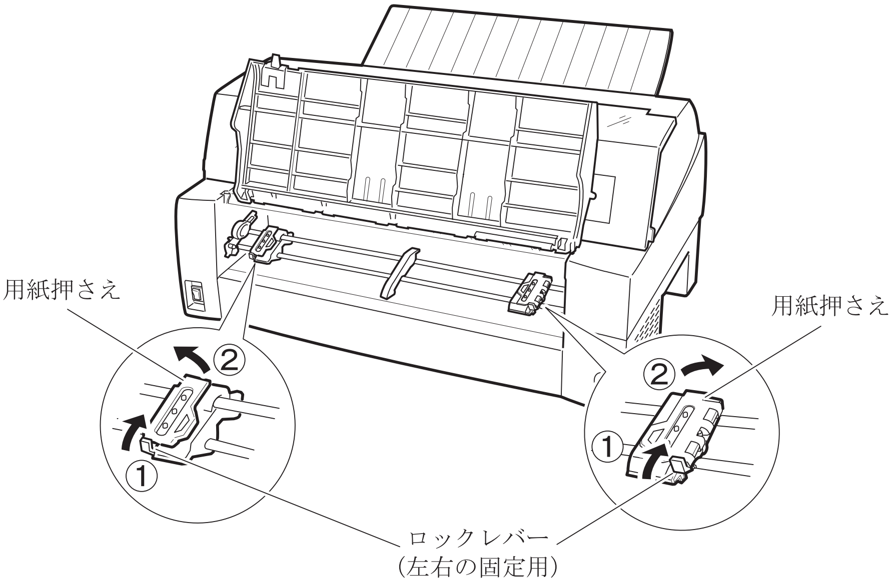
3　**給紙口**スイッチを押して、「前トラクタ」状態にする



4　単票テーブルを開く（16 ページ参照）

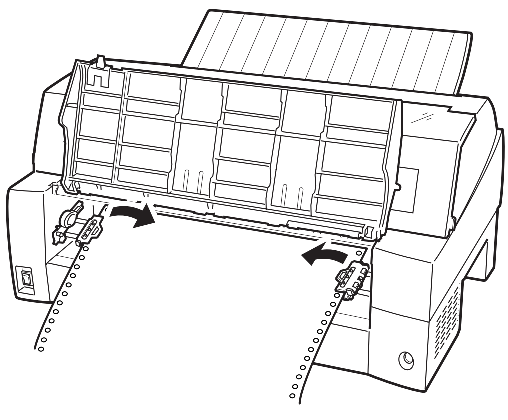
5　用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開く

左右の用紙トラクタにあるロックレバーを､矢印方向に動かして(①)､トラクタが左右に移動できるようにします。次に用紙押さえを開き（②）、用紙をセットできる状態にします。



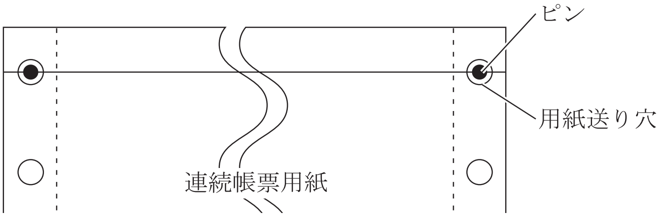
6　用紙送りトラクタに用紙をはさむ

用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し､用紙押さえを閉じます。



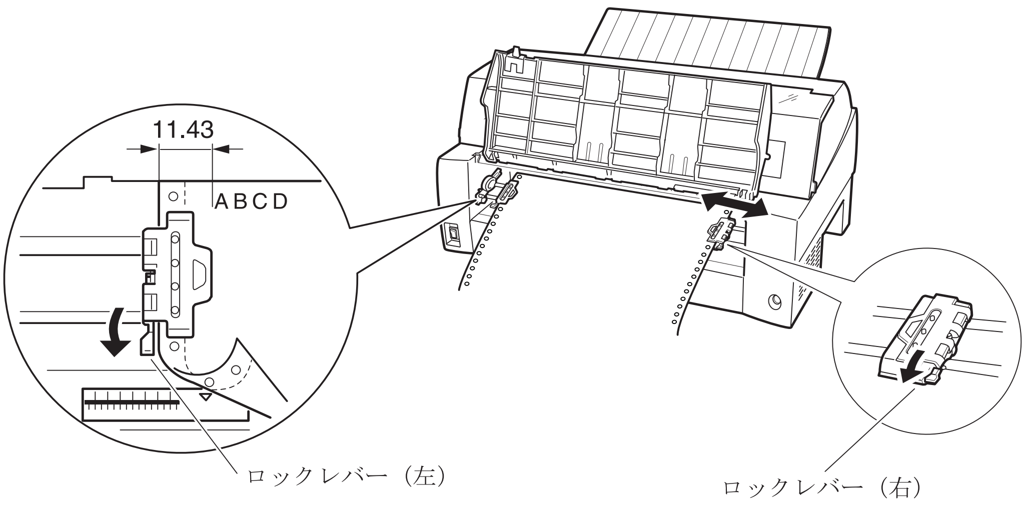
お願い

- 用紙送りトラクタの用紙押さえを開いたまま単票テーブルを倒さないでください。用紙送りトラクタおよび単票テーブルの破損の原因となります。
- 用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
  - 用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙送りトラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
  - 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。

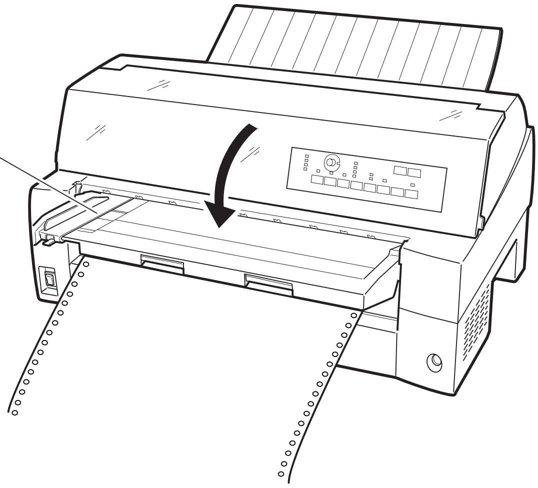


7　左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43㎜（用紙左端からの余白)となり、第１ドットが「▼」の位置となります。



8　単票テーブルを倒す



お願い

単票テーブルを上方向に開いたまま連帳用紙を吸入させると、用紙づまりを起こす場合があります。必ず、単票テーブルを倒してから用紙を吸入させてください。

9　印字開始位置に用紙をセットする

用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押します。
用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、96ページを参照してください。

お願い

- 用紙吸入時に用紙づまりが発生した場合、吸入動作失敗としてブザーが鳴ります。
  用紙づまりが発生した場合は、137 ページの「用紙づまりのとき」を参照してつまった用紙を取り除き再度用紙をセットし直してください。
- 単票テーブルに用紙が残ったまま連帳用紙を吸入させると、単票テーブルの用紙も同時に吸入してしまう場合があります。連帳使用時には、単票テーブルの上に用紙をセットしないでください。

10 オンライン状態にする

オフラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンからの印字データを送ります。

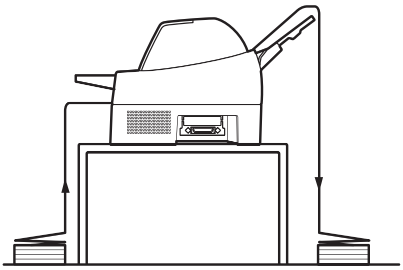
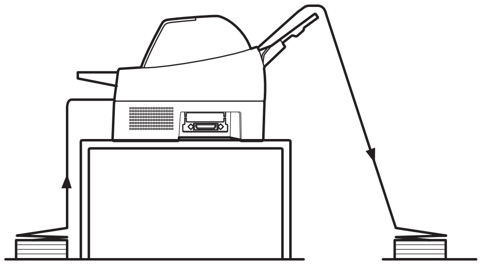
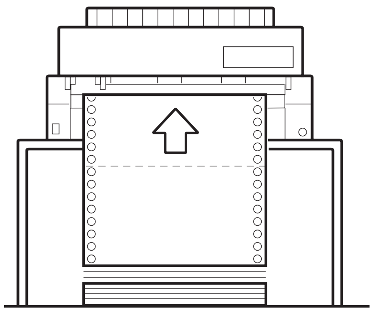
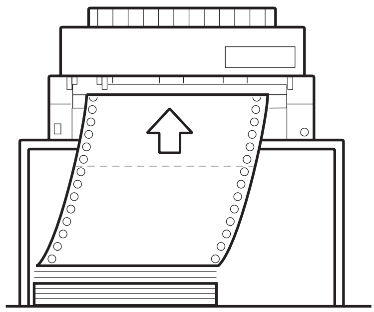
注）　用紙を排出するには、次の方法があります。
印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。
オフライン状態にして**印字モード/改ページ**スイッチを押します。
１回押すたびに１ページ分の用紙が送られます。

ガイド

用紙をカット位置にした状態では、パソコンから印字データが送られてくると用紙を自動的に印字位置（元の位置）に引き込んで印字を行います。

◆ 前連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。

	○	×
プリンタ側面		
プリンタ正面	プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。 	用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。 

お願い

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

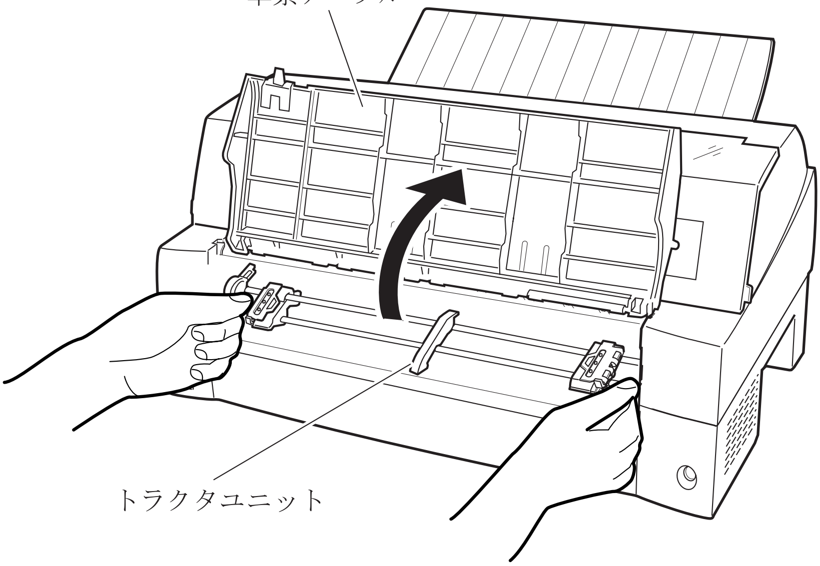
■　連続帳票用紙をセットする（後トラクタ給紙の場合）

連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

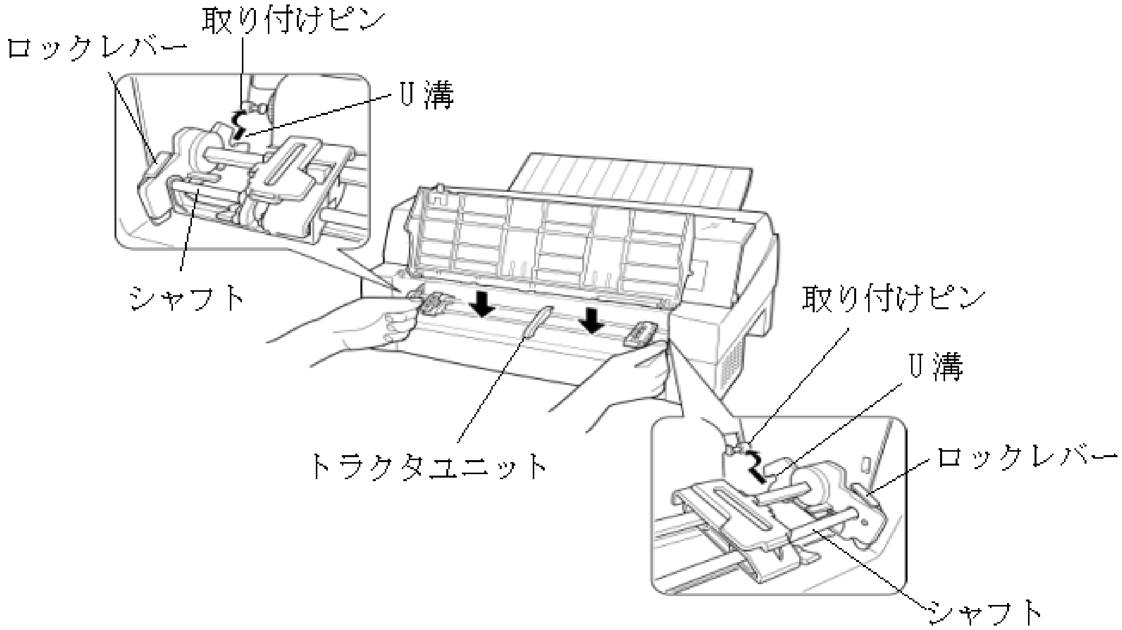
1　トラクタユニットをプリンタの後面にセットする

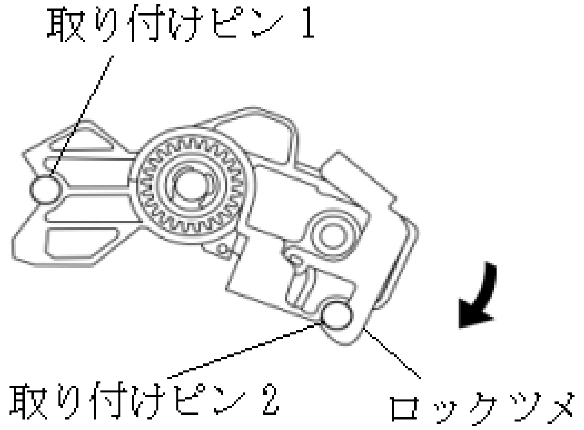
前トラクタユニットを後トラクタとして使用する場合は、単票テーブルを開いて、トラクタユニットを取り外します。（27 ページ参照）

オプションのトラクタユニットを後トラクタとして使用する場合は、前トラクタを外す必要はありません。



取り付けはトラクタユニットの左右のU溝を､プリンタ取り付けピンに合わせます。（トラクタユニットの刻印 B とプリンタ側の刻印 B を合わせます。）トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックします。





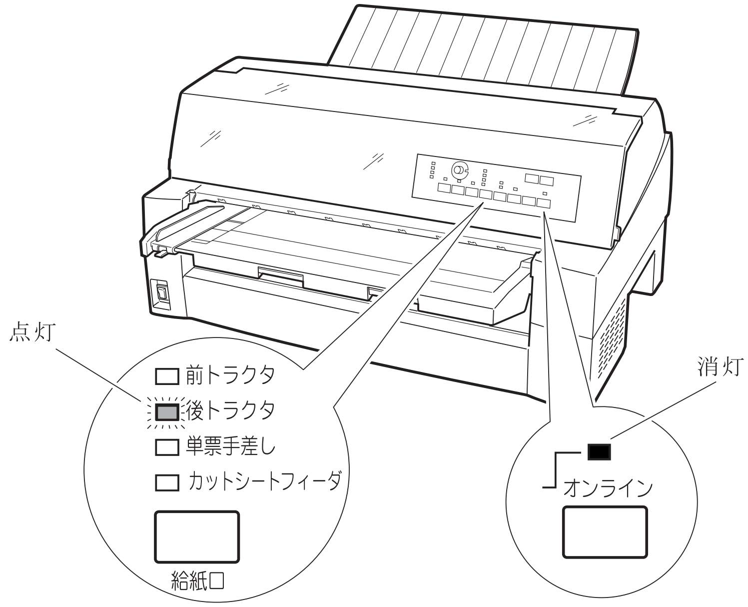
2 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

3 オフライン状態にする

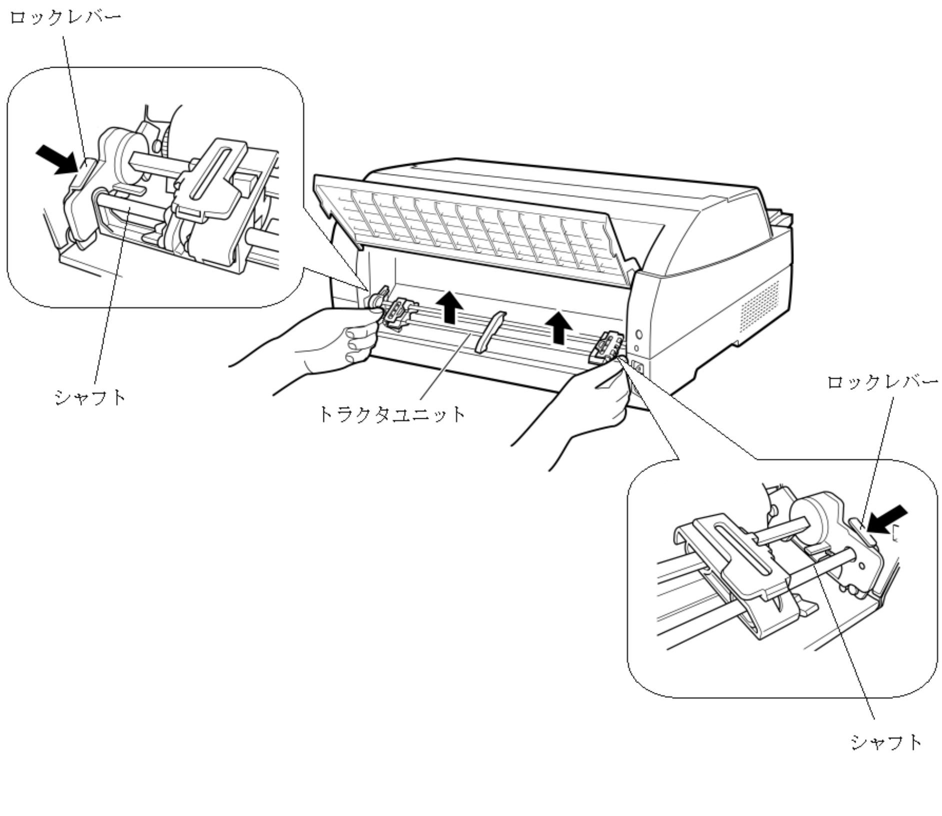
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

4　給紙口スイッチを押して、「後トラクタ」状態にする



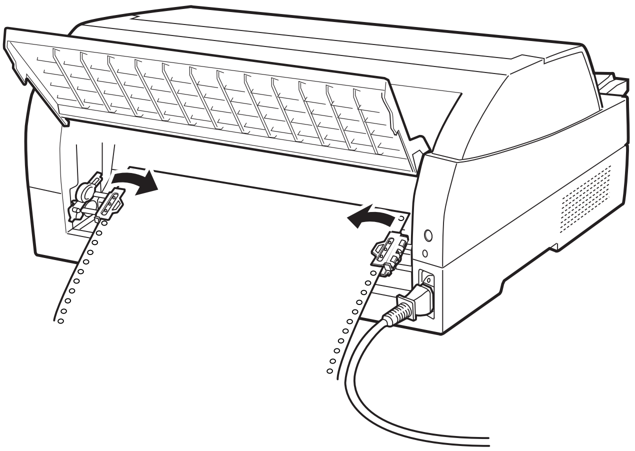
5　用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開く

左右の用紙トラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（①）トラクタ左右のロックを外し、用紙押さえを開きます（②）。



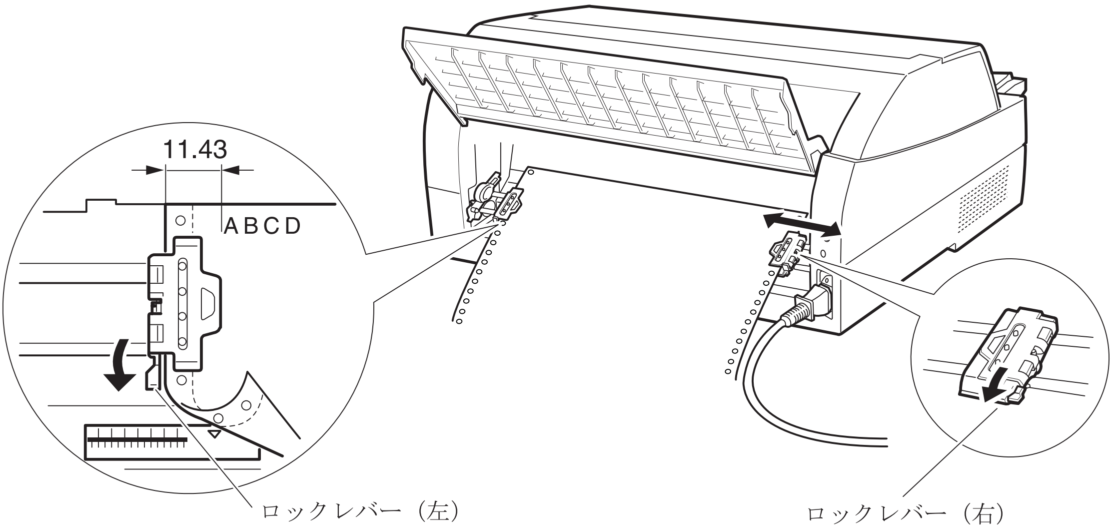
6 用紙送りトラクタに用紙をはさむ

左右の用紙送りトラクタの用紙押さえを開きます。用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



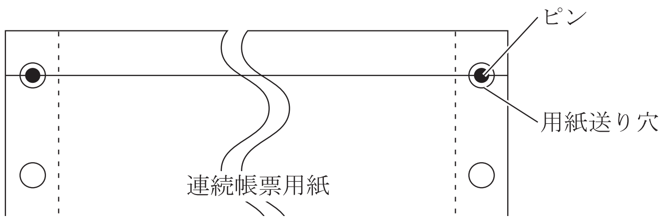
7 左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印の方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43㎜（用紙左端からの余白)となり、第１ドットが「▼」の位置となります。



お願い

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
・用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙トラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。
・用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。



8　印字開始位置に用紙をセットする

用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押します。
用紙が印字開始位置まで送られます。
印字開始位置の微調整については、96ページを参照してください。

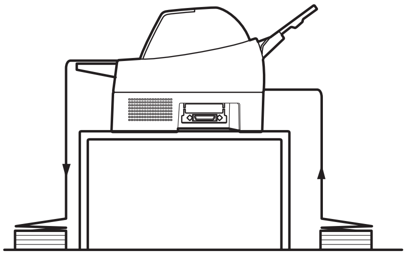
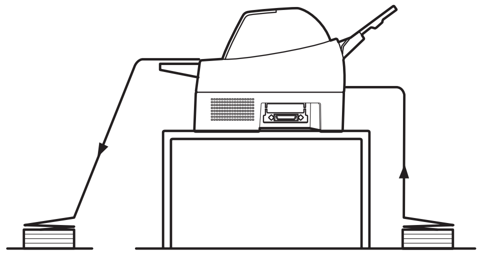
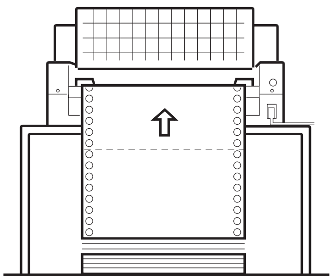
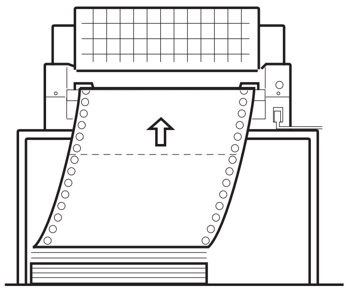
9　オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンからの印字データを送ります。

注）　用紙を排出するには、次の方法があります。
印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。（詳細については、62ページの「カット位置に送る」を参照してください。）
オフライン状態にして**印字モード/改ページ**スイッチを押します。1回押すたびに1ページ分の用紙が送られます。

◆ 後連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

	○	×
プリンタ側面		
プリンタ正面	プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。 	用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。 

お願い

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

■ 単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時）

単票セットフリー機能を使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。なお、単票用紙は一枚ずつ差し込んでください。使用できる用紙サイズは、はがき〜B4です（詳細は「第４章　用紙について」を参照）。単票セットフリーオンで使用できない用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。（86ページ参照）

1 プリンタの電源を入れる

スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

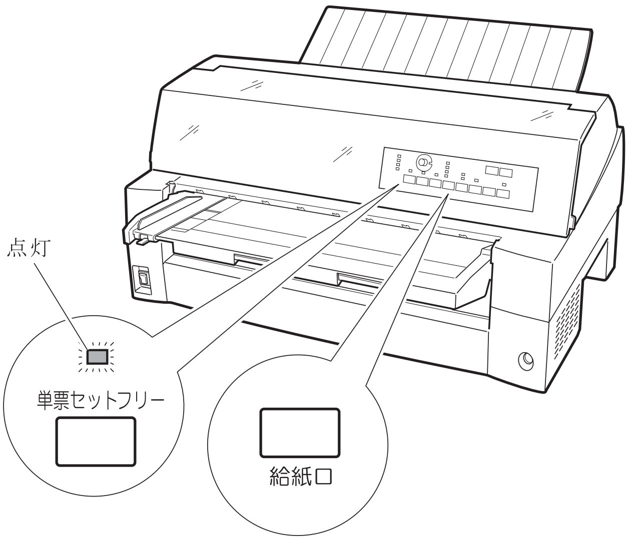
オフラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

3 「単票セットフリー」ランプが点灯していることを確認する

消灯している場合は**単票セットフリー**スイッチを１回押してください。

4 給紙口スイッチを押して「単票手差し」状態にする

このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。

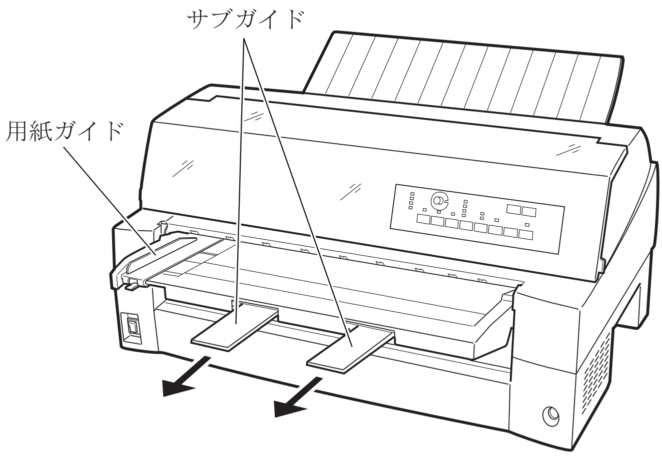


お願い

連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

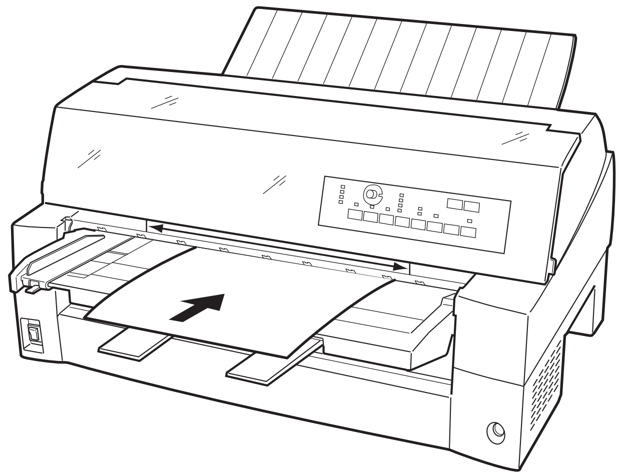
5　用紙ガイドを左端に寄せる

6　用紙サイズに応じてサブガイドを引き出す



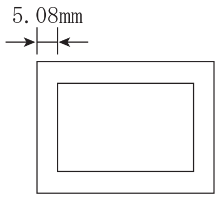
7　用紙をセットする

印字する面を上にし、『単票セットフリー』の用紙セット範囲に単票用紙を一枚ずつ差し込むと、自動的に吸入されます。



注)　機能設定（46 ページ）でオートローディングを無効に設定している場合は、自動的に吸入されませんので、**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチで用紙を吸入してください。

印字開始位置は、機能設定の左端余白量（53ページ）に従います。工場出荷時は、用紙左端より5.08㎜の位置になります。



注）　印字開始位置を帳票に合わせて細かく設定したい場合は、単票セットフリーをオフにして用紙ガイドで調整してください。

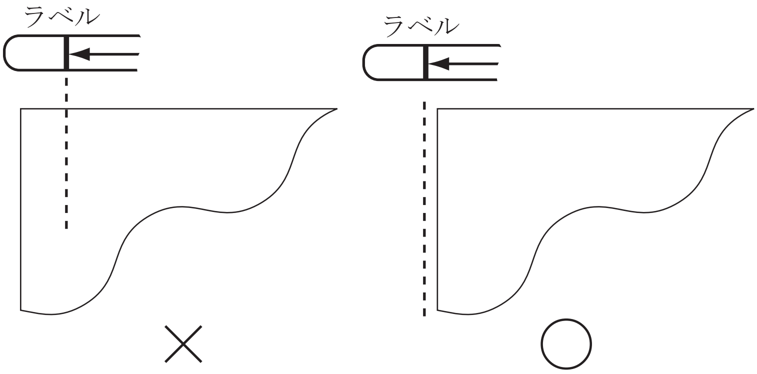
8　オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送ります。

注）　「機能設定を変える」(42 ページ参照)で単票自動オンラインが有効になっている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字が開始されます。

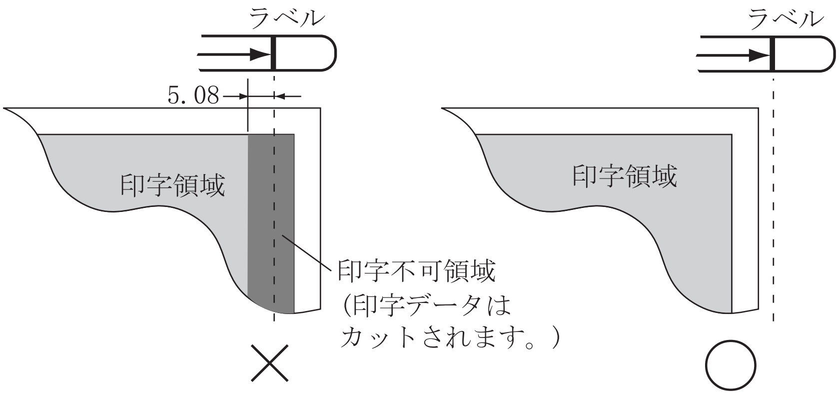
◆ 用紙左端位置に関する注意

プリンタのラベル |←── 部（『単票セットフリー』の用紙セット範囲）に対して、用紙の左端を下記の×で示す位置にセットした場合、用紙は吸入後排出されます。○で示す位置にセットしてください。



◆ 用紙右端位置に関する注意

プリンタのラベル ──▶| 部(『単票セットフリー』の用紙セット範囲)に対して、用紙の右端を下記の×で示す位置にセットすると、印字データがカットされることがあるので、○の位置にセットしてください。



◆ 用紙に関するご注意

- 用紙の先端や先端のコーナー部に折れや曲がりがあると、うまく吸入できないことがあります。折れや曲がりのない用紙を使用してください。
- 単票セットフリーで使用できる用紙は下記のサイズです。
  用紙幅　　100〜364㎜（はがき〜B4 サイズ）
  用紙長さ　 70〜364㎜（はがき〜B4 サイズ）
  詳細は「第 4 章　用紙について」を参照してください。
- 束のりとじの単票は、とじ部分が分離しやすくジャムが発生するので使用を避けてください。
  束のりとじ：単票の厚み部分だけでのりとじを行っているものです。

■　単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時）

単票用紙は一枚ずつセットしてください。また、連続帳票用紙をセットしたままでもセットできます。
単票用紙のセットは、次の手順で行います。

1　プリンタの電源を入れる

スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

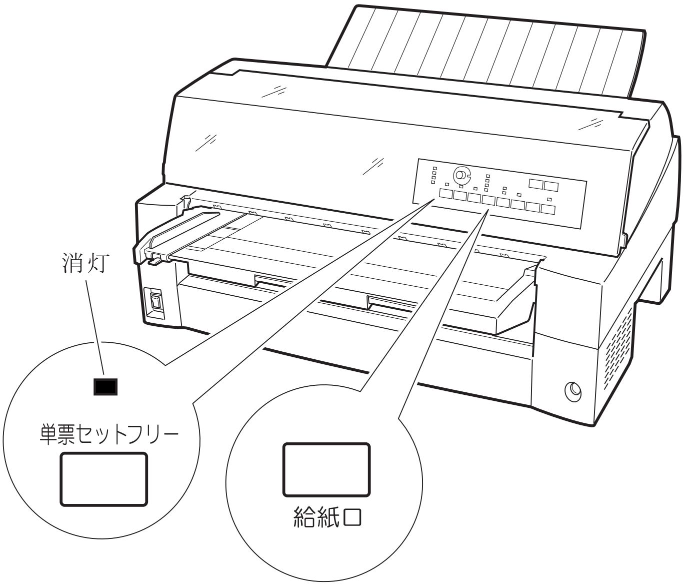
2　オフライン状態にする

オフラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

3　単票セットフリースイッチを押して「単票セットフリー」ランプを消灯させる

4　給紙口スイッチを押して「単票手差し」状態にする

このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。

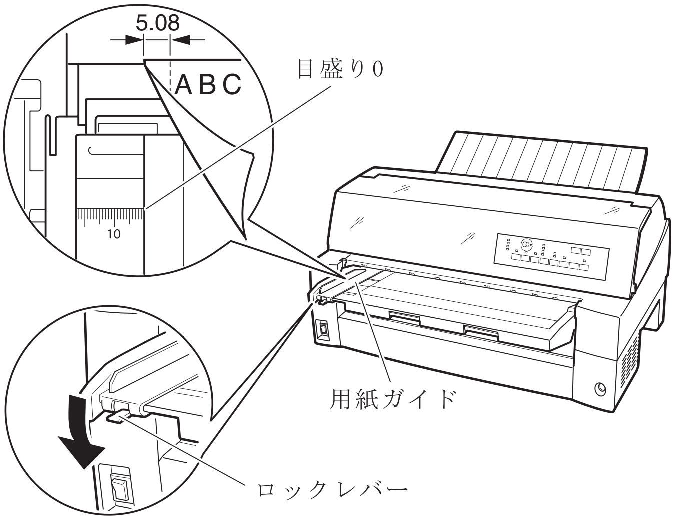


お願い

連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。
連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

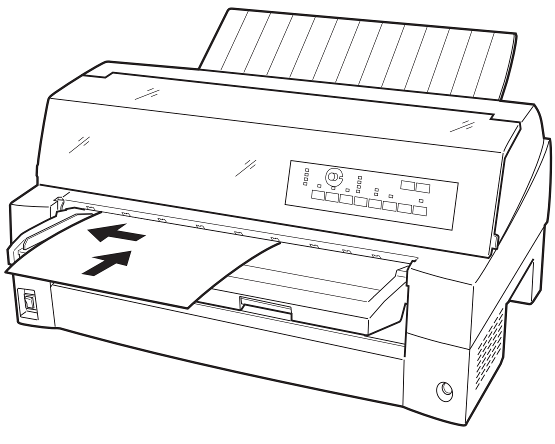
5 印字開始位置に合わせて用紙ガイドを移動する

用紙ガイドの左端を単票テーブルの目盛り０（㎜）の位置にして、ロックレバーを下側に倒してロックします(第１ドット目が用紙の左端より 5.08㎜ の位置に印字します）。



6 単票用紙をセットする

印字する面を上にし、単票用紙の左端を用紙ガイドに当てて、一枚ずつ差し込みます。
用紙が奥に軽く突き当たるまで、まっすぐに差し込んでください。
用紙が自動的に印字開始位置まで送られます。



注 1)　機能設定（46 ページ）で「オートローディング」を「無効」に設定している場合は、**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押して用紙をセットしてください。

注 2)　幅のせまい媒体(100mm 未満の媒体)をセットする場合は、用紙ガイドの左側を目盛り 0（mm）の位置に合わせます。

7 オンライン状態にする

オフラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンからの印字データを送ります。

送られた用紙がまっすぐセットされなかった場合は、オンライン状態にする前に**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押し、一旦単票用紙を排出してから再度セットしてください。

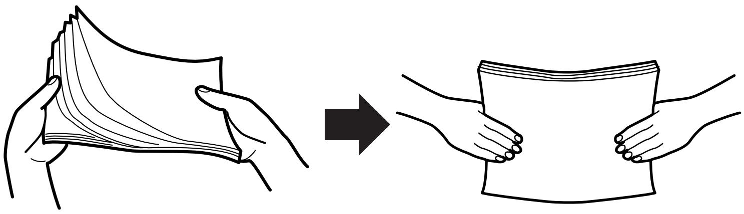
注）　「機能設定を変える」（42 ページ参照）で単票自動オンラインが有効になっている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字が開始されます。

■ 単票用紙をセットする（カットシートフィーダを取り付けた場合）

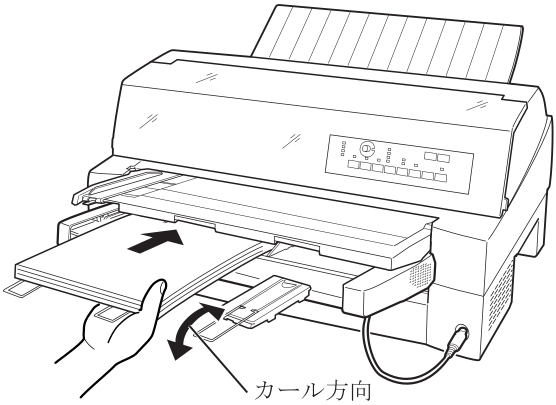
カットシートフィーダをプリンタに取り付け場合に用紙をセットする方法について説明します。
カットシートフィーダの取り付けについては、「カットシートフィーダを取り付ける」(171 ページ)を参照してください。

ガイド

・セットするときは、図のように用紙をさばき、机の上などで用紙の上下、左右をきちんと揃えてください。



・用紙はカールを取り除いた上でセットしてください。用紙は、湿度などの影響でカールしていることがあります。カールした用紙を補充する場合や別梱包の用紙を合わせてセットする場合、カールを取り除いた上、カール方向を合わせてセットしてください。(背中合わせでセットすると複数枚数が同時に吸入される場合があります。)また、少しカールのある場合は、カール方向を下図のようにセットしてください。



ガイド

・紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄や連量(紙厚)などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

1　プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2　オフライン状態にする

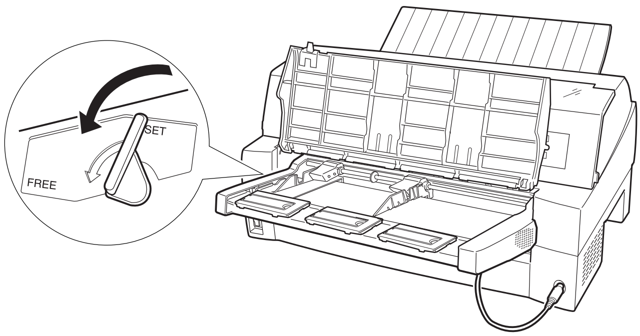
オフラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態(「オンライン」ランプ消灯)にします。

3　**給紙口**スイッチを押して「カットシートフィーダ」ランプを点灯させる

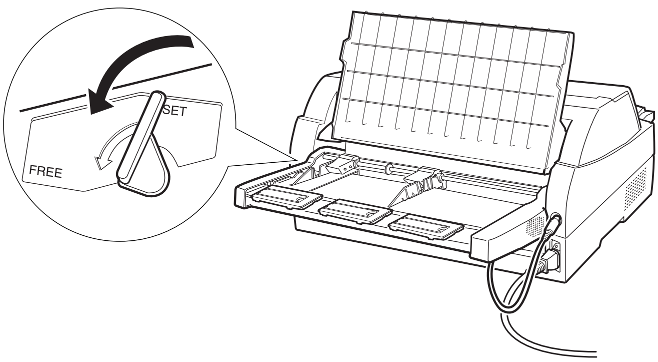
4　カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合は単票テーブル(16 ページ参照) を、プリンタ後部に取り付けられている場合はリアスタッカを開く

5　カットシートフィーダのセットレバーを「FREE」の位置にする

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



6　用紙ガイドに沿って用紙を載せる

用紙を揃え、右側の用紙ガイドに沿って用紙を載せます。右側の用紙ガイドの赤線が、一度にセットできる用紙の高さを示します。

お願い

右側の用紙ガイドは通常の場合、「△」の位置(最も内側)に寄せてご使用ください。

A3 用紙を横にセットするときは、「→」の位置に用紙ガイドを移動してください。

ガイド

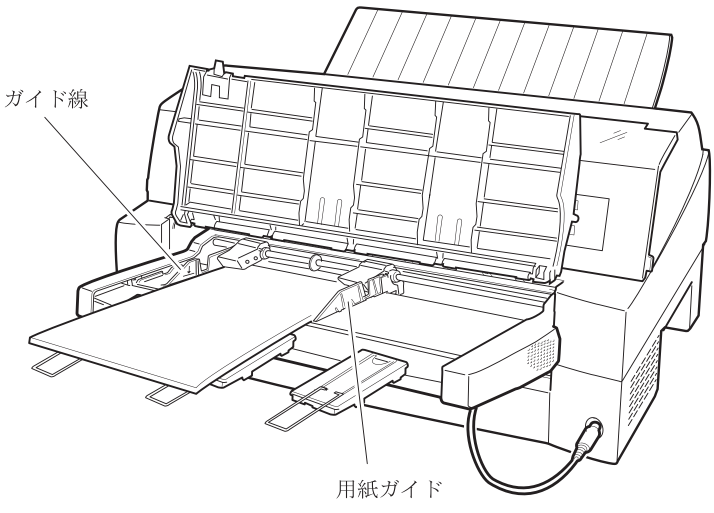
55kg 紙の場合、総枚数が 120 枚となります。

7　長い用紙をセットする場合は、エクステンション、エクステンションワイヤを展開する

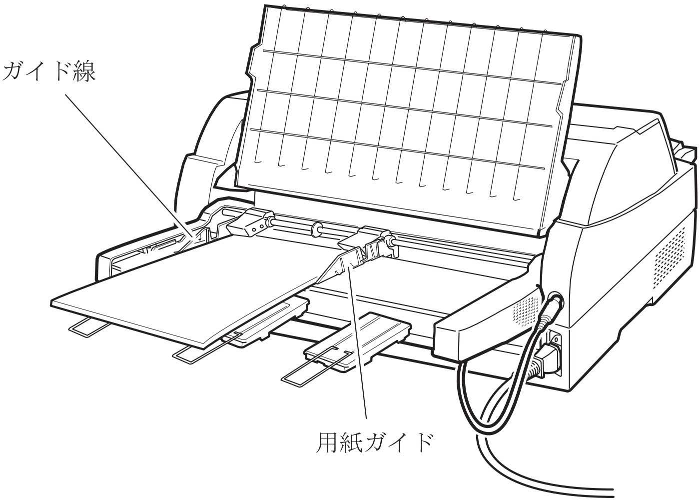
(「カットシートフィーダを取り付ける」171 ページ参照)

8　左側用紙ガイドの位置を、セットする用紙に合わせる

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



ガイド

用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は、左側用紙ガイドを右へ動かして隙間をなくしてください。なお、ガイドを用紙に押しつけ過ぎますと、吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

9 カットシートフィーダのセットレバーを「SET」の位置に戻し、単票テーブル、リアスタッカを元に戻す

10 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態(「オンライン」ランプ点灯)にし、パソコンからの印字データを送ります。

用紙厚を調整する

用紙厚の調整とは、印字ヘッドとプラテンの間隔を使用する用紙の厚みに合わせることです。

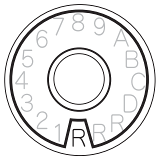
本プリンタは、使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能を装備しており、通常は紙厚調整の必要はありません。

宅急便伝票などの段差のある用紙に印字するときに、自動紙厚調整ではうまく印字できない場合にのみ、以下の手順で手動紙厚調整を設定してください。

1) ドライバのプロパティで用紙厚を指定する。このとき、操作パネルの自動紙厚調整はオンのままにしておいてください。

2) 操作パネルの自動紙厚調整を手動にし、ダイヤル設定を行ってください。この場合、紙厚に関するドライバの全ての設定を無視し、ダイヤル設定に従います。ダイヤル設定は印字が開始するときに作動します。

用紙厚を調整するときは、次表を参考にしてください。
操作パネルの手動紙厚調整ダイヤルが“１”の位置にあるとき、印字ヘッドとプラテンの間隔は最も狭くなり、“ R"の位置のとき最も広くなります。



用紙の種類と厚さ			手動紙厚調整ダイヤルの位置												
1 枚紙	複写紙	推奨厚さ (㎜)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D
連量 40～70kg	一般的な 1P (連量 34kg)	0.08	○												
連量 70～110kg	一般的な 2P	0.13		○											
連量 110～135kg	一般的な 3P	0.18			○										
はがき 各種封筒 特殊紙 など	一般的な 4P	0.23				○									
	一般的な 5P	0.28					○								
	一般的な 6P	0.33						○							
	一般的な 7P	0.38							○						
	一般的な 8P	0.43								○					
	各種宅配伝票 (ゆうパックなど)	0.48									○				
		0.53										○			
		0.58											○		
		0.63												○	
		0.68													○

注）　リボン交換の作業が完了したら適正な値にセットしてください。

お願い

手動でお使いになる場合は、用紙の厚さに対して下記の目安に沿って手動紙厚調整ダイヤルをセットしてください。
手動紙厚調整ダイヤル位置は数字 1～9、英字 A～D、R の 14 段階あり、ダイヤルの回転によって１番の位置から１目盛増す毎に約 0.05㎜ 単位で用紙と印字ヘッドの間隔が広くなります。おおよその目安として 1～2 番の設定で１枚、1 目盛増すごとに用紙１枚分間隔が広くなります。
使用する用紙の複写枚数、厚さに応じて適切な印字品質となるように手動紙厚調整ダイヤルを設定してください。
使用する用紙に対して、手動紙厚調整ダイヤルのセットが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

<u>用紙厚に対して手動紙厚調整ダイヤルのセットが広すぎるとき</u>
印字抜けが生じることがあります。

<u>用紙厚に対して手動紙厚調整ダイヤルのセットが狭すぎるとき</u>
- 印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
- 用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
- リボンによって用紙が汚れることがあります。
- 用紙の送りが悪くなることがあります。
- キャリッジが正常に動かなくなることがあります。

◆ 紙厚調整の動作タイミングについて

・自動紙厚調整モードのとき
印字動作を開始するときに、自動的に用紙厚が調整されます。

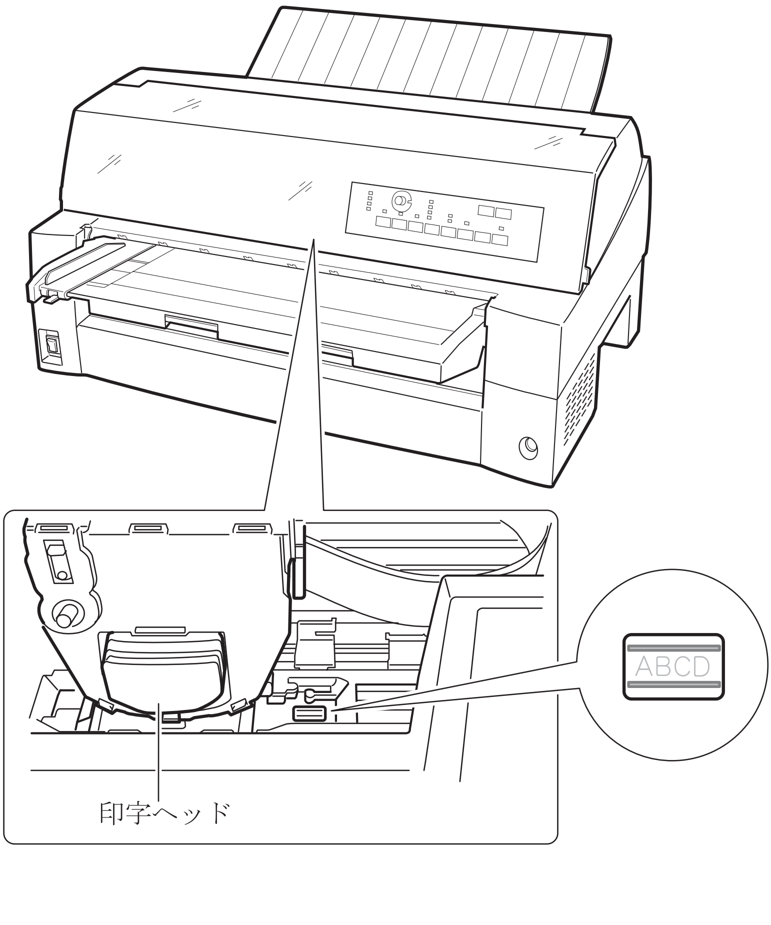
・手動紙厚調整モードのとき
ダイヤル操作後、次の印字動作を開始するときに、設定した用紙厚に調整されます。また、印字中にダイヤルを回すと、次の改行時に変更した用紙厚に調整されます。

印字開始位置について

本操作は、用紙吸入後に一時的に**微小改行▲**スイッチ、**微小改行▼**スイッチ、または**改行**スイッチで印字開始位置を調整する方法を説明します。

注）・用紙の再吸入を行うと、調整した位置は元に戻ります。
・印字開始位置を保持する場合は、「機能設定の種類」の各上端余白量設定（55 ページまたは 57 ページ）、および「用紙吸入量を調整する」（61 ページ）を参照してください。

印字開始位置を調整するとき、カードガイドの右側窓のラインが文字の上下端を示しているので、これを目安にして用紙を合わせます。



■ 印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルの操作で行方向の印字位置を微調整できます。トップカバーを開いているとプリンタが動作しないので、トップカバーを閉じてから操作してください。

◆ 正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

微小改行▲スイッチを押します。
単票用紙、前カットシートフィーダの用紙、および前連帳の用紙は、正方向に 1/180 インチ改行します。
押し続けると連続して正改行します。
後カットシートフィーダの用紙および後連帳の用紙に対しては、逆改行となります。

◆ 逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

微小改行▼スイッチを押します。
単票用紙、前カットシートフィーダの用紙、および前連帳の用紙は、逆方向に 1/180 インチ改行します。
押し続けると連続して逆改行します。
後カットシートフィーダの用紙および後連帳の用紙に対しては、正改行となります。

ガイド

連続帳票用紙の印字開始位置を**微小改行▲** **微小改行▼**スイッチを押して変更した場合は、変更した分が次ページでも加減されます。また、1 インチカット（ミシン目カット）機能についても用紙の繰り出し量は加減した値になります。

実力値について

本装置の能力を最大に引き出してご使用いただくために、本装置の実力値を充分理解したうえでご使用ください。

印字位置精度は、媒体、環境により影響を受けます。推奨媒体を常温常湿の環境で使用した場合に、以下の各項目に示す範囲で印刷されるように設計されています。以下に示す数値はあくまでも参考値であり保証するものではありません。

■　印字位置精度について

推奨媒体（連帳帳票）、常温常湿、印字保証領域において弊社測定値は以下のとおりです。
（この数値は参考値であり保証値ではありません）

(1) 吸入斜行

連帳（推奨紙：1P、55kg、上質）	±0.5mm/345mm（印字の傾き）
カット紙（推奨紙:A4）	±0.9mm/345mm（印字の傾き）

(2) 累積斜行(頁内)

連帳（推奨紙：1P、55kg、上質）	±0.6mm/345mm(印字の傾き)

(3) 累積改行(頁越え)

連帳（推奨紙：1P、55kg、上質）	±0.7mm（吸入後、1 文字目を基準とした用紙送り方向の印字位置）

ガイド

- 紙厚（複写枚数）が厚くなるほど、実力値は低下します。
- 帳票印刷の運用に際しては印刷確認の上ご使用ください。
- 印字位置に関する以下の項目については調整が可能です。用紙の種類や長期稼動などでずれが生じたときは調整してください。

  上端余白(用紙吸入)　：　「用紙吸入量を調整する」（61 ページ）を参照してください。

  累積改行　：　「機能設定を変える」の「単票(手差し)改行補正量」(51 ページ)、「前連帳改行補正量」（52 ページ）および「後連帳改行補正量」(52 ページ)を参照してください。

  行間ズレ(両方向)　：　「行間ズレを直す」(59 ページ)を参照してください。

第4章

用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

用紙使用上のご注意 …… 100
　連続帳票普通紙 …… 100
　連続帳票特殊紙 …… 101
　単票普通紙 …… 104
　単票特殊紙 …… 105
連続帳票用紙 …… 108
　一般用紙（前・後連帳） …… 112
　はがき用紙（前連帳） …… 113
　封筒用紙 …… 114
　タック用紙（前・後連帳） …… 116
　宅配伝票（前連帳） …… 118
手差しで使用する単票用紙 …… 119
　一般用紙 …… 119
　用紙のとじ方法 …… 120
　はがき …… 121
　封筒 …… 121
　宅配伝票 …… 123
カットシートフィーダ(オプション)で使用する単票用紙 …… 124
　一般用紙 …… 124
　用紙のとじ方法 …… 125
　はがき …… 126
　封筒 …… 126
とじ穴の開けかた …… 127
プレプリント用紙を使用するとき …… 128
用紙の形状について …… 130
取り扱い上のご注意 …… 131

用紙使用上のご注意

■　連続帳票普通紙

［使用できる用紙］

本プリンタでは、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。

しかし一般の市販品には本プリンタに適さないものもありますので、できるだけサプライ品をご使用ください。

用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。

詳細は「連続帳票用紙」(108ページ)を参照願います。

［使用できない用紙］

・連量が 45kg 未満の薄い用紙(複数つづりの構成用紙は除きます)

・連量が 70kg 以上の厚い用紙

・全体の用紙厚さが 0.65㎜ 以上の厚い用紙

・用紙のとじ方法が線のりとじ、紙ホチキスとじ、束のりとじ、片のりとじの複写用紙

・ミシン目の入れ方が「ミシン目の入れ方」(111ページ)記載以外のミシン目を入れた用紙

・湿っている用紙や濡れている用紙

・一度印刷された用紙（裏紙等）

・貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙

・印字領域内にとじ穴がある用紙

・反り（カール）、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙

・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙

・裁断部のバリが大きい用紙

・紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

- 連量が 70kg 以上の厚い用紙や全体の用紙厚さが 0.65㎜ 以上の用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことによりローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 用紙のとじ方法が線のりとじ、束のりとじ、片のりとじの複写用紙を使用すると用紙づまりや印字ズレが発生し、装置故障の原因となります。
- 連量が 45kg 未満の薄い用紙や湿っている用紙などに印刷した場合は、紙詰まりやシワなどが発生しやすくなります。
- 一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印刷すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

■　連続帳票特殊紙

［使用できる用紙］

本プリンタでは、はがき用紙およびタック紙等の特殊連続帳票用紙を使用することができます。

しかし印刷品質は、普通紙より劣ることがありますので、用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。

詳細は、「はがき用紙」(113ページ)、「タック用紙」(116ページ)を参照願います。

◆ はがき用紙

［使用できない用紙］

- 連量が 135Kg 以上の厚い用紙
- ミシン目の入れ方が「ミシン目の入れ方」(111ページ)記載以外のミシン目を入れた用紙
- 湿っている用紙や濡れている用紙
- 一度印刷された用紙（裏紙等）
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
- 印字領域内にとじ穴がある用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

- 連量が 135Kg 以上の厚い用紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙まで給紙できなくなります。
- 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印刷すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

◆ タック用紙

［使用できない用紙］

・用紙(ラベル＋台紙)の厚さ 0.2㎜ 以上の厚いラベル紙

・台紙の厚さ 0.1㎜ 以上の厚いラベル紙

・ラベルの厚さ 0.1㎜ 以上の厚いラベル紙

・湿っている用紙や濡れている用紙

・一度印刷された用紙

・貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがラベルからはみ出してついている用紙

・印字領域内にとじ穴がある用紙

・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙

・カールしている用紙

・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙

・裁断部のバリが大きい用紙

・紙粉の多い用紙

・ラベルの貼り付け強度の弱い用紙（「ラベルの貼り付け強度」(116ページ)参照)

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

・ 用紙の厚さ 0.2㎜ 以上の厚いラベル紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。

・ ラベルの貼り付け強度の弱い用紙を使用すると、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。

・ 一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。

・ 印字領域内にとじ穴がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

■ 単票普通紙

［使用できない用紙］

- 連量が 45kg 未満の薄い用紙(複数つづりの構成用紙は除きます)
- 連量が 135kg 以上の厚い用紙
- 全体の用紙厚さが 0.65㎜ 以上の厚い用紙
- 用紙のとじ方法が横のりとじの複写用紙
- 湿っている用紙や濡れている用紙
- 一度印刷された用紙（裏紙等）
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
- 印字領域内にとじ穴がある用紙
- 反り（カール）、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

- 連量が 135kg 以上の厚い用紙や全体の用紙厚さが 0.65㎜ 以上の用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことによりローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 用紙のとじ方法が横のりとじの複写用紙を使用すると斜行印字が発生することがあります。
- 連量が 45kg 未満の薄い用紙や湿っている用紙などに印刷した場合は、紙詰まりやシワなどが発生しやすくなります。
- 一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印刷すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

■　単票特殊紙

［使用できる用紙］

本プリンタでは、郵便はがき（郵便局から発売されている通常はがき。ただし、絵入りはがき、インクジェット用はがきは除く）、タック紙および宅配伝票等の特殊単票用紙を使用することができます。

しかし印刷品質は、普通紙より劣ることがありますので、用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。詳細は、「はがき用紙」(113ページ)、「タック用紙」(116ページ)を参照願います。

◆　はがき

［使用できない用紙］

・郵便はがきでないもの
・折り目をつけた往復はがき
・湿っている用紙や濡れている用紙
・一度印刷された用紙（裏紙等）
・貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
・印字領域内にとじ穴がある用紙
・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・カールしている用紙
・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・裁断部のバリが大きい用紙
・紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

・　郵便はがき以外を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙まで給紙できなくなります。

・　折り目をつけた往復はがきを使用すると用紙吸入不良や斜行印字が発生します。

・　一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。

・　貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印刷すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。

・　印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

◆ タック用紙

［使用できない用紙］

・用紙(ラベル＋台紙)の厚さ 0.2㎜ 以上の厚いラベル紙

・台紙の厚さ 0.1㎜ 以上の厚いラベル紙

・ラベルの厚さ 0.1㎜ 以上の厚いラベル紙

・湿っている用紙や濡れている用紙

・一度印刷された用紙

・貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがラベルからはみ出してついている用紙

・印字領域内にとじ穴がある用紙

・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙

・カールしている用紙

・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙

・裁断部のバリが大きい用紙

・紙粉の多い用紙

・ラベルの貼り付け強度の弱い用紙（「ラベルの貼り付け強度」(116ページ)参照）

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

・ 用紙の厚さ 0.2㎜ 以上の厚いラベル紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。

・ ラベルの貼り付け強度の弱い用紙を使用すると、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。

・ 一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。

・ 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

◆ 封筒

［使用できない用紙］

・フラップなどがのり付け加工された用紙

・窓付き封筒

・二重封筒

・湿っている用紙や濡れている用紙

・一度印刷された用紙

・貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙

・反り（カール）、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙

・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙

・裁断部のバリが大きい用紙

・紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

・ 窓付きの用紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことによりローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。

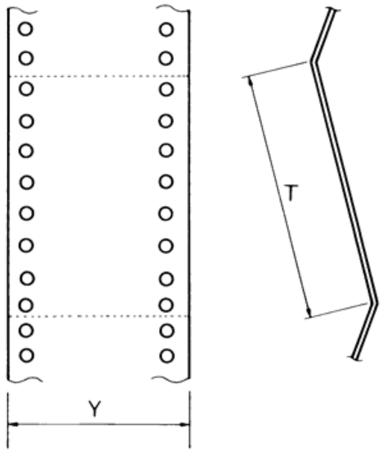
・ 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印刷すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。

連続帳票用紙

このプリンタで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

◆ 用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



単位 mm

記号	寸　法
Y（用紙幅）	101.6 ～ 406.4（4～16 インチ）
T（折畳み長さ）	101.6 以上（4 インチ以上）

注）1 頁用紙をセットする場合、用紙の長さを前トラクタでは 4 インチ以上、後トラクタでは 5 インチ以上にしてください。

◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ（連量）の組合わせは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

用紙の構成枚数

用紙種類	枚数	連量（kg）	前連帳	後連帳	備考
一枚用紙	1P	45,55,70	○	○	
ノンカーボン紙	2P	34,43,55,(70)	○	○	・(　)内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。 ・前連帳／後連帳での使用可能用紙は、左記○印によります。
	3P	34,43,(55,70)	○	○	
	4P	34,(43,55,70)	○	○	
	5P	34,(43,55)	○	○	
	6P	34,(43,55)	○	○	
	7P	34,(43,55)	○	○	
	8P	34,(43,55)	○	○	
裏カーボン紙	2P	34,45,55,(70)	○	○	
	3P	34,45,(55,70)	○	○	
	4P	34,(45,55,70)	○	○	
	5P	34,(45,55)	○	○	
	6P	34,(45,55)	○	○	
	7P	34,(45,55)	○	○	
	8P	34,(45,55)	○	○	

用紙種類	枚数	連量（kg）	前連帳	後連帳	備考
中カーボン紙	2P	30,40,45,(55,70)	○	○	
	3P	30,40,(45,55)	○	○	
	4P	30,40,(45,55)	○	○	

連量 70kg を超える用紙については、はがき用紙を参照してください。（113ページ参照）

注 1)　連量とは、四六判(788×1091mm）の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。

注 2)　ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカによって多少異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでください。なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。

注 3)　中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 4P までです。（後連帳は 3P までです。）
中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03mm 以下としてください。

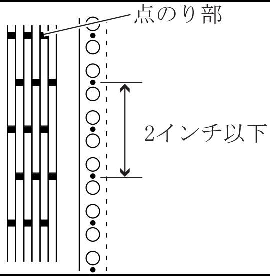
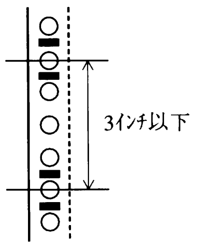
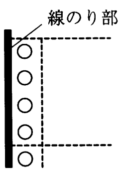
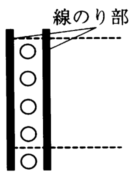
注 4)　用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。
不具合が発生する用紙については、その度合いが容認出来るものであるかどうか判断の上ご使用ください。

注 5)　全体の用紙厚さは、0.57mm 以下にしてください。

注 6)　とじられた用紙の大きさは、各層とも互いに同一になるようにしてください。

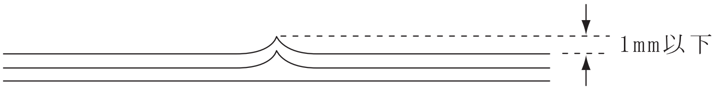
◆ 用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「のり付け両側とじ」にしてください。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのり付けする方法をおすすめします。

<table>
<tr><th colspan="3">綴じ方法</th><th>適用する
用紙枚数</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td>点のりとじ</td><td colspan="2">
</td><td>8 枚まで</td><td>本プリンタに最も適したとじ方です。</td></tr>
<tr><td>ダブルギャザー</td><td colspan="2">
</td><td>8 枚まで</td><td>用紙枚数が多くなるほど、用紙層ズレが出やすくなります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">線のりとじ</td><td>一列</td><td>二列</td><td rowspan="2">8 枚まで</td><td rowspan="2">用紙のしなやかさが失われ堅くなってしまうので、用紙ジャム等が出やすくなります。</td></tr>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
</table>

注 1)　上記説明図では帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのり付けしてください。

注 2)　完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように 1mm 以下になるようにしてください。



注 3)　プリンタ故障の原因になるので、金属ホチキスとじは使用しないでください。

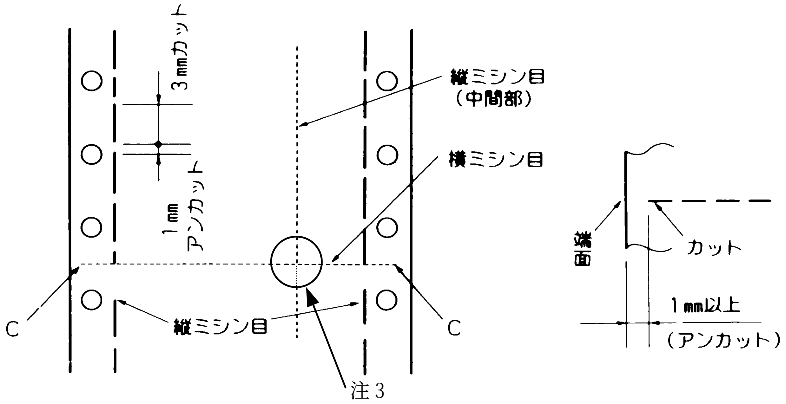
注 4)　帳票の用紙送り穴の層間でのズレは、0.4mm 以下のものを使用してください。

注 5)　用紙綴じ部でリボンがズレて印字の上下が欠ける場合は、機能設定の連帳改行時のリボン保護制御を有効にしてください。

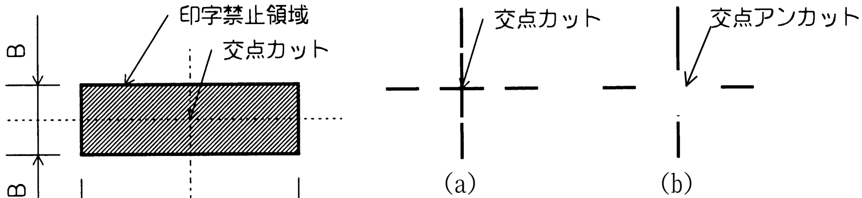
◆ ミシン目の入れ方

ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に１枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると使用中にミシン目から破けることがあります。
ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

- １枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）およびアンカット（切らない部分）の比率は、約３：１にしてください。
- 横ミシン目のアンカット寸法（両端部C）は、1㎜以上にしてください。
- 複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注 1)　縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされている（交点カット(a)）とき、下図に示す斜線部には印字しないでください。これを守らないと、用紙にキズがついたりプリンタの故障となることがあります。
注 2)　印字を伴わない印字ヘッドの移動の際にも悪影響が発生しますので紙面全体に上記のミシン目の入れ方を適用してください。
注 3)　縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされていない（交点アンカット(b)）ときは、印字禁止領域の制限はありません。



単位 mm

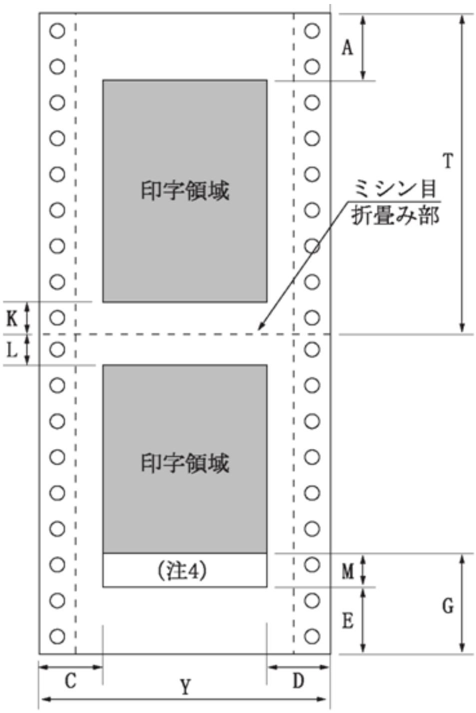
記号	A	B
寸法	28 以上	3 以上

■　一般用紙（前・後連帳）

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。

◆　用紙サイズおよび印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



記号	項　目	寸法 (mm)	
		前連長	後連長
A	上端余白	4.2 以上	
C	横打ち出し	(注 1)	
D	最終印字	(注 2)	
E	下端余白	約 20	
G	PE 検出 (注 3)	4.2	4.2
		約 101	約 157
K	下端余白	4.2 以上	
L	上端余白	4.2 以上	
M	印字品質低下領域	(注 4)	
T	用紙長さ	4 インチ以上	
Y	用紙幅	4～16 インチ(注 5)	

注1)　初期値は 14mm です。10～34mm まで 4.0mm 単位で設定できます。ミシン目がある場合は、データをミシン目より内側にしてください。

注2)　初期値は 14mm です。10～14mm まで 1.0mm 単位で設定できます。ミシン目がある場合は、データをミシン目より内側にしてください。

注 3)　PE 検出位置は、機能設定の連帳下端余白量の設定により変更できます。初期設定は 4.2mm です。この設定を変更すると、トラクタの位置（前連帳約 101mm、後連帳約 157mm）で PE 検知を行うようになります。

トラクタから外れた後の改行がうまく行かない場合や、逆改行を行う場合は、トラクタの位置で PE を検知するように設定変更してください。

注 4) オーバーライド印字は**オンライン**スイッチを押して 1 行まで可能ですが、改行が乱れることがあります。また、逆改行は禁止します。プラテンに空打ちしないように注意してください。

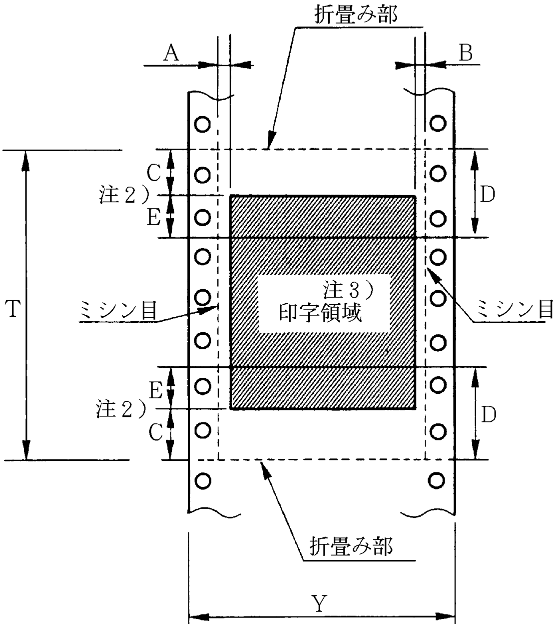
オーバーライド印字については、機能設定の「オーバーライド」で「有効」および「無効」の設定が可能です。（50 ページ参照）

注 5)　最大印字幅は 345.44mm（13.6 インチ）のため、幅の広い用紙をセットした場合、左端および右端余白は大きくなります。

■ はがき用紙（前連帳）

各プリンタで連続帳票のはがき用紙が使用できます。はがき用紙を使用する場合は、前方（操作パネル側）から用紙をセットします。

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項　目	寸法（mm）
A	横打ち出し	5.08 以上 （1/5 インチ）
B	最終印字	5.08 以上 （1/5 インチ）
C	縦打ち出し （注 1）	8.46 以上 （1/3 インチ）（注 2）
D	縦打ち出し （推奨値）	25.4 （1 インチ）（注 2）
Y	用紙幅	228.6〜330.2 （9〜13 インチ）
T	用紙長さ	203.2〜355.6 （8〜14 インチ）

注 1)　C 領域では印字ユニットの横移動はさせないでください。
（用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。）

注 2)　E の印字領域内では、多少改行が乱れることがあります。

注 3)　印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を 2：1 にしてください。

◆ 連量紙

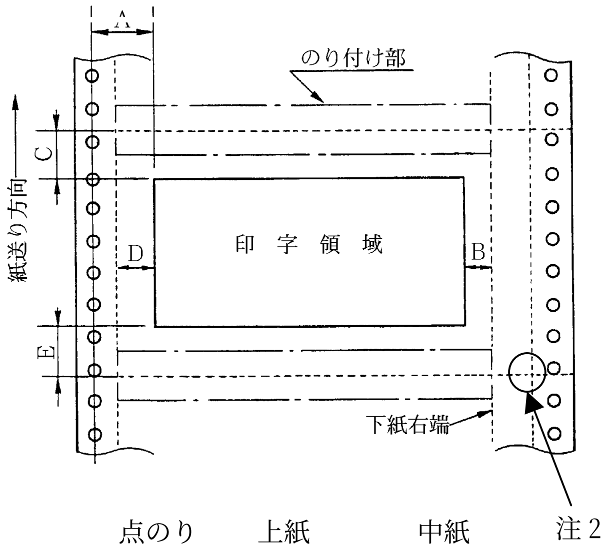
135kg 以下とし、枚数は 1 枚のみとします。

◆ ミシン目の入れ方

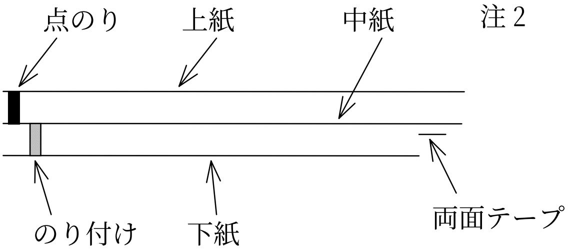
一般連続帳票用紙と同様です。

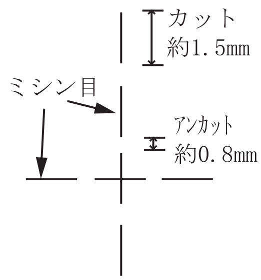
■ 封筒用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法（mm）
A	19 以上 （3/4 インチ）
B	1 以上 （1/25 インチ）
C	8.46 以上 （1/3 インチ）
D	5.08 （1/5 インチ）
E	21.7 （5/6 インチ）





注 1)　改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。

注 2)　ミシン目の寸法は、右図をおすすめします。
（ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。）

注 3)　のり付けの幅は、1/6 インチ以下とします。

注 4)　のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。

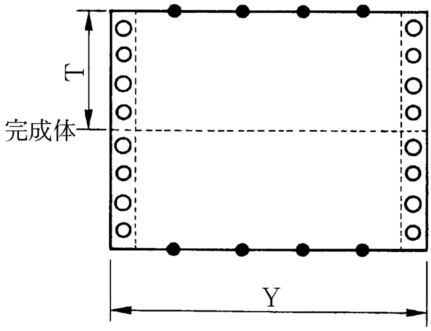
注 5)　穴ズレは、0.3mm 以下とします。

◆ 紙質構成および連量

	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連量（kg）	33.5	70	70

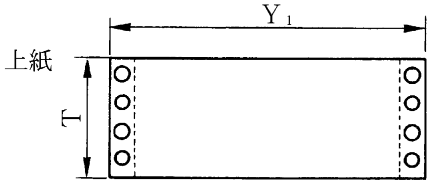
◆ 形状および構造

- - - - - - - - - - - -　：ミシン目
——●——　：ミシン目＋折り目



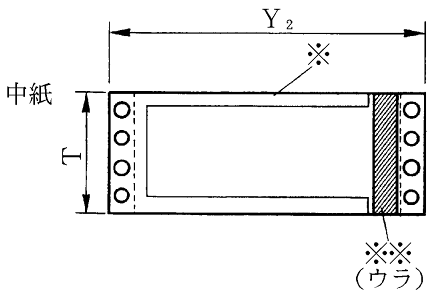
(a) 大きさ

記号	寸法（㎜）
T	127（5 インチ）
Y	254（10 インチ）
Y1	254（10 インチ）
Y2	254（10 インチ）
Y3	228.6（9 インチ）



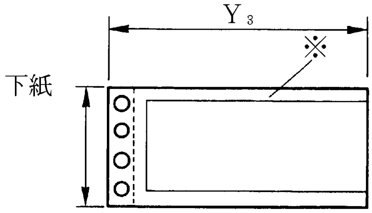
(b) とじ方法

とじ方法	上紙／下紙	中紙／下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端・上下端 1/6 インチ幅 （※印）



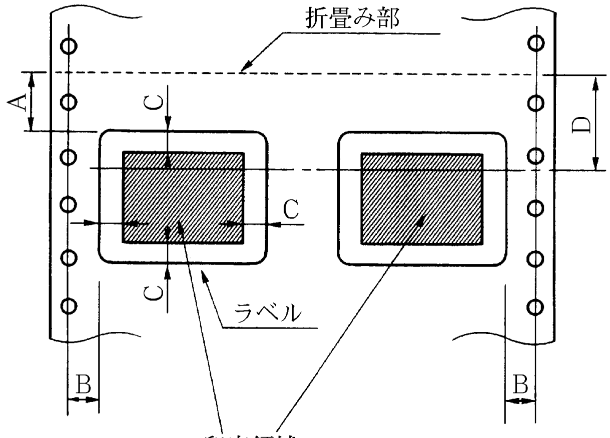
両面テープ使用（※※印）

銘柄		アスコットテープ
幅 （㎜）	はくり紙	12
	肉のり	10



■ タック用紙（前・後連帳）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法（㎜）
A	2.54 以上 （1/10 インチ）
B	6.35 以上 （1/4 インチ）
C	2.54 以上 （1/10 インチ）
D	25.4 （1 インチ）（注 1）

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

注）　D 範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。
（改行量が 1/6 インチ以上の場合は、となり合う印字行の文字同士が重なり合うことは有りません。）

◆ 用紙厚さ

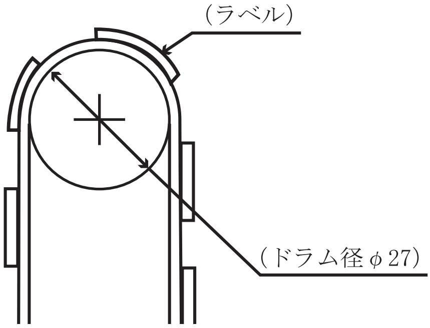
・用紙厚さは、ラベル＋台紙が 0.2㎜ 以下となるようにしてください。

・台紙の厚さは、0.1㎜ 以下としてください。

・ラベルの厚さは、0.1㎜ 以下としてください。

◆ ラベルの貼付け強度

・次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。



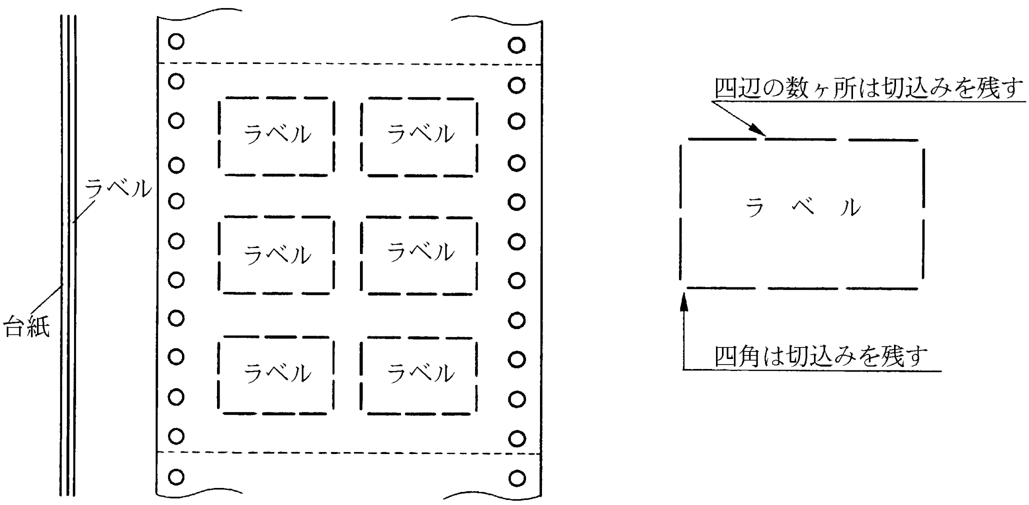
項　目	条　件
巻付ドラム径	φ27
巻付角度	180 °
巻付時間	24 時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%RH

◆ 用紙の形態

・ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

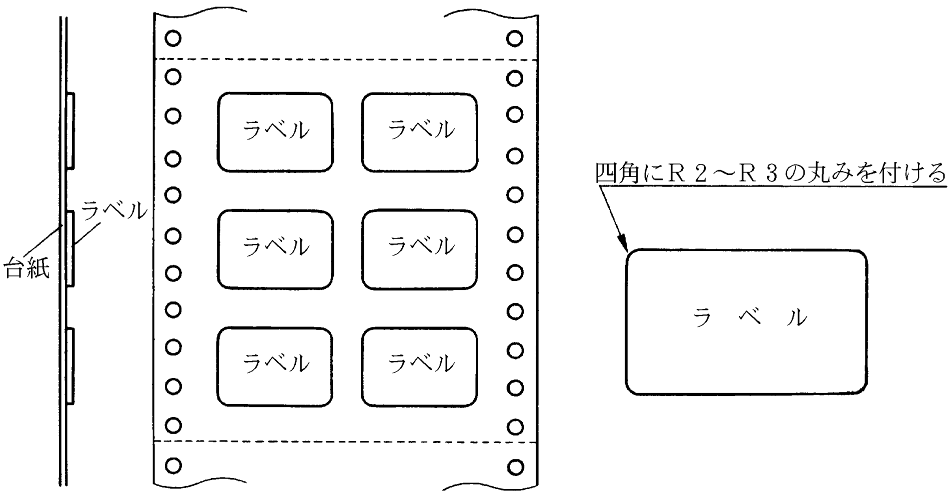
1)カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

※カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



※この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようにしてください。

2)カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付けてください。

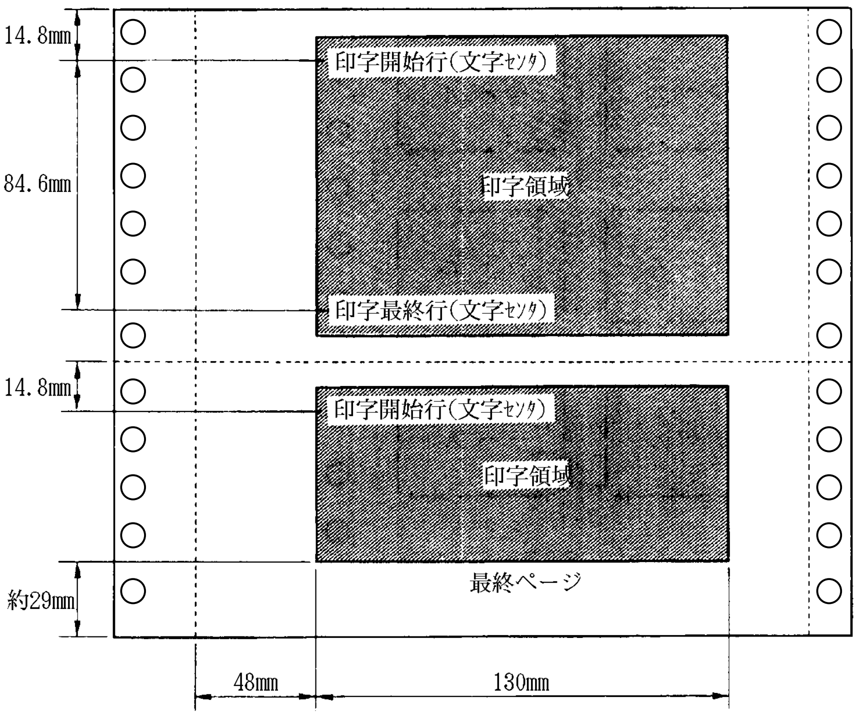


■　宅配伝票（前連帳）

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック B、B-2、B-3）について規定します。
他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。

◆　印字領域

郵便小包ラベル



注 1)　印字領域内の用紙段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

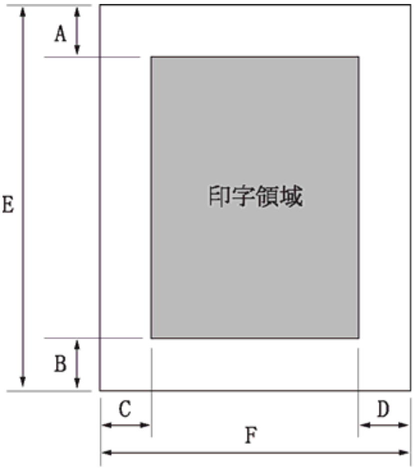
注 2)　用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動用紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。（93 ページ参照）

注 3)　印字領域外への印字は禁止します。

手差しで使用する単票用紙

■ 一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項　目	寸法（mm）	
		単票セットフリーオフの場合	単票セットフリーオンの場合
A	上端余白	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上	5.08
D	右端余白	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70～420	70～364
F	用紙幅（注6）	55～420	100～364

注 1)　印字領域以外への印字は禁止します。

注 2)　A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注 3)　B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注 4)　A3 横を使用する場合は、C 値は 33～38.5mm となります。
※機能設定（50 ページ）で印字領域を「左寄せ」に設定している場合は、C 値は 15.08～25.08㎜ となります。

注 5)　用紙長さが 70mm の用紙は、前カットシートフィーダ取り付け時に使用すると、セットしづらくなります。

注 6)　最大印字幅は 345.44mm（13.6 インチ）のため、幅の広い用紙をセットした場合、左端および右端余白は大きくなります。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量（kg）注 1)	備考
一枚用紙	1P	45,55,70,90,110,135	
ノンカーボン紙 (注 2)	2P	34,43,55,(70)	・（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34,43,(55,70)	
	4P	34,(43,55,70)	
	5P	34,(43,55)	
	6P	34,(43,55)	
	7P	34,(43,55)	
	8P	34,(43,55)	
裏カーボン紙 (注 2)	2P	34,44,55,(70)	
	3P	34,44,(55,70)	
	4P	34,(44,55,70)	
	5P	34,(45,55)	
	6P	34,(45,55)	
	7P	34,(45,55)	
	8P	34,(45,55)	

注 1)　連量とは、四六判（788mm×1091mm）の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

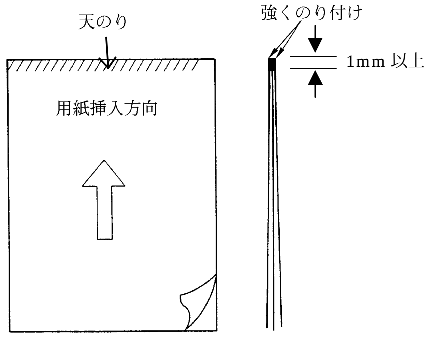
注 2)　ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカによって多少異なる場合がありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。

注3)　中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

注 4)　単票用紙で用紙の排出方向によっては、用紙下端部の角折れが発生する場合があります。この場合、リアカットシートフィーダの場合は手前排出（単票テーブル側）に、フロントカットシートフィーダの場合は後方排出（スタッカ側）に、排出方向を切り替えてご使用ください。

■ 用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。

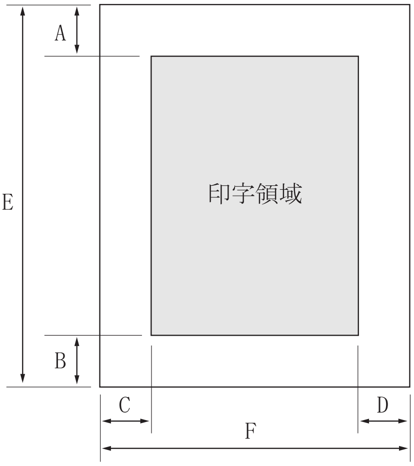


注 1）　のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。

注 2）　束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

■　はがき

◆　用紙サイズおよび印字領域

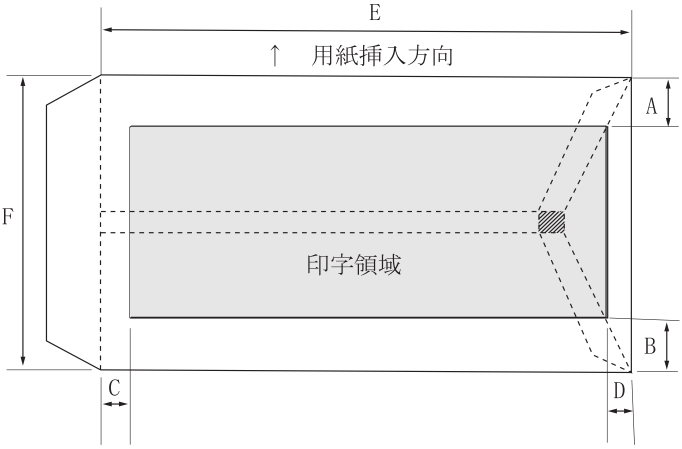


記号	項　目	寸法（mm）
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100,148,200
F	用紙幅	100,148,200

注）　往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

■　封筒

◆　用紙サイズおよび印字領域



記号	項　目	寸法（mm）
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上

◆ 封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸法		坪量（g/㎡）		最大用紙厚（㎜）
	E（㎜）	F（㎜）	クラフト紙	その他の紙	
長形 2 号	277	119	70,85	70 以上 85 以下	0.48
長形 3 号	235	120	50，60，70，85	55 以上 85 以下	0.48
長形 4 号	205	90			
長形 5 号	185	90			
角形 2 号	332	240	70,85	70 以上 85 以下	0.48
角形 3 号	277	216			
角形 4 号	267	197			
角形 5 号	240	190			
角形 6 号	229	162			
角形 7 号	205	142			
角形 8 号	197	119	50,60,70,85	55 以上 85 以下	0.48
洋形 1 号	176	120	50，60，70，85	70 以上 85 以下	0.46
洋形 2 号	162	114			
洋形 3 号	148	98			
洋形 4 号	235	105			
洋形 5 号	217	95			
洋形 6 号	190	98			
洋形 7 号	165	92			
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ジャーマンタイプ	220	111			

注 1)　印字領域以外への印字を禁止します。

注 2)　封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認の上使用してください。また、自動用紙厚調整機構（APTC）の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。（93 ページ参照）

注 3)　印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

注 4)　のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。

注 5)　フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。

注 6)　フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。

注 7)　切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。

注 8)　斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。

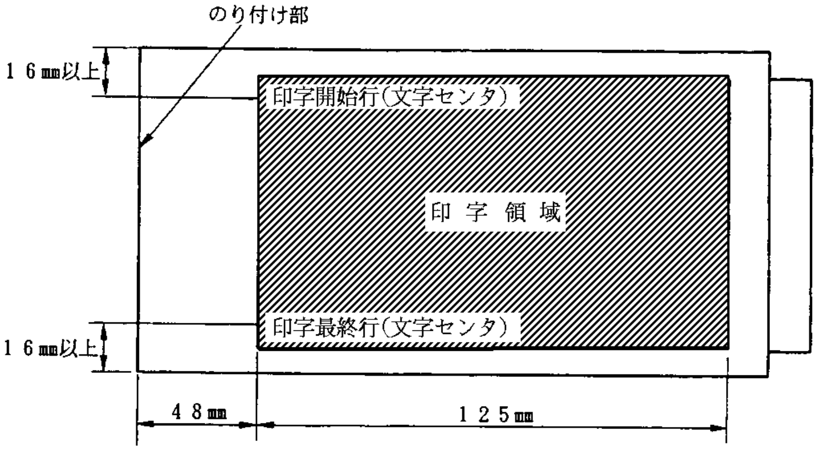
注9)　封筒は単票セットフリーオフにして印字してください。単票セットフリーオンで印字すると、封筒のフラップ部(斜めの部分)を用紙端面と判断し、印字開始位置がズレることがあります。

注 10)　封筒のフラップ部（斜めの部分）は第1ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。（87 ページ参照）

■　宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック）について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。郵便小包ラベル（普通用 A、C)

◆　印字領域



注 1)　印字領域以外の印字は禁止します。

注 2)　用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動用紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。(93 ページ参照)

注 3)　印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

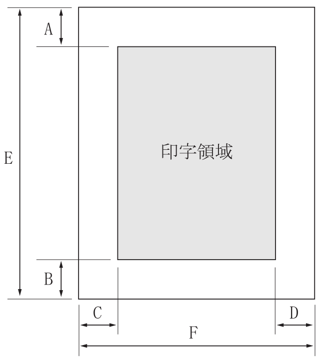
注 4)　用紙の最大厚さは、ゆうパック伝票 (Max 0.6mm) 以下としてください。

注 5)　折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

カットシートフィーダ（オプション）で使用する単票用紙

■ 一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項　目	寸法（mm）	
		前カットシートフィーダ	後カットシートフィーダ
A	上端余白	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70～420	100～420
F	用紙幅	100～420	100～420

注 1)　印字領域以外への印字は禁止します。

注 2)　A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注 3)　B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注 4)　A3 横を使用する場合は、C 値は約 37.3mm となります。

※機能設定（50 ページ）で印字領域を「左寄せ」に設定している場合は、C 値は約 28mm となります。

注 5)　カットシートフィーダで複写紙を使用する場合、F 値は 182mm 以上のものを使用してください。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量（kg）　注 1)	備　考
一枚用紙	1P	45,55,70,90,135	
ノンカーボン紙 注 2)	2P 3P 4P 5P	34,43,55,(70) 34,43,(55,70) 34,(43,55,70) 34,(43,55)	・（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
裏カーボン紙 注 2)	2P 3P 4P 5P	34,44,55,(70) 34,44,(55,70) 34,(44,55,70) 34,(45,55)	

注 1)　連量とは、四六判（788mm×1091mm）の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

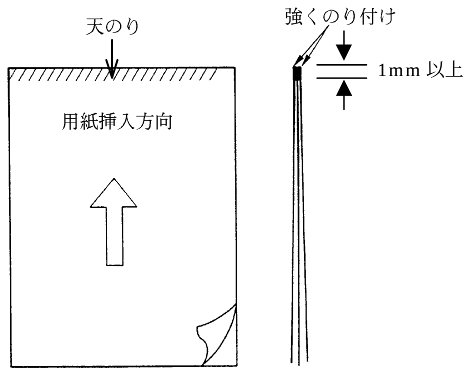
注 2)　ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量は、メーカによって多少異なる場合がありますが、その場合表の数値に近いものを選んでください。

注3)　中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

注 4)　単票用紙で用紙の排出方向によっては、用紙下端部の角折れが発生する場合があります。この場合、リアカットシートフィーダの場合は手前排出（単票テーブル側）に、フロントカットシートフィーダの場合は後方排出（スタッカ側）に、排出方向を切り替えてご使用ください。

■　用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



注 1)　のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類を注意してください。

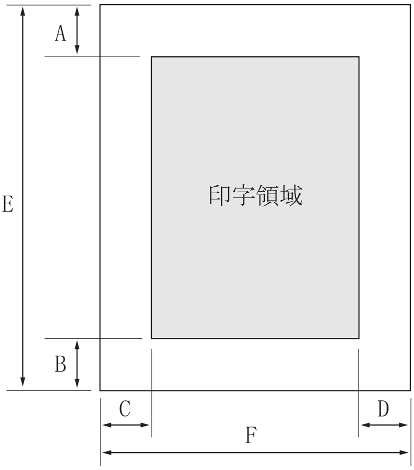
注 2)　束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

◆ ホッパ容量

（1）　一般用紙（55kg、1P）‥ 120 枚
（2）　5P（34kg）用紙‥‥‥‥ 25 枚
（3）　郵便はがき‥‥‥‥‥‥ 40 枚

■　はがき

◆　用紙サイズおよび印字領域



記号	項　目	寸法（mm）
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100,148,200
F	用紙幅	100,148,200

注)　往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

■　封筒

◆　用紙サイズおよび印字領域

手差しの場合と同様です。121ページを参照してください。

◆　封筒サイズおよび坪量

<table>
<tr><th rowspan="2">封筒の種類</th><th colspan="2">寸　法</th><th colspan="2">使用可否</th><th colspan="2">坪量（g/㎡）</th><th rowspan="2">最大用紙厚（mm）</th></tr>
<tr><th>E（mm）</th><th>F（mm）</th><th>前カットシートフィーダ</th><th>後カットシートフィーダ</th><th>クラフト紙</th><th>その他の紙</th></tr>
<tr><td>長形 3 号</td><td>235</td><td>120</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">50，60，70</td><td rowspan="3">55 以上
70 以下</td><td rowspan="3">0.40</td></tr>
<tr><td>長形 4 号</td><td>205</td><td>90</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>長形 5 号</td><td>185</td><td>90</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>角形 6 号</td><td>229</td><td>162</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">70 以下</td><td rowspan="2">0.40</td></tr>
<tr><td>角形 7 号</td><td>205</td><td>142</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>角形 8 号</td><td>197</td><td>119</td><td>○</td><td>○</td><td>50，60，70</td><td>70 以下</td><td>0.40</td></tr>
<tr><td>洋形 3 号</td><td>148</td><td>98</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">50，60，70</td><td rowspan="2">70 以上
81 以下</td><td rowspan="2">0.46</td></tr>
<tr><td>洋形 4 号</td><td>235</td><td>105</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>US10</td><td>239</td><td>105</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">81 以下</td><td rowspan="2">81 以下</td><td rowspan="2">0.46</td></tr>
<tr><td>ジャーマンタイプ</td><td>220</td><td>111</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

とじ穴の開けかた

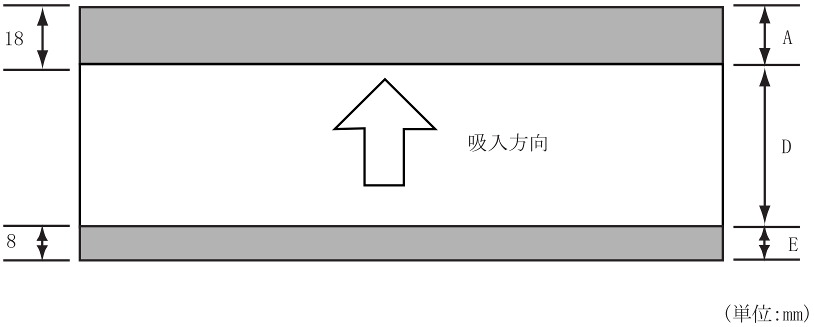
印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。

- 綴じ穴部付近への印字は、穴の周囲 5.08㎜ を避けて印字してください。
- 綴じ穴の径は 8㎜ 以下にしてください。
  長円穴の場合は長径側を 8㎜ 以下にしてください。

プレプリント用紙を使用するとき

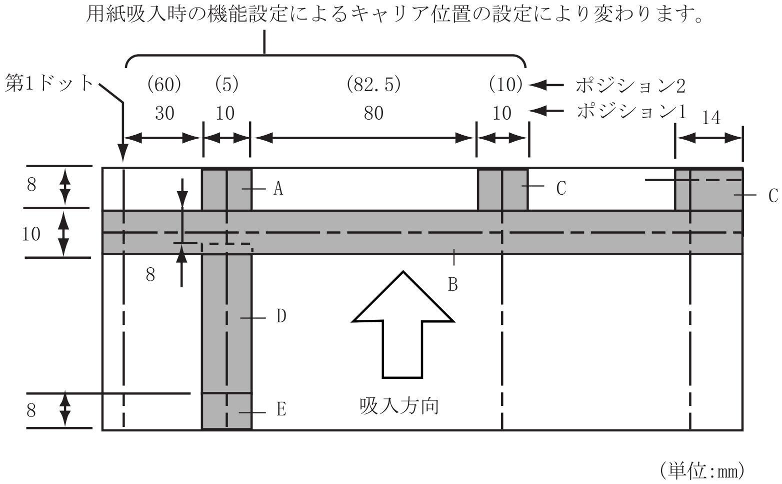
あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

◆ 単票セットフリーオン時の手差し単票のプレプリント禁止領域



（1）　A 部、E 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
（2）　D部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、129ページに示す幅の条件に従ってください。

◆ 単票セットフリーオフ時の手差し単票、カットシートフィーダで使用する単票、連帳の場合のプレプリント禁止領域

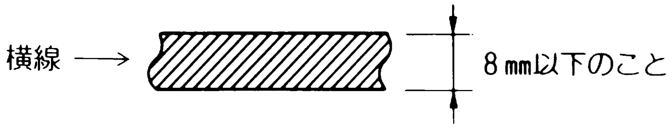


（1）　A、B、C、E 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
（2）　D部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、129ページに示す幅の条件に従ってください。
（3）　B、C 部は機能設定で用紙吸入時の斜行検出と用紙外印字防止を無効にすると、プレプリントの制約はなくなります。

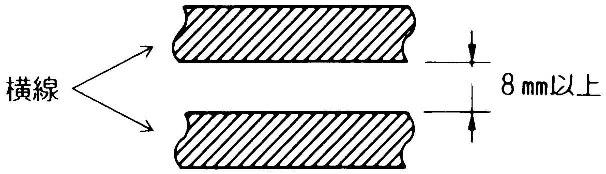
◆ プレプリント禁止領域に印刷するとき

やむを得ずＤ部内に印刷するときは、次のようにしてください。

（1）斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように 8㎜ 以下にしてください。



（2）（1）の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8㎜ 以上あけてください。



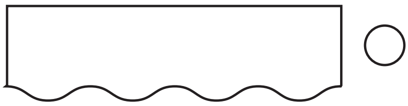
注）　線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

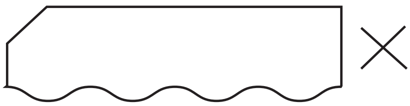
（3）斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5㎜ 以下とし、斜線内に１本までとしてください。

やむを得ずＡ、Ｂ、Ｃ、Ｅ部内に印刷するときは、線の太さを 0.5㎜ 以下とし、すきまを 4㎜ 以上あけてください。

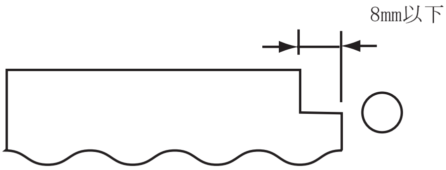
用紙の形状について

◆ 単票セットフリーオン時の用紙上端について



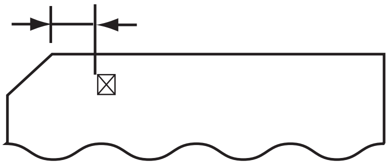


このような用紙はセット位置によって打ち出し位置がズレることがありますので、単票セットフリーオフで使用してください。

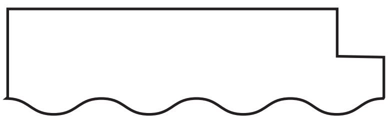


用紙右上部の切り欠きは 8mm 以下としてください。

◆ 単票セットフリーオフ時の用紙上端について



左端部の面取は第１ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。



用紙上端の切り欠きや面取が 8mm を越える場合は、機能設定で用紙吸入時の斜行検出を無効にして、使用してください。

取り扱い上のご注意

◆ 用紙の保管および取扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。

◆ 特殊用紙について

- この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
- 再生紙の種類によっては、インクリボンの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。
- 用紙厚段差のある用紙に印字すると、自動紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて、使用してください(「用紙厚を調整する」93 ページ参照) 。

第5章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンタがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかたおよびアフターサービスについて説明します。

リボンカセットを交換する･･････････････････ 135
用紙づまりのとき････････････････････････ 137
連続帳票用紙がつまったとき ･･････････････137
単票用紙がつまったとき ･･････････････････142
リアスタッカ部に用紙がつまったとき、または
用紙が排出しきれずにローラ部に残ったとき･･･144
カットシートフィーダから吸入した用紙が
つまったとき ･･････････････････････････146
プリンタがうまく動かないとき･･････････････ 149
電源投入時の不具合 ･･････････････････････149
単票用紙吸入時の不具合 ･･････････････････150
連帳用紙吸入時の不具合 ･･････････････････151
印字中の問題点 ･･････････････････････････152
印字結果の問題点 ････････････････････････153
印字位置の問題点 ････････････････････････155
印字位置がページによってズレる ･･････････156
カットシートフィーダ使用時の不具合 ･･････156
テスト印字をする････････････････････････ 158
HEXダンプ印字をする ････････････････････ 160
清掃のしかた････････････････････････････ 161
プリンタを輸送するとき･･････････････････ 162

有寿命部品／消耗品／定期交換部品／
24 時間運用について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 163
　　有寿命部品について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・163
　　消耗品について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・163
　　定期交換部品について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・164
　　24 時間運用について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・164
消耗品の廃却について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 165
プリンタドライバの入手方法・・・・・・・・・・・・・・・・・ 166
アフターサービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 167

リボンカセットを交換する

◆ リボンカセットの種類

このプリンタで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

これらの品物については、本製品をお買い求めの販売店、または富士通コワーコにご相談ください。

『富士通コワーコお客様総合センター』

通話料無料　：0120-505-279

受付時間　：月曜～金曜 9:00～17:30（祝日・年末年始を除く）

ＵＲＬ　：http://jp.fujitsu.com/group/coworco/

商品名	商品番号	備考
リボンカセット DPK3800(黒)	0325210	黒色インクリボンが入ったリボンカセットです。（約 500 万字 ANK ドラフト印字可能）
サブリボンカセット DPK3800(黒)	0325220	つめかえ用インクリボンです。

⚠ 注意

誤　飲　インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。健康を損なう原因となることがあります。

お願い

・リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。
指定以外のリボンカセットを使用すると、インクリボンがからまったり、印字ヘッドが傷んだりしてプリンタの故障を引き起こすことがあります。
・インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまったり、巻きとりがロックすることがあります。
・使用済みのリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

◆ 交換のしかた

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

1　印字ヘッドをリボン交換位置に移動する

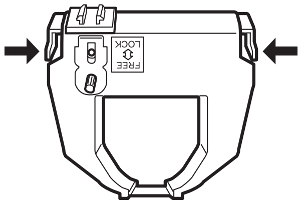
トップカバーを閉じて、電源を投入すると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。

2　電源を切る

（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

3　トップカバーを開ける

4　リボンカセットの両脇を押して、プリンタから取り外す



5　新しいリボンカセットを取り付ける

新しいリボンカセットの取り付けは、24 ページの「リボンカセットを取り付ける」を参照してください。

⚠ 注意	**高　温**	**印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。やけどの原因となることがあります。**

用紙づまりのとき

■ 連続帳票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。
まず、はじめに取り出しやすいように連続帳票用紙をミシン目でカットします。
その後、用紙づまりの状態に合わせて次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 前トラクタから吸入した用紙がつまったとき

1　オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンとのすきまが最大となります。

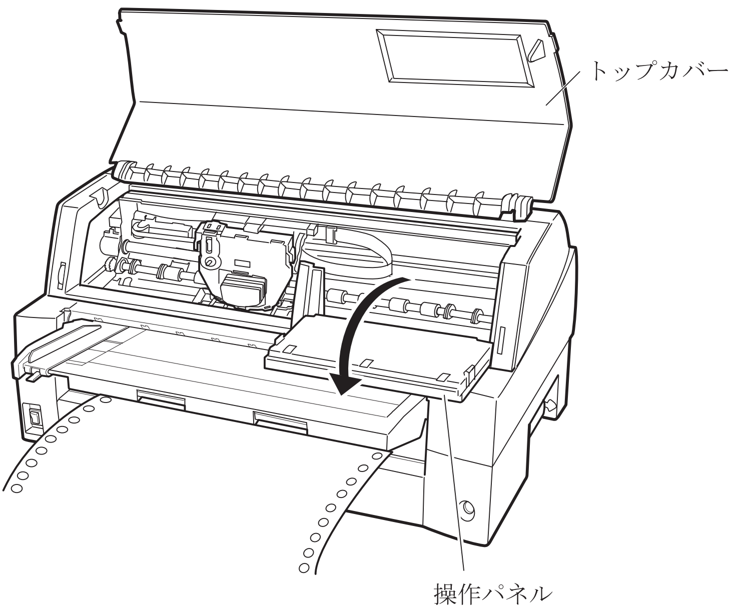
2　プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　トップカバーを開く

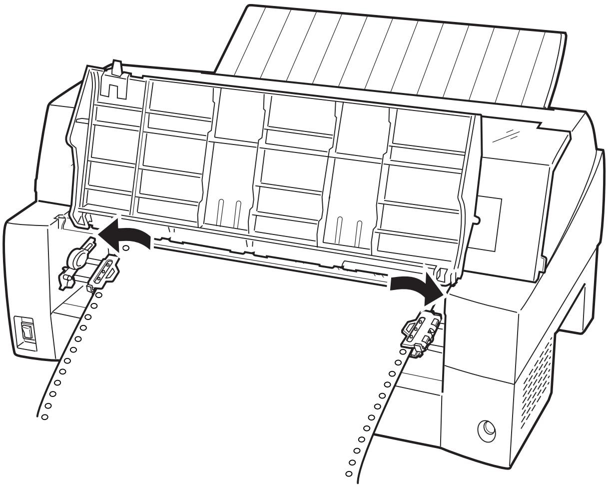
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4　必要に応じて操作パネルを手前に倒す



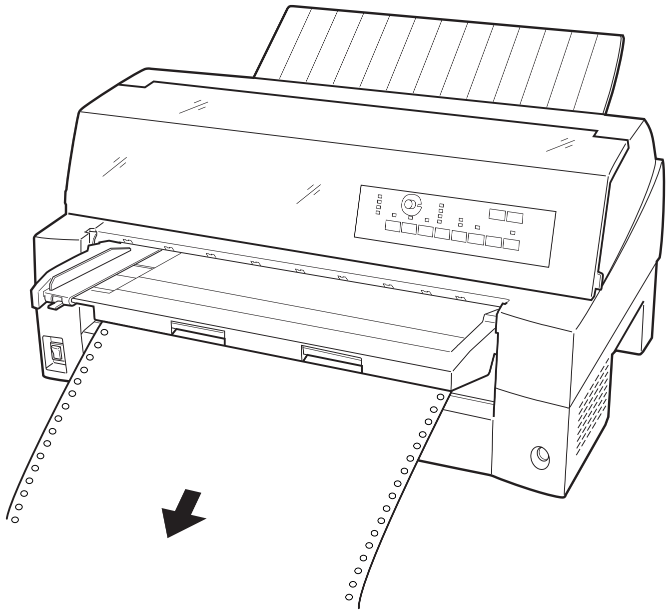
5　トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す

単票テーブルを上側に開き、用紙送りトラクタ左右用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。

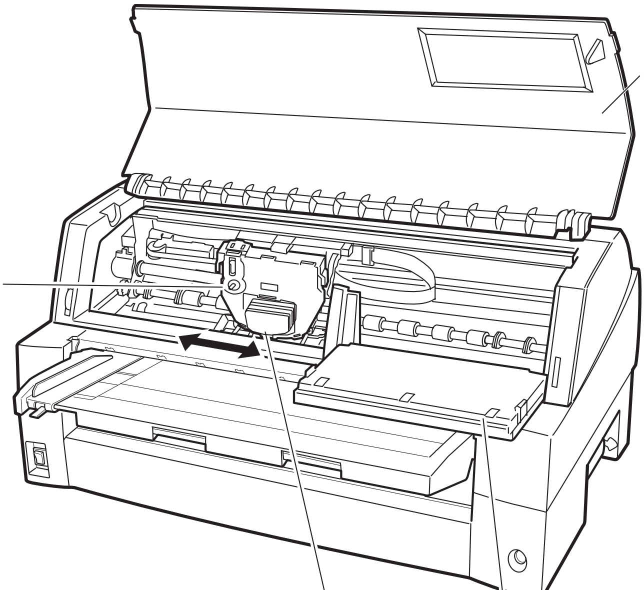


6　用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし（下図参照）、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



7　操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

⚠ 注意	**高　温**	**印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。**

◆ 後トラクタから吸入した用紙がつまったとき

1　オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

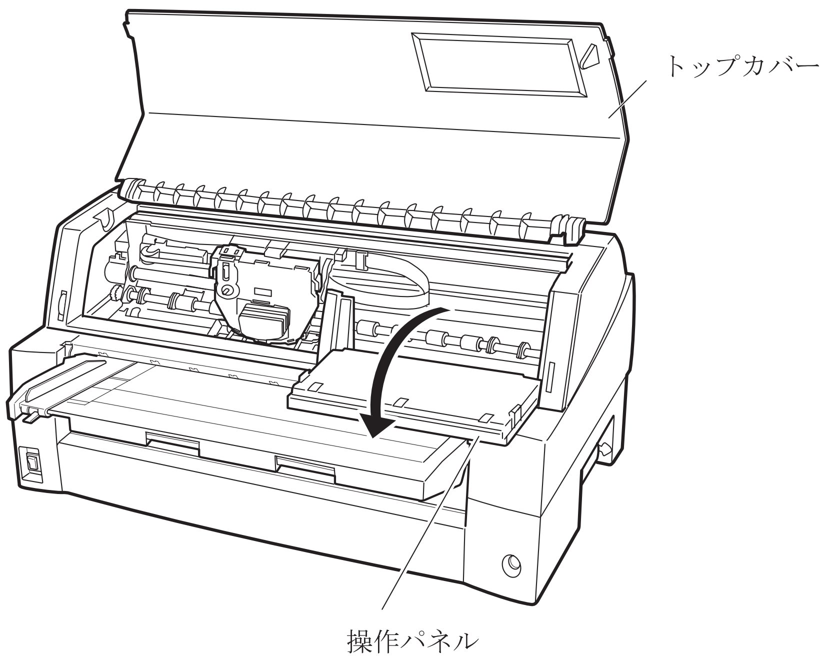
2　プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　トップカバーを開く

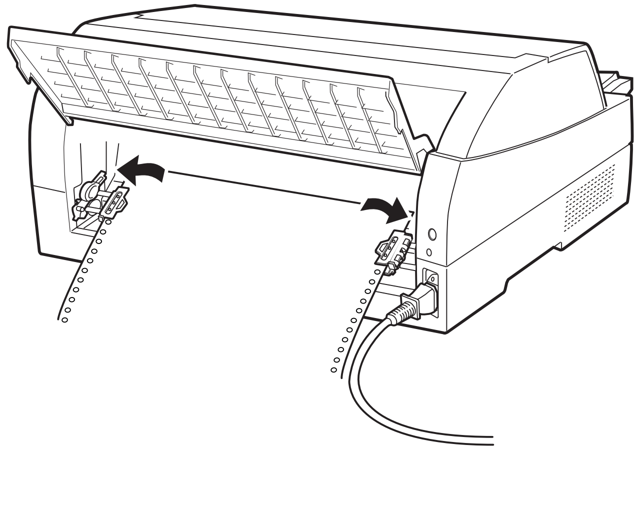
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4　必要に応じて操作パネルを手前に倒す



5　トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す

用紙送りトラクタ左右用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。



6 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

⚠ 注意	高　温	印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

■　単票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。
用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆　手差しで吸入した単票用紙がつまったとき

1　オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

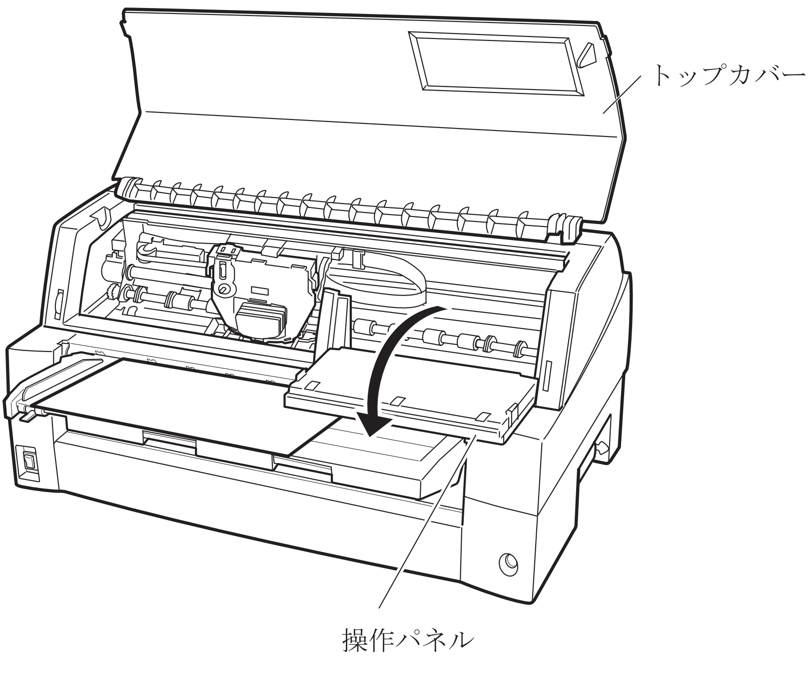
2　プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　トップカバーを開く

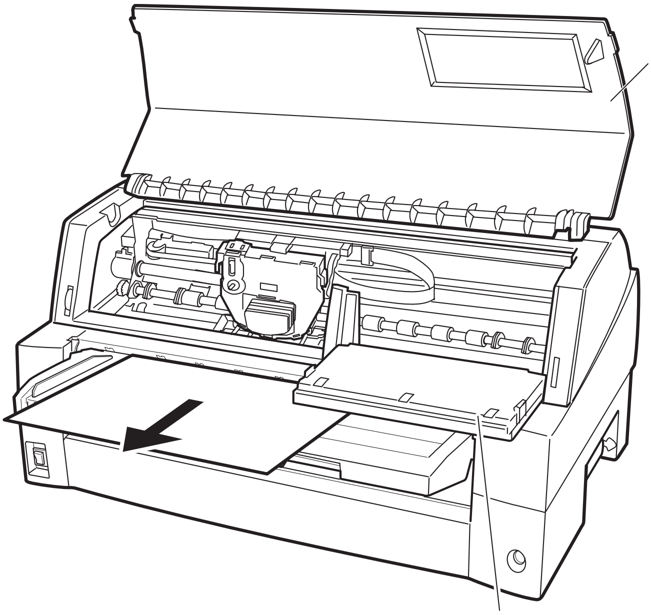
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4　必要に応じて操作パネルを手前に倒す



5 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

⚠ 注意	**高　温**	**印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。**

6 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

■ リアスタッカ部に用紙がつまったとき、または用紙が排出しきれずにローラ部に残ったとき

1 オフライン状態にする

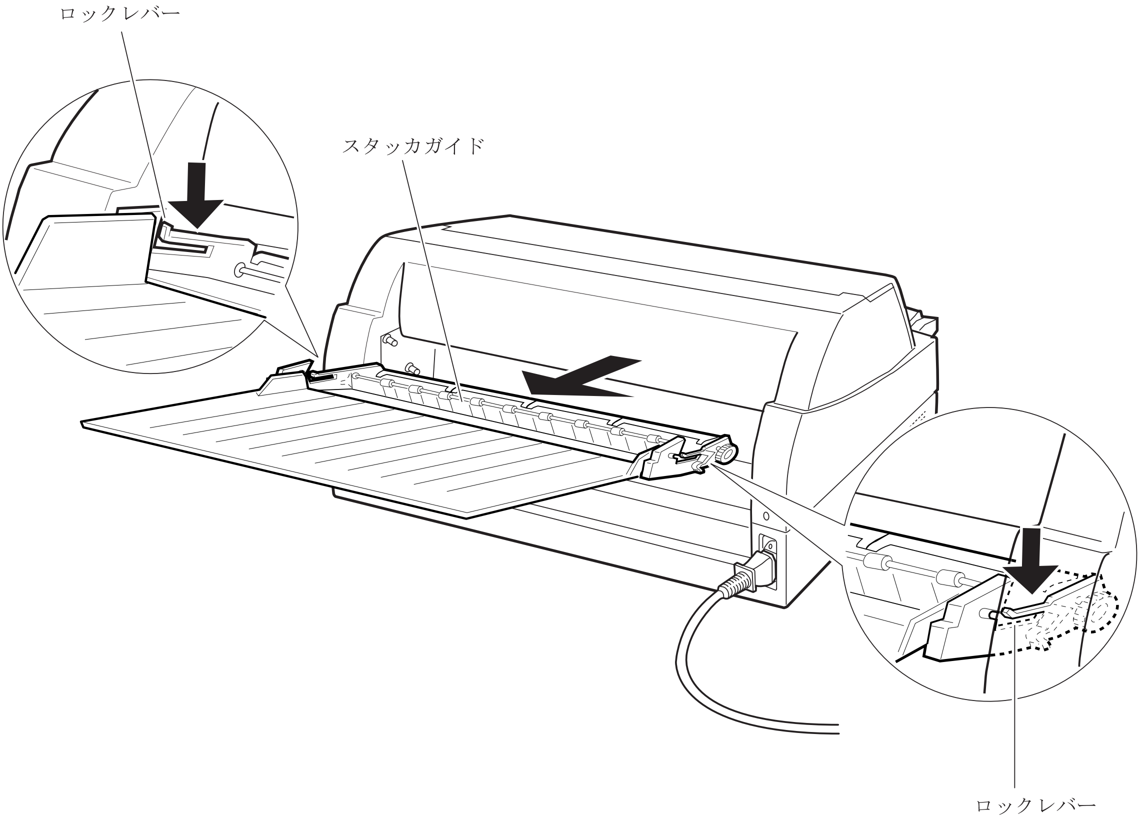
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

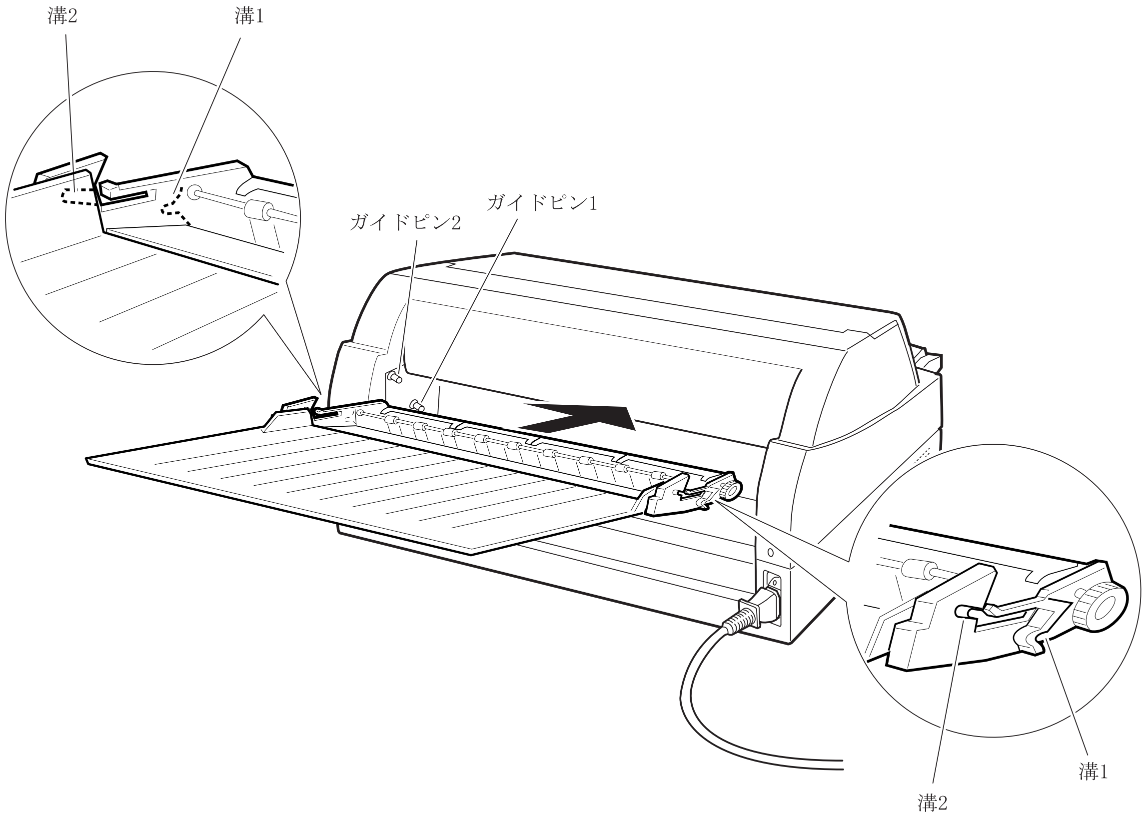
3 スタッカユニットを取り外す

スタッカガイドのロックレバーを押し下げながら、後方に取り外します。
装置内部の用紙づまりの状況を確認します。



4　スタッカユニットを取り付ける

スタッカユニット左右の溝 1 をガイドピン 1 に合わせ、ガイドピン 2 が溝 2 にロックされるまでスタッカユニットを押し込みます。



■ カットシートフィーダから吸入した用紙がつまったとき

1　オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

2　プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

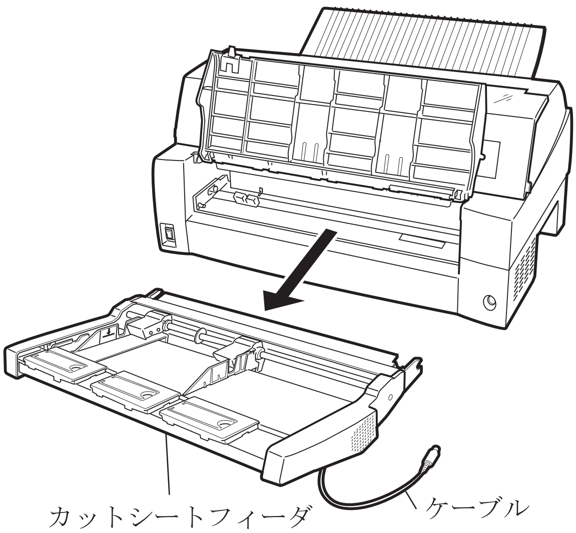
◆ カットシートフィーダユニット内での用紙づまりの場合

1　カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外す

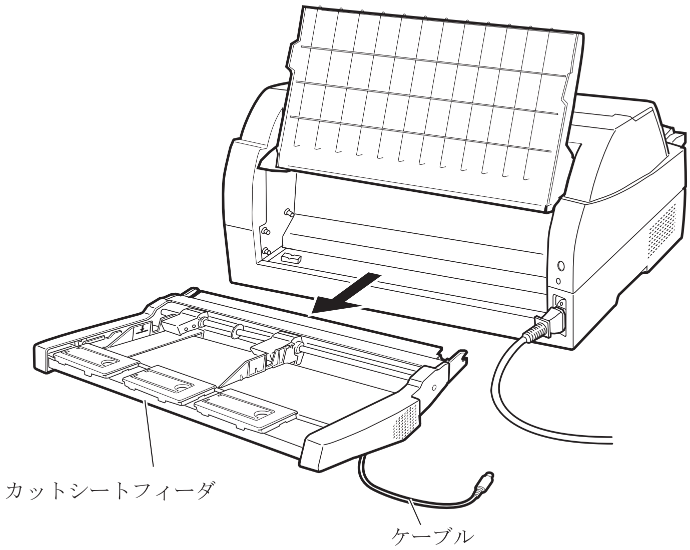
カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外します。

⚠ 注意	**感　電**	**ケーブルを外すときは必ず電源を切ってください。電源を切らずに作業すると感電の原因となることがあります。**

プリンタ前部から取り外す場合

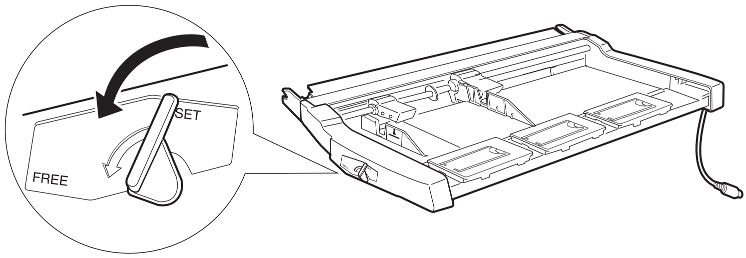


プリンタ後部から取り外す場合



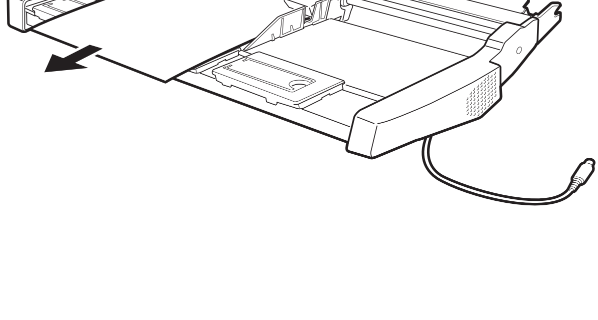
2 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダ側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。



3 用紙を取り除く

カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。



◆ プリンタ装置内部まで用紙が送られた後の用紙づまりの場合

カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外す

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外します。（「カットシートフィーダを取り外す」178 ページ参照）

【つまった用紙がカットシートフィーダ側に残った場合は…】

1　セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダの側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。（147ページ参照）

2　用紙を取り除く

カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。

【つまった用紙がプリンタ装置に残った場合は…】

用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適宜な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

⚠ 注意	高　温	**印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。**

お願い

一度紙づまりを起こした用紙の再使用はしないでください。

プリンタがうまく動かないとき

プリンタが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。
処置を行っても機能が回復しない場合は、お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（167ページ）にご相談ください。

■　電源投入時の不具合

電源を投入すると、操作パネルのランプが点灯し、各部機構の位置決め動作と自己診断を行います。

その際の異常動作に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
電源を投入後「電源」ランプが点灯せず、プリンタが動作しない。	電源コードの接続が正しくない。	プリンタの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。(「電源コードの接続」21ページ参照)
電源を投入後、いったん「電源」ランプが点灯するが消灯する。	電圧異常を検出し、電源が自動的に停止した。	電源を切って、5 分間放置後、再度電源を投入し、再現する場合は、修理を依頼してください。
電源投入後「用紙切れ」ランプが点滅する。	用紙やリボンが印字ヘッドにひっかかっているため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作(イニシャル動作)が正常にできない。	電源を切って、印字ヘッドにひっかかっているものを取り除いてください。
	印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取り外されていないため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作(イニシャル動作)が正常にできない。	電源を切って、輸送用固定材を取り外してください。(「輸送用固定材の取り外し」14 ページ参照)
	モータやセンサ、回路の故障、その他を検出した。	電源を切って、修理を依頼してください。
操作パネルのランプは点灯するが、プリンタが動作しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
電源投入時「オンライン」ランプが点滅する	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	早めに印字ヘッドを交換してください。

■ 単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
	プリンタがオンライン状態である。	**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にしてください。
	給紙口の選択が、「前トラクタ」または「後トラクタ」になっている。	**給紙口**スイッチを押して、「単票手差し」または「カットシートフィーダ」を選択してください。
	「用紙抜取」ランプが点滅している(用紙抜き取り待ち状態となっている)。	一度用紙を抜き取り、1 秒待ってから再吸入してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタの状態が紙有り状態となっている。	**用紙吸入/排出**スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	機能設定でオートローディングが無効になっている	**用紙吸入/排出**スイッチを押して吸入させるか、機能設定を変更してください。
吸入途中で排出される。	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください。(「清掃のしかた」161ページ参照)
	単票セットフリーオフのときに、用紙のセットをゆっくり行なったため、規定時間内に吸入動作が完了しなかった。	より素早く用紙をセットしてください。
吸入後キャリアが移動したのちに排出される。	用紙が斜めに給紙された(吸入斜行)を検出した。	用紙を傾かない様に再セットしてください。
	プレプリントによりセンサが誤検出している(プレプリントのない用紙は問題無い)。	プレプリントに関しては、「プレプリント用紙を使用するとき」(128 ページ)を参照してください。
	単票セットフリーオンのとき、用紙幅に問題がある。	幅 100～364㎜(はがき～B4)の用紙を使用してください。
		幅 55～99㎜ 未満、365～420㎜ の用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。
	単票セットフリーオンのとき、セット位置に問題がある。	82 ページを参照し、セット位置を修正してください。
	用紙の形状に問題があり、吸入斜行を誤検出している。	用紙の形状に関しては、「用紙の形状について」(130 ページ)を参照してください。

■ 連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
	プリンタがオンライン状態である。	**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にしてください。
	給紙口が正しく選択されていない。	**給紙口**スイッチを押して、正しい給紙口(「前トラクタ」または「後トラクタ」)を選択してください。
	「用紙抜取」ランプが点灯している(単票テーブル上に放置された用紙を検出している)。	単票テーブル上に放置された用紙を取り除いてください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタが紙有り状態となっている。	**用紙吸入/排出**スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
吸入途中で排出される。	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください。
吸入途中で用紙づまりとなる。	左右のトラクタ間で用紙が弛んでいる。	左右のトラクタ間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。
	前トラクタ給紙時、単票テーブルを開いている。	単票テーブルを閉じてください。
	用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
	トラクタへのセットで、左右で穴がズレている。	正しくセットし直してください。

■ 印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処置
プリンタが動作しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
印字が始まらない。	「オンライン」ランプが消えている。	**オンライン**スイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	プリンタケーブルの接続に問題がある。	プリンタケーブルを正しく接続してください。
印字開始前に用紙パスが切り替わってしまう。	ドライバのプロパティで設定した用紙パスが正しくない。	ドライバのプロパティで正しく設定してください。
印字音はするのに印字しない。	リボンカセットを取り付けていない。	リボンカセットを取り付けてください。
プリンタ動作中に「用紙切れ」ランプが点滅し、プリンタが停止した。	印字ヘッドの左右動作に異常が発生した。 <要因> 1．段差のある用紙を使用している。 2．紙厚設定が正しくない。 3．用紙つまりが発生した。 4．リボンが印字ヘッドにひっかかった。	電源を切って、用紙仕様、紙厚設定を見直してください。
印字開始直前にアラームとなる。	用紙が厚過ぎる。	「第 4 章 用紙について」を参照し用紙を確認してください。
	段差のある用紙を使用しているため、正常に自動紙厚検出ができない。	手動紙厚調整で印字するか、ドライバのプロパティで用紙厚さを設定してください。
印刷開始直前に「ESC/P」ランプが点滅する。	単票(CSF)モードでユーザー定義サイズのページ長が70㎜未満（単票用紙サイズの範囲外）を受信した。	正しい用紙サイズを設定してください。

■ 印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正値に対して狭くなっている。	広めに設定し直して(ダイヤルを時計方向にリボン汚れが出なくなるまで回して)ください。
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが、適正値に対して狭い。	ドライバのプロパティ設定値(枚数)を、リボン汚れが出なくなるまで多くしてください。
	段差のある用紙を使用している。	手動紙厚調整にて印字してください。 (「用紙厚を調整する」93 ページ参照)
	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の波うちが激しくなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。 (「リボンカセットを交換する」135ページ参照)
縦棒のつなぎの左右方向にズレが大きい(行間ズレが大きい)。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正値に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	広めに設定し直して(ダイヤルを時計方向にリボン汚れが出なくなるまで回して)ください。
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが、適正値に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	ドライバのプロパティ設定値(枚数)を、リボン汚れが出なくなるまで多くしてください。
	段差のある用紙の段差部分で印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	手動紙厚調整にて印字してください。 (「用紙厚を調整する」93 ページ参照)
	行間ズレ調整が正しくない。	「行間ズレを直す」(59 ページ)を参照し、行間ズレを直してください。
印字がうすい。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正値に対して広い。	狭めに設定し直してください。(ダイヤルを反時計方向に印字が濃くなるまで回します、狭くし過ぎると故障の原因となるので注意してください。)

現象	原因	処置
印字がうすい。	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが適正値に対して広い。	ドライバのプロパティ設定値(枚数)を印字が濃くなるまで少なくしてください。
	段差のある用紙を使用している。	手動紙厚調整で印字してください。 (「用紙厚を調整する」93 ページ参照)
	とじ穴が印刷開始行にある。	とじ穴付近で紙厚調整を行うため用紙厚が正しく認識できません。 手動紙厚調整で印字してください（「用紙厚を調整する」93 ページ参照）。
	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいている（リボン生地の印字跡部の黒さが薄くなっている）。	新しいリボンカセットと交換してください。
	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	印字ヘッドを交換してください。
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	印字ヘッドを交換してください。
前給紙の場合、印字の上側が欠ける。	リボンカセットが正しく取り付けられていません。	印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。（「リボンカセットを取り付ける」24 ページ参照）
後給紙の場合、印字の下側が欠ける。		
印字が所々でよじれたように欠ける(用紙を変えても発生する)。	リボンがたるんだり、よじれたりしています。	印字を中止して、リボンカセットを点検してください(リボンつまみを回してリボンのよじれが無いか確認します)。
印字行の左端部や右端部で印字の上下が欠ける。(連帳用紙のみ発生する。)	連帳改行時に用紙の綴じ部や用紙送り穴の影響でリボンがズレて、印字左右端部が欠ける。	機能設定で連帳改行時のリボン保護制御を有効にして使用してください。
約 10 ページ(11 インチ換算で)の白紙が排出され、印刷が停止する。	不要な改行、改ページを行っている。	印刷を停止して、印刷データを確認してください。

■ 印字位置の問題点

印字位置に問題点がある場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
印字開始位置が上、または下にズレる。	ドライバの余白設定に対してプリンタの設定が正しくない。	機能設定の「上端余白量指定」をドライバ指定優先にしてください。(51 ページ参照)
	ドライバでの給紙方法選択、余白の設定、プリンタの上端余白の設定がアプリケーションに適合していない。	アプリケーションに合わせて、ドライバの給紙方法、余白量設定、プリンタの機能設定を正しく設定してください。
印字開始位置が上、または下にズレる。	用紙の上端のミシン目で切り取られた部分に紙片が残っている箇所がある。	紙片が残らないように、ミシン目で正しくカットしてください。
	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要が有ります	アプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがある。	プレプリントを修正するか、吸入後用紙の位置合わせを行なって印字してください。
単票セットフリー使用時に印字の左右の位置がズレる。	機能設定の単票左端余白量とドライバの余白設定が異なっている。	プリンタとドライバの設定を合わせてください。
	用紙の左端部に面取、プレプリントがあるために、用紙左端を正しく認識できない。	用紙を修正するか、単票セットフリーをオフにして使用してください。

■　印字位置がページによってズレる

印字位置がページによってズレる場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
連続用紙の印字位置がページによってズレる。	仕様外用紙を使用しているため、正しく搬送できない。	「第 4 章 用紙について」を参照し、仕様にあった用紙を使用してください。
	連続用紙の置きかたが悪く、正しく搬送できない。	連続用紙はプリンタ給紙口の下に置き、斜めになったり、途中に引っかかりのない様にしてください。また、箱からスムーズに引きだされない用紙は、箱から出して設置してください。
	用紙のページ長さと、ソフトウェアのページ長設定値が異なる。	ソフトウェアのページ長指定に合う用紙を使用してください。
	用紙の特性により、吸入位置に対してわずかながら印字位置がずれることがある。	機能設定で補正してください。補正の行いかたについては、「機能設定を変える」(42 ページ)を参照してください。

■　カットシートフィーダ使用時の不具合

カットシートフィーダ使用時の不具合点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
カットシートフィーダが動作しない。	カットシートフィーダのコネクタがプリンタに接続されていない。	コネクタを接続してください。
用紙が吸入しない。	左右の用紙ガイドで用紙をきつくはさんでいる。	用紙に対して適正なゆとりを持って、用紙ガイドをセットしてください。
	用紙が厚すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	セットした用紙が多すぎる（赤線を越えている）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。
	用紙つまりが発生している。	つまった用紙を取り除いてください。
	セットレバーが「FREE」になっている。	セットレバーを「SET」にしてください。

現象	原因	処置
用紙が吸入しない。	操作パネルの「給紙口」ランプの表示が「前トラクタ」、「後トラクタ」または「単票手差し」になっている。	操作パネルの**給紙口**スイッチを操作し「カットシートフィーダ」にセットしてください。
	カットシートフィーダがプリンタにきちんとセットされていません。	正しくセットし直してください。（「カットシートフィーダを取り付ける」171 ページ参照）
複数枚の用紙が同時に送られてしまう。	用紙を十分にさばいていない。	用紙を十分にさばいてからセットしてください。
	用紙が薄すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか、広過ぎる。	用紙カイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	紙置台内の用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を揃えて紙置台内に正しくセットしてください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか広過ぎる。	用紙カイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使用している。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
	セットした用紙が多すぎる（赤線を越えている）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。

テスト印字をする

テスト印字は、次の手順で行います。

1　単票用紙または連続帳票用紙をセットする

2　電源を切る

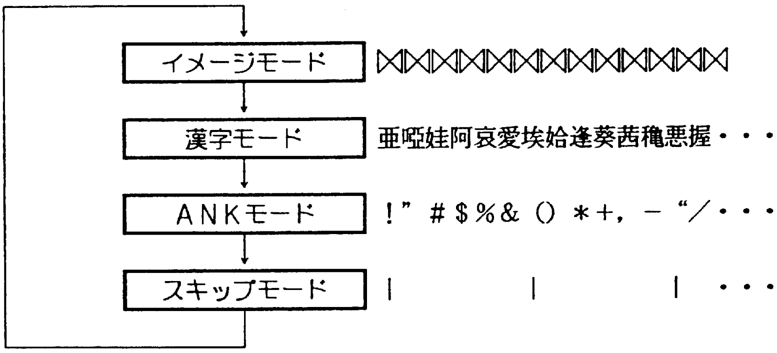
（電源スイッチが（○）側に倒れていることを確認します。）

3　手前排出/改行スイッチを押しながら電源を入れ、操作パネルのランプがすべて点灯したらスイッチを離す

用紙が無くなるまで、連続して印字します。

・テストモードを切り替えるとき

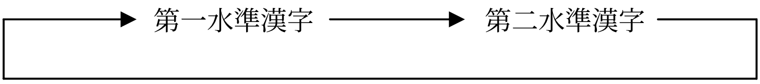
印字中に**手前排出/改行**スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、順次テストモードが切り替わります。



漢字モードおよびANKモードのとき、電源投入時のエミュレーションにより印字内容が異なります。

【FMエミュレーション】

・漢字モードのとき、



の印字を繰り返します。

・ANKモードのとき、ドラフト文字を印字します。

【ESC/P エミュレーション】

・漢字モードのとき、

→ 非漢字 → 第一水準漢字 → 第二水準漢字 ─┐（繰り返し）

の印字を繰り返します。

・ANK モードのとき、高品位文字を印字します。

• 印字速度を切り替えるとき

印字中に **印字モード/改ページ** スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字速度が切り替わります。

スイッチを押すたびに、高速印字モード、標準印字モード、低騒音モードが切り替わります。高速印字モードのときは、「高速」ランプ、低騒音モードのときは「低騒音」ランプが点灯します。

• 標準印字/高複写モードを切り替えるとき

印字中に **高複写** スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字密度が切り替わります。

スイッチを押すたびに、標準印字モードと高複写モードが交互に切り替わります。高複写モードのときは、「高複写」ランプが点灯します。

• 明朝体/ゴシック体を切り替えるとき

印字中に **用紙カット/用紙吸入/排出** スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字の字体が切り替わります。

スイッチを押すたびに、明朝体とゴシック体が交互に切り替わります。

4 テスト印字中に オンライン スイッチを押すと、テスト印字が終了する

注）　カットシートフィーダを取り付けているときは、用紙設定状態に係わらず、機能設定に入れません。

HEX ダンプ印字をする

HEX ダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンタへ送られてきたデータを 16 進数のまま印字します。

HEX ダンプ印字は次の手順で行います。

1　単票用紙または連続帳票用紙をセットする

2　手前排出/改行と印字モード/改ページスイッチを同時に押しながら、電源を入れ、ランプがすべて点灯してからスイッチを離す

HEX ダンプを印字できる状態になります。

3　印字データを送る

パソコンから送られるデータは 16 進数のまま印字されます。1 行にみたないデータは印字されず、**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にすると印字されます。

4　HEX ダンプ印字を解除する

電源をいったん切ってから、もう一度投入してください。

注 1)　単票で A4 以上の用紙は排出されません。
注 2)　カットシートフィーダを取り付けているときは、HEX ダンプ印字できません。

清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

⚠ 注意

感　電	**プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。**
高　温	**印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。やけどの原因となることがあります。**

お願い

・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。
・プリンタの内部を濡らさないでください。電気回路がショートする恐れがあります。
・プリンタに潤滑油を補給しないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。潤滑油の補給が必要な場合は、お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（167ページ）までご連絡ください。

清掃は、次の手順で行います。

1　プリンタの電源を切り、電源コンセントを抜く

2　トップカバーを開ける

3　プリンタを清掃する

印字した用紙が汚れたり、カバー部が汚れたりしているときは、中性洗剤を薄めた水に清潔な軟らかい布を浸し、よく絞ってカバー表面を拭いてください。プリンタ内の紙粉は除去してください。

お願い

印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないように注意してください。破損の原因となります。

4　トップカバーを閉じて、電源を入れる

プリンタを輸送するとき

プリンタを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

1　プリンタの電源を一旦入れた後に切る

（電源スイッチが（○）側に倒れていることを確認します。）

一旦電源を入れることで、印字ヘッドが移動し、以降の作業ができる状態になります。

2　用紙を取り去り、リアスタッカを取り外す

3　プラグを電源コンセントから抜いて、プリンタケーブルをプリンタから外す

4　リボンカセットを取り外す

（「リボンカセットを交換する」135ページ参照）

5　リアスタッカを包装する

6　印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける

7　プリンタを衝撃から守るために梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる

有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24時間運用について

■　有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、適切な使用環境（22 ℃／ 55%RH）において１日約８時間のご使用で約５年、または 500 万改行のいずれか早い方です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
交換の際は「ハードウェア修理相談センター」（167 ページ）にご連絡ください。
- 補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。
- 本製品をより長く安定してご利用いただくために、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

制御基板、電源基板、印字ヘッド、プラテン

■　消耗品について

- リボンカセット等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。
「リボンカセットを交換する」（135 ページ）参照

■ 定期交換部品について

・本製品には、その性能／機能を維持するために適時交換が必要な定期交換部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要となります。定期交換部品の種類および交換周期は、下表をご参照ください。

定期交換部品	交換目安	表示メッセージ
印字ヘッド	3 億打	LED (電源投入時に「ｵﾝﾗｲﾝ」ランプが点滅します)

注 1)　高複写モード時は 2 億打となります。

注 2)　黒率の高い印字を連続して行うと、印字ヘッドの寿命を縮める原因となります。

・定期交換部品料金および交換作業費は有償です。費用の支払い方法については、契約保守サービスの締結の有無、および契約内容によって異なります。

詳しくは「ドットインパクトプリンタFMPRシリーズのサポートサービス」(http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/products/fmprprinter/index.html)
または「ハードウェア修理相談センター」（167ページ）にご相談ください。
なお、上記URLは、本マニュアル発行時現在のものです。

・定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。

■ 24 時間運用について

・本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

・24 時間以上の連続運用を行なうと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります。

消耗品の廃却について

使用済みの消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。

お客様が処理業者に処理を委託する場合で、（財）日本産業廃棄物処理振興センターが発行する伝票（産業廃棄物マニュフェスト）への記載が必要となった場合に、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にしてください。

産業廃棄物処理マニュフェスト情報

消耗品内訳	マニュフェスト情報			
名　称	種　類	形　状	重金属等有無	特　性
リボンカセット	廃プラスチック	固　形	無　し	―

プリンタドライバの入手方法

最新版のプリンタドライバは、「富士通製品情報ページ」からダウンロードすることができます。「富士通製品情報ページ」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

富士通製品情報ページ:
http://www.fmworld.net/biz/printer/dotimpact/index.html

ガイド

- 上記 URL は、本マニュアル発行時現在のものです。
- 添付の CD-ROM に収められたドライバと、「富士通製品情報ページ」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。
  お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

アフターサービス

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より 6 か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年です。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。
  純正サプライ品以外の用品をお使いになったことによる、製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障の際は下記までご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』

通話料無料　：0120-422-297

受付時間　：平日 9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

第6章

オプション

この章では、オプションの種類および取り付け、取り外しについて説明します。

オプションの概要 170
カットシートフィーダを取り付ける 171
　プリンタ前部に取り付ける 171
　プリンタ後部に取り付ける 175
カットシートフィーダを取り外す 178
プリンタ LAN カードのご使用方法 179
プリンタ LAN カード搭載方法 180
プリンタ LAN カードの取り外し 182

オプションの概要

本プリンタには、次のオプションがあります。

◆ カットシートフィーダ（FMPR-CF1G）

単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。

◆ トラクタユニット(FMPR-TU8G)

連続帳票用紙をセットする装置です。プリンタに標準添付されているトラクタ同様にプリンタの前方、後方のどちらにでも取り付けることができます。トラクタユニットを追加することにより、同時に 2 種類の連続帳票用紙をセットすることができます。トラクタユニットの取り扱いについては、「トラクタユニットの着脱について」(27 ページ)を参照してください。

◆ プリンタ LAN カード(FMPR-LN1G)

100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境に対応した LAN カードです。プリンタの側面に取り付けて使用します。

◆ プリンタケーブル（FMV-CBL716）

FMV シリーズ、各社 PC/AT 互換機に接続できます。（1.5m）

◆ プリンタ USB ケーブル（XL-CBLU2G）

Windows 98/Me/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008R2が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルはUSB2.0に対応していますが、本プリンタとの接続時はUSB1.1で動作します。（1.5m）

⚠ 警告	**感　電**	**オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。感電・火災または故障の原因となります。**

カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダは、プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。前後両方に取り付けることもできます。

⚠ 警告	**感　電　カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。**

ガイド

・プリンタの前側にカットシートフィーダを取り付けた場合は、トラクタユニットを前側に取り付けることはできません。

・カットシートフィーダをプリンタの前後両方に取り付けた場合は、「CSF ビン１選択」でどちらを優先して使用するかを設定する必要があります。設定については、42 ページの「機能設定を変える」を参照してください。

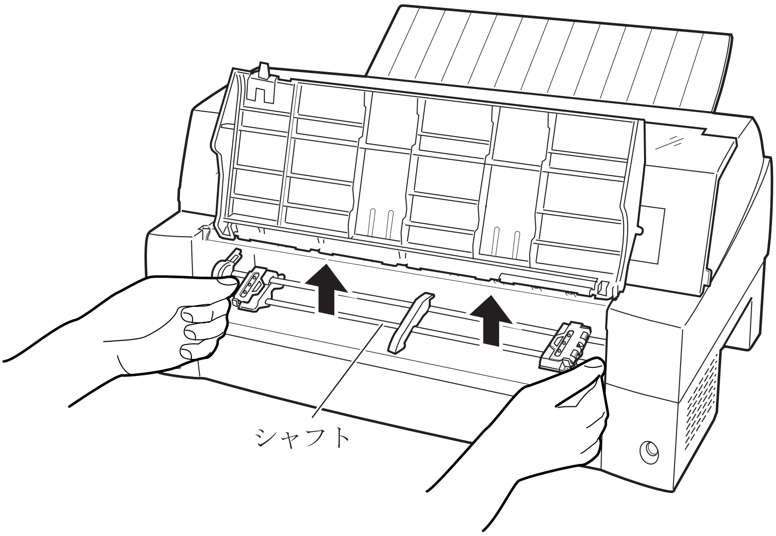
■　プリンタ前部に取り付ける

1　プリンタの電源を切る

プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

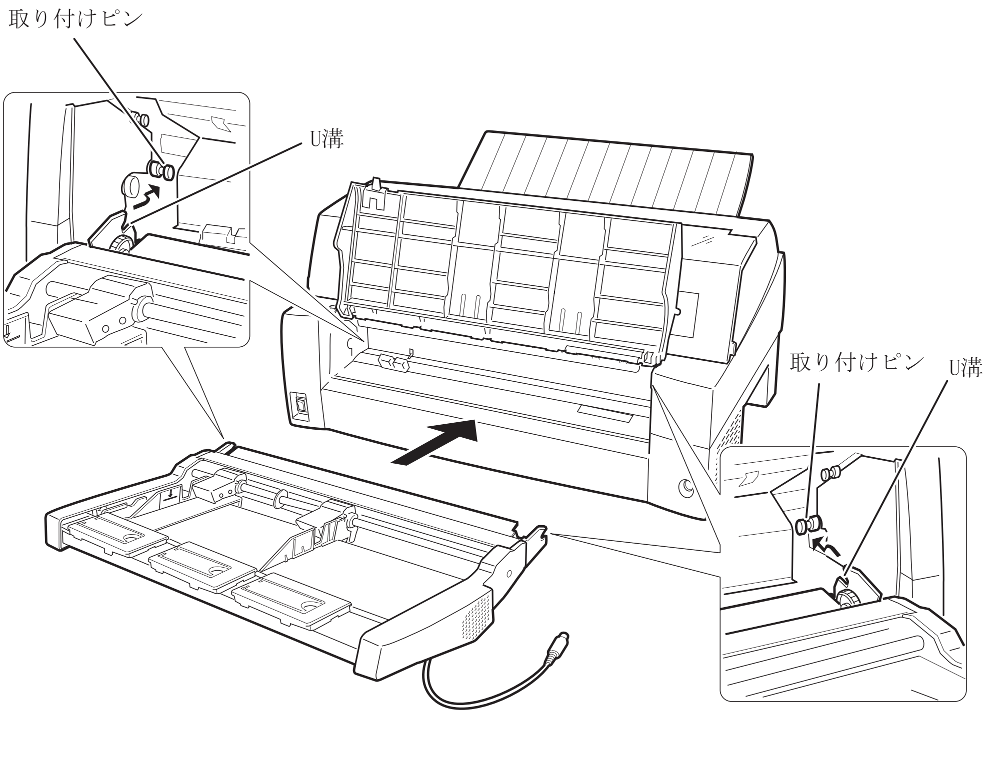
2　トラクタユニットを取り外す

単票テーブルを開いて、トラクタユニットを取り外します。(「トラクタユニットの着脱について」27 ページ参照)

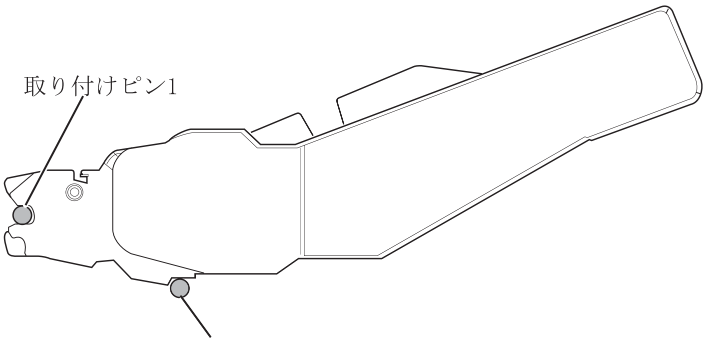


3　カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダの両側にある U 溝を、プリンタの奥の取り付けピンに差し込み、ゆっくりと下ろします。



取り付けピン2にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。



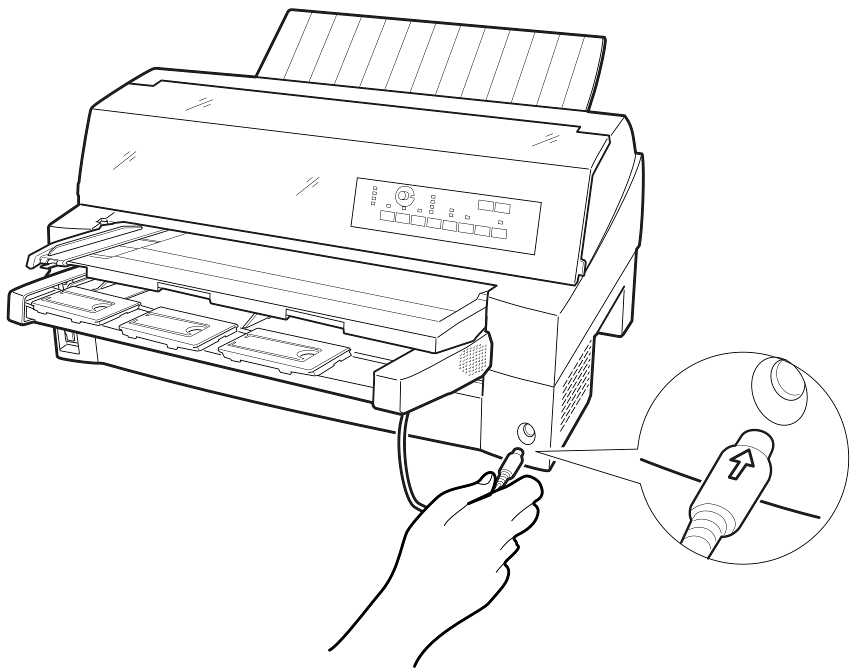
4　単票テーブルを元に戻す

確実に単票テーブルを戻してください。(「単票テーブルのセット」15ページ参照)

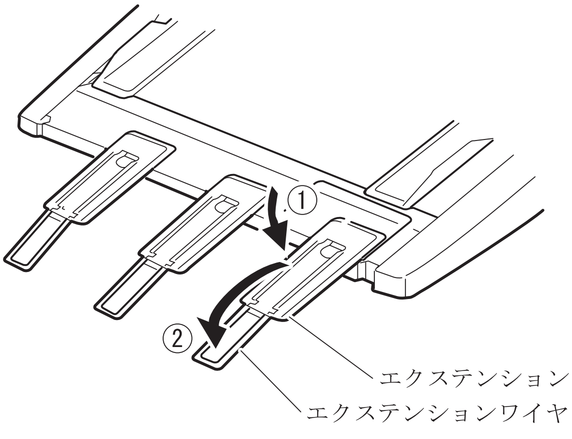
単票テーブルのセットが正しくないと、用紙づまりの原因となります。

5　ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ前面の右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



6　使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に展開する



■ プリンタ後部に取り付ける

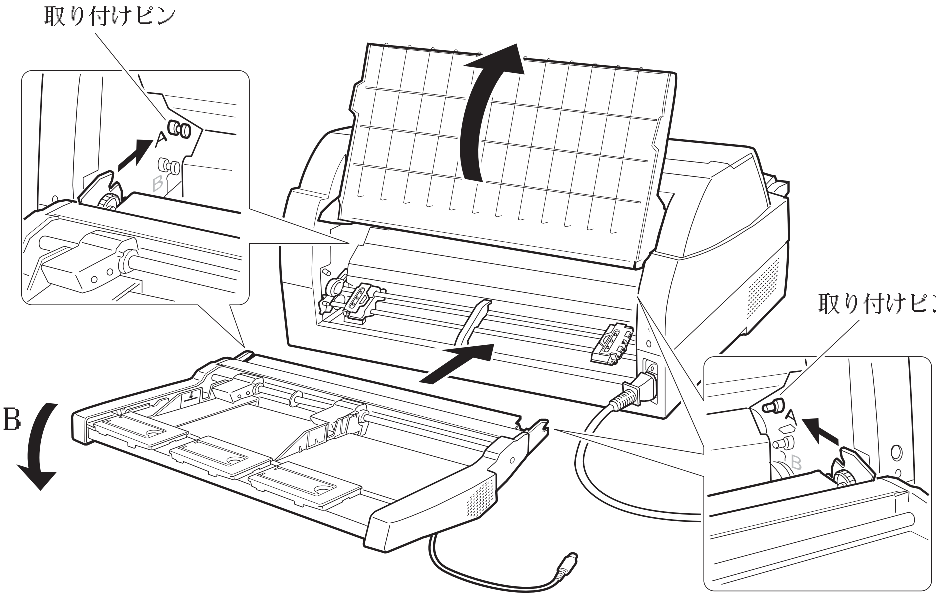
カットシートフィーダの取り付けは、プリンタの電源を切ってから行います。

1 プリンタの電源を切る

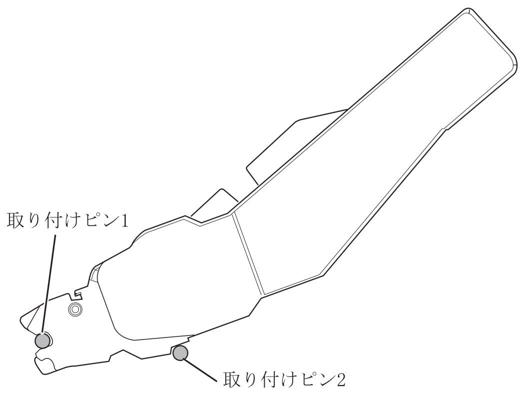
プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

2 カットシートフィーダを取り付ける

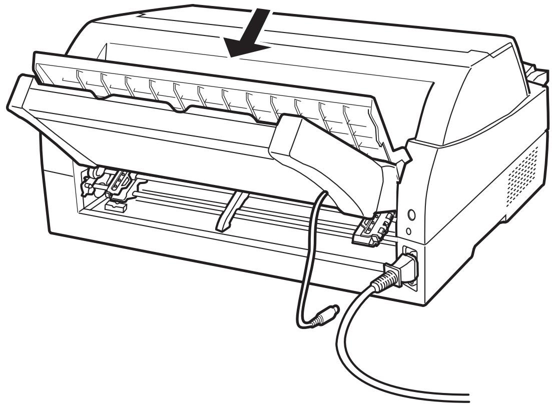
リアスタッカを開きます。カットシートフィーダの両側を持ち、カットシートフィーダの両側にあるU溝を、プリンタの奥にある取付けピンに差し込みます。（カットシートフィーダのラベルAをプリンタ側の刻印Aに合わせて差し込みます。）そのまま取付けピンを支点にして、矢印Bの方向に回転させるように下ろします。



取り付けピン2にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。

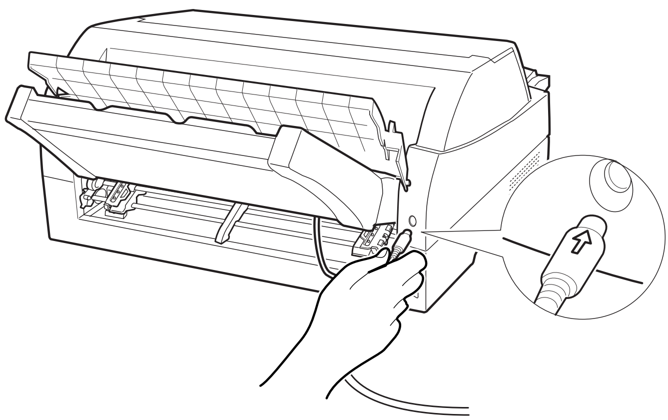


3　リアスタッカを閉じる

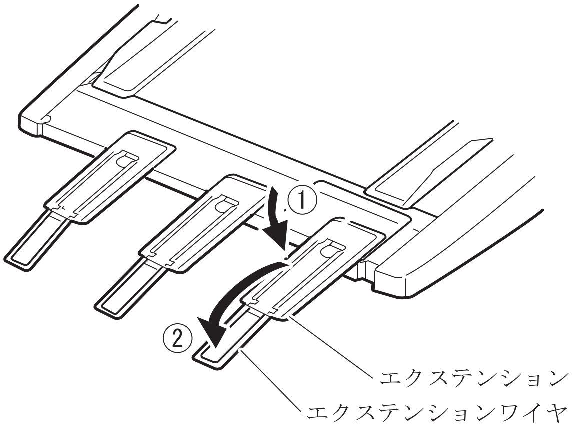


4　ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ後面に向かって右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



5 **使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に矢印の方向に展開する**

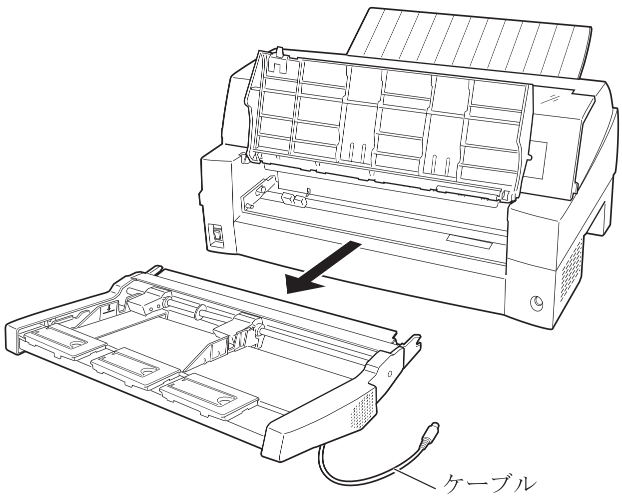


カットシートフィーダを取り外す

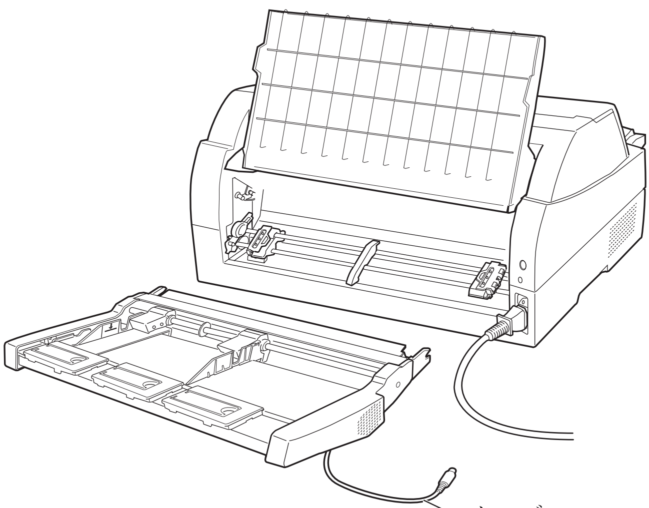
カットシートフィーダを取り外すときは、ケーブルを抜いてから取り外してください。

⚠ 警告	**感　電　カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。**

プリンタ前部に取り付けた場合



プリンタ後部に取り付けた場合



プリンタLANカードのご使用方法

別売のプリンタ LAN カードをプリンタ側面にとりつけて使用することにより、100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。
LAN カード搭載時は、パラレルインターフェースおよび USB インターフェースとの同時接続はできません。

品　名	型　名	備　　考
プリンタ LAN カード	FMPR-LN1G	プリンタに取り付けると、ネットワーク環境で直接印刷できます。

⚠ 注意

プリンタ LAN カードを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。

プリンタ LAN カード搭載方法

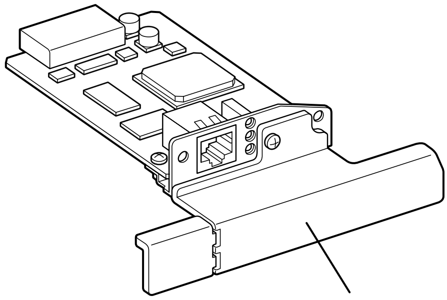
プリンタ LAN カードの搭載は次の手順で行います。なお取り付け後のネットワーク接続については、プリンタ LAN カードのオンラインマニュアルを参照してください。

1　プリンタ装置の電源が OFF になっていることを確認する

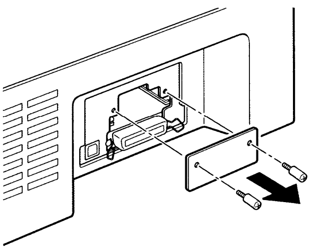
⚠ 注意

一般的注意

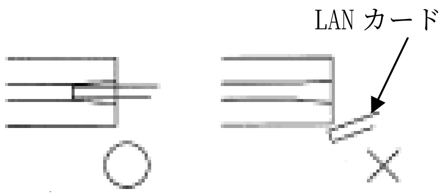
本製品のプラスチックブラケット部はご購入状態では下図の形状です。そのプラスチックブラケットの左端部は、切り取らないでご購入状態のまま取り付けをお願いします。

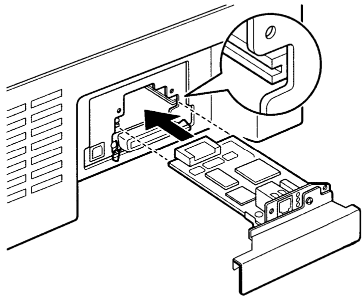


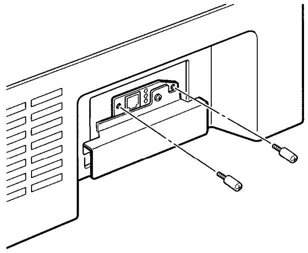
2　プリンタのオプションインターフェースカバーを外す



3　取り付け口のガイドに従って、本製品を差し込み、取り付ける







4　プリンタの電源が OFF になっていることを確認し、電源コードを差し込む

⚠ 注意	
 高温注意	**プリンタ本体の基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。** **また、故障の原因になるので基板には手を触れないでください。**

プリンタLANカードの取り外し

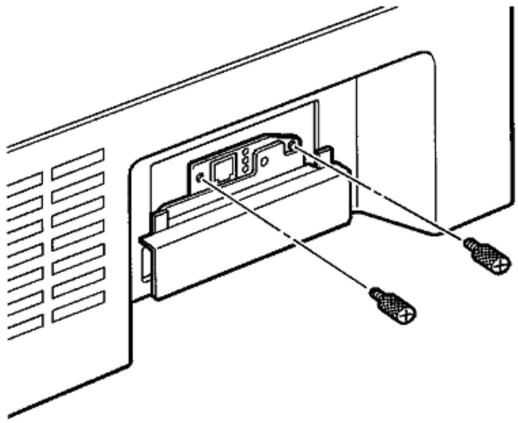
プリンタLANカードの取り外しは次の手順で行います。

> ⚠ **注意**
>
> 一般的注意
>
> **電源が入っている状態でプリンタ LAN カードを取り外すと、故障の原因になることがあります。**

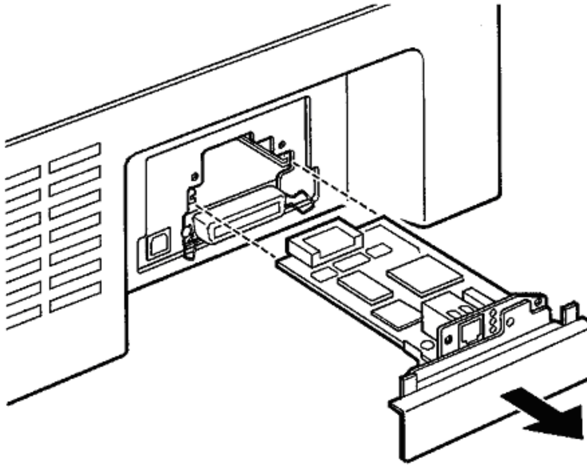
1　プリンタ装置の電源をOFFにする

2　プリンタLANカードの固定ネジを外す

固定ネジの取り外しはプラスドライバにて行ってください。

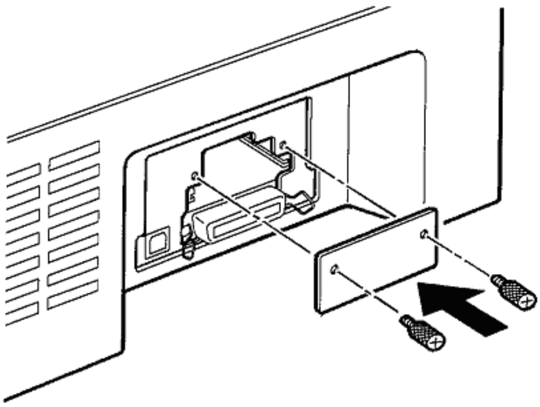


3 **プラスチックブラケットの中央部（下図矢印付近）を持って本製品を取り外す**



4 **プリンタのオプションインターフェースカバーを取り付ける**

固定ネジの取り付けはプラスドライバにて行ってください。



付　録

プリンタの概略仕様 …… 186
外観図 …… 189
　標準外観図 …… 189
　カットシートフィーダ(オプション)
　取り付け時の外観図 …… 190
インターフェース仕様 …… 191
　パラレルインターフェース …… 191
　USB インターフェース仕様 …… 195
ESC/P モードの制限事項 …… 196
初期状態 …… 197
　FM モード …… 197
　ESC/P モード …… 198
コマンド一覧表 …… 199
　FM モードコマンド一覧表 …… 200
　ESC/P モードコマンド一覧表 …… 208
キャラクタコード一覧表 …… 213
　FM モードキャラクタコード一覧表 …… 213
　ESC/P モードキャラクタコード一覧表 …… 214
非漢字一覧表 …… 216
JIS-90 第一水準漢字一覧表 …… 222
JIS-90 第二水準漢字一覧表 …… 225
　ご注意 …… 228

プリンタの概略仕様

・印字方式　ワイヤドットマトリックス

・印字速度

（文字/秒）

	FMPR5010		FMPR5110G	
	FM モード	**ESC/P モード**	**FM モード**	**ESC/P モード**
漢字（27/180 インチ）	67　（50）	67　（50）	80　（56）	80　（56）
漢字（高速印字）	134（100）	134（100）	160（112）	160（112）
ANK レギュラ（パイカ）	100　（75）	100　（75）	120　（84）	120　（84）
ANK レギュラ(エリート)	120　（90）	120　（90）	144（101）	144（101）
ANK ドラフト（パイカ）	200（150）	300（225）	240（169）	360（254）
ANK ドラフト(エリート)	240（135）	360（270）	288（203）	432（305）

注）　（ ）の値は高複写モード時の速度

・ドット径　0.2mm

・ドットピッチ　1/180 インチ（縦、横共）

・印字桁数

漢字全角　：　90（文字/行）
半角漢字　：180（文字/行）
ANK（パイカ）　：136（文字/行）
ANK（エリート）　：163（文字/行）

・印字動作　両方向最短距離印字

・複写能力（コピー能力）

標準モード：5 枚、高複写モード：8 枚

・イメージ印字　行ドット数

FM モード選択時　2448
ESC/P モード選択時　4896

・用紙送り　用紙送り方式　：押込みトラクタ方式（連続帳票用紙）
フリクション方式（単票用紙）
改行間隔　：1/360 インチ×n
（n はプログラム設定による）
改行速度　：約 60ms（1/6 インチ改行時）

・スタッカ容量（単票）　120 枚以下（A4 サイズ、1P 用紙、連量 55kg）
・用紙の種類、サイズ、カールの度合いや、印字デューティ、使用環境などにより減少しますので、ご注意ください。

- **使用環境**　温度：稼動時　5～35℃
  非稼動時　－15～60℃
  湿度：稼動時　20～80％RH
  （最高湿球温度 29℃以下）
  非稼動時　5～95％RH
  （ただし、結露しないこと。
  湿度勾配 30％RH/日以下）
- **インターフェース**
  IEEE 1284 双方向パラレルインターフェース
  USB1.1 インターフェース
- **電源仕様**　入力電源種別　：商用単相
  電源電圧　：AC100V±10％
  電源周波数　：50/60±1Hz
  （安定した正弦波であること）

注）短形波が出力される機器（交流無停電電源装置、UPS など）には接続しないでください。故障するおそれがあります。

- **消費電力**　平均 70W（最大 165W）
  待機時 10W 以下
- **外径寸法**　600mm（幅）×350mm（奥行）×290mm（高）
- **重　量**　約 17kg
- **稼動音**　60 dB（A）以下
- **リボン**　種類　：エンドレスリボンカセット
  （リボンカセットインク補給型）
  リボン寿命　：500 万字（ANK ドラフト文字）

注）上記の寿命は、製造後 2 年以内のものを下記の環境で保存した場合に保証する値です。
温度－10～50℃
湿度 20～90％RH
色：黒単色

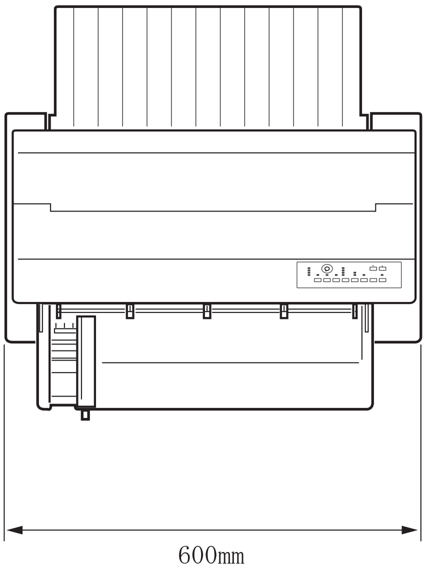
- **耐用期間**　プリンタ装置　：5 年
  （電源の通電条件:8 時間/日以内）
  または 500 万行
  （いずれか早い方）
  耐用期間はプリンタの設置環境、使用頻度により大幅に変動します。
  24 時間通電による運用の耐用期間は 1/3 に減少します。
  印字ヘッド：　通常モード　3 億打/ピン
  高複写モード　2 億打/ピン

・制限事項

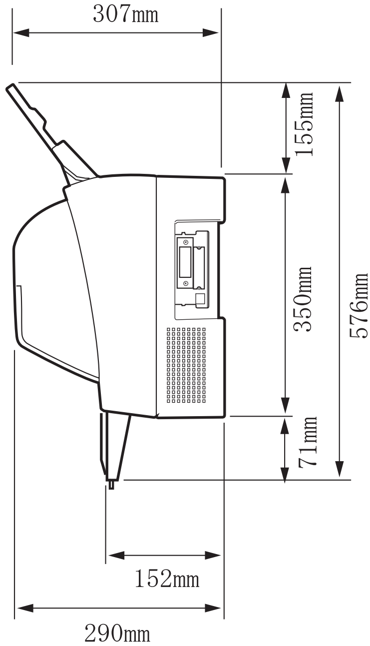
連続改行	LF モータ劣化防止のため、連続改行、連続改ページ動作は 3 分間以上行なわないでください。
高密度印字	印字ヘッド劣化防止のため、50%デューティ以上のパターンを印刷すると､3 分割印字になることがあります。
逆改行動作	・ 逆改行動作は改行乱れの原因となる場合がありますので､十分確認の上ご使用ください。 ・ カットシートフィーダ使用の場合は 1/3 インチ以上の逆改行はできません。 ・ 連帳用紙使用時に 22 インチを越える逆改行動作は、用紙づまりや用紙ガレの原因となるため行なわないでください。
連続印字	印字ヘッドの温度上昇による劣化を防止のため、連続印刷をおこなうと 3 分割印字になることがあります。

外観図

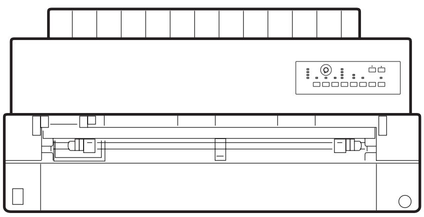
■　標準外観図



〈上面図〉



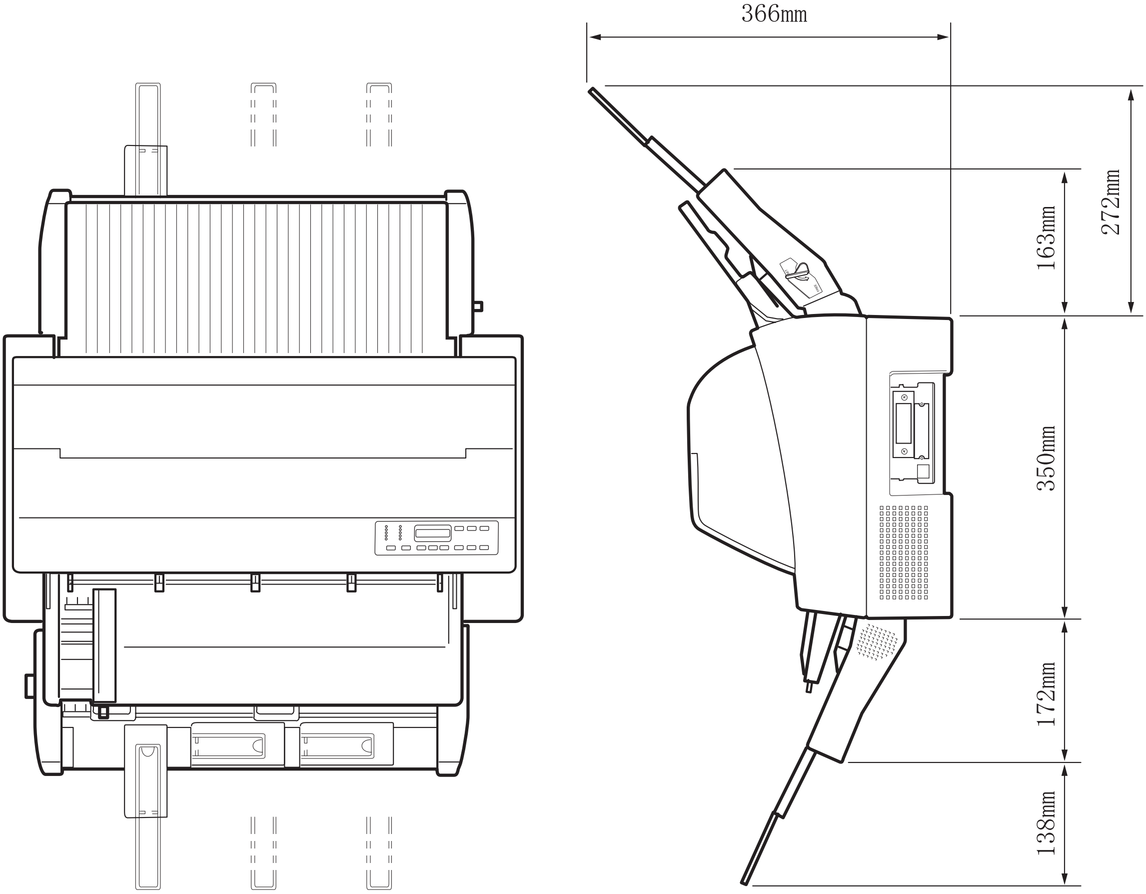
〈側面図〉



〈正面図〉

■　カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図

◆　カットシートフィーダを前面と後面に取り付けたときの外観図



インターフェース仕様

■ パラレルインターフェース

◆ 基本仕様

IEEE 1284に準拠した双方向パラレルインターフェース

◆ インターフェースコネクタ

プリンタ側：レセプタクル：アンフェノール(DDK)57-40360相当
ケーブル側：プラグ　　　：アンフェノール(DDK)57-30360相当

◆ インターフェースケーブル

素　材　　：7/φ0.12 (AWG28相当)以上
タイプ　　：シールド
長　さ　　：接続するパソコンの仕様による
　　　　　　(FMVの場合、1.5m)

◆ 信号レベル

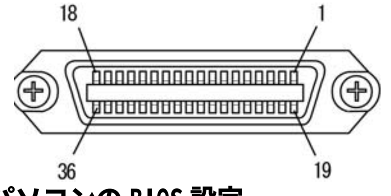
LOW　　　：0.0V～＋0.4V
HIGH　　 ：＋2.4V～＋5.0V

◆ データ転送方式

8ビットパラレル

◆ コネクタピン配列

インターフェースコネクタ (36ピン)



※ パソコンのBIOS設定

本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は必ず「Bidirectional (双方向) 」にしてご使用ください。

確認および設定の方法については､パソコンのマニュアルを参照してください。

● ESC/P モード

ピン No.	信 号	ピン No.	信 号
1	*STROBE	19	*STROBE-RET
2	DATA1	20	DATA1-RET
3	DATA2	21	DATA2-RET
4	DATA3	22	DATA3-RET
5	DATA4	23	DATA4-RET
6	DATA5	24	DATA5-RET
7	DATA6	25	DATA6-RET
8	DATA7	26	DATA7-RET
9	DATA8	27	DATA8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INIT-RET
13	SLCT	31	*INIT
14	*AUTO FEED XT	32	*ERROR
15	NC	33	SG
16	SG	34	NC
17	FG	35	NC
18	NC	36	*SLCT IN

注 1) -RET 信号は、すべて SG に接続されています。

注 2) “*"は、負論理信号であることを示します。

・入力信号の説明

DATA1～8　プリンタの受信データです。
“H”で信号あり、“L”で信号なしです。

*STROBE　DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。
定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、データを読み込みます。

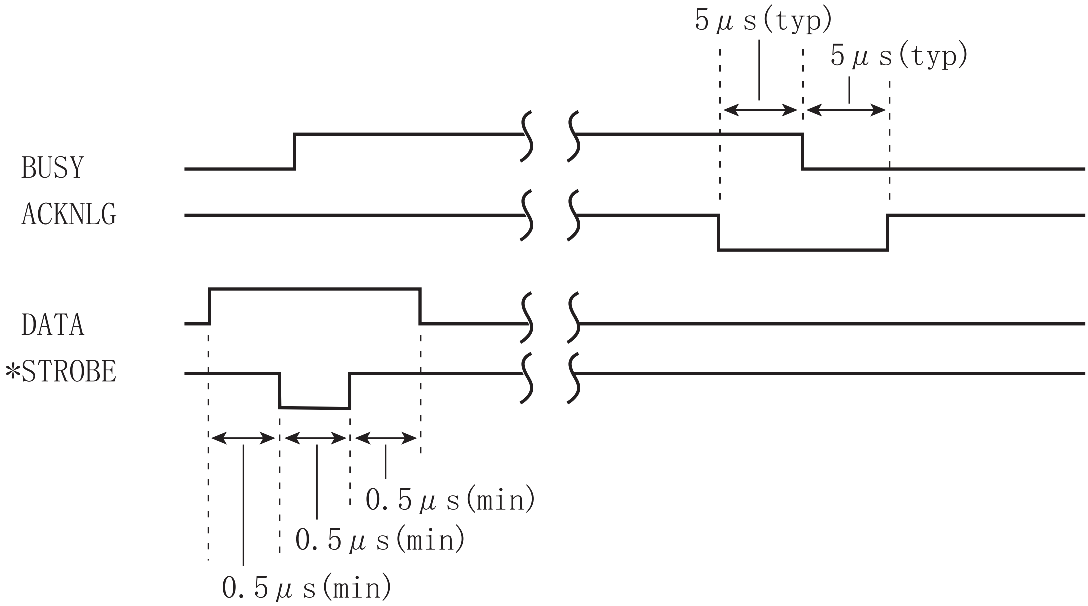
*INIT　プリンタを初期状態にする信号です。
初期状態については、197ページを参照してください。
“L”になるとプリンタは初期状態になります。

*SLCT IN　DC1/DC3 を無効にする信号です。
電源投入時に“L”になっていると、DC1/DC3 コードが無効になります。

*AUTO FEED XT
復帰改行する信号です。
“L”になっていると、CR コードを受信して復帰改行します。

・出力信号の説明

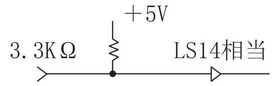
*ACKNLG	*STROBE に対する応答信号です。 データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。
PE	用紙切れを通知する信号です。 用紙が残り少なくなると、この信号は“H”になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。
BUSY	プリンタのビジー状態を通知する信号です。 この信号が“H”のとき、プリンタはビジー状態で、データは受信できません。 以下の状態のとき、この信号は“H”です。 受信データ処理中、アラーム状態、オフライン状態、電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中
SLCT	常に“H”です。
*ERROR	アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。 この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。



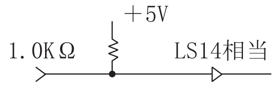
◆ インターフェース回路

・入力回路

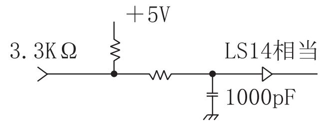
ピン No.	ESC/P モード
2〜9	DATA1〜8



ピン No.	ESC/P モード
14	*AUTOFEED XT

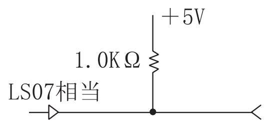


ピン No.	ESC/P モード
1	*STROBE
31	*INIT
34	NC



・出力回路

ピン No.	ESC/P モード
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
15	NC
32	*ERROR
33	SG
18	NC

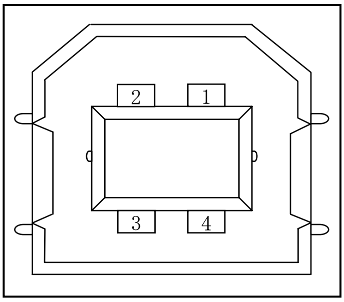


■　USBインターフェース仕様

◆　ケーブル

仕様　　：USB1.1
タイプ　：シールドタイプ
長さ　　：5m以下

◆　コネクタピン配列



Ｎｏ．	信号線名称	機　　能
1	vbus	電源
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

◆　コネクタ仕様

プリンタ側　：typeB レセプタクル（メス）
　　　　　　　アップストリームポート

ケーブル側　：typeB プラグ（オス）

◆　仕　様

基本仕様

USB仕様のRevision1.1準拠
注意）全てのUSBデバイスとの接続を保証するものではありません。

電力制御

セルフパワーデバイス

伝送モード

フルスピード（最大12Mbps+0.25%）

ESC/P モードの制限事項

このプリンタは、FM モードと ESC/P モードの 2 種類のプリンタの動作モードに対応しています。
ここでは、このプリンタを ESC/P モードで運用するときの制限事項について説明します。

◆ サポートコマンド

このプリンタは、ESC/P 24-J84 に準拠していますが、印字方式、解像度の違いによりサポートしていないコマンドがあるので注意してください。
(「ESC/P モードコマンド一覧表」セットアップディスクを参照)

◆ プリンタの動作モードの切り替え

機能設定で、プリンタの動作モードを FM モードまたは、ESC/P モードに設定することができます。
(46 ページ参照)

◆ ソフトウェアの設定

次のプリンタドライバを使用してください。

Windows のとき	: FMPR5110/5010 プリンタドライバ（プリンタ添付）
MS-DOS とき	: VP-1700 または VP-1000 用

初期状態

■ FM モード

電源投入時、*INIT/*INPRM 受信時、およびリセットコマンド(RIS/RBS)受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、*INIT	リセットコマンド
解像度	180dpi	同左
行受信バッファ	クリア	〃
左端、右端の設定	左端＝左端 1 　＝左端 2 　＝1 ドット（始端） 右端＝2448 ドット(終端)	〃
タブ設定（水平，垂直）	すべて解除	〃
ページ長	11 インチ	〃
スキップパーフォレーション行	0 行	〃
改行ピッチ	1/6 インチ	〃
書　体（ANK）	ドラフト	〃
ANK 文字ピッチ	1/10 インチ	〃
ANK 文字サイズ	標準	〃
ANK アンダーライン	なし	〃
スーパ/サブスクリプト指定	解除	〃
プロポーショナル指定	解除	〃
プロポーショナル空白幅	1/10 インチ	〃
書　体	明朝/ゴシック（注	〃
漢字指定	ANK モード	〃
漢字文字ピッチ	3/20 インチ	〃
漢字縦書き	横書き	〃
漢字縦書き時の文字回転	物理的に左 90°回転	〃
半角縦書きの制御	2 文字ペア	〃
漢字アンダーライン	なし	〃
漢字文字サイズ	標準	〃
漢字縦拡大の基準	上端合わせ	〃
罫線接続	接続しない	〃
漢字未定義コード	■ 印字	〃
外字登録	すべてクリア	保　持
フロント/リアシートフィーダ搭載時	用紙排出	同　左
フロント/リアシートフィーダのホッパから吸入する用紙の指定	一般紙	〃

注）　機能設定の「書体」の設定によります。

■ ESC/P モード

電源投入時、*INIT 受信時、およびリセットコマンド(ESC@）受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、*INIT	ESC@
ページ先頭位置	初期化時に印字ヘッドのある位置	同左
印刷バッファ	クリア	〃
メカニズム	印字ヘッドをホームポジションに移動	しない
ダウンロード文字 外字定義文字	クリア	クリアしない
ページ長	11 インチ（注 1）	
ミシン目スキップ	解除（注 1）	
右マージン	136 桁(10CPI の文字幅による)	
左マージン	0	
改行量	1/6 インチ/行（注 1）	
水平タブ位置	8 文字ごとの水平タブ	
垂直タブ位置	無指定	
文字ピッチ	10 文字/インチ（注 1）	
プロポーショナル	解除	
英数カナ文字書体	クーリエ（注 1）	
文字品位	高品位（注 1）	
国際文字選択	日本（注 1）	
文字コード表	カタカナコード表（注 1）	
文字間スペース量	0	
文字装飾	解除	
縮小	解除（注 1）	
漢字モード	解除	
漢字書体	明朝体（注 1）	
縦書き/横書き	横書き	
全角文字/半角文字/・角文字	全角文字	
全角漢字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：3	
半角漢字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：2	
1/4 角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：2	
漢字装飾	解除	
単方向印字	解除（注 1）	
漢字高速印字	解除（注 2）	
カットシートフィーダモード	第 1 ビン選択	

注 1）　機能設定の内容により、初期状態が異なります。上記は、機能設定が出荷時の状態の場合です。

注 2）　ただし、**印字モード/改ページ**スイッチにより高速印字モードにしていた場合、ESC@受信では高速印字を解除しません。

コマンド一覧表

本プリンタで使用できるコマンドについて、簡単に説明します。

お願い

本プリンタでは、1 インチ以上の逆改行を行わないでください。これを行うと、印字が乱れたり、用紙づまりの原因になったりします。

ガイド

フロント/リアシートフィーダ給紙の場合、逆改行のトータル量は 1/3 インチ以下とします。

◆ 表の見方

- ＜　　＞$_{16}$内の文字は 16 進表記です。
- コマンド欄の記号は、次のコードを意味します。
  ESC＝＜1B＞$_{16}$　　CSI＝＜1B＞$_{16}$＋＜5B＞$_{16}$
  CEX＝＜1C＞$_{16}$　　PUI＝＜1B＞$_{16}$＋＜51＞$_{16}$
- ␣は、スペース（空白<20>$_{16}$）を示します。
- Pa、P_1、P_2、…、Pnはパラメータを示します。

■ FM モードコマンド一覧表

このプリンタは、基本ピッチが 1/180 インチです。FM モードでは 180dpi モードで動作します。
また、このプリンタのドット位置は次のとおりです。
始端：1 ドット
終端：2448 ドット

FM モードのコマンドは、下表のとおりです。

※欄の記号は次の意味を表します。
○：本プリンタで使用できる
×：本プリンタではサポートしていない

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
装置制御	リセット	RIS	リセット	ESC+c	プリンタを初期状態にします。 初期状態については「初期状態」(197ページ)を参照してください。	○
		RBS	リセット	CEX+]		
	動作モード設定	DCH	解像度変更指定	PU1+Pa+!+A	解像度を変更します。	×
	装置制御	DC1	デバイス・コントロール 1	<11>$_{16}$	オンライン状態にします。	○
		DC3	デバイス・コントロール 3	<13>$_{16}$	印字後、オフライン状態にします。	
		PDIR	印字方向指定	PU$_1$+Pa+ ␣ + `	印字方向を指定します。 Pa＝　0　両方向印字指定（初期値） 1　片方向印字指定	○
		HSPR	高速印字指定	PU1+Pa+ ␣ + ー	高速印字を指定します。 Pa　＝0　通常印字（初期値） 1　高速印字	
		BEL	ベル	<07>$_{16}$	ブザーが鳴ります。 機能設定の「ブザー」の設定が鳴動しないに設定してある場合は無効です。	○
		CAN	抹消	<18>$_{16}$	バッファ内のデータをクリアします。	
		DEL	削除	<7F>$_{16}$	1 文字削除します。	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
ページ制御	用紙制御	CSF	カットシートフィーダ制御	PU1+Pa+␣+[	カットシートフィーダの動作（吸入・排出）、吸入する用紙の種類と吸入口を指定します。 Pa＝　0　用紙を吸入 1　用紙を排出 10　一般紙 （上端余白約 22.0㎜） （注 1） 11　はがき縦 （上端余白約 12.7㎜） 12　はがき横 （上端余白約 9.7㎜） 20　第 1 ビン 21　第 2 ビン 22　無効	○
		CSF2	カットシートフィーダ制御 2	PU1+Pa+␣+¥	カットシートフィーダの自動給紙を指定します。 Pa＝　0　自動給紙を解除 3　自動給紙を指定	
	印字領域	SPF	自動改ページ指定	PU1+Pa+␣+K	スキップパーフォレーション行を指定します	○
		LMRG	左端指定	PU1+P_1+;+P_2+␣+Q	左端位置を指定します。	
	ページ長設定	PGL1	ページ長指定 1	PU1+Pa+␣+A	行単位でページ長を指定します。	○
		PGL2	ページ長指定 2	PU1+Pa+␣+B	インチ単位でページ長を指定します。	
印字位置制御	基本制御	CR	復帰	<0D>$_{16}$	印字後、受信位置を同一行の左端にします。	○
		BS	後退	<08>$_{16}$	印字後、受信位置を 1 文字分後退します。	
		LF	改行	<0A>$_{16}$	印字後、受信位置を次の行の左端にします。	
		NEL	復改	ESC+E		
		NEL	復改	CEX+@		
		FF	改ページ	<0C>$_{16}$	印字後、受信位置を次のページの左端にします。	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
印字位置制御	ピッチ制御	CP	漢字文字ピッチ指定	CEX+$+Pa	漢字文字ピッチを指定します。	○
		LP	改行ピッチ指定	CEX+%+Pa	改行ピッチを指定します。	
		LP2	改行ピッチ指定 2	PU1+P_1+;+P_2 +␣+G	P1/P2 インチで改行ピッチを指定します。	
		SPI	改行ピッチ/ANK 文字ピッチ指定	CSI+$P1_1$;+P_2 +␣+G	改行ピッチおよび ANK 文字ピッチを指定します。	
	タブ位置設定	HTS	水平タブセット	ESC+H	現在位置に水平タブストップを設定します。	○
		SCT	水平タブセット	CEX+F		
		STF	水平タブ位置指定	CEX+#+P_1+…+Pn	水平タブストップを指定します。	
		HTSA	水平タブ位置指定	CSI+P_1+;+… +Pn+␣+N		
		VTS	垂直タブセット	ESC+J	現在行に垂直タブストップを設定します。	
		SLT	垂直タブセット	CEX+H		
		VTSA	垂直タブ位置指定	PU1+P_1+;+… +Pn+␣+@	垂直タブストップを指定します。	
	タブ位置解除	RCT	水平タブリセット	CEX+G	現在位置の水平タブストップを解除します。 TBC で Pa＝0 を指定したときと同じです。	○
		RLT	垂直タブリセット	CEX+I	現在行の垂直タブストップを解除します。 TBC で Pa＝1 を指定したときと同じです。	
		TBC	タブクリア	CSI+Pa+g	タブストップを解除します。 Pa＝　0　現在位置の水平タブストップを解除 （RCＴと同じ） （初期値） 1　現在行の垂直タブストップを解除 （RLＴと同じ） 3　すべての水平タブストップを解除 4　すべての垂直タブストップを解除	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
印字位置制御	タブ移動	HT	水平タブ	<09>$_{16}$	受信位置を、次の水平タブストップに進めます。	○
		CHBT	水平逆タブ	CEX+D	印字後、受信位置を手前の水平タブストップにします。	
		HPA	絶対水平タブ	CSI+Pa+␣	受信位置を指定した位置にします。	
		HPA2	絶対水平タブ 2	PU1+Pa+␣+P	受信位置を指定します。	
		HPR	相対水平タブ	CSI+Pa+a	受信位置を指定した分だけ進めます。	
		PS	指定間隔	CEX+!+Pa		
		HPB	相対水平逆タブ	CSI+Pa+j	同一行内で、指定した分だけ受信位置を戻します。	
		VT	垂直タブ	<0B>$_{16}$	印字後、受信位置を次の垂直タブストップにします。	
		VPA	絶対垂直タブ	CSI+Pa+d	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。（注 2）	
		VPR	相対垂直タブ	CSI+Pa+e	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。	
		SAP	動作位置指定	CEX+″+P_1+P_2	印字後、受信位置を指定した位置にします。（注 2）	
		HVP	動作位置指定	CSI+P_1+;+P_2+f		
	行組み	LC	行組み指定	CEX+)+P_1+P_2+P_3+P_4	右端、左端 1、左端 2 を指定します。	○
		KNL1	漢字復改 1	CEX+A	印字後、受信位置を次の行の左端 1 にします	
		KNL2	漢字復改 2	CEX+B	印字後、受信位置を次の行の左端 2 にします	
		NPH	段落	CEX+C	印字後、受信位置を次の行の左端から漢字 1 文字分進めます。	
文字印字制御	漢字/ANK	SCS	漢字指定	ESC+$+@	JIS‾78漢字モードを指定します。	○
				ESC+$+B	JIS‾83漢字モードを指定します。	
			ANK 指定	ESC+(+H	ANK モードを指定します。	

<table>
<tr><th colspan="2">機能名称</th><th colspan="2">名　称</th><th>コマンド</th><th>機　能</th><th>※</th></tr>
<tr><td rowspan="12">印字位置制御</td><td rowspan="2">漢字/ANK</td><td>TF</td><td>書体指定</td><td>CEX+(+P_1+P_2</td><td>ANK 文字と漢字文字の書体を指定します。
・レギュラ文字はドラフト文字より印字速度が低下します。
・レギュラ文字で文字ピッチを 1/10 インチ未満にすると文字の右側が欠けることがあります。<table><tr><td></td><td>P_1＝0
(ANK)</td><td>P_1＝1
(漢字)</td></tr><tr><td>P_2＝0</td><td>ドラフト</td><td>明朝</td></tr><tr><td>P_2＝1</td><td>レギュラ</td><td>ゴシック</td></tr></table>←初期値</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>HSS2</td><td>半角指定 2</td><td>PU1+Pa+␣+|</td><td>1 バイト半角文字を指定します。
Pa＝　0　標準文字（ANK 文字）
（初期値）
1　半角文字</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プロポーショナル</td><td>SPS</td><td>欧文ピッチ処理開始</td><td>CEX+T</td><td>プロポーショナル印字を指定します。</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>EPS</td><td>欧文ピッチ処理終了</td><td>CEX+U</td><td>プロポーショナル印字を解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">上つき/下つき文字</td><td>SSP</td><td>上つき文字開始</td><td>CEX+N</td><td>上つき文字を指定します。</td><td rowspan="4">○</td></tr>
<tr><td>ESP</td><td>上つき文字終了</td><td>CEX+O</td><td>上つき文字を解除します。</td></tr>
<tr><td>SSB</td><td>下つき文字開始</td><td>CEX+P</td><td>下つき文字を指定します。</td></tr>
<tr><td>ESB</td><td>下つき文字終了</td><td>CEX+Q</td><td>下つき文字を解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">拡大/縮小</td><td>KGM</td><td>漢字拡大印字指定</td><td>CEX+'+P_1+P_2</td><td>漢字文字の拡大（縮小）印字のサイズを指定します。
SFC コマンドのスケーラブル指定が無効の場合
P_1, P_2の範囲 50, 100, 200%
SFC コマンドのスケーラブル指定が有効の場合
P_1, P_2の範囲 1～999%</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>ANK 倍幅拡大印字指定</td><td>CSI+P_1+;+P_2+␣+B</td><td>ANK 文字の倍幅拡大印字を指定します。
縦方向に 100%、横方向に 100、200% を指定できます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">機能名称</th><th colspan="2">名　称</th><th>コマンド</th><th>機　能</th><th>※</th></tr>
<tr><td rowspan="8">文字印字制御</td><td>拡大/縮小</td><td>SFC</td><td>スケーラブル文字制御</td><td>PU1+P_1+;+P_2+;+P_3+;+P_4+;+P_5+!+Q</td><td>スケーラブル文字を制御します。
P_1＝　0　スケーラブル無効（初期値）
　　　1　スケーラブル有効
P_2＝　0　ドットフォント優先
　　　1　アウトラインフォント優先
P_3＝　0　固定
P_4＝　0　固定
P_5＝　0　200%拡大時にアウトラインフォント使用
　　　1　200%拡大時にドットフォント使用</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">強調</td><td>HL</td><td>カラー/漢字アンダーライン指定</td><td>CEX+*+Pa</td><td>漢字アンダーラインを指定します。
Pa＝　0　通常印字（初期値）
　　　4　漢字アンダーライン
　　　10
　　　13　} 無　効
　　　15
　　　16</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>SGR</td><td>カラー/ANKアンダーライン指定</td><td>CSI+Pa+m</td><td>ANK アンダーラインを指定します。
Pa＝　0　通常印字（初期値）
　　　4　ANK アンダーライン
　　　30
　　　33　} 無　効
　　　35
　　　36</td></tr>
<tr><td rowspan="4">縦書き横書き</td><td>VWF</td><td>漢字縦書き指定</td><td>CEX+J</td><td>漢字の縦書きを指定します。</td><td rowspan="4">○</td></tr>
<tr><td>VWF2</td><td>漢字縦書き指定 2</td><td>PU1+Pa+␣+q</td><td>漢字縦書き時の文字の回転の扱いを指定します。
Pa＝　0　物理的に 90 度回転（初期値）
　　　1　パターンによる最適変換</td></tr>
<tr><td>HWF</td><td>漢字横書き指定</td><td>CEX+K</td><td>漢字の横書きを指定します。</td></tr>
<tr><td>HVWF</td><td>半角文字縦書き指定</td><td>PU1+Pa+␣+p</td><td>漢字縦書き時の半角文字の扱いを指定します。
Pa＝　0　2 文字ペア（初期値）
　　　1　1 文字中心</td></tr>
</table>

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
文字印字制御	その他	KC	罫線接続指定	PU1+Pa+␣+t	罫線接続を指定します。 Pa ＝0 接続しない（初期値） 1 接続する	○
		KUDC	漢字未定義コード	PU1+Pa+␣+x	漢字未定義コードの扱いを指定します。 Pa ＝0 ■印字（初期値） 1 漢字スペース	
		TSS	スペース幅指定	CSI+Pa+␣+E	プロポーショナル文字のときの、スペースコードの幅を指定します。	
イメージデータ印字	イメージ処理	NIMG	イメージ転送	PU1+Pa+␣+W +データ	イメージを印字します。	○
		SIMG	単密度倍幅イメージ転送	PU1+Pa+␣+V +データ	単密度倍幅イメージを印字します。	
		DIMG	倍幅イメージ転送	PU1+Pa+␣+X +データ	倍幅イメージを印字します。	
外字登録	外字登録	CPT	外字登録	CEX+2+0+P_1 +P_2+D_1+ … +D_{144}	24×24 ドットの、ユーザ定義文字を登録します。	○
		CPT2	外字登録 2	CEX+2+1+P_1 +P_2+D_1+ … +D_{576}	48×48 ドットの、ユーザ定義文字を登録します。	×

注 1)　上端余白とは、用紙の先端から印字開始行の文字上端までのことをいいます。

注 2)　このプリンタは、逆改行動作に制限があります（188ページ参照）。印字位置に誤差が生じたり、他のプリンタでは逆改行動作をできなかったり場合がありますので、逆改行動作を伴うコマンドは使用しないことをお奨めします。

【非推奨コマンド】

以下のコマンドは逆改行動作を伴います。

このプリンタは、逆改行動作に制限があります。（188ページ参照）印字位置に誤差が生じたり、他のプリンタでは逆改行動作をできない場合がありますので、以下のコマンドは使用しないことをおすすめします。

<table>
<tr><th colspan="2">機能名称</th><th colspan="2">名　称</th><th>コマンド</th><th>機　能</th><th>※</th></tr>
<tr><td rowspan="5">非推奨コマンド</td><td rowspan="2">逆改行タブ</td><td>LBT</td><td>垂直逆タブ</td><td>CEX+E</td><td>印字後、受信位置を手前の垂直タブストップの左端にします。</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>VPB</td><td>相対垂直逆タブ</td><td>CSI+Pa+k</td><td>印字後、指定した行だけ逆改行して受信位置を左端にします。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">印字位置</td><td>KSM</td><td>漢字モードセット</td><td>CEX+ー+t</td><td>文字中心合わせを指定します。</td><td rowspan="3">○</td></tr>
<tr><td>KRM</td><td>漢字モードリセット</td><td>CEX+.+t</td><td>文字下端合わせを指定します。</td></tr>
<tr><td>KUPF</td><td>漢字基準線指定</td><td>PU1+Pa+␣+d</td><td>文字中心/下端/上端合わせを指定します。</td></tr>
</table>

■ ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

機能名称		名　称	コマンド	機　能
書式設定・実行	印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC＋C＋Pa	行単位でページ長を設定します。
		インチ単位ページ長設定	ESC＋C＋NUL＋Pa	インチ単位でページ長を設定します。
		ミシン目スキップ設定	ESC＋N＋Pa	ページ長下端からのミシン目スキップ位置を設定します。
		ミシン目スキップ解除	ESC＋O	ミシン目スキップ設定を解除します。
		右マージン設定	ESC＋Q＋Pa	右マージン位置を桁数で設定します。
		左マージン設定	ESC＋ l ＋Pa	左マージン位置を桁数で設定します。
	改行量設定	1/8 インチ改行量指定	ESC＋0	改行量を 1/8 インチに設定します。
		1/6 インチ改行量指定	ESC＋2	改行量を 1/6 インチに設定します。
		n/180 インチ改行量指定	ESC＋3＋Pa	改行量をPa/180インチに設定します。
		n/60 インチ改行量指定	ESC＋A＋Pa	改行量を Pa/60 インチに設定します。
		n/360 インチ改行量指定	ESC＋ ＋ ＋Pa	改行量をPa/360インチに設定します。
	タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC＋B＋P_1＋P_2 ＋ … Pn ＋NUL	ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
		水平タブ位置設定	ESC＋D＋P_1＋P_2 ＋ … Pn ＋NUL	左マージン位置からの水平タブ位置を設定します。
		VFU チャネル選択	ESC＋/＋Pa	チャネル番号を指定します。
		VFU タブ位置設定	ESC＋ b ＋Pa＋P_1＋…Pn＋NUL	Pa で指定されたチャネル番号に対して、ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
	印字・紙送り	印字復帰	CR	バッファ内のデータを印字後、受信位置を同一行の左マージン位置にします。
		改行	LF	バッファ内のデータを印字後、現在の改行ピッチに従って受信位置を次行の左マージン位置にします。
		改ページ	FF	バッファ内のデータを印字後、設定されているページ長にしたがって改ページします

機能名称			名　称	コマンド	機　能
書式設定・実行	印字・紙送り		n/180 インチ順方向紙送り	ESC＋J＋Pa	1/180 インチ単位で、受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
	印字位置設定		水平タブ実行	HT	受信位置を同一行の次の水平タブ位置へ移動します。
			垂直タブ実行	VT	バッファ内のデータを印字後、受信位置を次の垂直タブ位置の左マージン位置へ移動します。
			後退	BS	受信位置を直前の文字の文字ピッチに従って 1 文字分左へ移動します。
			絶対位置指定	ESC＋$＋$P_1$＋$P_2$	受信位置を左マージン位置からの移動量で指定します。
			相対位置指定	ESC＋¥＋P_1＋P_2	受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
テキスト処理	ANK 文字	文字セット	12CPI 指定	ESC＋M	ANK 文字のピッチを 12CPI に設定します
			10CPI 指定	ESC＋P	ANK 文字のピッチを 10CPI に設定します。
			15CPI 指定	ESC＋ g	ANK 文字のピッチを 15CPI に設定します。
			プロポーショナル指定/解除	ESC＋ p ＋Pa	プロポーショナル印字の指定、解除を行います。
			国際文字選択	ESC＋R＋Pa	各国別の文字セットを選択します。
			スーパー/サブスクリプト指定	ESC＋S＋Pa	ANK 文字のスーパー/サブスクリプトを指定します。
			スーパー/サブスクリプト解除	ESC＋ T	スーパー/サブスクリプトの指定を解除します。
			文字品位選択	ESC＋ x ＋Pa	ANK 文字の文字品位を指定します。
			書体選択	ESC＋ k ＋Pa	ANK 文字の書体を指定します。
			文字コード表選択	ESC＋ t ＋Pa	ANK 文字のコード表を選択します。
		文字定義	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC＋％＋Pa	ANK 文字のダウンロード文字セットの指定、解除を行います。
			ダウンロード文字定義	ESC ＋ & ＋ NUL＋P_1 ＋P_2＋｛Pa_1＋Pb_1＋Pc_1＋D_1 ～Dn｝ ×n	ダウンロード文字を定義するコードを指定し、定義開始コードおよび定義終了コードを指定します。
			文字セットコピー	ESC＋：＋NUL ＋P_1＋P_2	ダウンロード文字セットへコピーする書体を選択します。

機能名称			名　称	コマンド	機　能
テキスト処理	ANK 文字	文字ピッチ調整	文字間スペース量設定	ESC＋␣＋Pa	ANK 文字幅に付加するスペース量を指定します。
		位置揃え選択	位置揃え選択	ESC＋ａ＋Pa	文字の印字位置の揃えかたを指定します。
		装飾	縮小指定	SI	ANK 文字の縮小印字を指定します。
			縮小指定	ESC＋SI	
			縮小解除	DC2	ANK 文字の縮小印字指定を解除します。
			アンダーライン指定/解除	ESC＋－＋Pa	ANK 文字のアンダーラインの指定、解除を行います。
			縦倍拡大指定/解除	ESC＋ｗ＋Pa	ANK 文字の縦倍拡大の指定、解除を行います。
	共通	装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
			自動解除付き倍幅拡大指定	ESC＋SO	
			自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
			倍幅拡大指定/解除	ESC＋W＋Pa	ANK および漢字文字の倍幅拡大の指定、解除を行います。
			強調指定	ESC＋E	ANK および漢字文字の強調文字を指定します。
			強調解除	ESC＋F	ANK および漢字文字の強調文字指定を解除します。
			二重印字指定	ESC＋G	ANK および漢字文字の二重印字を指定します。
			二重印字解除	ESC＋H	ANK および漢字文字の二重印字指定を解除します。
			自動解除付き倍幅拡大指定	FS＋SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
			自動解除付き倍幅拡大解除	FS＋DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
			一括指定	ESC＋！＋Pa	ANK 文字および漢字の文字修飾を一括指定します。

機能名称			名　称	コマンド	機　能
テキスト処理	共通	装飾	イタリック指定	ESC＋4	ANK および漢字文字のイタリック印字を指定します。
			イタリック解除	ESC＋5	ANK および漢字文字のイタリック印字指定を解除します。
			文字スタイル選択	ESC＋ q ＋Pa	ANK および漢字文字の文字スタイルを選択します。
	漢字	装飾	縦書き指定	FS＋J	漢字文字の縦書きを指定します。
			横書き指定	FS＋K	漢字文字の横書きを指定します。
			半角縦書き 2 文字指定	FS＋D	漢字文字2文字の半角組み文字を指定します。
			4 倍角指定/解除	FS＋W＋Pa	漢字文字の 4 倍角の指定、解除を行います。
			漢字アンダーライン指定/解除	FS＋－＋Pa	漢字アンダーラインの指定、解除を行います。
			漢字一括指定	FS＋！＋Pa	漢字文字およびANK文字の文字修飾を一括指定します。
		文字セット	漢字モード指定	FS＋＆	漢字モードを指定します。
			漢字モード解除	FS＋.	漢字モードの指定を解除します。
			半角文字指定	FS＋SI	漢字文字の半角印字を指定します。
			半角文字解除	FS＋DC2	漢字文字の半角印字指定を解除します。
			1/4 角文字指定	FS＋ r ＋Pa	漢字文字の1/4角文字の印字を指定します。
			漢字書体選択	FS＋ k ＋Pa	漢字文字の書体を選択します。
		文字定義	外字定義	FS＋2＋P_1＋P_2＋D_1～D_{72}	外字登録コード、登録パターンを指定します。
		文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS＋S＋P_1＋P_2	漢字全角文字に付加するスペース量を指定します。
			半角文字スペース量設定	FS＋T＋P_1＋P_2	漢字半角文字および 1/4 角文字に付加するスペース量を指定します。
			半角文字スペース量補正	FS＋U	漢字半角文字のスペース量を2文字ごとに補正します。
			半角文字スペース量補正解除	FS＋V	漢字半角文字のスペース量補正の指定を解除します。

機能名称		名　称	コマンド	機　能
イメージ処理		8 ドット単密度ビットイメージ	ESC＋K＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8 ビット単密度のビットイメージを指定します。
		8 ドット倍密度ビットイメージ	ESC＋L＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8 ビット倍密度のビットイメージを指定します。
		8 ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC＋Y＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8 ビット倍速倍密度のビットイメージを指定します。
		8 ドット 4 倍密度ビットイメージ	ESC＋Z＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8 ビット 4 倍密度のビットイメージを指定します。
		ビットイメージ選択	ESC＋＊＋Pa＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	ビットイメージのモードおよびカラム数を指定します。
		ビットイメージ変換	ESC＋？＋P_1＋P_2	8 ビット系のビットイメージ(ESC＋K,ESC＋L,ESC＋Y,ESC＋Z)のビットイメージを変換します。
補助機能	初期化	初期化	ESC＋＠	プリンタを初期状態にします。
	キャリッジ制御	単方向印字指定/解除	ESC＋U＋Pa	単方向印字の指定、解除を行います。
		漢字高速印字指定/解除	FS＋x＋Pa	漢字高速印字の指定、解除を行います。
		リターンホーム	ESC＋＜	プリントヘッドを左端まで移動します。
	データ入力制御	デバイスコントロール1	DC1	プリンタを選択状態にします。
		デバイスコントロール3	DC3	プリンタを非選択状態にします。
		1 文字削除	DEL	直前のデータを1文字クリアします。
		データ抹消	CAN	バッファ内のデータをクリアします。
	CSF 制御	カットシートフィーダ制御	ESC＋EM＋Pa	プリンタの給紙方法を選択します。
	カラー選択	カラー選択	ESC＋r＋Pa	このコマンドは無効です。
	ブザー	ブザー	BEL	ブザーを鳴動させます。

キャラクタコード一覧表

■ FM モードキャラクタコード一覧表

FM モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	╳
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	CEX	,	<	L	¥	l	|	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	‾	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F			/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

■　ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

◆　カタカナコード

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	'	p	_	┴		ー	タ	ミ	═	×
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▁	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	”	2	B	R	b	r	▂	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▃	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▄	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▅	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▆	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		’	7	G	W	g	w	▇	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	█	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F	SI		/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

注 1)　〈15〉$_{16}$を除く、〈00〉$_{16}$～〈7F〉$_{16}$はカタカナコード、拡張グラフィックスコードに共通です。

注 2)　〈23〉$_{16}$、〈24〉$_{16}$、〈40〉$_{16}$、〈5B〉$_{16}$～〈5E〉$_{16}$、〈60〉$_{16}$、〈7B〉$_{16}$～〈7E〉$_{16}$のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

国 / コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅰ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅱ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

◆ 拡張グラフィックスコード

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	μ	÷
7	BEL		'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	•
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	^{n}
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	ϕ	^{2}
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	≪	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		／	?	O	＿	o		Å	ƒ	≫	┐	╧	▀	∩	SP

注）　〈23〉$_{16}$、〈24〉$_{16}$、〈40〉$_{16}$、〈5B〉$_{16}$〜〈5E〉$_{16}$、〈60〉$_{16}$、〈7B〉$_{16}$〜〈7E〉$_{16}$のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

コード 16進 国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅰ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅱ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

非漢字一覧表

モードによって、コードが割り当てられている文字が異なるものがありますので、注意してください。

◆ FM モードおよび ESC/P モード共通文字コード一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

区$ ＼ 点$	20 (0)	21 (1)	22 (2)	23 (3)	24 (4)	25 (5)	26 (6)	27 (7)	28 (8)	29 (9)	2A (10)	2B (11)	2C (12)	2D (13)	2E (14)	2F (15)	30 (16)	31 (17)	32 (18)	33 (19)	34 (20)	35 (21)	36 (22)	37 (23)	38 (24)	39 (25)	3A (26)	3B (27)	3C (28)	3D (29)	3E (30)	3F (31)
20 (0)																																
21 (1)		蛩	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22 (2)		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23 (3)																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24 (4)		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25 (5)		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26 (6)		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27 (7)		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э

区$ ＼ 点$	40 (32)	41 (33)	42 (34)	43 (35)	44 (36)	45 (37)	46 (38)	47 (39)	48 (40)	49 (41)	4A (42)	4B (43)	4C (44)	4D (45)	4E (46)	4F (47)	50 (48)	51 (49)	52 (50)	53 (51)	54 (52)	55 (53)	56 (54)	57 (55)	58 (56)	59 (57)	5A (58)	5B (59)	5C (60)	5D (61)	5E (62)	5F (63)
20 (0)																																
21 (1)	＼	〜	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22 (2)	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23 (3)		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24 (4)	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25 (5)	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26 (6)		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27 (7)	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н

区$ ＼ 点$	60 (64)	61 (65)	62 (66)	63 (67)	64 (68)	65 (69)	66 (70)	67 (71)	68 (72)	69 (73)	6A (74)	6B (75)	6C (76)	6D (77)	6E (78)	6F (79)	70 (80)	71 (81)	72 (82)	73 (83)	74 (84)	75 (85)	76 (86)	77 (87)	78 (88)	79 (89)	7A (90)	7B (91)	7C (92)	7D (93)	7E (94)
20 (0)																															
21 (1)	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22 (2)	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23 (3)		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24 (4)	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25 (5)	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26 (6)																															
27 (7)	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													

注 1）　区点コードは点の部分を加算して求めます。%の区点コードは 0180 ＋03 で 0183 となります。区点コードは 10 進数です。例えば、%の JIS コードは 2173 と読みます。実際の使用には、″&H″をつけて、「&H2173」とします。

注 2）　コード表の空白部分を印字させますと、何らかの文字が出力される場合があります。

◆ FM モード文字コード一覧表

JIS-78モード外字登録領域

区$ \ 点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28 8	※																															
29 9	※																															

区$ \ 点$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28 8																																
29 9																																

区$ \ 点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
区	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
28 8																																※
29 9																																※

注） ※部(2820, 287F, 2920, 297F)は登録できません。

JIS-83モード

追加文字

区$ \ 点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28 8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸

区$ \ 点$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28 8	╂																															

区$ \ 点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
74 84		堯	槇	遙	瑤																											

外字登録領域

区$	区 \ 点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
29	9	※																															
2A	10	※																															

区$	区 \ 点$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
29	9																																
2A	10																																

区$	区 \ 点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
29	9																																※
2A	10																																※

注 1）　※部（2920, 297F, 2A20, 2A7F）は登録できません。
注 2）　JIS[-83]の 2A21～2A7EとJIS[-78]の 2821～287Eは同一エリアです。

半角漢字

区$	区 \ 点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2D	13		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2E	14		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
2F	15	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯

区$	区 \ 点$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2D	13	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	〔	¥	〕	^	_
2E	14	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
2F	15																																

区$	区 \ 点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
2D	13	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾
2E	14	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	／	＼	×	円	年	月	日	時	分	秒	〒	市	区	町	村	人	▒
2F	15																															

◆ ESC/P モード文字コード一覧表

区$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点$ / 点		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
～⋮	⋮～～																																～
74	80		堯	槇	遙	瑤	凜	熙																									

区$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
点$ / 点		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28	8	╂																															

区$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点$ / 点		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	

区$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
点$ / 点		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻

区$	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
点$ / 点		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		

外字登録領域

区$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
	点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
77	87	※																															
78	88	※																															

区$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	点	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
77	87																																
78	88																																

区$	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
	点	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
77	87																																※
78	88																																※

注）　※部（7720, 777F, 7820, 787F）は登録できません。

JIS-90第一水準漢字一覧表

JISコードはすべて16進形式

区$＼点$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

注）　「茜」のJISコードは302Bと読みます。実際の使用には、″&H″をつけて、「&H302B」とします。

区$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	点	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	╂																															
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E	14																																
2F	15																																
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

区$ \ 点$	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																															
2F	15																															
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	樫	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

JIS-90第二水準漢字一覧表

区 $	区	20 (0)	21 (1)	22 (2)	23 (3)	24 (4)	25 (5)	26 (6)	27 (7)	28 (8)	29 (9)	2A (10)	2B (11)	2C (12)	2D (13)	2E (14)	2F (15)	30 (16)	31 (17)	32 (18)	33 (19)	34 (20)	35 (21)	36 (22)	37 (23)	38 (24)	39 (25)	3A (26)	3B (27)	3C (28)	3D (29)	3E (30)	3F (31)
50	48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	競
52	50		辨	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	51		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	54		屐	屏	屓	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	58		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	59		曄	曉	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	60		椙	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	66		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	68		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65	69		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	76		譟	譬	譯	譫	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	77		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髫	髯	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84		堯	槇	遙	瑤																											
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区$ \ 点$		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
50	48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	50	卆	卅	卋	卉	卍	準	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	52	埒	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	53	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	54	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	55	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	56	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	59	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	60	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	61	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	63	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	64	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	65	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	66	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	67	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	68	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	69	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	70	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	71	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	72	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	73	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	74	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	75	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	76	貎	貔	豺	貘	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	77	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	78	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	79	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	80	雯	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	81	饑	饒	饌	饗	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区＼点	60/64	61/65	62/66	63/67	64/68	65/69	66/70	67/71	68/72	69/73	6A/74	6B/75	6C/76	6D/77	6E/78	6F/79	70/80	71/81	72/82	73/83	74/84	75/85	76/86	77/87	78/88	79/89	7A/90	7B/91	7C/92	7D/93	7E/94
50/48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51/49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52/50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53/51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54/52	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55/53	宀	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56/54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57/55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58/56	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59/57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A/58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B/59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C/60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D/61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E/62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F/63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60/64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61/65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62/66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63/67	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64/68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65/69	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66/70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67/71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68/72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69/73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A/74	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B/75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C/76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D/77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E/78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F/79	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70/80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71/81	驃	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72/82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73/83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74/84																															
75/85																															
76/86																															
77/87																															
78/88																															
79/89																															
7A/90																															
7B/91																															
7C/92																															
7D/93																															
7E/94																															

■　ご注意

このプリンタが印字する漢字はJIS C6226-1983（情報交換用漢字符号系）に準拠していますが、JIS C6234-1983（ドットプリンタ用 24 ドット字形）は採用していません。したがって、コンピュータ本体の表示画面の文字および記号なども必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。
JIS C6234-1983 の字体との違いはおおむね次の表の通りです。

JISコード（区点）	ﾌﾟﾘﾝﾀ	JIS	JISコード（区点）	ﾌﾟﾘﾝﾀ	JIS	JISコード（区点）	ﾌﾟﾘﾝﾀ	JIS
3022(1602)	啞	唖	3979(2589)	甑	甑	4578(3788)	禱	祷
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榊	榊	4642(3834)	瀆	涜
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	瀞	瀞
3135(1721)	蔚	蔚	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	楢	楢
3139(1725)	廐	厩	3B2C(2712)	錆	錆	4729(3909)	禰	禰
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	囊	嚢
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屡	482E(4014)	潑	溌
316B(1775)	焰	焔	3D2B(2911)	繡	繍	4830(4016)	醱	醗
322A(1810)	鷗	鴎	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頰	頬
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蒋	4B70(4380)	鱒	鱒
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醬	醤	4C4D(4445)	麵	麺
337A(1990)	囓	噛	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餠	餅
3442(2034)	澗	澗	4066(3270)	蟬	蝉	4D32(4518)	猷	猷
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	噌	噌	4D69(4573)	萊	莱
3622(2202)	俠	侠	4169(3373)	瘦	痩	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驒	騨	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	躯	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蝋
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屛	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	簞	箪	5960(5764)	捩	捩
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	摑	掴	5A39(5825)	攢	攅
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	綟	綟
3834(2420)	鹼	鹸	4536(3722)	塡	填			
396D(2577)	麴	麹	453F(3731)	顚	顛			

◆ 第一水準と第二水準が入れ替わった文字

コード（区点）	新第1水準	新第2水準	コード（区点）	コード（区点）	新第1水準	新第2水準	コード（区点）
3083 (1619)	鯵	鰺	724D (8245)	4128 (3308)	賎	賤	6C4D (7645)
3229 (1809)	鴬	鶯	7274 (8284)	445B (3659)	壷	壺	5464 (5268)
3342 (1934)	蛎	蠣	695A (7358)	4557 (3755)	砺	礪	626A (6674)
3349 (1941)	撹	攪	5978 (5788)	456E (3778)	梼	檮	5B6D (5977)
3376 (1986)	竃	竈	635E (6762)	4573 (3783)	涛	濤	5E39 (6225)
3443 (2035)	潅	灌	5E75 (6285)	4676 (3886)	迩	邇	6D6E (7778)
3452 (2050)	諌	諫	6B5D (7561)	4768 (3972)	蝿	蠅	6A24 (7404)
375B (2359)	頚	頸	7074 (8084)	4930 (4116)	桧	檜	5B58 (5956)
395C (2560)	砿	礦	6268 (6672)	4B79 (4389)	侭	儘	5056 (4854)
3C49 (2841)	蕊	蘂	6922 (7302)	4C79 (4489)	薮	藪	692E (7314)
3F59 (3157)	靭	靱	7057 (8055)	4F36 (4722)	篭	籠	6446 (6838)

◆ 第二水準に追加された文字

コード（区点）	追加文字	コード（区点）	追加文字
7421 (8401)	堯	7424 (8404)	瑤
7422 (8402)	槇	7425 (8405)	凜
7423 (8403)	遙	7426 (8406)	熙

注）　「凜」と「熙」の 2 文字は ESC/P モードではサポートされていません。

ソフトウェア編

第1章

ソフトウェアの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことがらおよびインストール方法について説明します。

添付ソフトウェアの機能 ………………… 234
添付ソフトウェアの動作環境 …………… 236
プリンタの動作環境 …………………… 236
パソコンの接続方法 …………………… 237
CD-ROMの内容………………………… 238
　プリンタドライバセットアップディスク…‥238
ソフトウェアのインストール …………… 240
プリンタドライバのインストール ……… 241
　Windows 7/2008 R2のとき ……………241
　Windows Server 2008のとき …………255
　Windows Vistaのとき …………………267
　Windows Server 2003のとき …………279
　Windows XPのとき ……………………291
　Windows 2000のとき …………………303
　Windows NT 4.0のとき ………………316
　Windows Meのとき ……………………323
　Windows 98のとき ……………………336
FMPRプリンタユーティリティのインストール・ 350
　初めてインストールするとき……………351
　FMPRプリンタユーティリティを
　　メンテナンスするとき ………………354

添付ソフトウェアの機能

◆　プリンタドライバ

Windows 環境でプリンタ装置をお使いいただくには、プリンタドライバが必要になります。
FMPR5110G/5010 プリンタ装置では、Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 用に専用のプリンタドライバを用意しています。
プリンタドライバのインストール方法および設定方法については、『ソフトウェア編』の「第１章　ソフトウェアの概要」、「第２章　プリンタドライバの設定」をお読みください。

◆ FMPR プリンタユーティリティ

Windows 環境でプリンタ装置をより使いやすくするソフトウェアで、プリンタ装置の状態を監視する FMPR ステータスモニタとプリンタ装置の機能設定と消耗品管理を行う FMPR リモートパネルがあります。

ガイド

- プリンタとの接続インターフェースが、パラレルまたは USB 接続の場合、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定しておく必要があります。
- FMPR プリンタユーティリティは、パラレル→USB など変換ケーブルで接続している場合との組み合わせでは、動作しません。

○FMPR ステータスモニタ

「FMPR ステータスモニタ」は、パソコンとプリンタ間での双方向通信機能を利用して動作するユーティリティです。
「FMPR ステータスモニタ」は、パラレルまたは USB インターフェースで動作します。
「FMPR ステータスモニタ」をパソコンにインストールし起動すると、プリンタにエラーが発生したときにパソコン画面にエラー情報、対処方法がポップアップ表示されます。
「FMPRステータスモニタ」のインストール方法および設定方法については、本章の「FMPRプリンタユーティリティのインストール」(350ページ)をお読みください。「FMPRステータスモニタ」の機能については、「第３章　FMPRステータスモニタ」（421 ページ）をお読みください。

○FMPR リモートパネル

「FMPR リモートパネル」とは、プリンタの機能設定および、消耗品の管理を行うことができるユーティリティソフトウェアです。
FMPR「リモートパネル」はパラレル、USB または LAN（オプションの FMPR-LN1G を使用し、添付の PR-PortManager が動作している場合）インターフェースで動作し、パソコンとプリンタ間での双方向機能を利用して動作します。
「FMPRリモートパネル」のインストール方法については、本章の「FMPRプリンタユーティリティのインストール」(350ページ)をお読みください。「FMPRリモートパネル」の機能については、「第４章　FMPRリモートパネル」（427 ページ）をお読みください。

ガイド

- プリンタとの接続インターフェースが LAN（オプションの FMPR-LN1G 使用時）接続の場合は、プリンタドライバの双方向通信機能を無効に設定してください。

添付ソフトウェアの動作環境

対象機種	対応ＯＳ
FMV シリーズ 各社 DOS/V 互換機	Windows 7　（日本語版）
	Windows Server 2008 R2　（日本語版）
	Windows Vista　（日本語版）
	Windows Server 2008　（日本語版）
	Windows XP　（日本語版）
	Windows Server 2003　（日本語版）
	Windows 2000　（日本語版）
	Windows NT 4.0　（日本語版）
	Windows Me　（日本語版）
	Windows 98　（日本語版）

注意事項

・パソコンの BIOS 設定について
本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は必ず「Bidirectional（双方向）」にしてご使用ください。
確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。

・USB 接続
本プリンタの USB インターフェースは、USB1.1 仕様です。
本プリンタを接続するパソコンが USB 機器に対応していることを確認してください。
確認方法は、パソコンのマニュアルを参照してください。

プリンタの動作環境

・本プリンタドライバは ESC/P モードで動作します。プリンタのモード設定を必ず「ESC/P モード」にしてご使用ください。

・FMPR5110G/5010 用のプリンタドライバは、モノクロ専用のプリンタドライバです。

・MetaFrame 環境で運用する場合には、添付 CD-ROM 内の指定ドライバを使用してください。詳細は、CD-ROM 内の MetaFrame フォルダの Readme.txt を参照してください。

パソコンの接続方法

パソコンとプリンタの接続方法、およびプリンタドライバのインストール手順は、接続するインターフェースによって異なります。

○パラレルインターフェースによる接続

・パソコン
双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2
・セットアップ方法
プリンタドライバのセットアップ方法は、本書の「プリンタドライバのインストール（241ページ）」をお読みください。

○USB による接続

・パソコン
USB1.1 インターフェースを内蔵する PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2
・セットアップ方法
プリンタドライバのセットアップ方法は、本書の「プリンタドライバのインストール（241ページ）」をお読みください。

ガイド

・本プリンタドライバは、他機種のプリンタで使用することはできません。また同様に、他機種用のプリンタドライバを本プリンタで使用することはできません。
・本プリンタは次のオプション品によりパソコンとの LAN 接続が可能です。
　1）プリンタ LAN カード　(FMPR-LN1G)
詳細は、「オプション品のご紹介」および各オプションのマニュアルをお読みください。

CD-ROM の内容

■ プリンタドライバセットアップディスク

「プリンタドライバセットアップディスク」は以下の内容になっています。

プリンタドライバの Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報や、最新情報が記載されています。プリンタドライバをセットアップする際には、必ずお読みください。

```
FMPR シリーズセットアップディスク
│
├─ Readme.txt              プログラムの説明が書かれているファイルです。　はじめにお読みください。
│
├─ FMPRSTART.EXE           Windows 7/2008 R2 用のプリンタドライバインストールプログラムです。
├─ FMPRSTART.INI           Windows 7/2008 R2 用のプリンタドライバインストールプログラム情報
│                          ファイルです。
├─ はじめにお読みください.pdf  Windows 7/2008 R2 用のプリンタドライバインストールガイドです。
│                          Windows 7/2008 R2 にプリンタドライバをインストールするときは、はじめにお
│                          読みください。
├─ F5ESETUP.EXE            FMPR5310EG の Windows 7/2008 R2 用のプリンタドライバのインストールプ
│                          ログラムです。
├─ F5SETUP.EXE             FMPR5610G/5410G/5110G/5010 の Windows 7/2008 R2 用のプリンタド
│                          ライバのインストールプログラムです。
│
├─ Drivers                 プリンタドライバが格納されているフォルダです。
│    │
│    ├─ FMPR5X10           FMPR5610G/5410G/5110G/5010 プリンタドライバが格納されている
│    │    │                フォルダです。
│    │    │
│    │    ├─ Win2k         Windows 2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 用のプリンタドライバが
│    │    │    │           格納されているフォルダです。
│    │    │    └─ Readme.txt   プログラムの説明が書かれているファイルです。
│    │    ├─ Win98Me       Windows 98/Me 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
│    │    │    └─ Readme.txt   プログラムの説明が書かれているファイルです。
│    │    ├─ Winnt40       Windows NT 4.0 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
│    │    │    └─ Readme.txt   プログラムの説明が書かれているファイルです。
│    │    └─ MetaFrame     MetaFrame 対応プリンタドライバ　が格納されているフォルダです。
│    │         ├─ Readme.txt   MetaFrame プログラムの説明が書かれているファイルです。
│    │         ├─ Winnt 40     Windows NT 4.0 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
│    │         │    └─ Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです
│    │         └─ Win2k        Windows 2000/2003 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
│    │              └─ Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです。
│    └─ Readme.txt         プリンタを共有するときの説明が書かれているファイルです。
│
```

```
├─ FMPRUTY                    FMPR プリンタユーティリティが格納されているフォルダです。
│   └─ Setup.exe              ユーティリティソフトのセットアッププログラムです。FMPR ステータスモニタと
│                             FMPR リモートパネルがインストールされます。
│
└─ Manual                     PDF 形式のオンラインマニュアルが格納されているフォルダです。
    ├─ 5110_5010
    │   └─ INDEX.pdf          FMPR5110G/5010 プリンタのオンラインマニュアルです。
    └─ 5610_5410_5310E
        └─ INDEX.pdf          FMPR5610G/5410G/5310EG プリンタのオンラインマニュアルです。
```

ソフトウェアのインストール

「プリンタドライバ セットアップディスク」にはプリンタドライバとFMPRプリンタユーティリティが格納されています。

インストールは、

1. プリンタドライバのインストール
2. FMPRプリンタユーティリティのインストール

の順に行ってください。

ガイド

・末尾に「G」の付く機種名のプリンタドライバは、同一名称の「G」の付かないプリンタドライバを選択してください。

プリンタドライバのインストール

■ Windows 7/2008 R2 のとき

ここでは、Windows 7/2008 R2 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows 7 Professional の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタをプラグアンドプレイで検出するか、プリンタフォルダから手動で指定するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
以下の手順では、FMPR5110G を例に説明しています。
FMPR5010 プリンタをお使いの場合は、“FMPR5110”を“FMPR5010”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 7/2008 R2 のバージョンや Edition によっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 64 ビット版 Windows 7 をお使いの場合も、本手順でインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5110、FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110、FUJITSU FMPR5010 プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows 7/2008 R2 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

Windows 7/2008 R2 では、「FMPR5X10G プリンタドライバセットアップ」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。

お願い

- プリンタとパソコンを接続する前に、セットアッププログラムを使用して、プラグアンドプレイの準備(プリンタドライバを特定の場所に準備)した上で、プラグアンドプレイ(パソコンとプリンタを接続)により、プリンタドライバをインストールする必要があります。
- プラグアンドプレイの準備をする前に、プリンタとパソコンを接続してしまったときは、『ソフトウェア編』の「第５章　こんなときは」(441 ページ)を参照してください。

ガイド

- プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
- インストール中、「ユーザーアカウント制御」ダイアログに、「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示される場合がありますので、〔はい〕をクリックしてください。

1 **コンピュータの管理者権限を持ったユーザで Windows 7 または Windows Server 2008 R2 にログオンする**

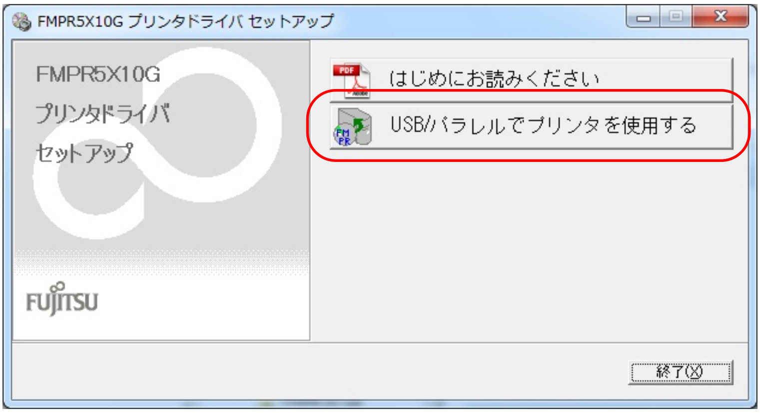
2 **セットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

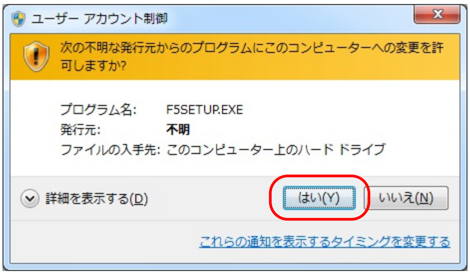
ガイド

- ホームページからダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、ダウンロードしたドライバデータフォルダ内の「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

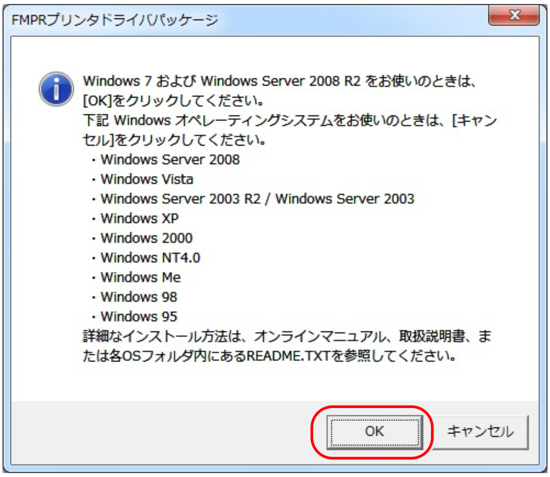
3 「FMPR5X10G プリンタドライバセットアップ」の画面が表示されたら、[USB/パラレルでプリンタを使用する]をクリックする



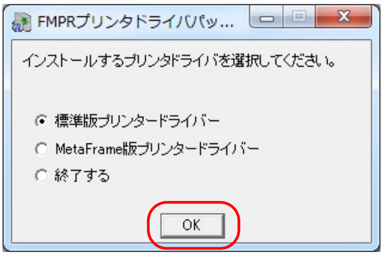
4 「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、〔はい〕を選択する



5　「FMPR プリンタドライバパッケージ」の画面が表示されますので、〔OK〕ボタンをクリックする



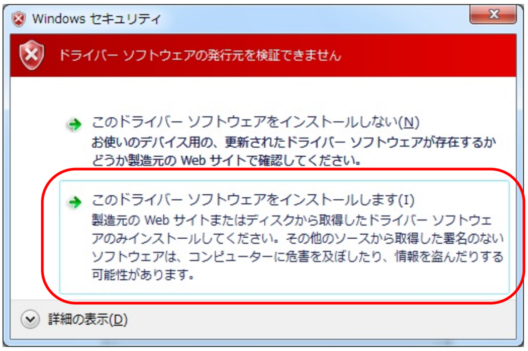
6　「インストールするプリンタドライバを選択してください。」の画面が表示されたら、表示メニューに従って、インストールするプリンタドライバを選択し、〔OK〕ボタンをクリックする



ガイド

・プリンタドライバを追加しないときは、「終了する」を選択します。終了後に再度プリンタドライバをインストールしたいときは、手順 *1* からやり直してください。

7 「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバーソフトウェアをインストールします〕をクリックする

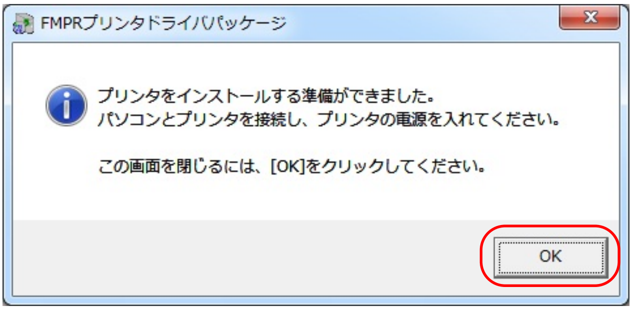


8 ファイルのコピーが開始される

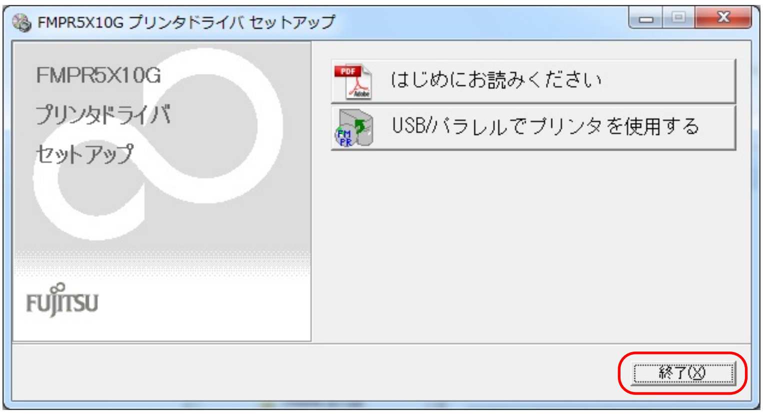
ガイド

・手順 *9* の画面が表示されるまで、お待ちください。

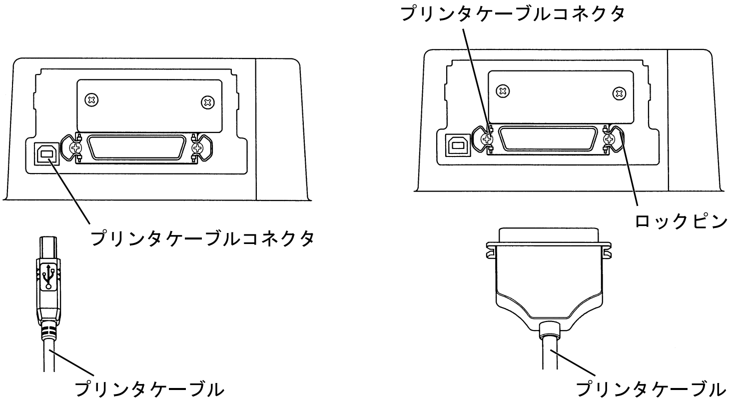
9 「プリンタをインストールする準備ができました。」と、プラグアンドプレイの準備が完了したことを示す画面が表示されたら、〔OK〕をクリックする



10 「FMPR5X10G プリンタドライバセットアップ」画面に戻りますので、〔終了〕をクリックする



１１ プリンタの電源が OFF になっていることを確認し、プリンタとパソコンを USB ケーブルまたはパラレルインターフェースケーブルで接続し、プリンタの電源を入れる



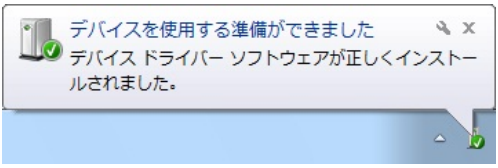
１２ 画面右下の通知領域に「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と表示され、しばらくすると、「FUJITSU FMPR5110 デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました。」と表示される



ガイド

・プリンタは、”FUJITSU FMPR5110”として表示されます。

・USB インターフェースで接続したときは、「デバイスを使用する準備ができました。」と表示されます。



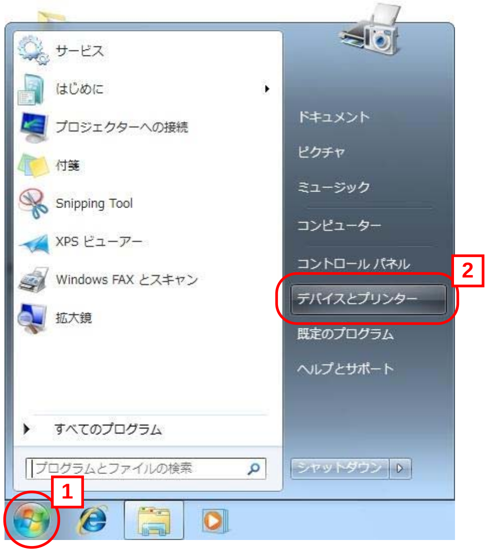
１３　〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択し、「プリンターとFAX」部にプリンタアイコンが追加されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



ガイド

・〔デバイスとプリンター〕を開く順序は、下記の通りです。



◆ プリンタフォルダからのインストール

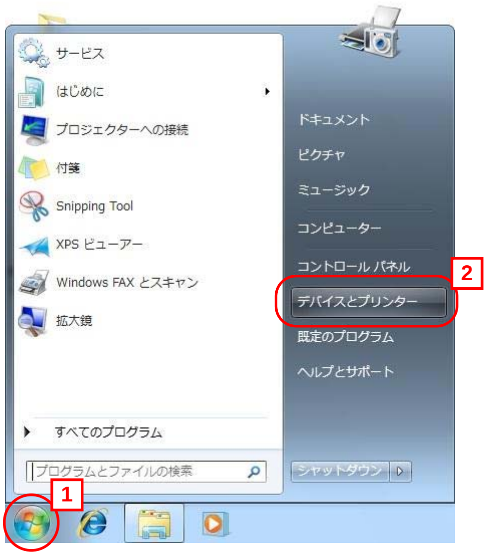
Windows 7/2008 R2 でのプリンタドライバインストールは、プラグアンドプレイで検出する方法を推奨します。
ここでは、Windows 7 Professional にプリンタフォルダからプリンタドライバをインストールするときの画面を例に説明しています。

ガイド

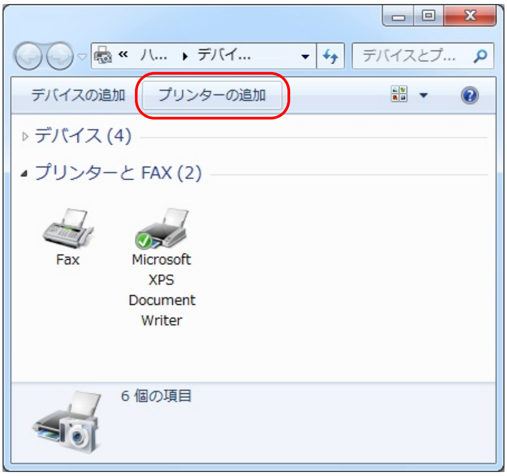
・Windows Server 2008 R2 にプリンタドライバを手動でインストールするときも、本手順に従ってください。

1 コンピュータの管理者権限を持ったユーザで Windows 7 または Windows Server 2008 R2 にログオンする

2 〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択し、プリンタフォルダを表示する

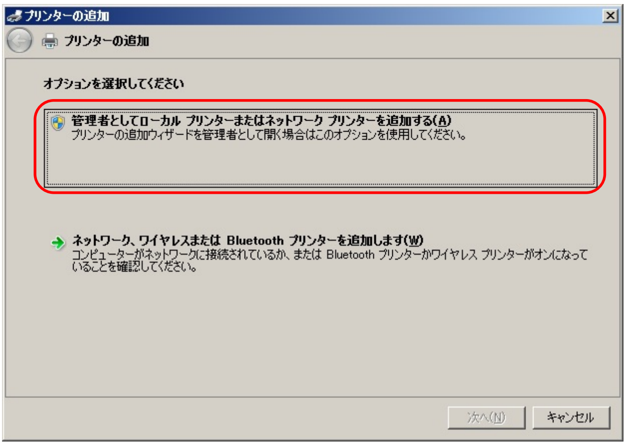


3 〔デバイスとプリンター〕フォルダの、〔プリンターの追加〕を選択する

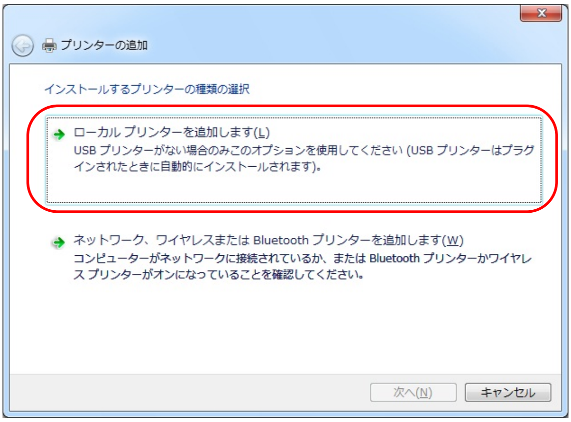


ガイド

- Windows Server 2008 R2 では、〔プリンターの追加〕を選択した後に、下記画面が表示される場合があります。
  下記画面が表示されたときは、「管理者としてローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する」をクリックしてください。



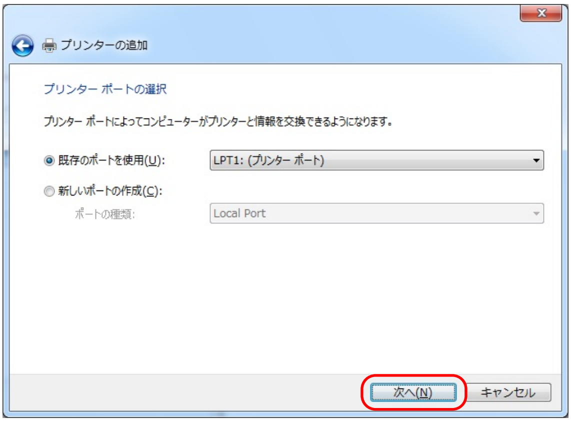
4 「プリンタの追加」ウィザード画面が表示されたら、〔ローカルプリンタを追加します〕を選択する



ガイド

- スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときや、印刷先（ポート）を後で変更する場合は、「ローカルプリンターを追加します」を選択してください。なお、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

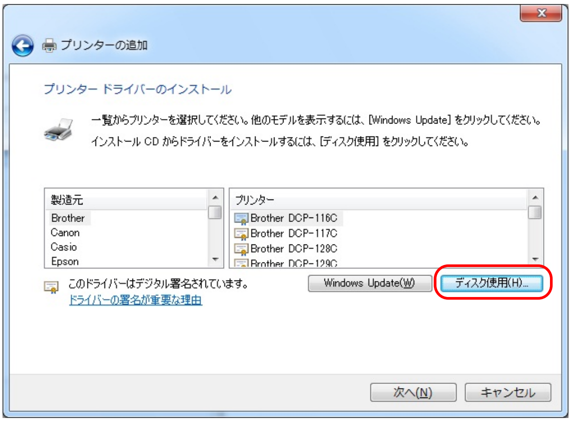
5 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



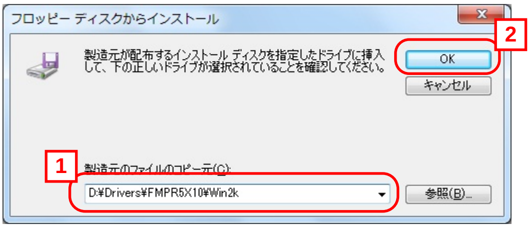
ガイド

- 〔既存のポートを使用〕の一覧に、使用するポートが存在しないなど、ポートの準備が整っていないときは、仮のポートとしてローカルポート（[LPT1：プリンターポート]）などを選択してください。

6 「プリンタードライバーのインストール」画面が表示されますので添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする

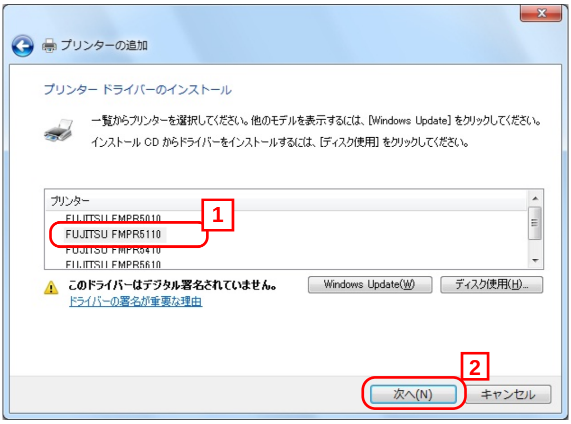


7 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



注 1）上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2）64 ビット版 Windows 7、および Windows Server 2008 R2 をお使いのときも本フォルダを指定してください。
注 3）FMPR5010 のときも、上記フォルダ名を入力してください。
注 4）弊社ホームページよりダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、(本ドライバデータのあるフォルダ名)¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k に変更してください。

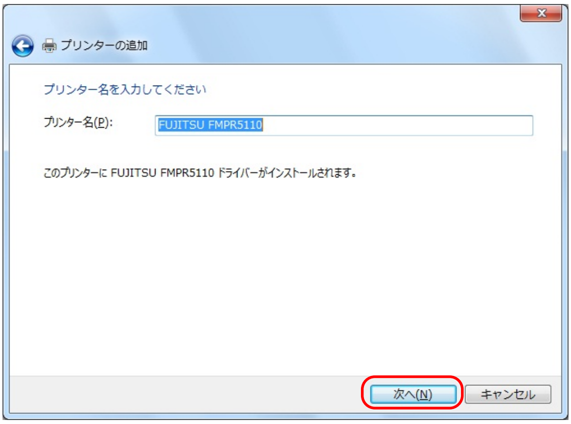
8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



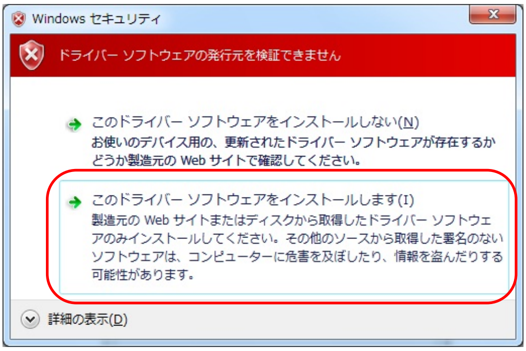
ガイド

- 「どのバージョンのドライバーを使用しますか？　既にこのプリンターのドライバーがインストールされていることを検出しました。」という画面が表示される場合は、「現在のドライバーを置き換える」を選択します。

9 プリンタ名を入力し、〔次へ〕をクリックする



１０ 「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバーソフトウェアをインストールします〕をクリックする

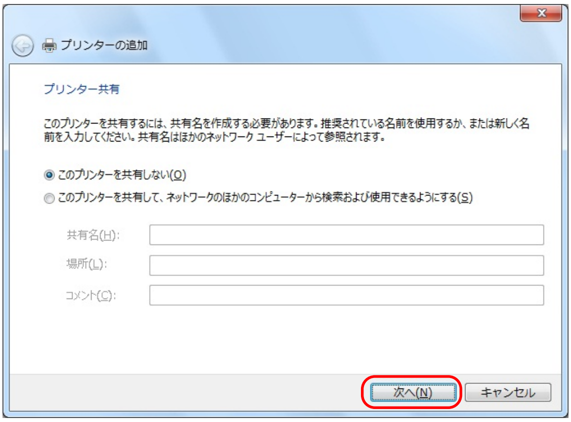


１１ ファイルのコピーが開始される

ガイド

・手順*１２*、または手順*１３*の画面が表示されるまで、お待ちください。

１２ プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



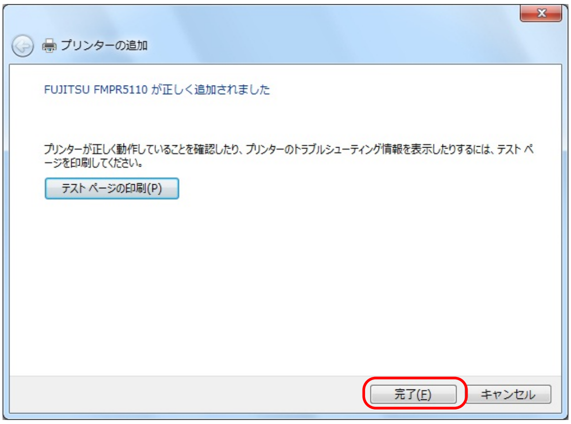
ガイド

・お使いの環境によっては、本画面が表示されない場合があります。　本画面が表示されたときは、お使いの環境にあわせ選択してください。

(1)　共有しない時　：「このプリンターを共有しない」を選択します。

(2)　共有する時　　：「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択し、共有名・場所・コメントを入力します。

１３「FUJITSU FMPR5110 が正しく追加されました」画面が表示されたことを確認し、〔完了〕をクリックする



ガイド

- 〔テストページの印刷〕ボタンをクリックするときは、プリンタがオンラインであることを確認し、A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、オンラインマニュアル(Index.pdf)の『プリンタ編』「第 3 章　用紙のセット」（69 ページ）を参照してください。
- 手順 *5* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔テストページの印刷〕ボタンをクリックしないでください。

１４〔プリンターと FAX〕部にプリンタアイコンが追加されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows Server 2008 のとき

ここでは、Windows Server 2008 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows Server 2008 Enterprise Edition の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR5110G を例に説明しています。
FMPR5010 プリンタをお使いの場合は、“FMPR5110”を“FMPR5010”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows Server 2008 のバージョンや Edition によっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 64 ビット版 Windows Server 2008 をお使いの場合も、本手順でインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5110、FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G、FUJITSU FMPR5010 プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows Server 2008 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタのインストール」から行うと、Windows Server 2008 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、プラグアンドプレイでのインストールを推奨します。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバがインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

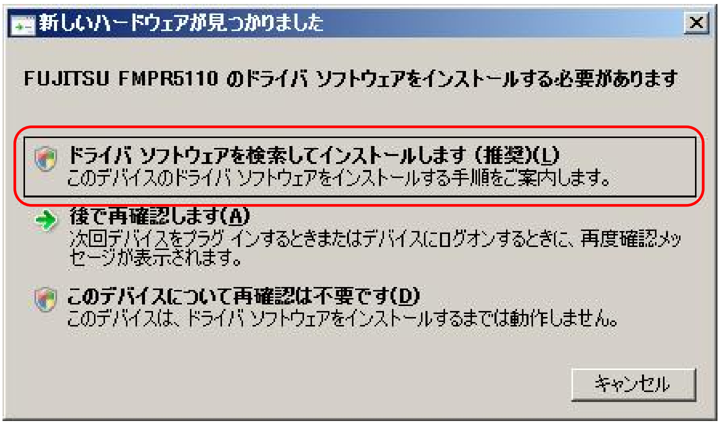
パソコン起動時に「新しいハードウェアが見つかりました。FUJITSU FMPR5110 のドライバソフトウェアをインストールする必要があります」と表示されます。

ガイド

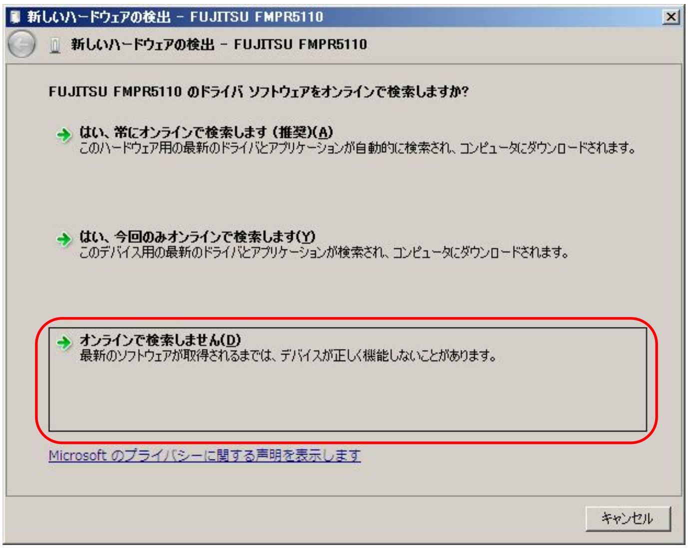
- プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（261ページ）でインストールしてください。
- インストール中、「ユーザーアカウント制御」ダイアログに、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示される場合がありますので、〔続行〕をクリックしてください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Server 2008 を起動する

2 新しいプリンタを検出する画面が表示されたら、〔ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）〕を選択する

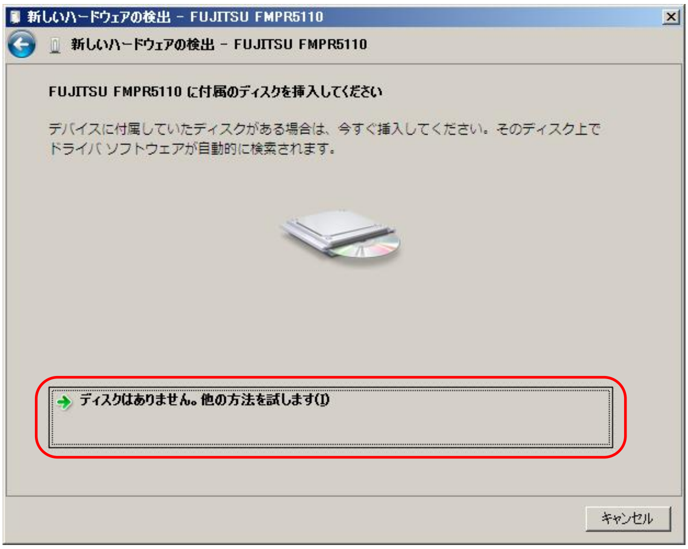


3 「FUJITSU FMPR5110 のドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか？」と表示されますので、〔オンラインで検索しません〕を選択する



4 「FUJITSU FMPR5110 に付属のディスクを挿入してください」と表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

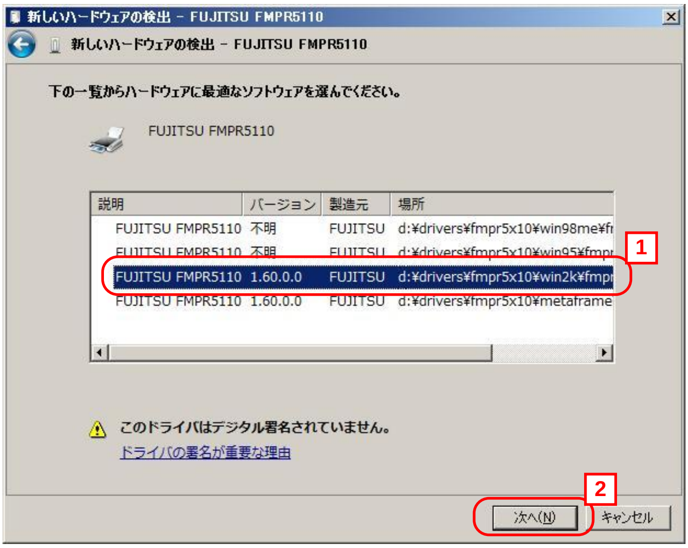
弊社ホームページよりダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックしてください。→手順 *6* へ進みます。



注 1）この画面が表示される前にセットアップディスクをセットしている場合は
　　[次へ]ボタンが表示されますので、クリックしてください。

5 「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください。」と表示されますので、場所の説明にて、″ Win2k ″フォルダのドライバを選択して、〔次へ〕をクリックする

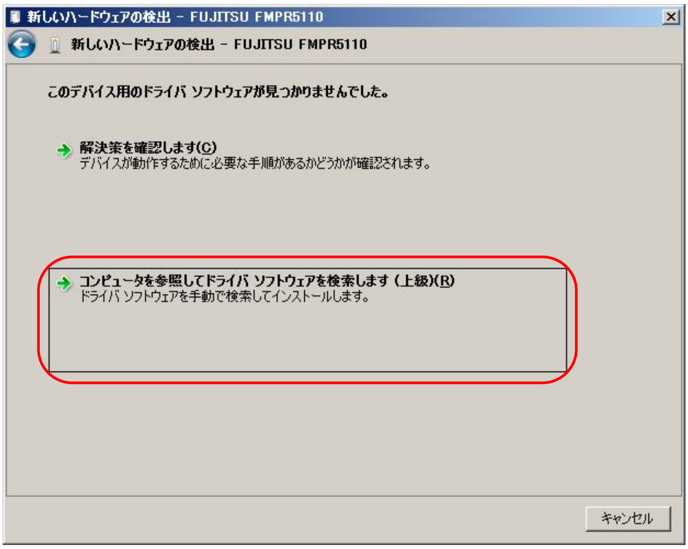
→手順 *8* へ進みます。



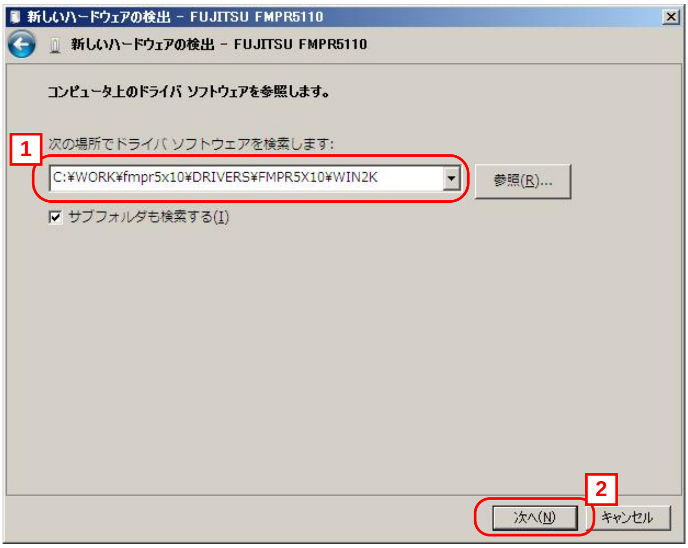
注 1）上記は CD-ROM ドライブが D:のときの表示例です。ご使用の環境に合わせてドライブを読み替えてください。

注 2）64 ビット版 Windows Server 2008 をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

6 「このデバイス用のドライバソフトウェアが見つかりませんでした。」と表示されますので、〔コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）〕をクリックする



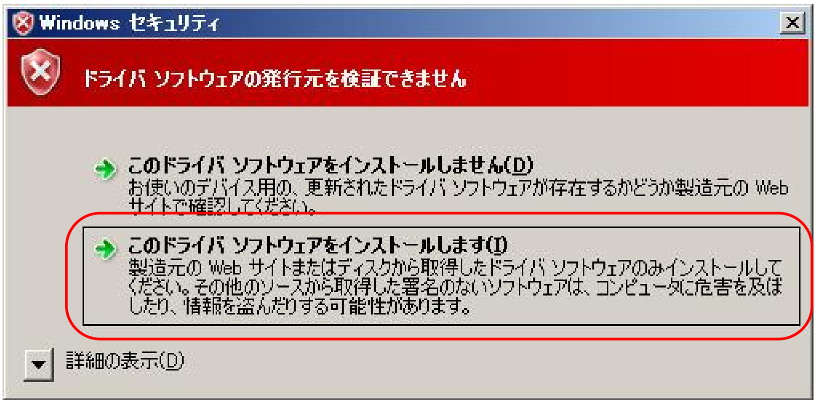
7 「コンピュータ上のドライバソフトウェアを参照します。」と表示されますので、「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」に、「C:¥WORK¥fmpr5x10¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「C:¥WORK¥fmpr5x10¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する。　入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



注 1）上記は、C:ドライブの WORK フォルダにドライバデータがあるときの表示例です。 ご使用の環境に合わせて変更してください。

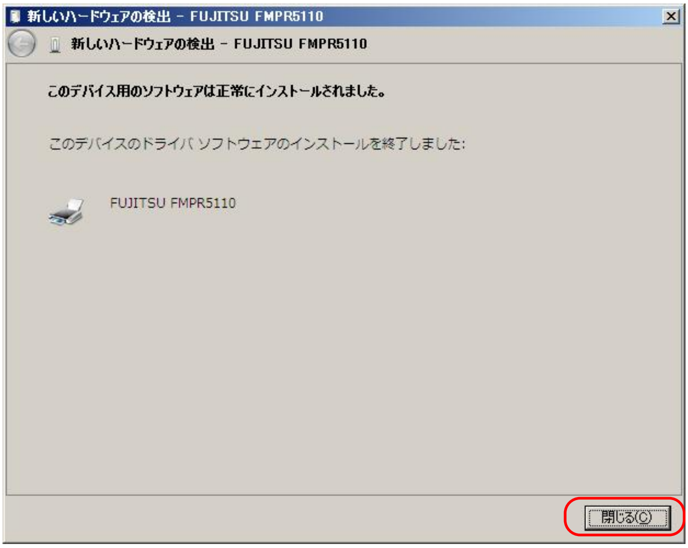
注 2）64 ビット版 Windows Server 2008 をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

8 「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする



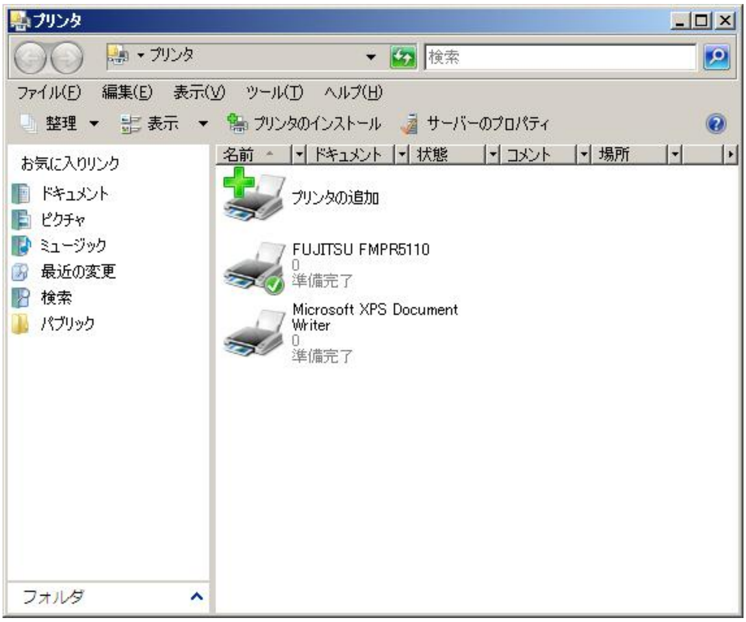
9 ファイルのコピーが開始される

１０　「新しいハードウェアの検出　-　FUJITSU FMPR5110」画面が表示されたら、「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」というメッセージを確認し〔閉じる〕をクリックする



１１　「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



ガイド

・通常使うプリンタに設定されていないときは、インストールされた FUJITSU FMPR5110 プリンタドライバをマウスの右ボタンでクリックし、「通常使うプリンタに設定」を選択してください。

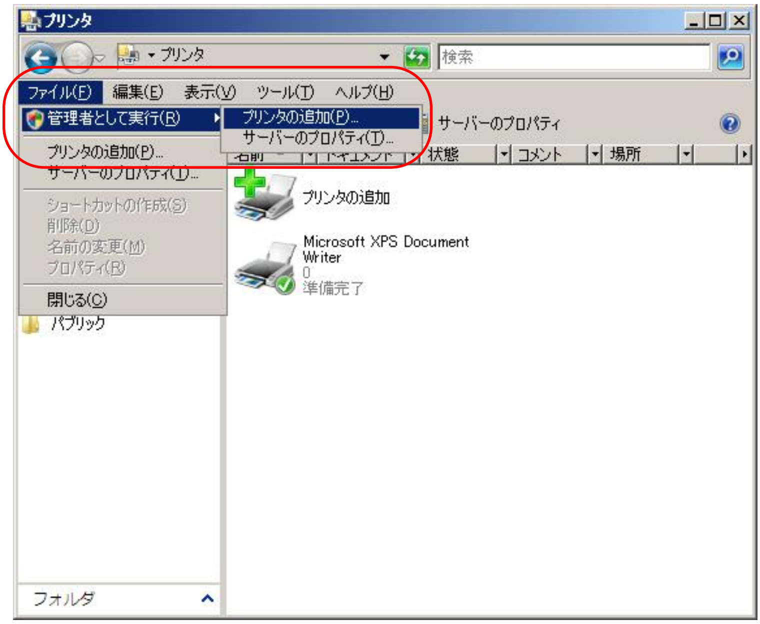
◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタフォルダからインストールする場合、Windows Server 2008 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索」ウィザードが表示されますので、プラグアンドプレイで検出する方法を推奨します。
ここでは、Windows Server 2008 Enterprise Edition にパラレルインターフェースまたは USB インターフェースでローカル接続されたプリンタのプリンタドライバをインストールするときの画面を例に説明しています。

1 Windows Server 2008 を起動する

2 〔スタート〕→〔コントロールパネル〕→「プリンタ」を選択する

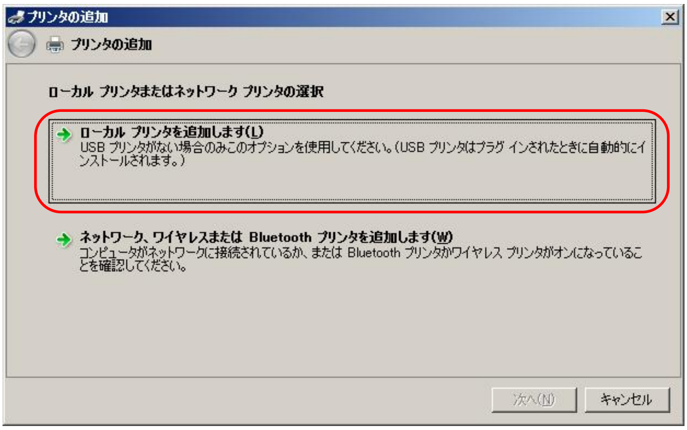
3 プリンタフォルダが表示されたら、〔ファイル〕→〔管理者として実行〕→〔プリンタの追加〕を選択する



ガイド

- 「プリンタの追加」（アイコンとして表示されています）や、メニュー内にある「プリンタのインストール」を選択すると、ネットワークプリンタのインストール画面が表示されます。ローカル接続されたプリンタの、プリンタドライバをインストールするときは、本手順に従ってインストールしてください。
- ビルトインアカウントの Administrator でログオンしているときは、〔ファイル〕→〔プリンタの追加〕を選択してください。

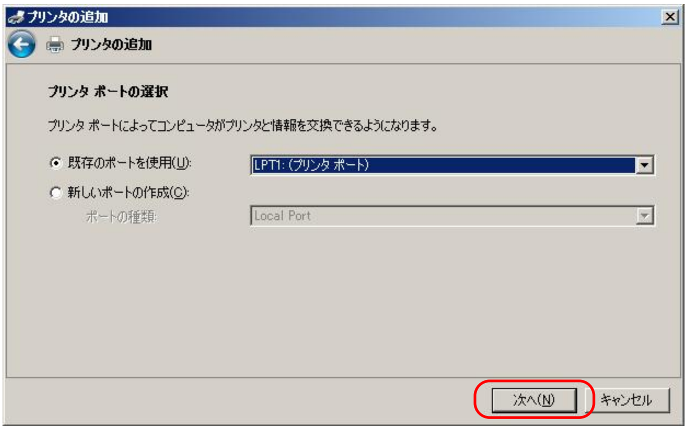
4 「プリンタの追加」ウィザード画面が表示されたら、〔ローカルプリンタを追加します〕を選択する



ガイド

- スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。なお、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

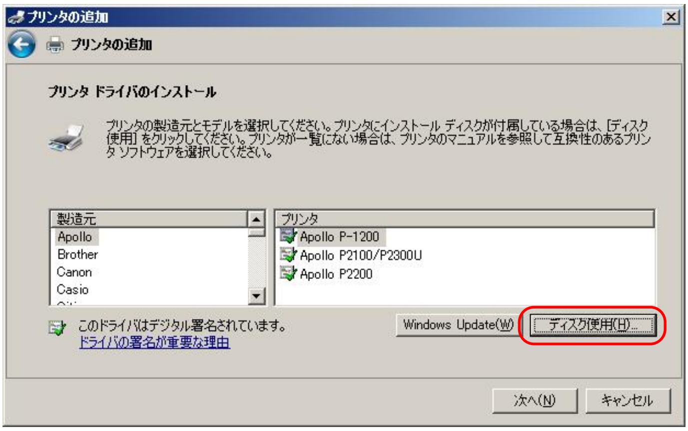
5 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



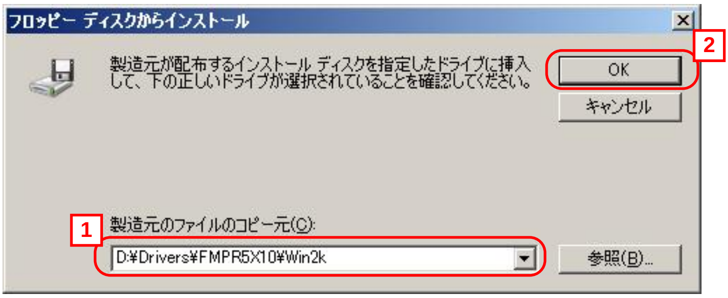
ガイド

- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

6 「プリンタドライバのインストール」画面が表示されますので添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする

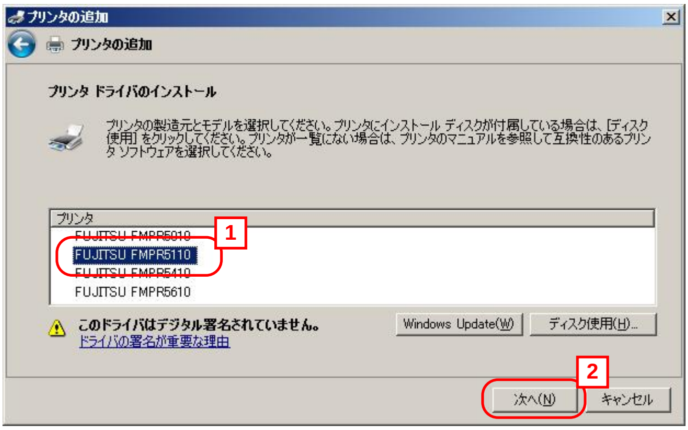


7 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



注 1）上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2）64 ビット版 Windows Server 2008 をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。
注 3）弊社ホームページよりダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、(本ドライバデータのあるフォルダ名)¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k に変更してください。

8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

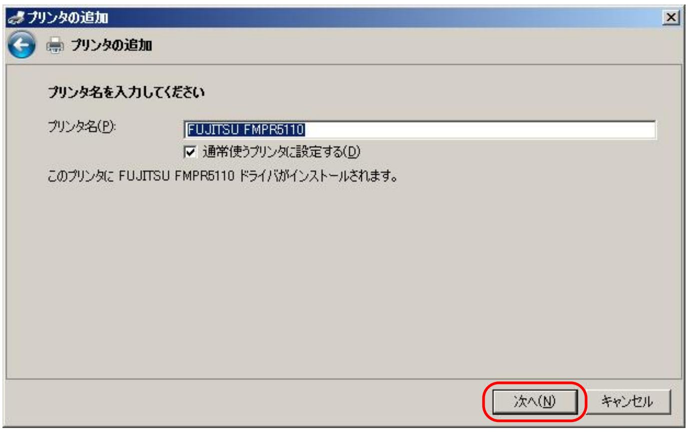


ガイド

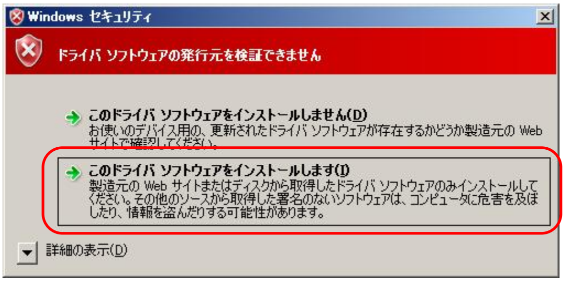
- 「どのバージョンのドライバを使用しますか？　既にこのプリンタのドライバがインストールされていることを検出しました。」という画面が表示される場合は、「現在のドライバを置き換える」を選択します。



9 プリンタ名を入力し、通常使うプリンタの設定を行い、〔次へ〕をクリックする

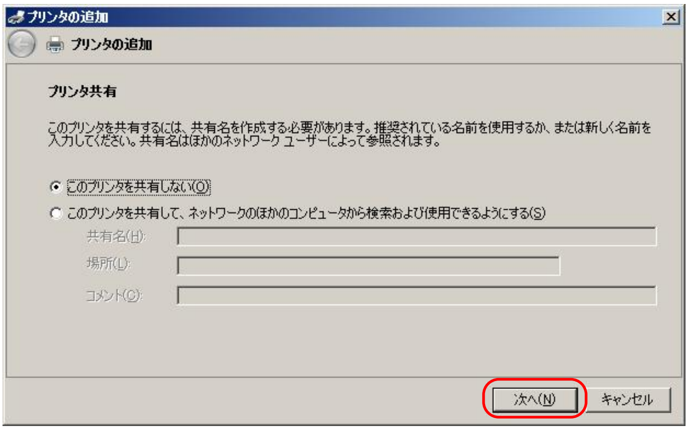


１０ 「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする



１１ ファイルのコピーが開始される

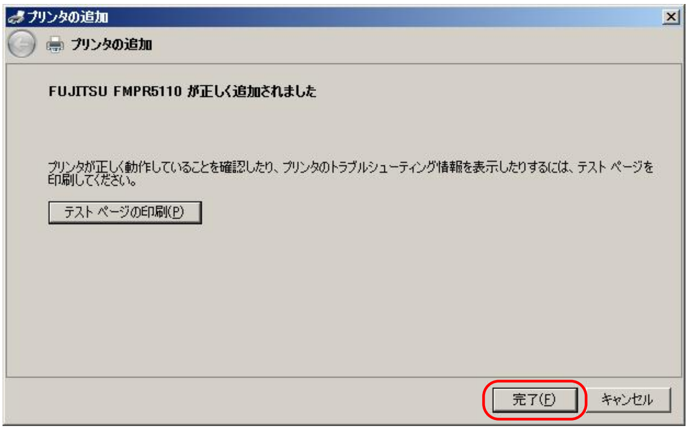
１２ プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・ここでは、必ず「このプリンタを共有しない」を選択してください。

１３「FUJITSU FMPR5110 が正しく追加されました」画面が表示されることを確認し、〔完了〕をクリックする

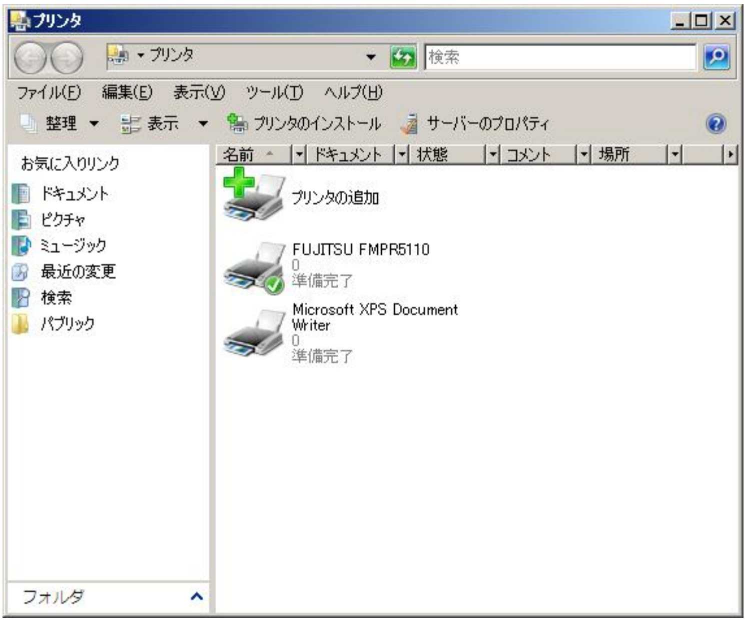


ガイド

- 〔テストページの印刷〕ボタンをクリックするときは、プリンタがオンラインであることを確認し、Ａ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、オンラインマニュアル(Index.pdf)の『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（69 ページ）を参照してください。
- 手順 *５*で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔テストページの印刷〕ボタンをクリックしないでください。

１４「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows Vista のとき

ここでは、Windows Vista が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows Vista Business の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR5110G を例に説明しています。
FMPR5010 プリンタをお使いの場合は、“FMPR5110”を“FMPR5010”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows Vista のバージョンや Edition によっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 64 ビット版 Windows Vista をお使いの場合も、本手順でインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5110、FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G、FUJITSU FMPR5010 プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows Vista の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタのインストール」から行うと、Windows Vista を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、プラグアンドプレイでのインストールを推奨します。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバがインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

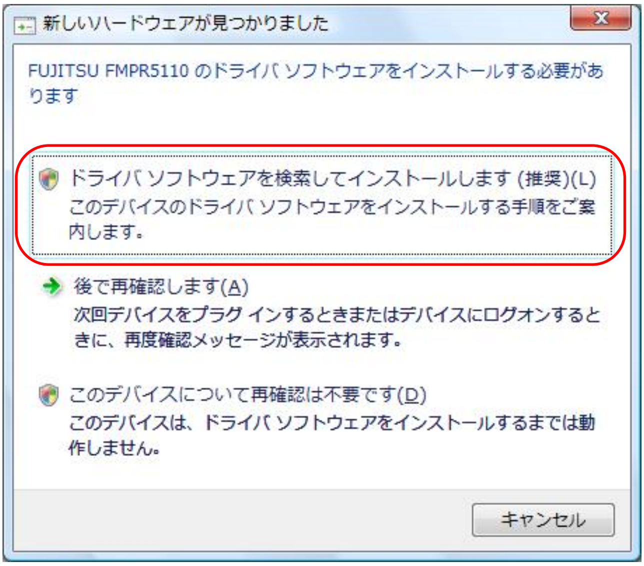
パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR5110」と表示されます。

ガイド

- プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
  プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（273ページ）でインストールしてください。
- インストール中、「ユーザーアカウントの制御」ダイアログに、「続行するには許可が必要です」と表示される場合がありますので、〔続行〕をクリックしてください。

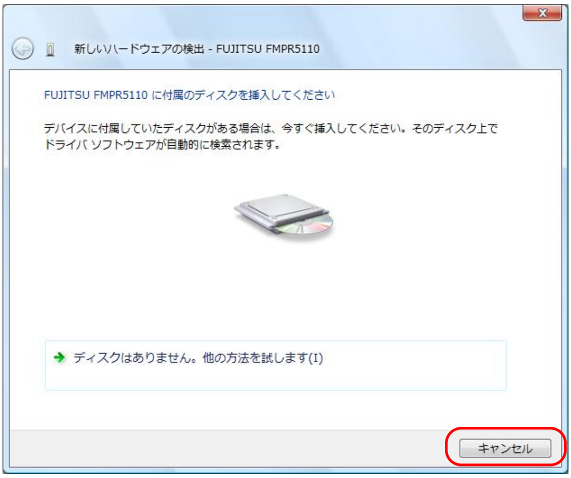
1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態でWindows Vistaを起動する

2 新しいプリンタを検出する画面が表示されたら、〔ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）〕を選択する



3 「FUJITSU FMPR5110 に付属のディスクを挿入してください」と表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

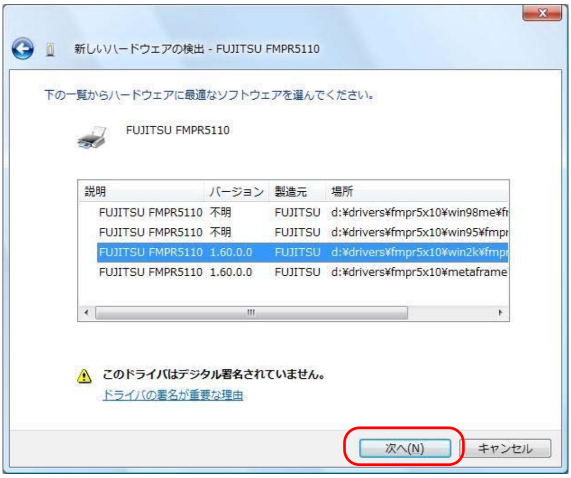
弊社ホームページよりダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、〔ディスクはありません。他の方法を試します〕をクリックしてください。→手順 *5* へ進みます。



注 1）この画面が表示される前にセットアップディスクをセットしている場合は[次へ]ボタンが表示されますので、クリックしてください。

4 「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください。」と表示されますので、場所の説明にて、″Win2k″フォルダのドライバを選択して、〔次へ〕をクリックする

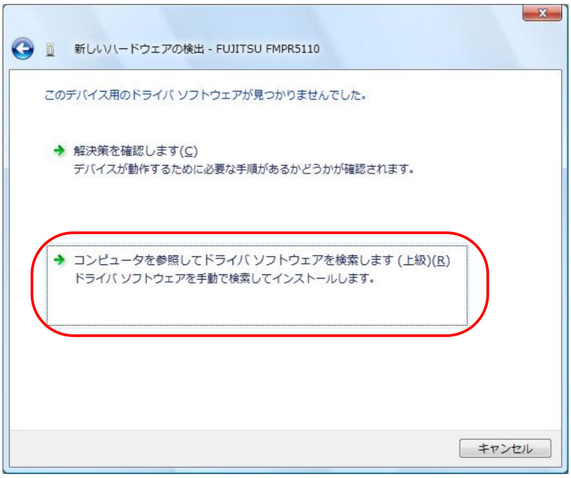
→手順 *7* へ進みます。



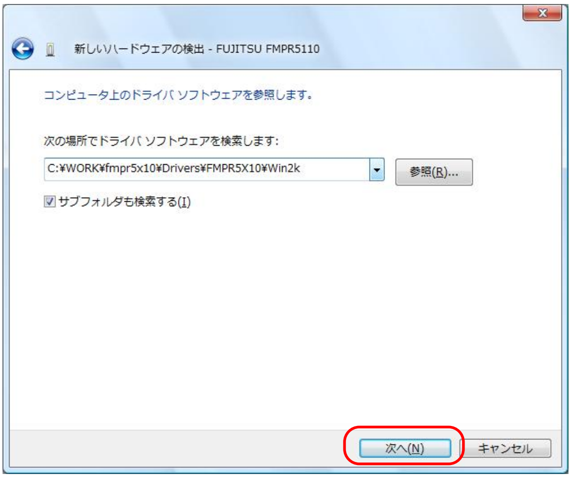
注 1）上記は CD-ROM ドライブが D:のときの表示例です。ご使用の環境に合わせてドライブを読み替えてください。

注 2）64 ビット版 Windows Vista をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

5　「このデバイス用のドライバソフトウェアが見つかりませんでした。」と表示されますので、〔コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）〕をクリックする

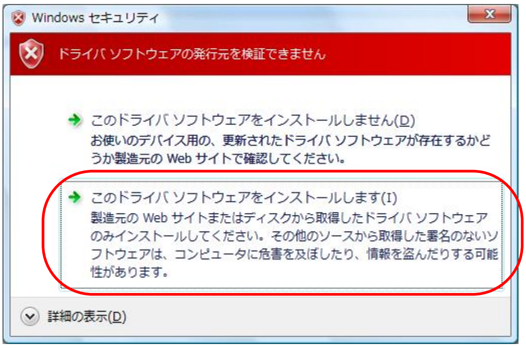


6　「コンピュータ上のドライバソフトウェアを参照します。」と表示されますので、「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」に、「C:¥WORK¥fmpr5x10¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「C:¥WORK¥fmpr5x10¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する。　入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



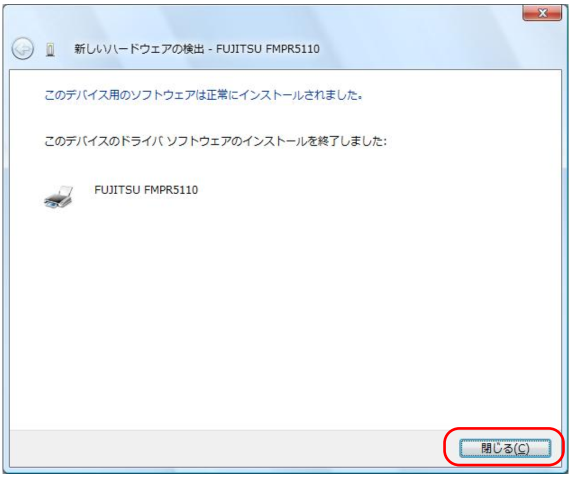
注 1）上記は、C:ドライブの WORK フォルダにドライバデータがあるときの表示例です。 ご使用の環境に合わせて変更してください。
注 2）64 ビット版 Windows Vista をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

7 「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする



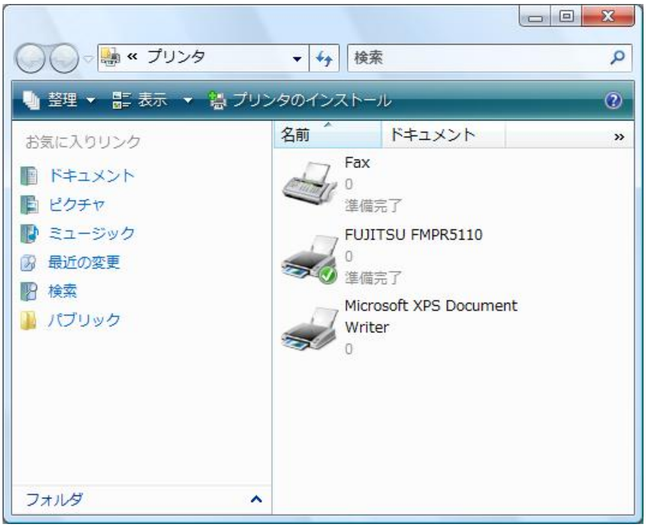
8 ファイルのコピーが開始される

9 「新しいハードウェアの検出 － FUJITSU FMPR5110」画面が表示されたら、「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」というメッセージを確認し〔閉じる〕をクリックする



１０ 「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



ガイド

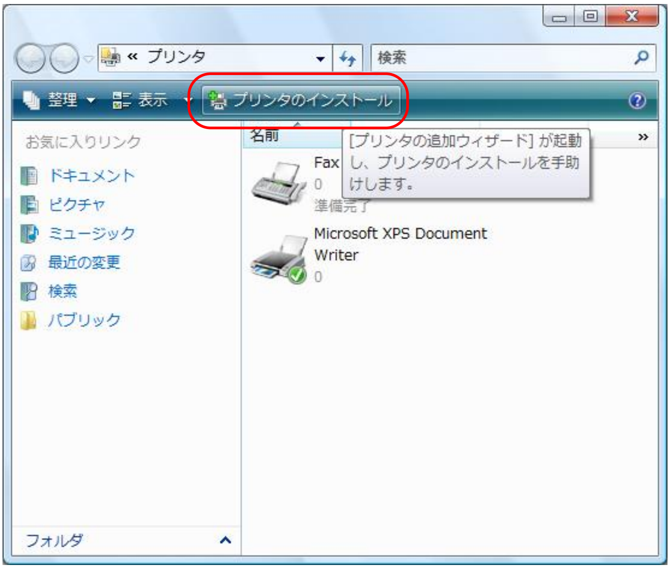
・インストールされたFUJITSU FMPR5110プリンタドライバをマウスの右ボタンでクリックし、「通常使うプリンタに設定」を選択してください。

◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタフォルダからインストールする場合、Windows Vista を起動するたびに「新しいハードウェアの検索」ウィザードが表示されますので、プラグアンドプレイで検出する方法を推奨します。
ここでは、Windows Vista Business にプリンタドライバをインストールするときの画面を例に説明しています。

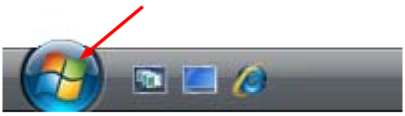
1 Windows Vista を起動する

2 〔スタート〕→〔コントロールパネル〕→〔ハードウェアとサウンド〕内にある「プリンタ」を選択して、次に〔プリンタのインストール〕をクリックする

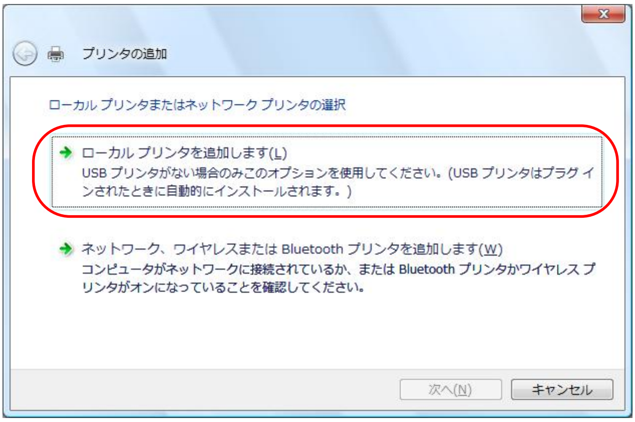


ガイド

- 〔スタート〕とは、デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタンを表します。



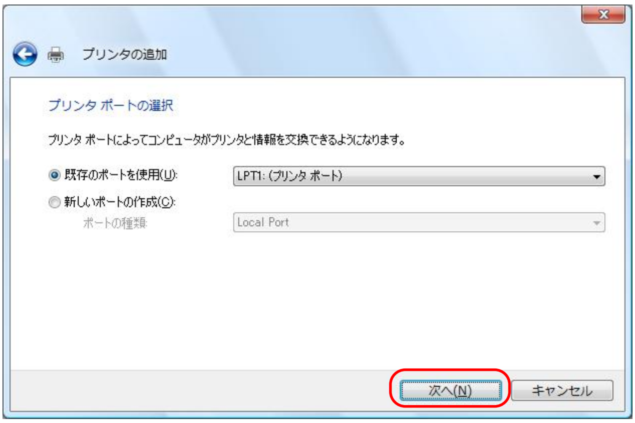
3　「プリンタの追加」ウィザード画面が表示されたら、〔ローカルプリンタを追加します〕を選択する



ガイド

- スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。なお、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

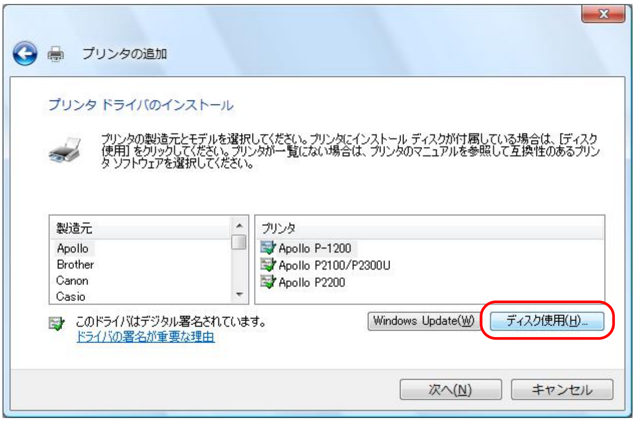
4　使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



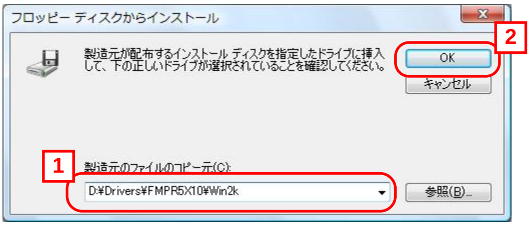
ガイド

- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

5 「プリンタドライバのインストール」画面が表示されますので添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする

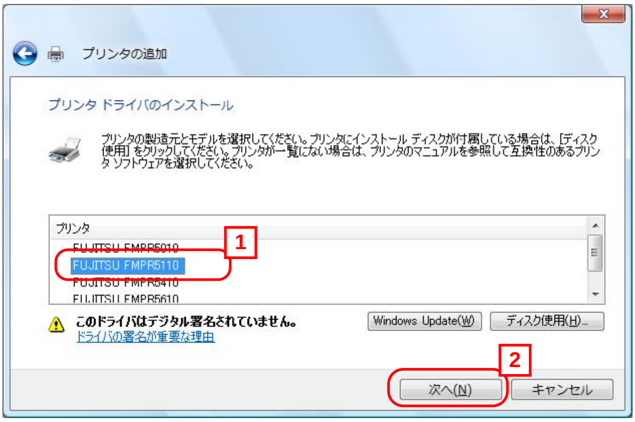


6 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



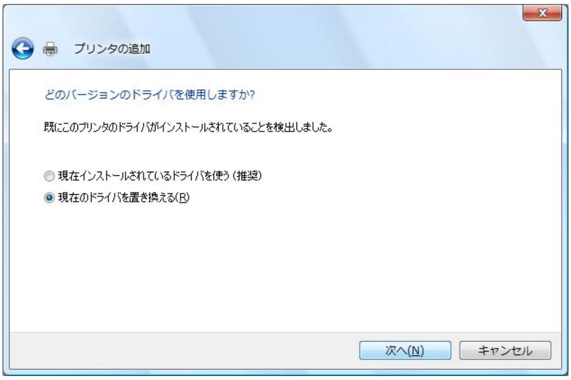
注 1）上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2）64 ビット版 Windows Vista をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。
注 3）弊社ホームページよりダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、(本ドライバデータのあるフォルダ名)¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k に変更してください。

7 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

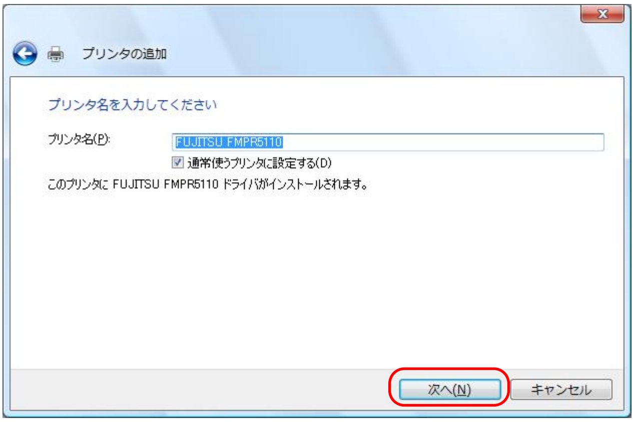


ガイド

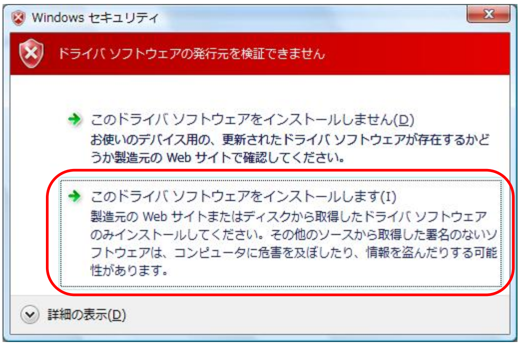
- 「どのバージョンのドライバを使用しますか？　既にこのプリンタのドライバがインストールされていることを検出しました。」という画面が表示される場合は、「現在のドライバを置き換える」を選択します。



8 プリンタ名を入力し、通常使うプリンタの設定を行い、〔次へ〕をクリックする

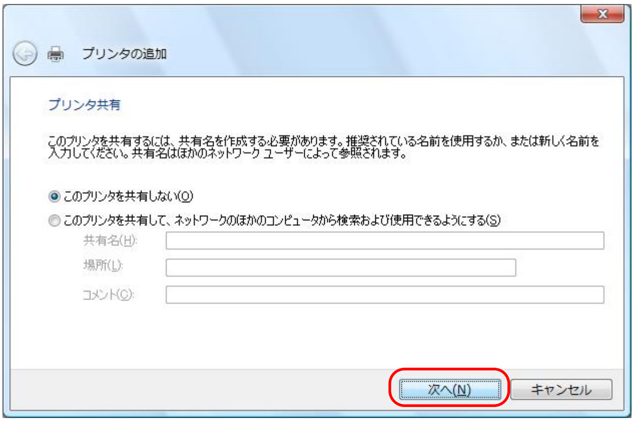


９　「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする



１０　ファイルのコピーが開始される

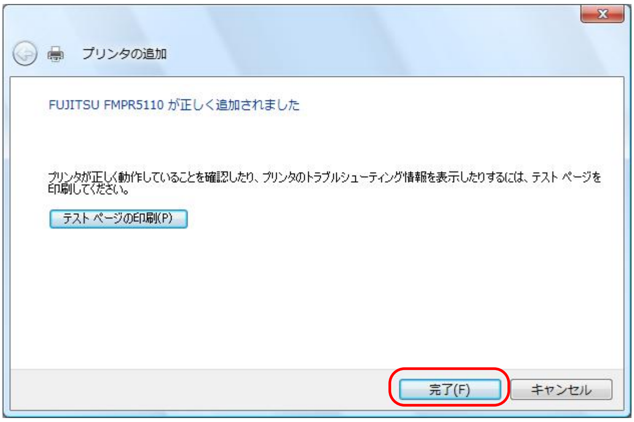
１１　プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- ここでは、必ず「このプリンタを共有しない」を選択してください。
- 本画面は、ユーザーアカウント制御(UAC)が無効の場合のみ表示されます。

１２「FUJITSU FMPR5110 が正しく追加されました」画面が表示されることを確認し、〔完了〕をクリックする

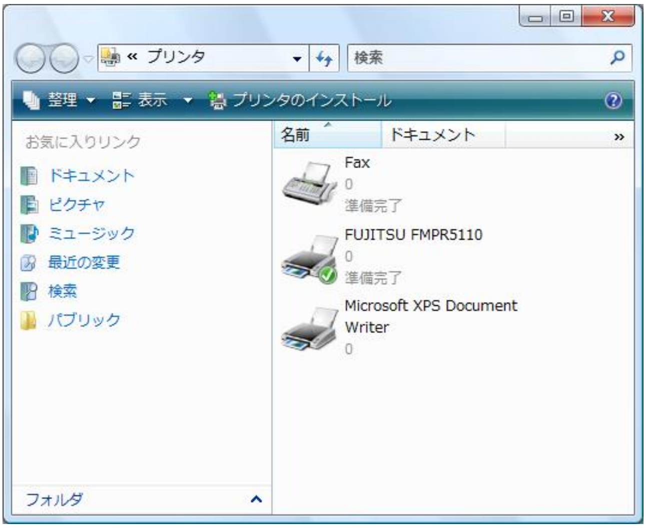


ガイド

- 〔テストページの印刷〕ボタンをクリックするときは、プリンタがオンラインであることを確認し、Ａ４タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、オンラインマニュアル(Index.pdf)の『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（69 ページ）を参照してください。
- 手順 *４* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔テストページの印刷〕ボタンをクリックしないでください。

１３「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows Server 2003 のとき

ここでは、Windows Server 2003 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows Server 2003 Standard Edition の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プリンタフォルダからプラグアンドプレイで検出するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR5110G を例に説明しています。
FMPR5010 をお使いの場合は、“FMPR5110”を“FMPR5010”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows Server 2003 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 64 ビット版 Windows Server 2003 をお使いの場合も、本手順でインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5110 または FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G または FUJITSU FMPR5010 プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows Server 2003 の取扱説明書、またはヘルプを参照してください。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタの追加」からインストールすると、Windows Server 2003 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、プラグアンドプレイでのインストールを推奨します。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

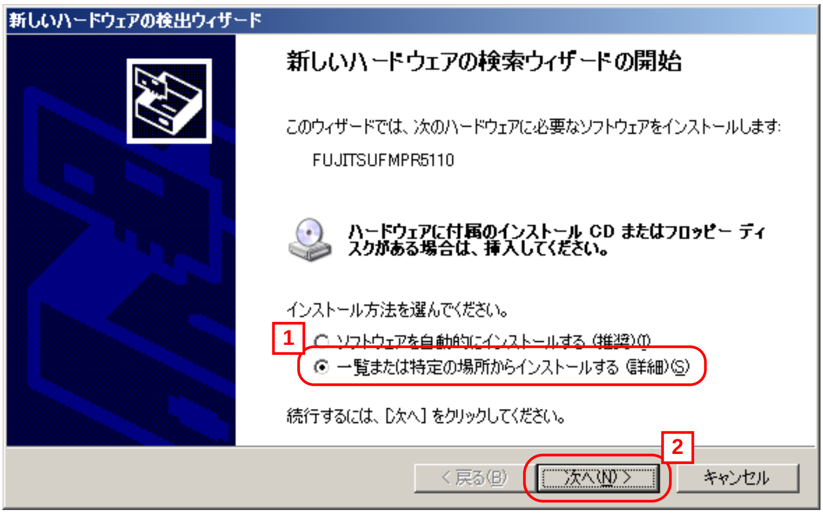
パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR5110」と表示されます。

ガイド

・プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
　プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」（283ページ）でインストールしてください。

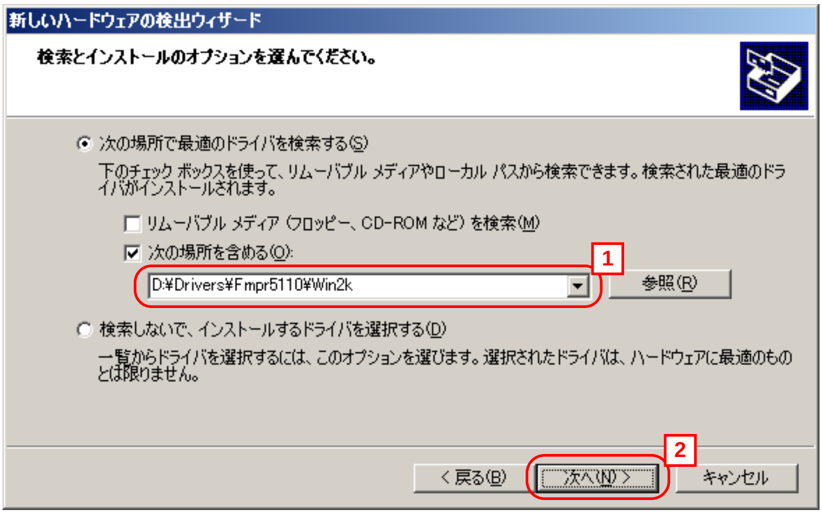
1　プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Server 2003 を起動する

2　「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、〔次へ〕をクリックする



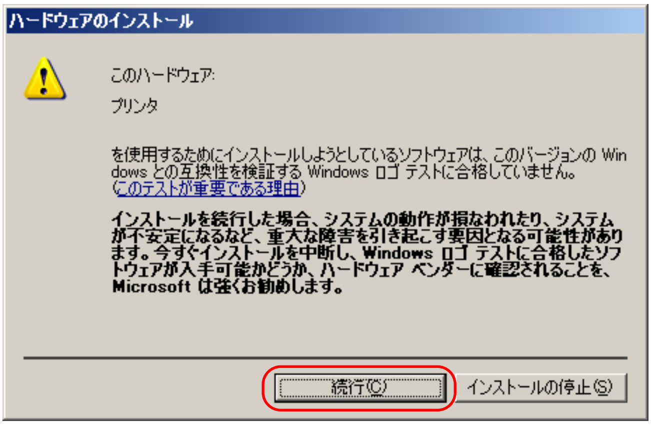
3　添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

4 「次の場所で最適のドライバを検索する」の「次の場所を含める」にチェックをつけ､D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k｣と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



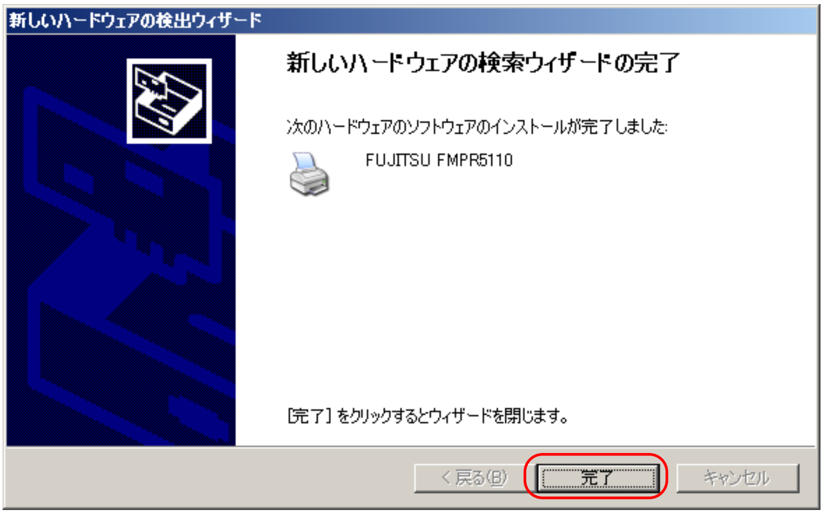
注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2)　64 ビット版 Windows Server 2003 をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

5 「ハードウェアのインストール」画面が表示されるので、〔続行〕をクリックする



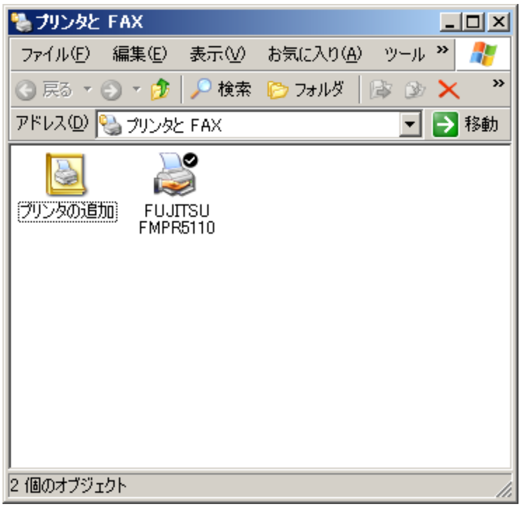
6 ファイルのコピーが開始される

7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました：FUJITSU FMPR5110」というメッセージが表示される事を確認し〔完了〕をクリックする



8 「プリンタと FAX」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



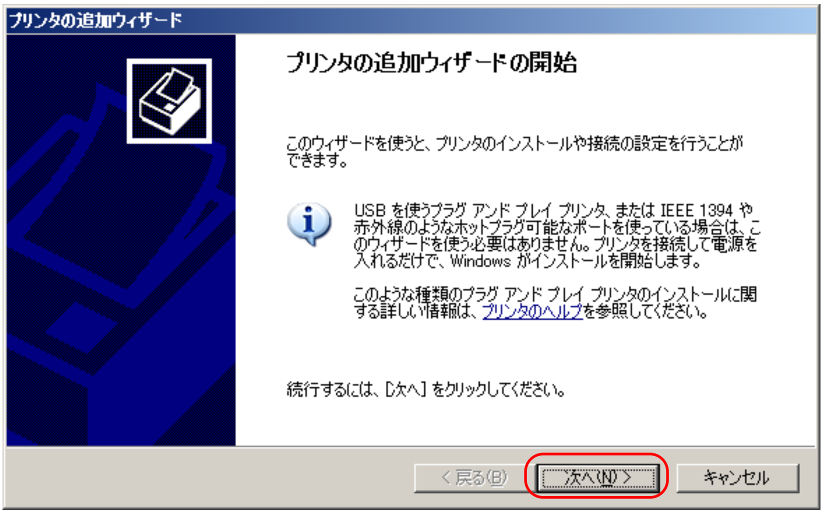
◆　プリンタフォルダからのインストール

プリンタフォルダからのインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、プラグアンドプレイで検出する場合があります。
手動でプリンタを指定する場合、Windows Server 2003 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、プラグアンドプレイで検出する場合を推奨します。

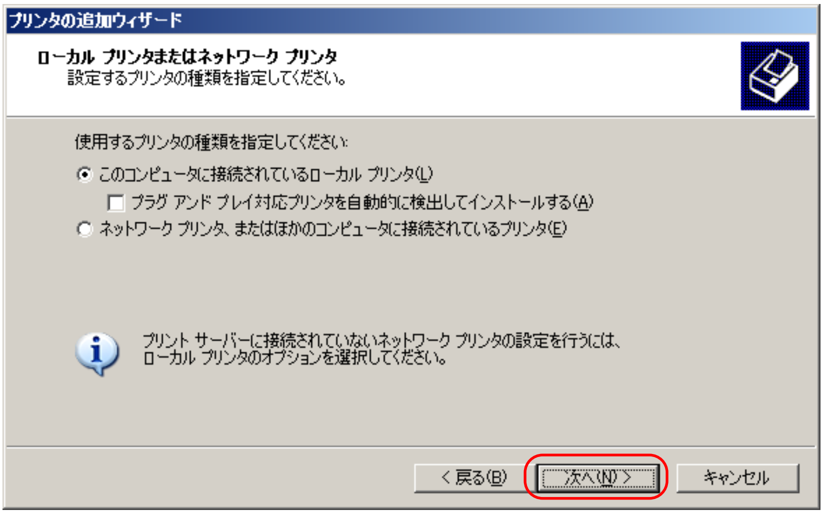
1 Windows Server 2003 を起動する

2 〔スタート〕→〔プリンタと FAX〕を選択して、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

3 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



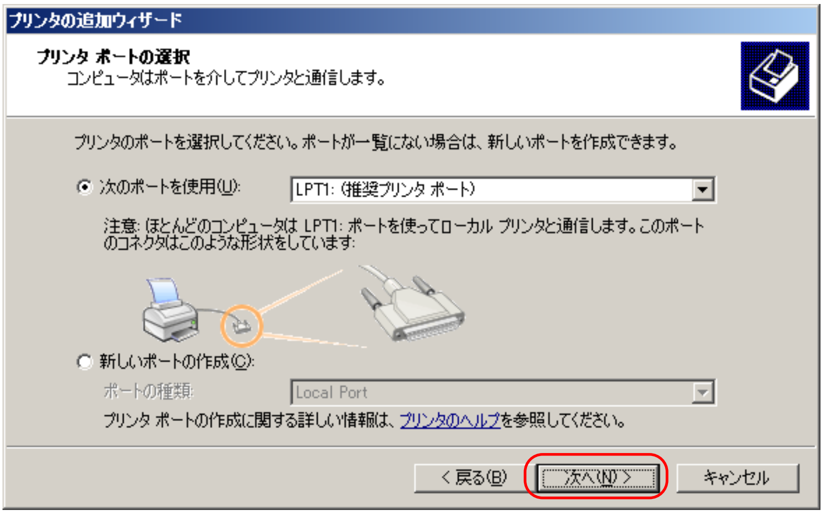
4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- プラグアンドプレイで検出する場合は、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックを付け、〔次へ〕をクリックします。
  本設定を行った場合は、「プラグアンドプレイで検出する場合」（280ページ）の手順 ***2*** に進みます。
  「プラグアンドプレイで検出する場合」（280ページ）の手順 ***7*** が終了したら、「プリンタフォルダからのインストール」の手順 ***1 2*** に進みます。
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

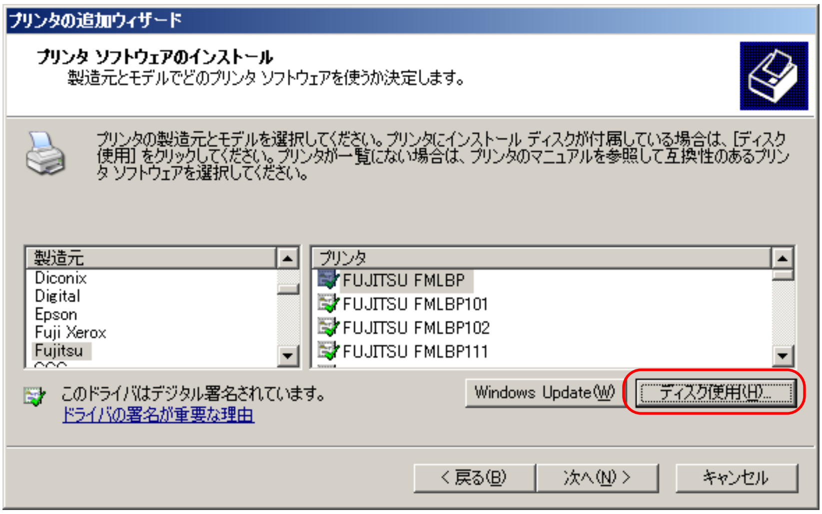
5 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

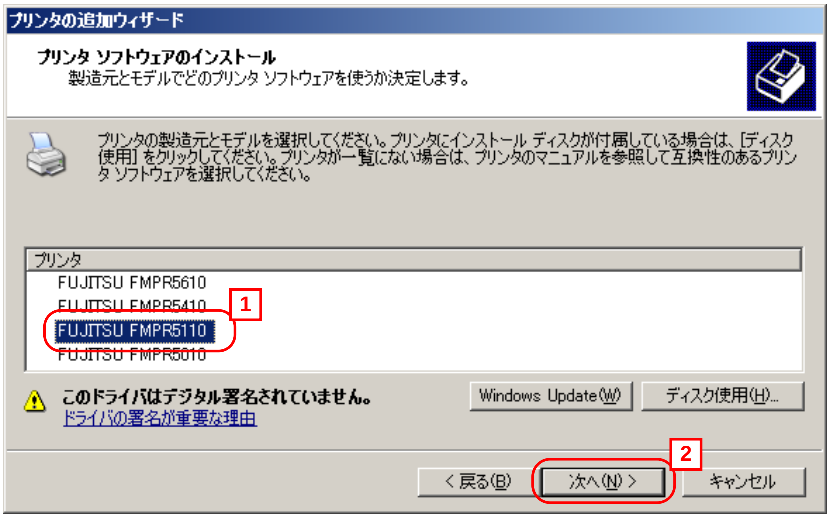
6 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする



7 「製造元のファイルのコピー元」に、D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする

注 1）上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2）64 ビット版 Windows Server 2003 をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

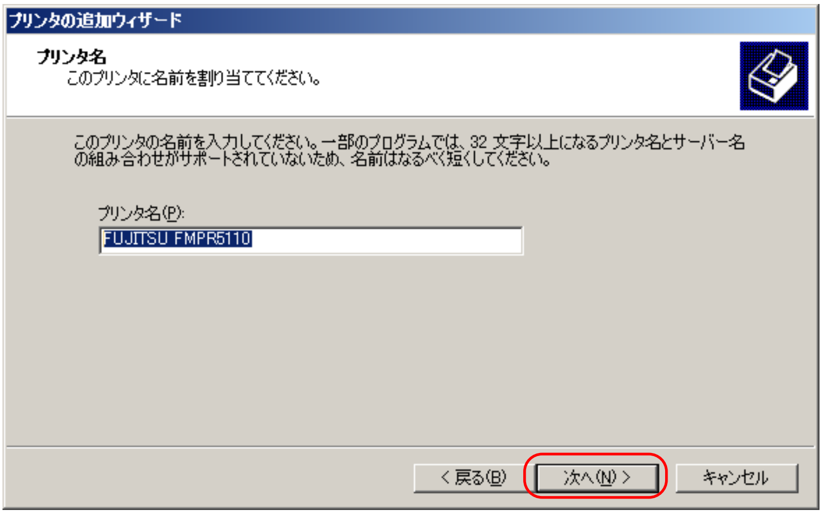
8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



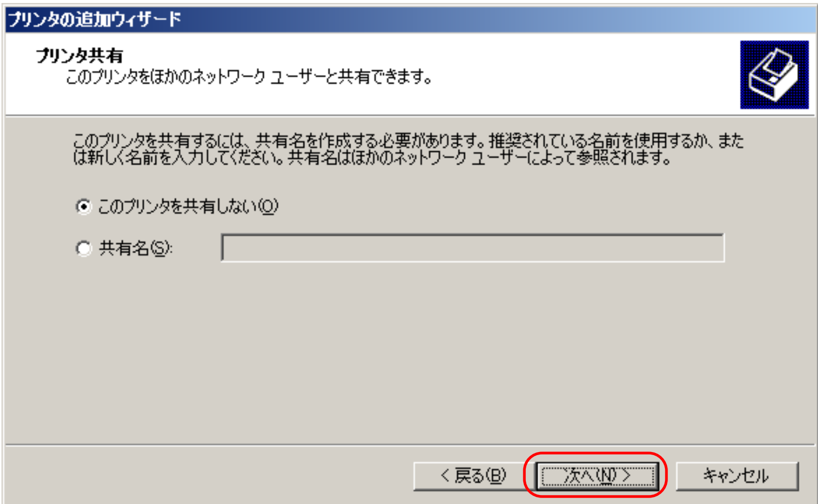
ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

９　プリンタ名を入力し、〔次へ〕をクリックする



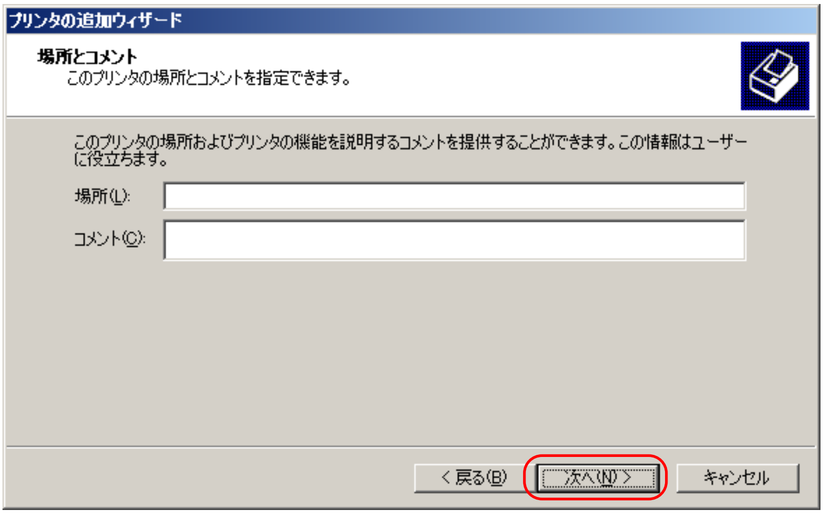
１０　プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



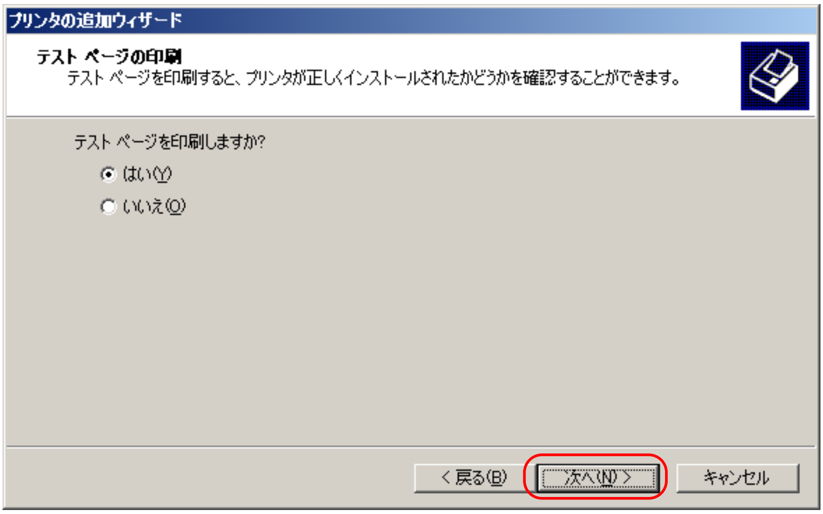
ガイド

・「このプリンタを共有しない」を選択した場合は、手順*１２*に進みます。
・プリントサーバとして使用する場合は、「共有名」をクリックし、共有する時のプリンタ名を入力して、手順*１１*に進みます。

１１ プリントサーバとして共有した時の、プリンタの場所，コメントを提供するかどうかを指定し〔次へ〕をクリックする



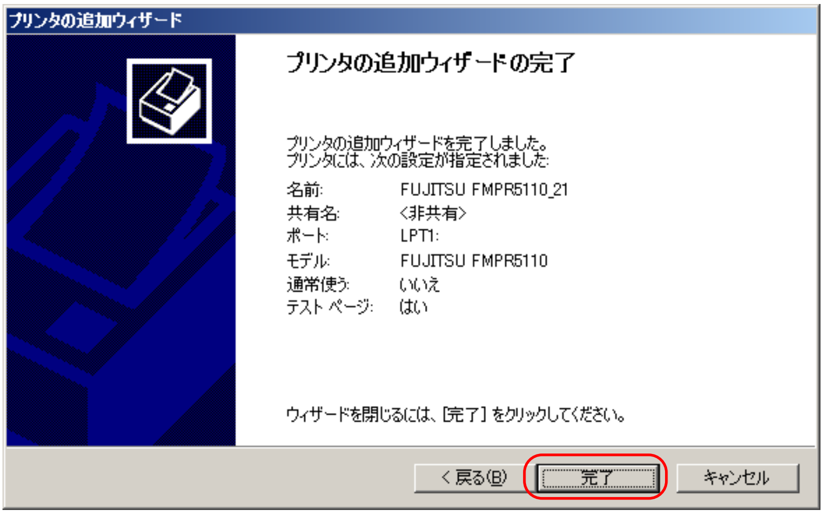
１２ テストページ印刷の設定を行い、〔次へ〕をクリックする



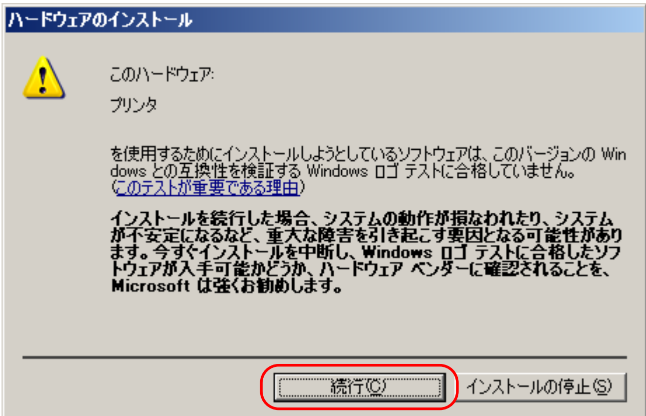
ガイド

- 〔はい〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。 用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（69 ページ）を参照してください。
- 手順 *5* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔いいえ〕を選択してください。

１３　〔完了〕をクリックする



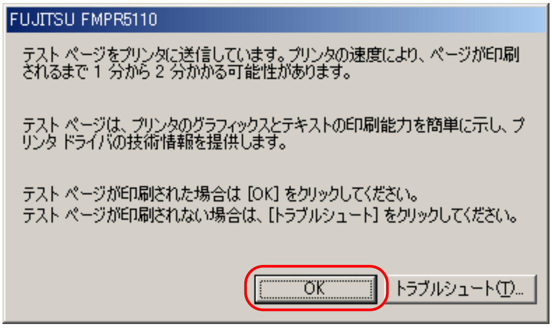
１４　「ハードウェアのインストール」画面で、「プリンタを使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、このバージョンのWindowsとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません。」と表示されますが、〔続行〕をクリックする



ガイド

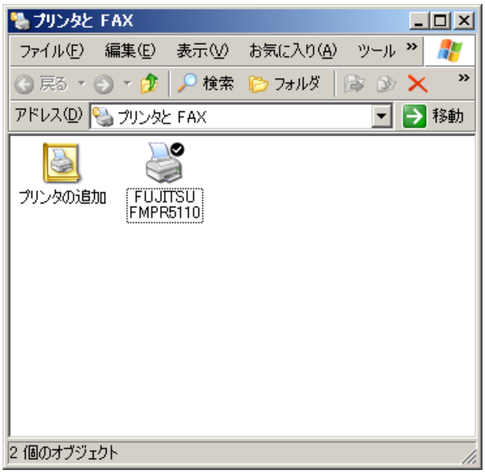
・〔続行〕をクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

１５ テストページが正しく印刷されたら、〔OK〕をクリックする



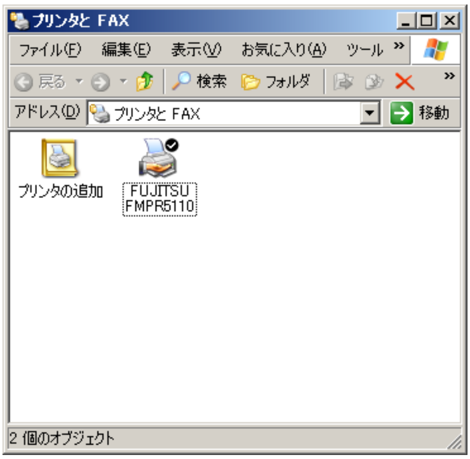
１６ 「プリンタと FAX」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



ガイド

・手順 ***１０*** で共有する設定を行った場合は、下記プリンタアイコンが表示されます。



■ Windows XP のとき

ここでは、Windows XP が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows XP Professional の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プリンタフォルダからプラグアンドプレイで検出するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR5110G を例に説明しています。
FMPR5010 をお使いの場合は、“FMPR5110”を“FMPR5010”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows XP のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 64 ビット版 Windows XP をお使いの場合も、本手順でインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5110 または FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G または FUJITSU FMPR5010 プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows XP の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタの追加」からインストールすると、Windows XP を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、プラグアンドプレイでのインストールを推奨します。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

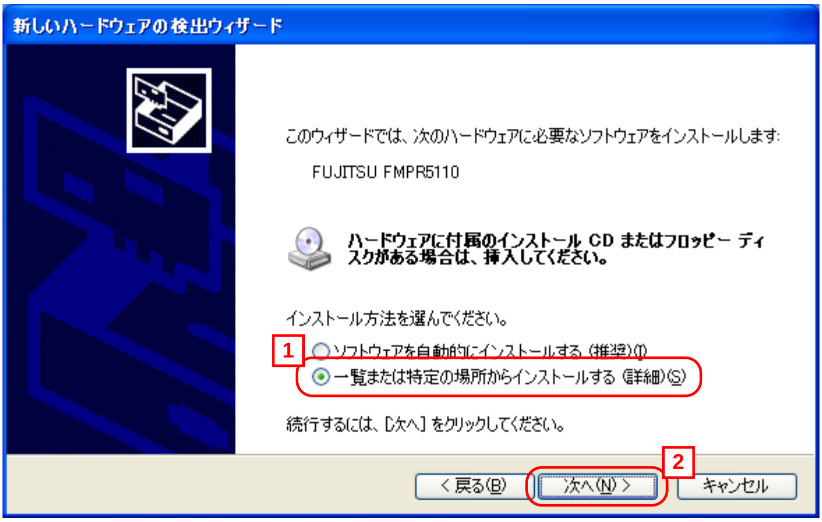
パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR5110」と表示されます。

ガイド

・プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
　プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」（295ページ）でインストールしてください。

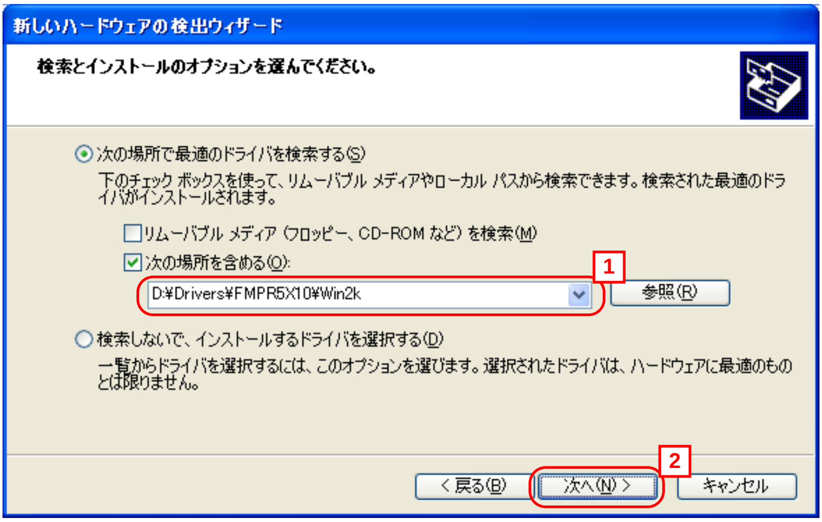
1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows XP を起動する

2 新しいプリンタを検出する画面が表示されたら、「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、〔次へ〕をクリックする



3 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

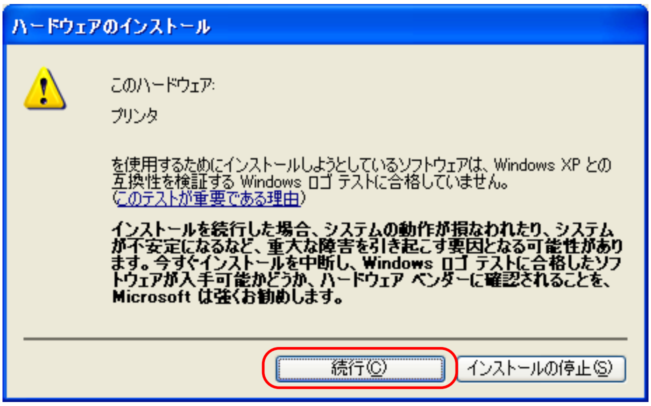
4 「次の場所で最適のドライバを検索する」の「次の場所を含める」にチェックをつけ、D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択した後〔次へ〕をクリックする



注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

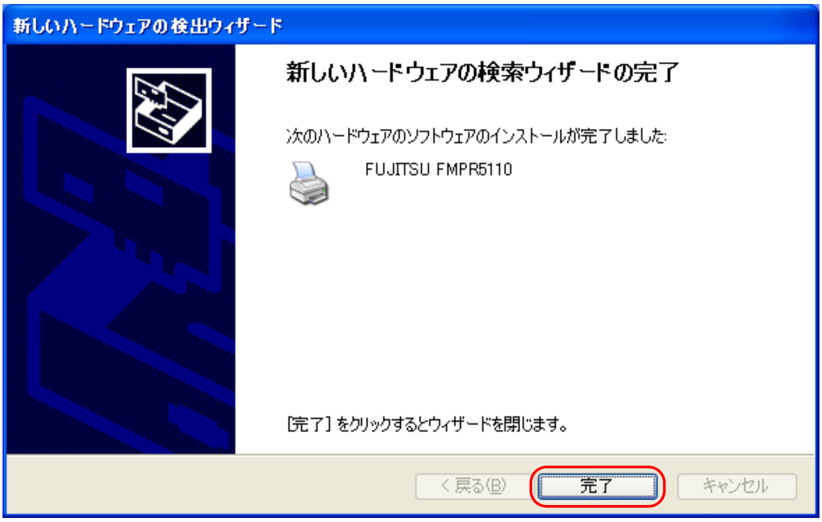
注 2)　64 ビット版 Windows XP をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

5 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、〔続行〕をクリックする



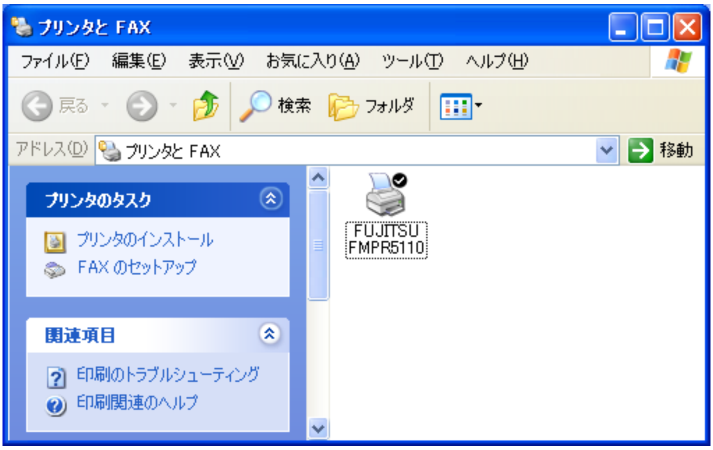
6 ファイルのコピーが開始される

7「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました: FUJITSU FMPR5110」というメッセージが表示される事を確認し〔完了〕をクリックする



8「プリンタと FAX」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタフォルダからのインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、プラグアンドプレイで検出する場合があります。
手動でプリンタを指定する場合、Windows XP を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、プラグアンドプレイで検出する場合を推奨します。
ここでは、Windows XP Professional にプリンタドライバをインストールするときの画面を例に説明しています。

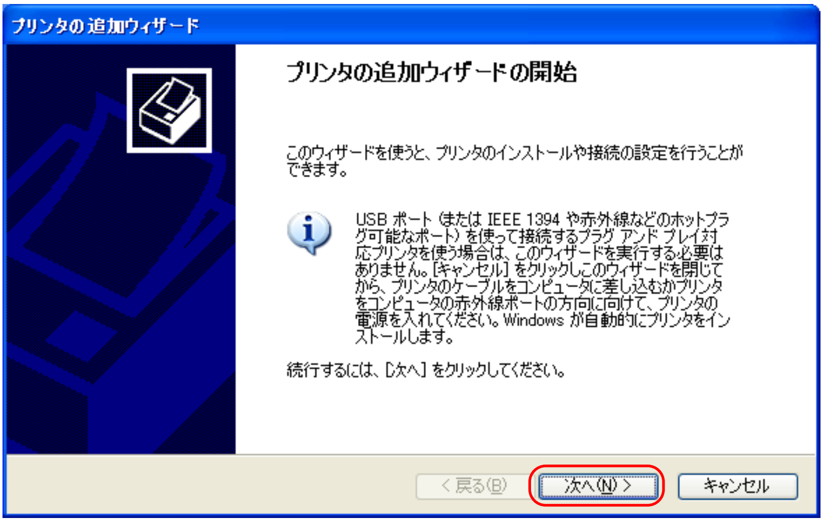
1 Windows XP を起動する

2 〔スタート〕→〔プリンタと FAX〕を選択して、次に〔プリンタのインストール〕をクリックする

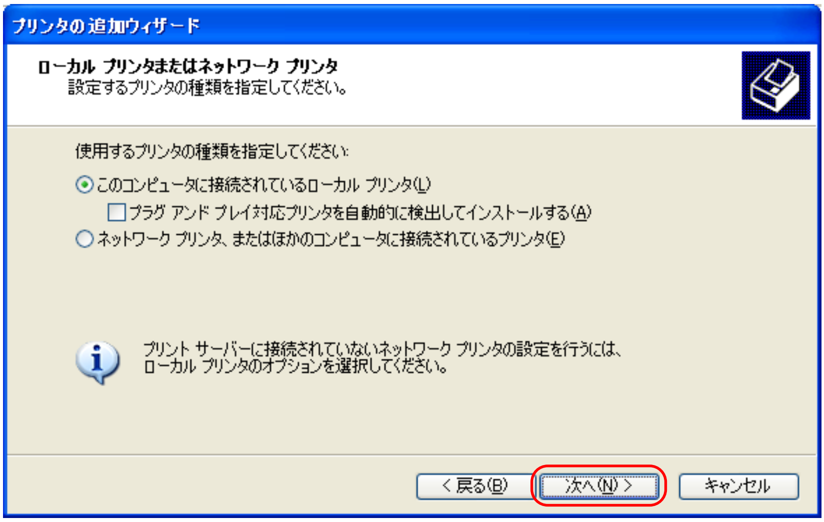
ガイド

・Windows XP Home Edition の場合は、〔スタート〕→〔コントロールパネル〕→〔プリンタとその他のハードウェア〕を選択して、「プリンタとその他のハードウェア」画面で「プリンタの追加する」を選択してください。

3 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示されたら〔次へ〕をクリックする



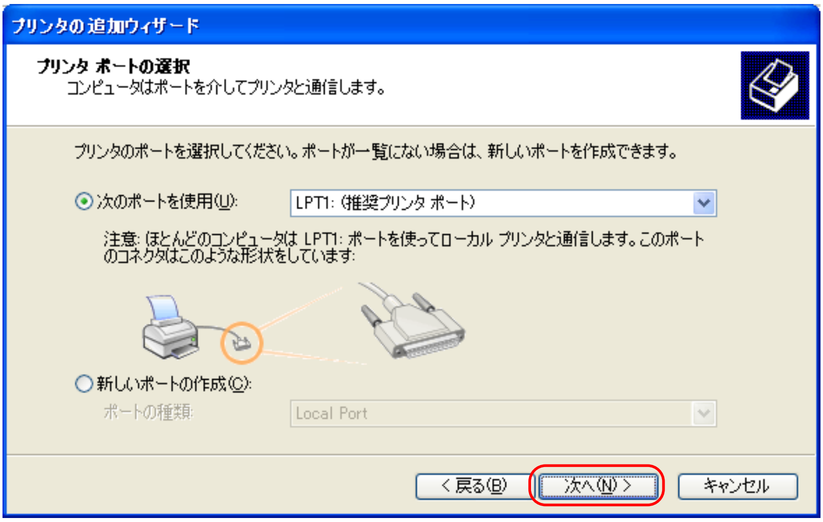
4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- プラグアンドプレイで検出する場合は、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックを付け、〔次へ〕をクリックします。
  本設定を行った場合は、「プラグアンドプレイで検出する場合」(292ページ) の手順 ***2*** に進みます。
  「プラグアンドプレイで検出する場合」(292ページ) の手順 ***7*** が終了したら、「プリンタフォルダからのインストール」の手順 ***1 2*** に進みます。
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

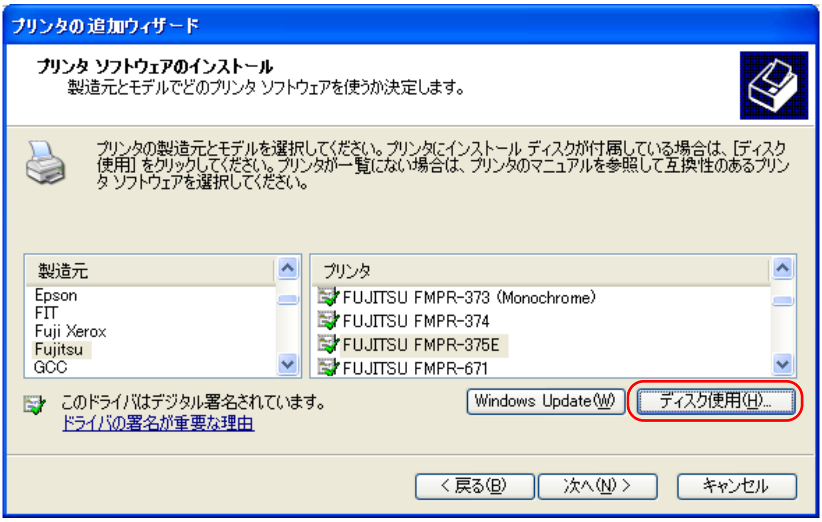
5 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

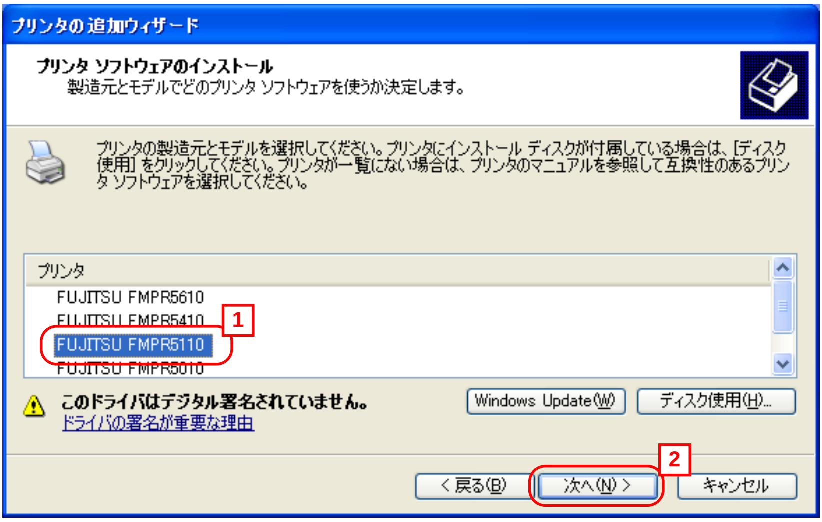
6 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする



7 「製造元のファイルのコピー元」に、D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする

注 1）　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2）　64 ビット版 Windows XP をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

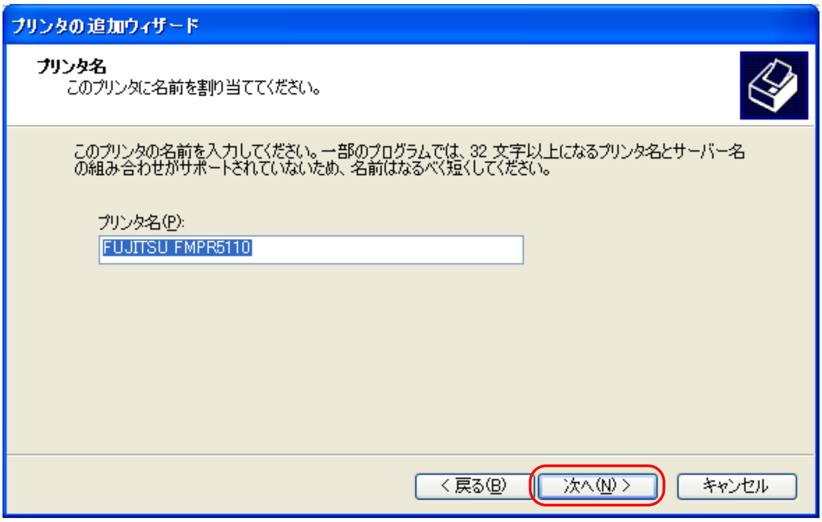
8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



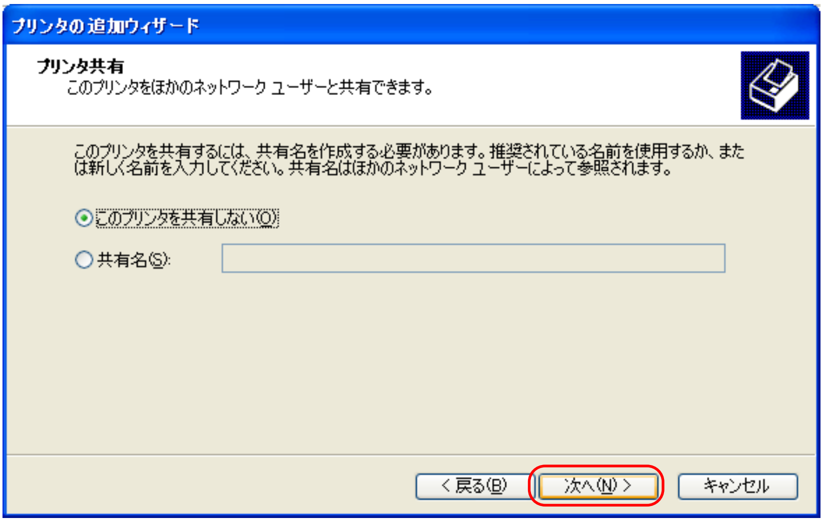
ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

９ プリンタ名を入力し、〔次へ〕をクリックする



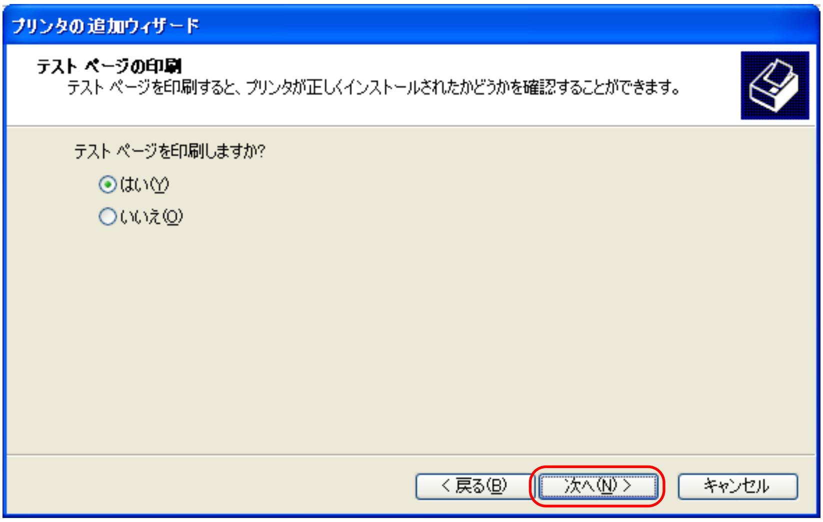
１０ プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・ここでは、必ず「このプリンタを共有しない」を選択してください。

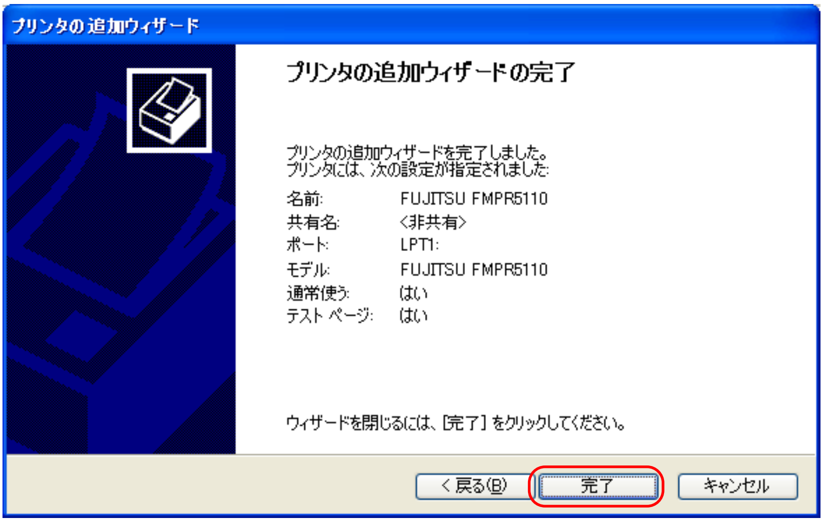
１１ テストページ印刷の設定を行い、〔次へ〕をクリックする



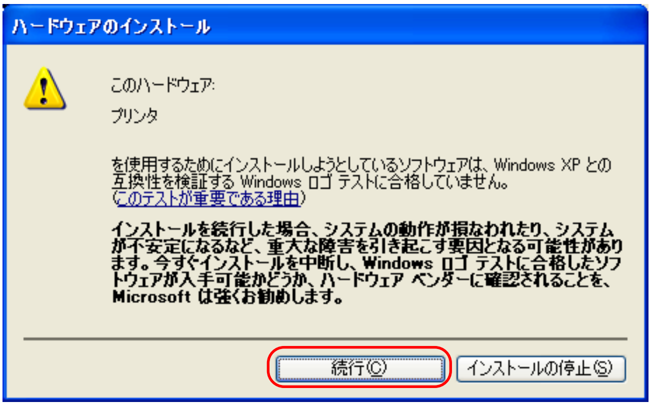
ガイド

- 〔はい〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第 3 章　用紙のセット」（69 ページ）を参照してください。
- 手順 *５* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔いいえ〕を選択してください。

１２ 〔完了〕をクリックする



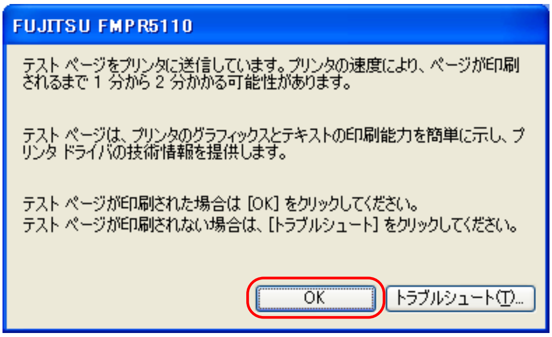
１３　「ハードウェアのインストール」画面で、「プリンタを使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XP との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していません。」と表示されますが、〔続行〕をクリックする



ガイド

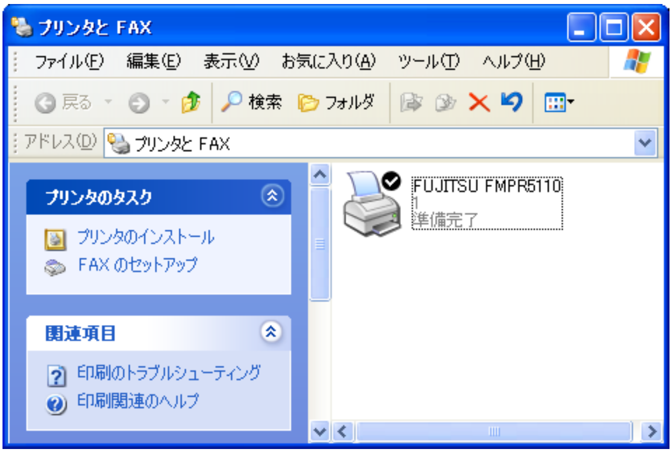
・〔続行〕をクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

１４　テストページが正しく印刷されたら、〔OK〕をクリックする



１５　「プリンタと FAX」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows 2000 のとき

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows 2000 Professional の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プリンタフォルダからプラグアンドプレイで検出するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR5110G を例に説明しています。
FMPR5010 をお使いの場合は、"FMPR5110"を"FMPR5010"と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5110 または FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G または FUJITSU FMPR5010 プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ（他のパソコンに接続されているプリンタ）でのインストール方法は、Windows 2000 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタの追加」からインストールすると、Windows 2000 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、プラグアンドプレイでのインストールを推奨します。
- USB インターフェースを使用する時に、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

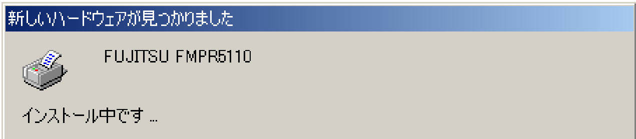
パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR5110」と表示されます。

ガイド

・プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
　プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」（309ページ）でインストールしてください。

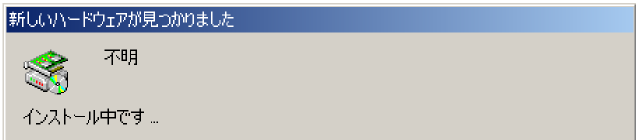
1　**プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態でWindows 2000を起動する**

2　**検出に成功すると、以下の画面が表示される**

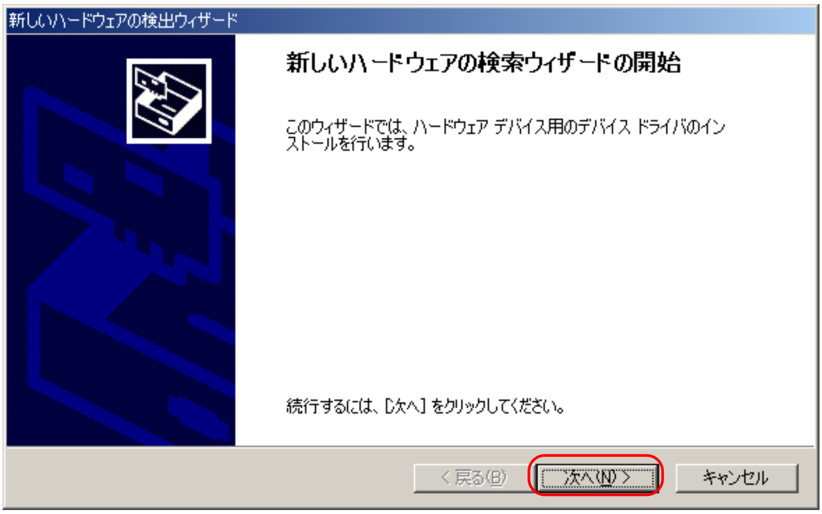


ガイド

・USBインターフェースで接続した場合“不明”となることがありますが、手順*3*項以降は同じ手順でインストールしてください。

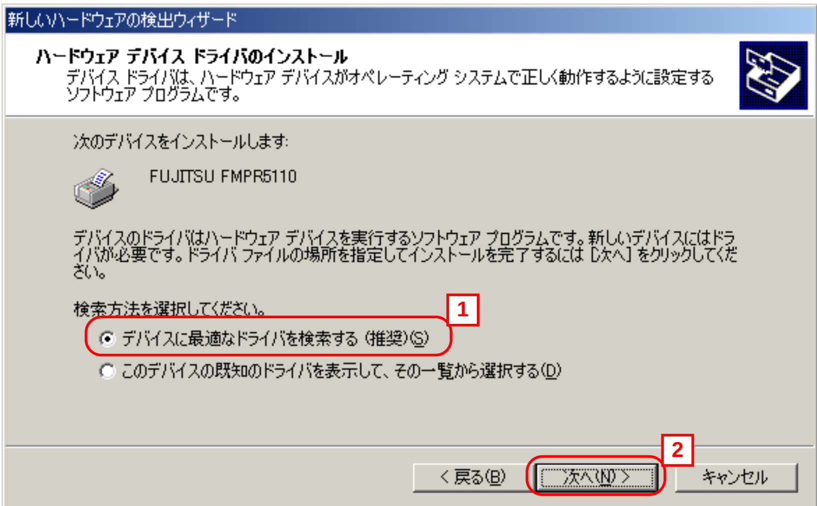


3 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



4 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

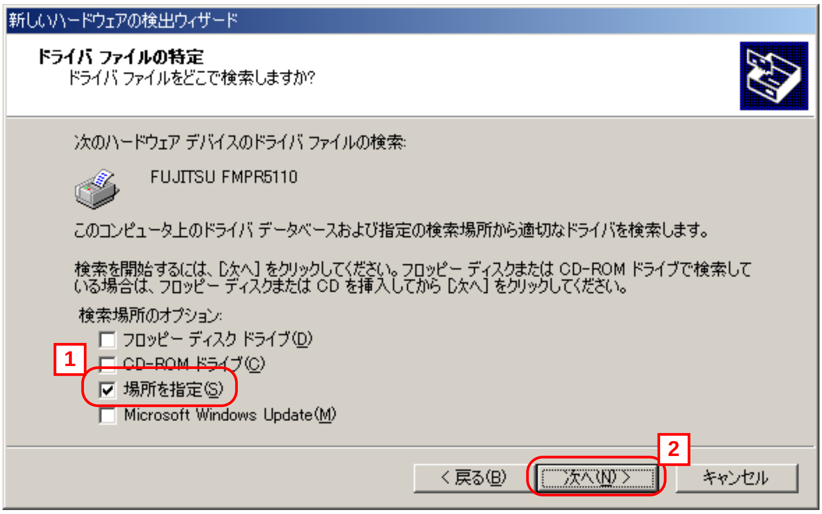
5 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



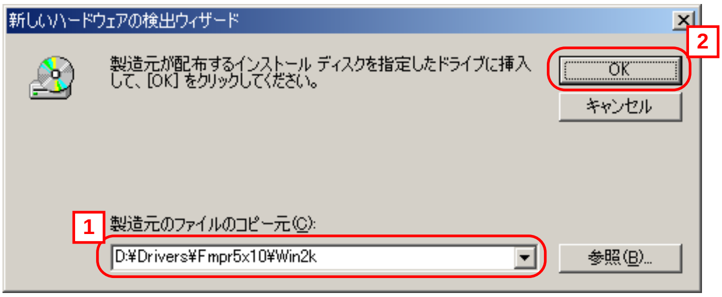
ガイド

- USB インターフェースの時は、本画面のプリンタアイコンが？アイコンになる場合があります。（これ以降の画面も同じです）

6 「場所を指定」だけにチェックをつけ、〔次へ〕をクリックする

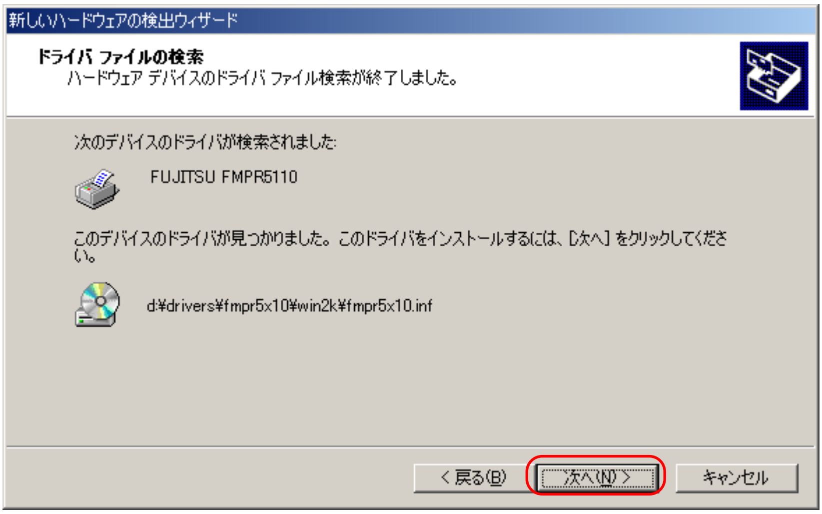


7 「製造元のファイルのコピー元」に、D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする

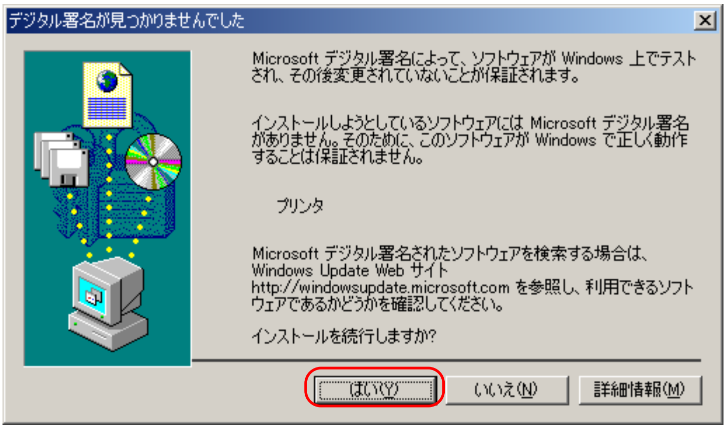


注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

8　「ドライバファイルの検索」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする

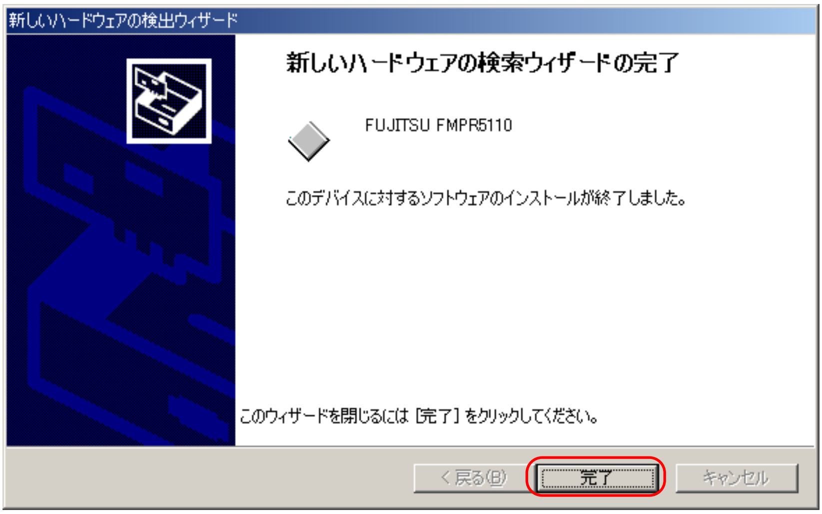


9　「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されますが、〔はい〕をクリックする



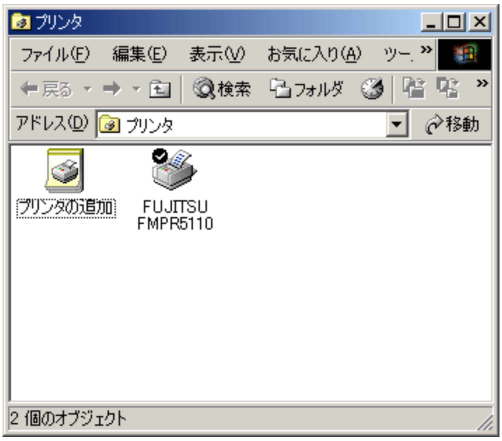
10　ファイルのコピーが開始される

１１　「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「FUJITSU FMPR5110　このデバイスに対するソフトウェアのインストールが完了しました。」というメッセージが表示される事を確認し、〔完了〕をクリックする



１２　「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。

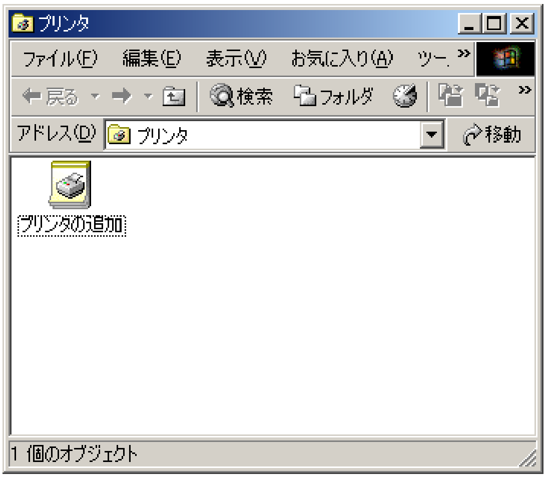


◆ プリンタフォルダからのインストール

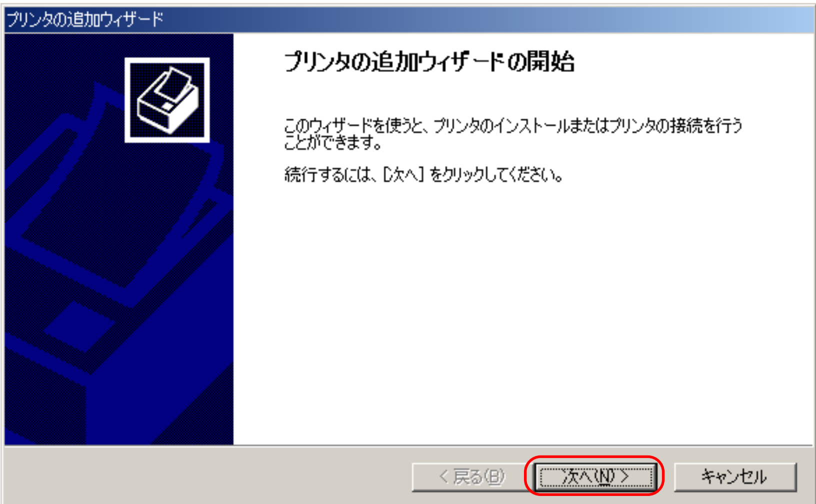
プリンタフォルダからのインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、プラグアンドプレイで検出する場合があります。

1 Windows 2000 を起動する

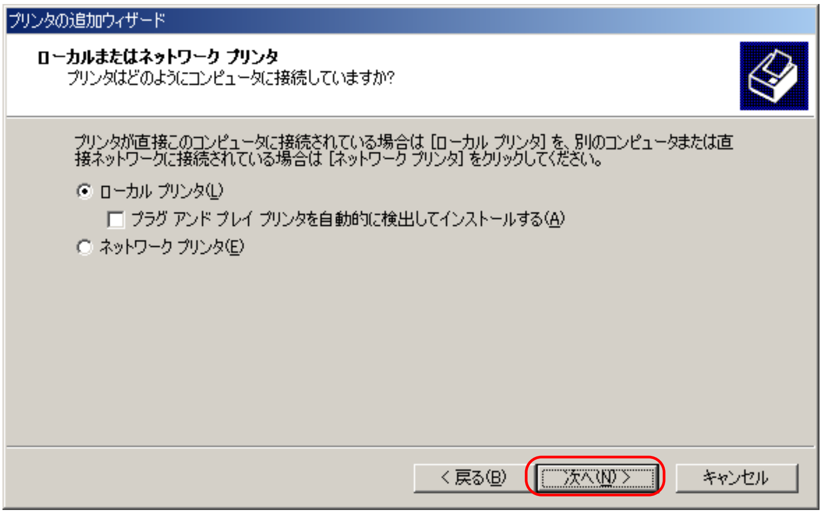
2 マイコンピュータのコントロールパネルより、〔プリンタ〕をダブルクリックして、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



3 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



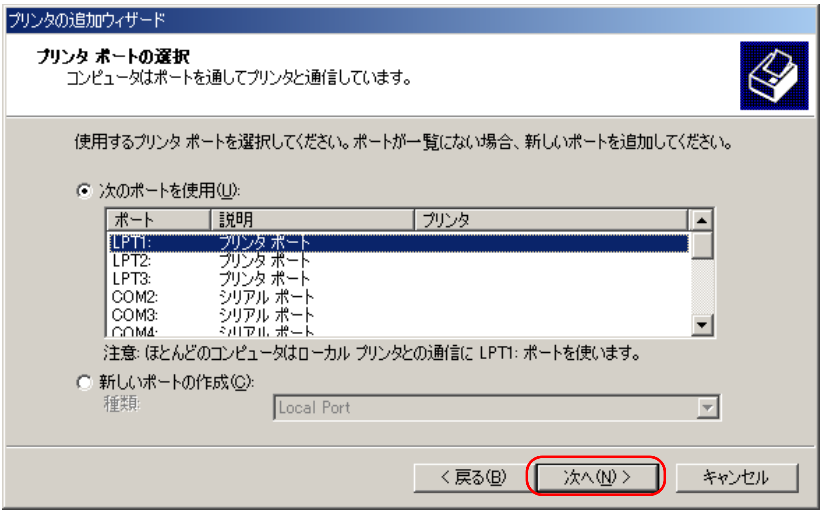
4　「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- プラグアンドプレイで検出する場合は、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックを付け、〔次へ〕をクリックします。
  本設定を行った場合は、「プラグアンドプレイで検出する場合」(304ページ)の手順 ***2*** に進みます。
  「プラグアンドプレイで検出する場合」(304ページ)の手順 ***7*** が終了したら、「プリンタフォルダからのインストール」の手順 ***12*** に進みます。
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

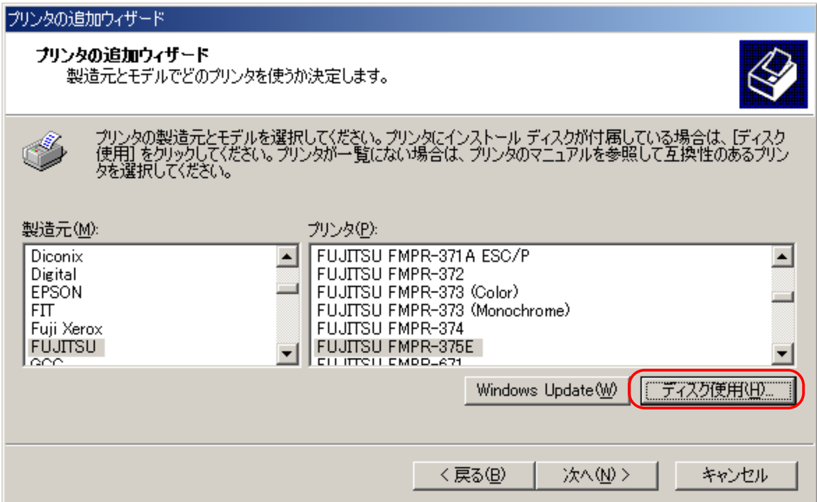
5 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



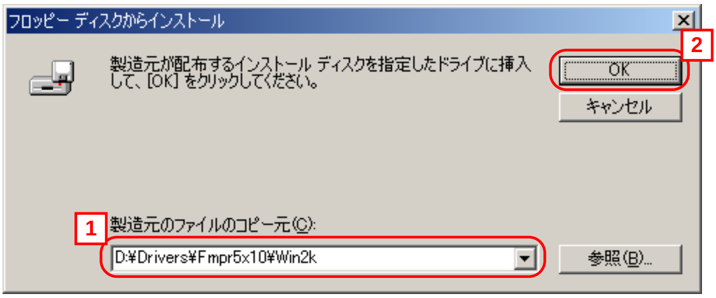
ガイド

・使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

6 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする

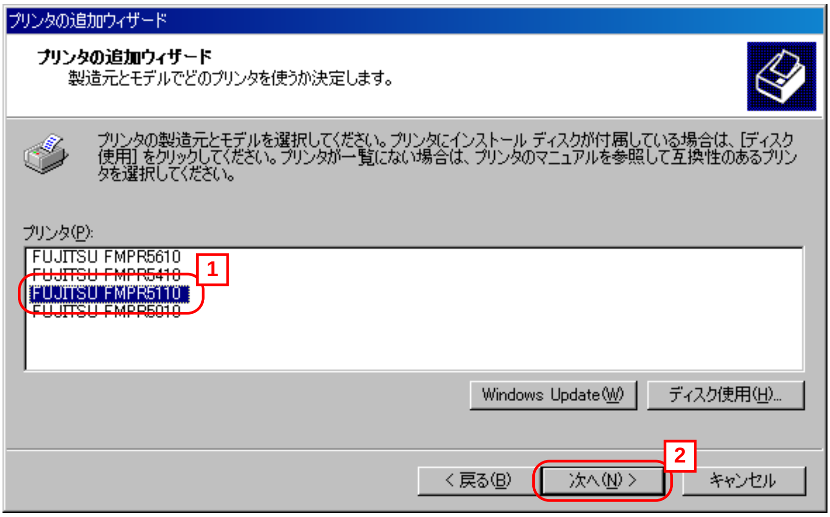


7 「製造元のファイルのコピー元」に、D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

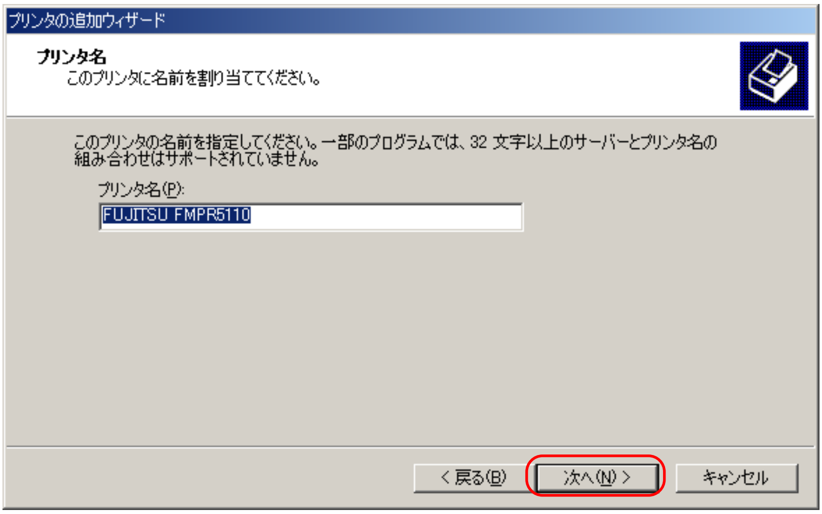
8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



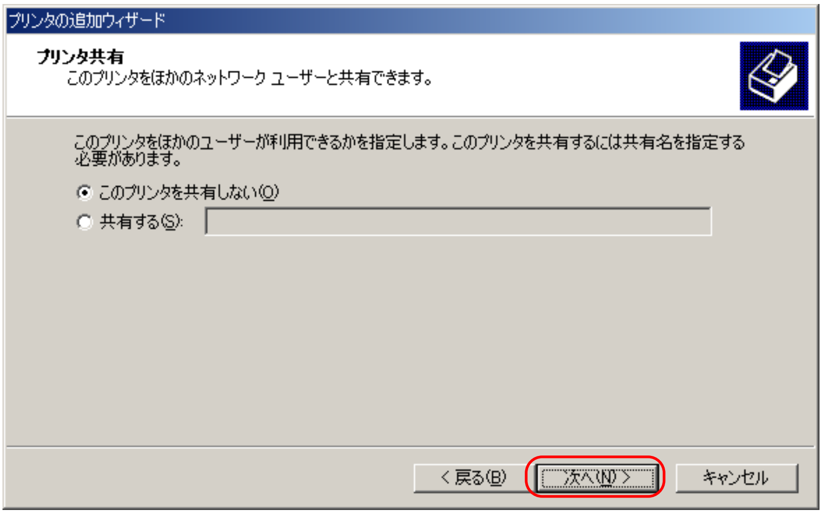
ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

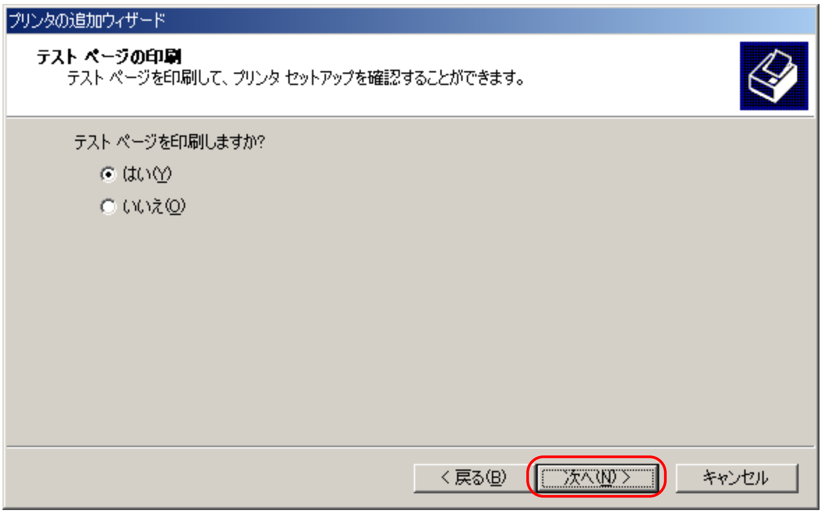
９　プリンタ名を入力し、〔次へ〕をクリックする



１０　「このプリンタを共有しない」を選択し、〔次へ〕をクリックする



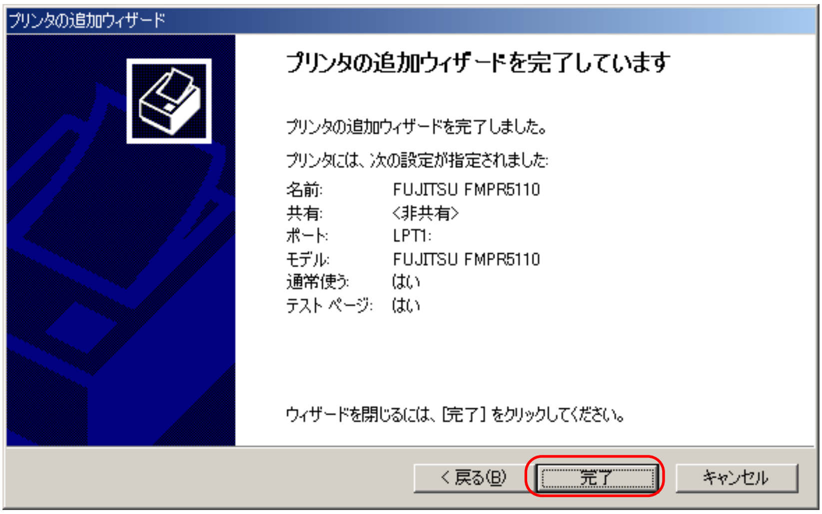
１１ テストページ印刷の設定を行い、〔次へ〕をクリックする



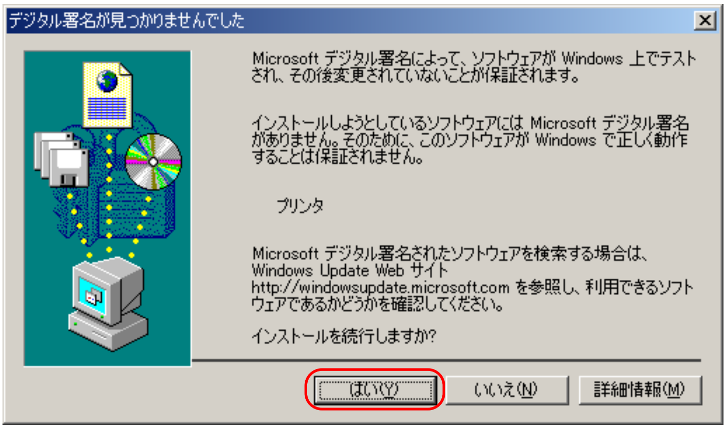
ガイド

- 〔はい〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。 用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（69 ページ）を参照してください。
- 手順 *５* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔いいえ〕を選択してください。

１２ 〔完了〕をクリックする

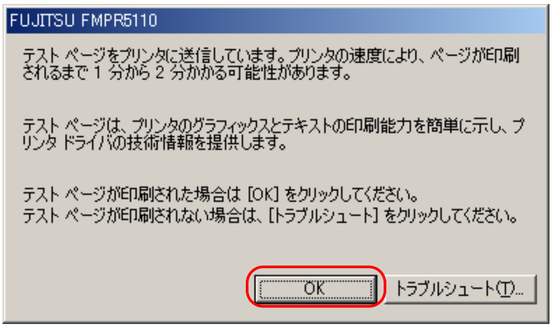


１３　「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されますが、〔はい〕をクリックする



１４　ファイルのコピーが開始される

１５　テストページが正しく印刷されたら、〔OK〕をクリックする



１６　「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows NT 4.0 のとき

ここでは、Windows NT 4.0 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows NT 4.0 の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタフォルダから手動で指定します。
以下の手順では、FMPR5110G を例に説明しています。
FMPR5010 をお使いの場合は、“FMPR5110”を“FMPR5010”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows NT 4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5110 または FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G または FUJITSU FMPR5010 プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows NT 4.0 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- Windows NT 4.0 では、プラグアンドプレイでのインストールをサポートしておりません。
- Windows NT 4.0 では、USB インターフェースをサポートしておりませんので、USB インターフェースケーブルでのご使用はできません。

◆ プリンタフォルダからのインストール

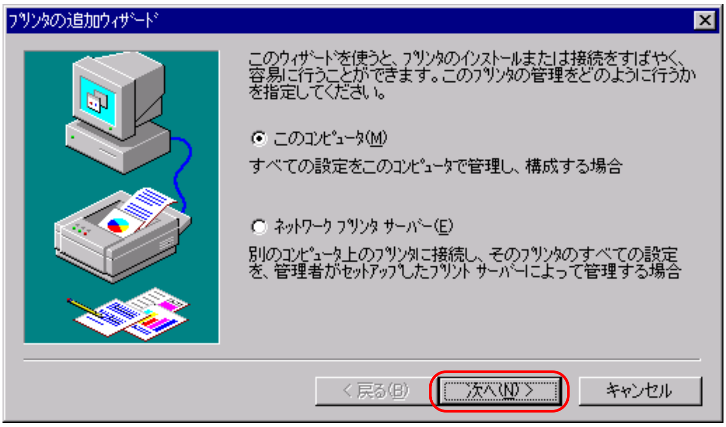
プリンタドライバのインストールは、以下の手順で行います。

1 Windows NT 4.0 を起動する

2 マイコンピュータのコントロールパネルより、〔プリンタ〕をダブルクリックして、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



3 「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されたら、〔このコンピュータ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 〔ネットワークプリンタサーバー〕を選択してインストールするには、あらかじめプリントサーバー上に対応するプリンタドライバがインストールされている必要があります。
- 本プリンタドライバは、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

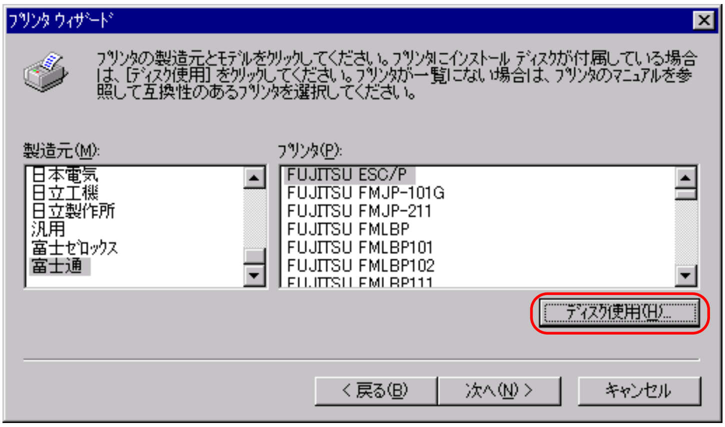
4 「利用可能なポート」から、プリンタを接続したポートを選択して、〔次へ〕をクリックする



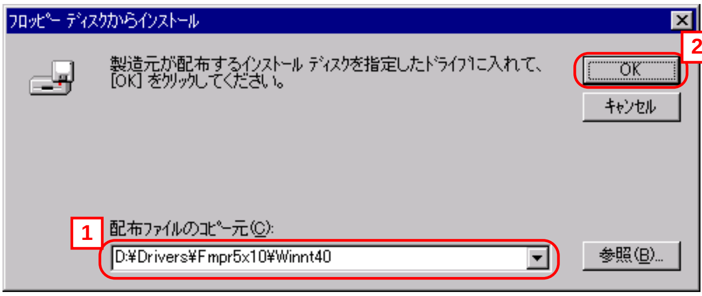
ガイド

・使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。
この場合は、正しいポート設定を行うまでテストページ等の印刷は行わないでください。

5 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする

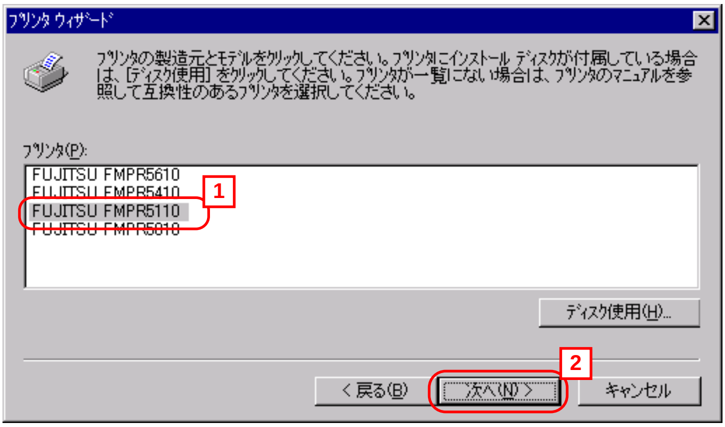


6 「配布ファイルのコピー元」に、D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Winnt40」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Winnt40」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

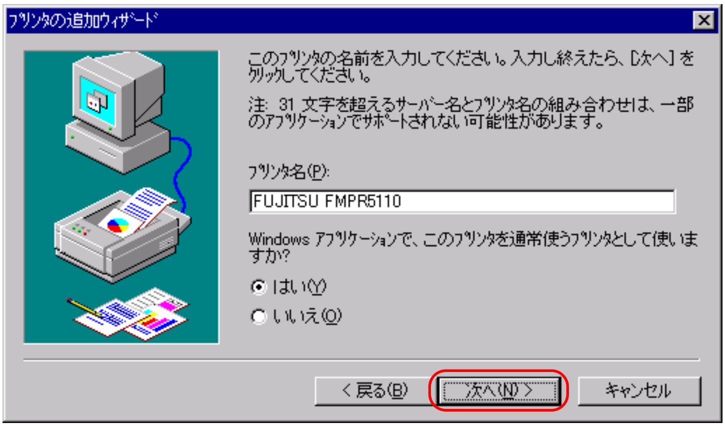
7 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？新しいドライバを使うと、印刷結果が異なる場合があります。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

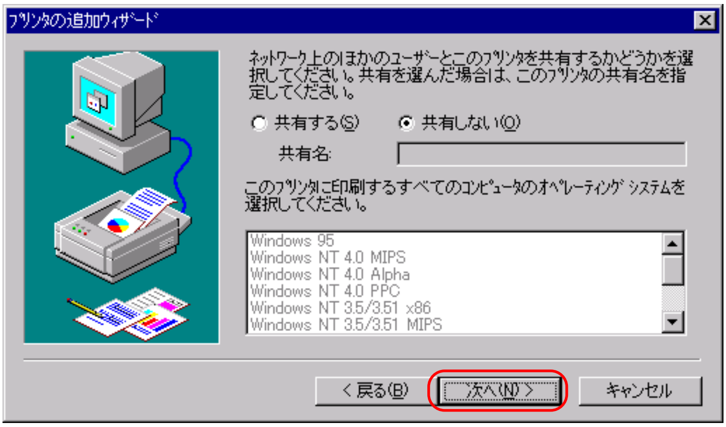
8 プリンタ名を入力し、通常使用するプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・他にインストールされているプリンタが無い場合は、自動的に通常使用するプリンタに設定されます。

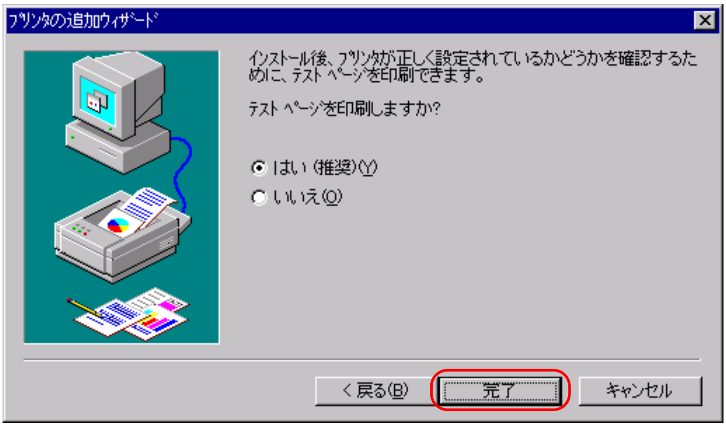
9 プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・ここでは、必ず「共有しない」を選択してください。

１０ テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕をクリックする

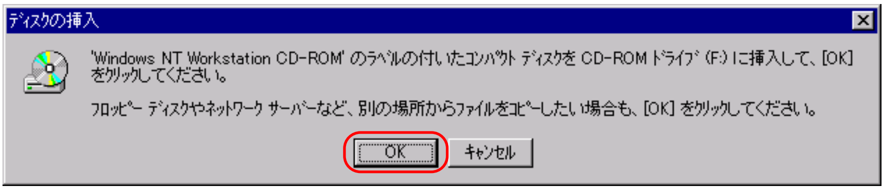


ガイド

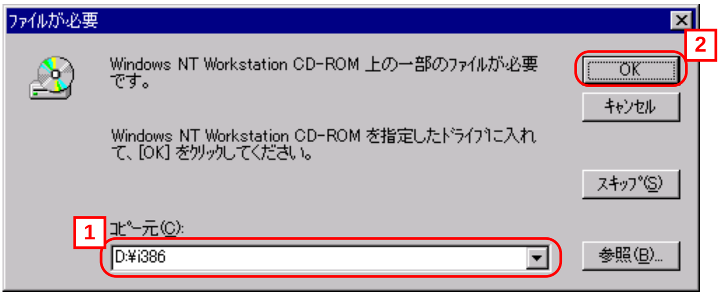
- 〔はい〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。 用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（69 ページ）を参照してください。
- 手順 *５* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔いいえ〕を選択してください。

１１ ファイルのコピーが開始される

１２ 〔ディスクの挿入〕画面が表示されたら、Windows NT 4.0 システムディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして〔OK〕をクリックする



１３　「コピー元」に「D:¥I386」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥I386」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



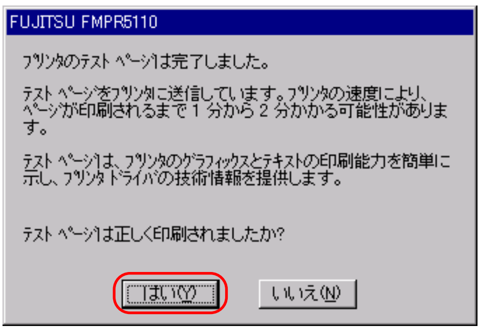
注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

１４　ファイルのコピーが完了したら、「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する



１５　手順**１０**のテストページ印刷で〔はい〕を選択した場合は、以下の画面が表示されます。テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックする

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows Me のとき

ここでは、Windows Me が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows Me の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR5110G を例に説明しています。
FMPR5010 をお使いの場合は、“FMPR5110”を“FMPR5010”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows Me のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5110 または FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G または FUJITSU FMPR5010 プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows Me の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。
- インストールの途中で「バージョンの競合（コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します。既存のファイルをそのまま使うことをお勧めします。）」というメッセージが表示される場合があります。
  〔はい〕をクリックしてください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

ガイド

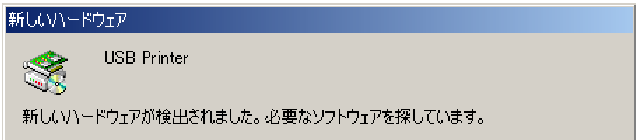
・プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
　プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」（332ページ）でインストールしてください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態でWindows Me を起動する

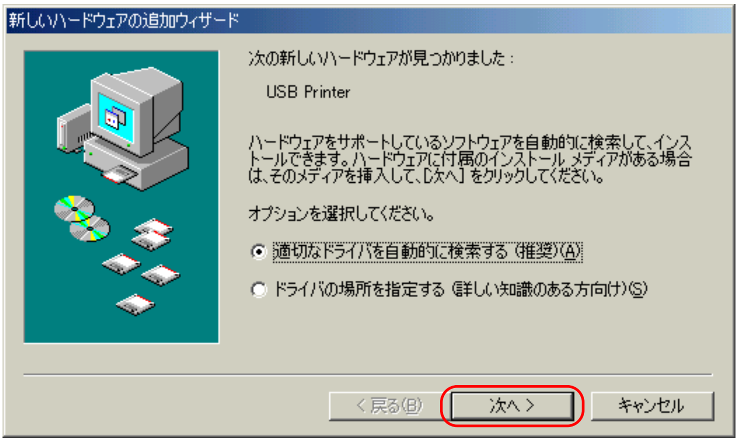
ガイド

・パラレルインターフェースの場合は、手順 *8* に進みます。
　USB インターフェースの場合は、手順 *2* に進みます。

2 「USB Printer　新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」の表示を確認する



3 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・ここで、「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、手順 ***5*** に進みます。

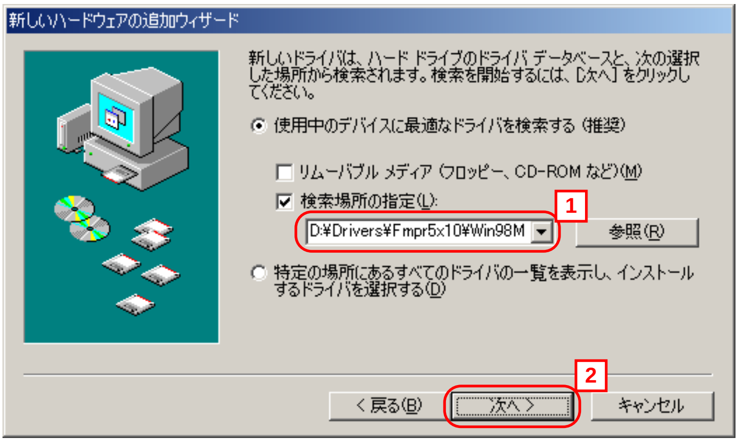
4 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする



ガイド

・〔完了〕をクリックしたら、手順 ***8*** に進みます。

5 手順 **3** にて「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、以下の画面が表示されますので、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

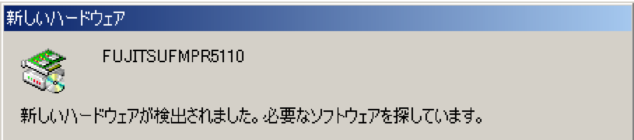
6 USB ドライバが見つかったことを確認して、〔次へ〕をクリックする



7 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする



8 「FUJITSUFMPR5110 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示される



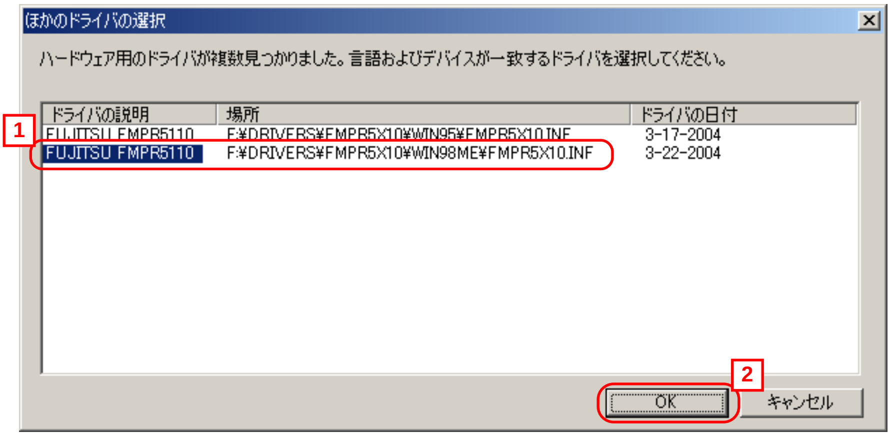
9 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「適切なドライバを自動的に検索（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・ここで、「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、手順 *11* に進みます。

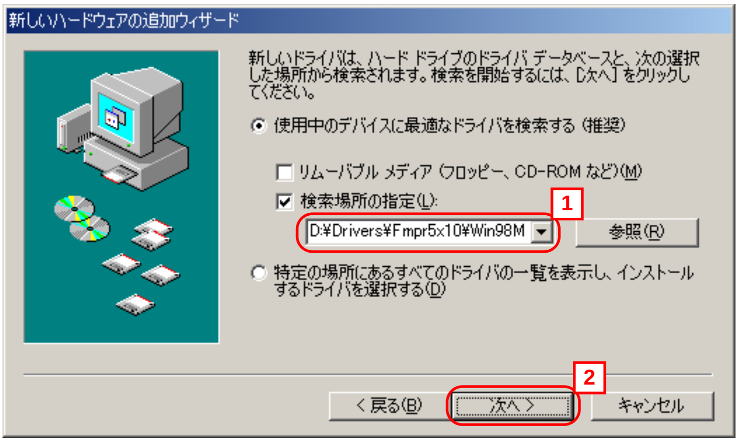
１０　「ほかのドライバの選択」画面が表示されたら、“Win98Me”フォルダのドライバを選択して、〔OK〕をクリックする



ガイド

- フォルダ名は〔場所〕に表示されます。
- 〔OK〕をクリックしたら、手順*１３*に進みます。

１１　手順*９*にて「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、以下の画面が表示されますので、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする

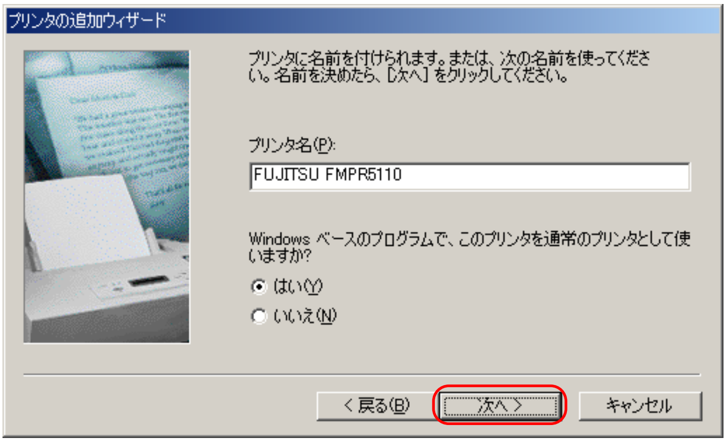


注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

１２ プリンタドライバが見つかったことを確認して、〔次へ〕をクリックする



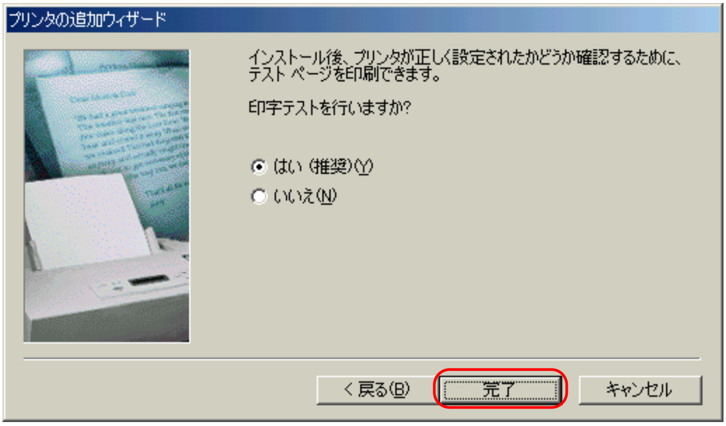
１３ 「プリンタ名」に表示されるモデル名を確認し、通常使用するプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・他にインストールされているプリンタが無い場合は、自動的に通常使用するプリンタに設定されます。

１４ テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕をクリックする

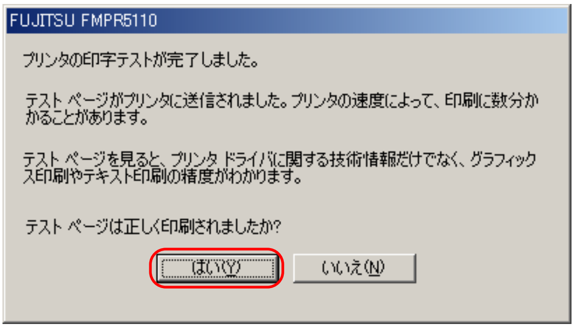


ガイド

・〔はい（推奨）〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（69 ページ）を参照してください。

１５ ファイルのコピーが開始される

１６ 手順 **１４** のテストページ印刷で〔はい（推奨）〕を選択した場合は、以下の画面が表示されます。テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックする



１７　「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする



１８　「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



◆　プリンタフォルダからのインストール

プリンタドライバのインストールは、以下の手順で行います。

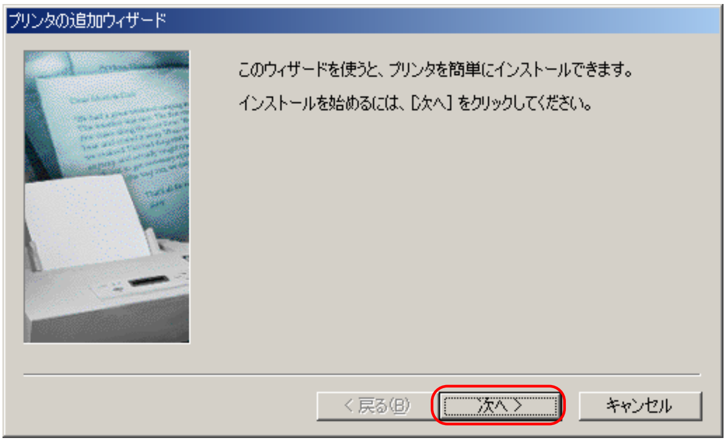
ガイド

・USB インターフェースで接続するときは、「プラグアンドプレイで検出する場合」の手順でインストールしてください。

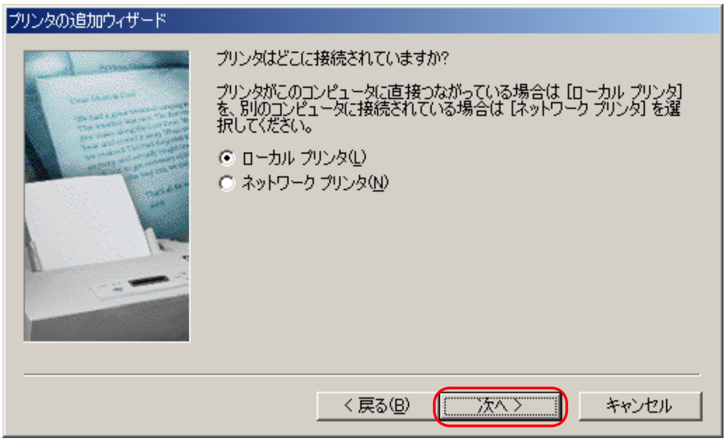
1 Windows Me を起動する

2 マイコンピュータのコントロールパネルより、〔プリンタ〕をダブルクリックして、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

3 「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



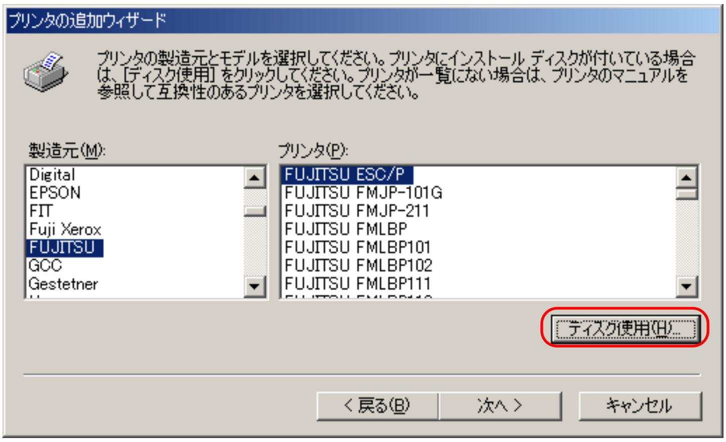
4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



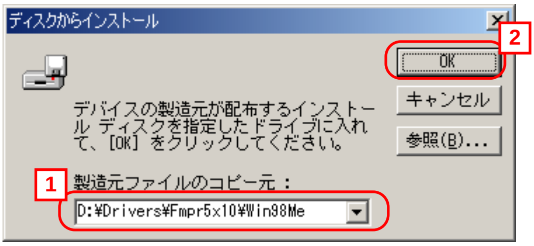
ガイド

- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。　また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

5 製造元別のプリンタリストが表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする



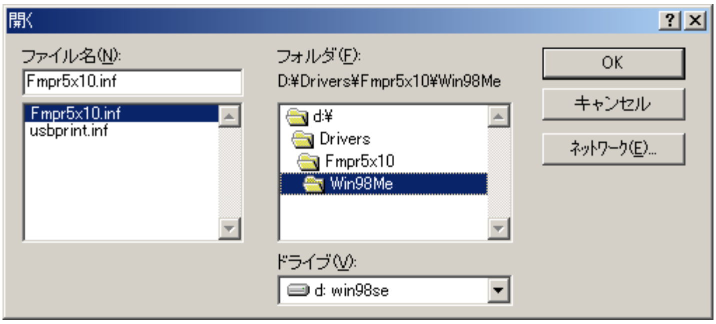
6 「配布ファイルのコピー元」に「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



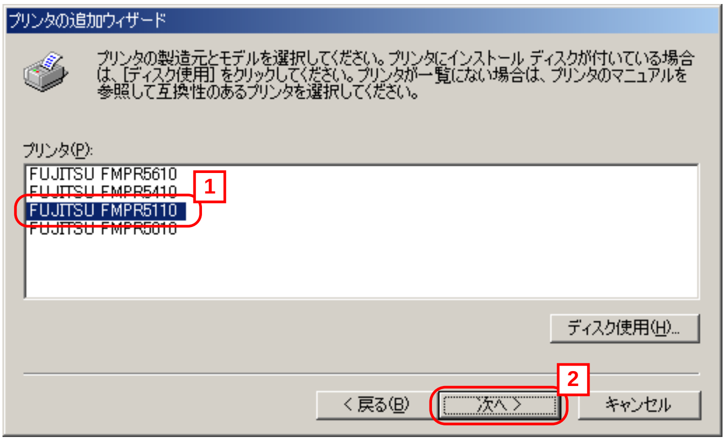
注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

ガイド

- 〔参照〕をクリックしてドライバファイルの場所を指定するときは、“Win98Me”フォルダの“FMPR5X10.INF”ファイルを選択してください。



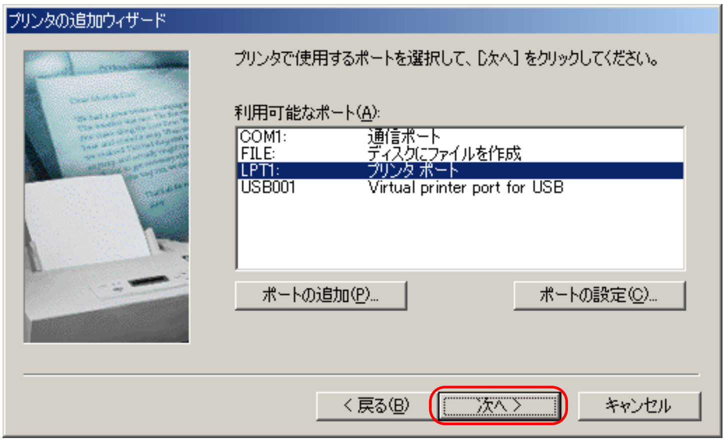
7 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



ガイド

・「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

8 「利用できるポート」から、プリンタを接続したポートを選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。
この場合は、正しいポート設定を行うまでテストページ等の印刷は行わないでください。

9 以降の手順は、プラグアンドプレイで検出する場合の手順 *13* から *18* に従って、プリンタドライバをインストールする

■ Windows 98 のとき

ここでは、Windows 98 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows 98 の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR5110G を例に説明しています。
FMPR5010 をお使いの場合は、"FMPR5110"を"FMPR5010"と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5110 または FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G または FUJITSU FMPR5010 プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows 98 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。
- インストールの途中で「バージョンの競合（コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します。既存のファイルをそのまま使うことをお勧めします。）」というメッセージが表示される場合があります。
  〔はい〕をクリックしてください。

・Windows 98 の問題により、USBポートを指定したプリンタドライバがインストールされている状態で、新たにUSBポートを使用するプリンタドライバをプラグアンドプレイでインストールを行うと、プリンタドライバのインストールに失敗する場合があります。この場合、Windows 98 を再起動後、プリンタフォルダの「プリンタの追加」から新たに作成されたUSBポートを指定してインストールしてください。「プリンタの追加」からのインストール方法は、本章の「プリンタフォルダからのインストール」（346ページ）を参照してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

ガイド

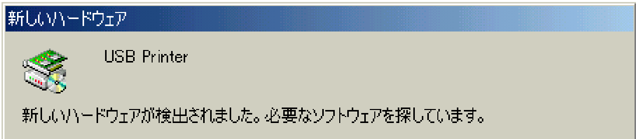
- プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
  プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」（346ページ）でインストールしてください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 98 を起動する

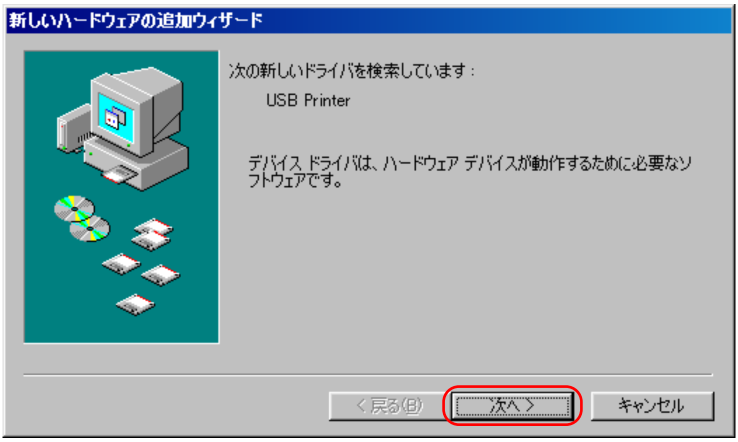
ガイド

- パラレルインターフェースの場合は、手順 *8* に進みます。
  USB インターフェースの場合は、手順 *2* に進みます。

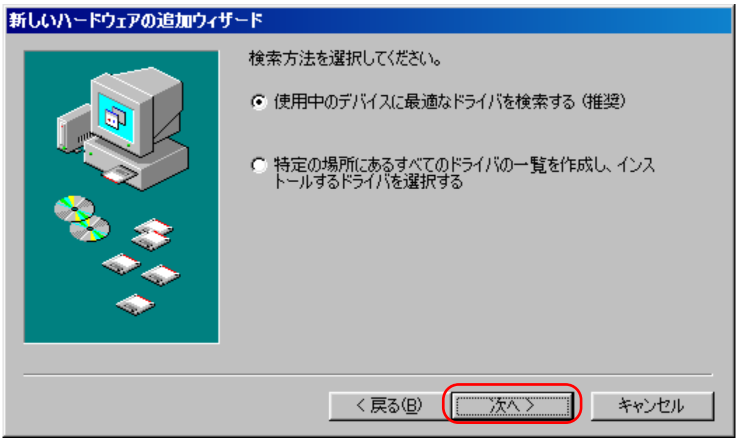
2 「USB Printer　新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」の表示を確認する



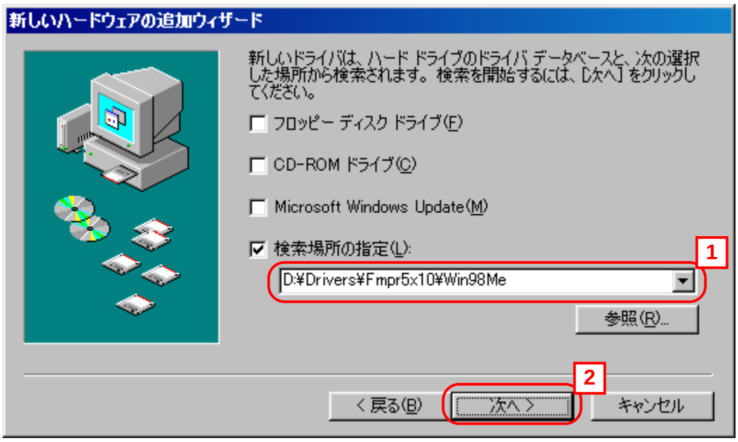
3 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



5 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



注 1）　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

6 USB ドライバが見つかったことを確認して、〔次へ〕をクリックする



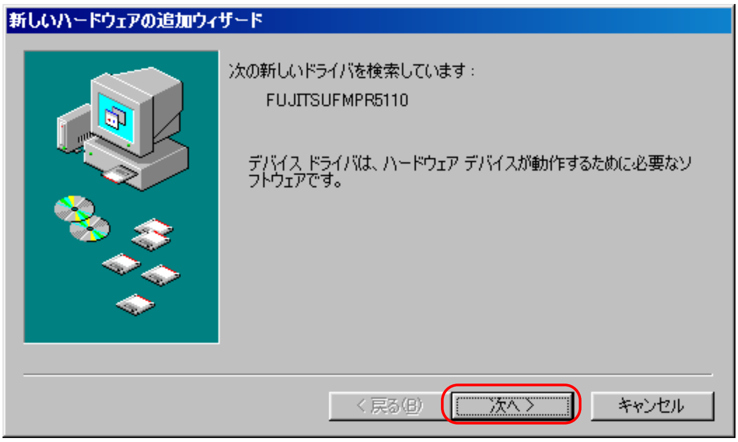
7 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする



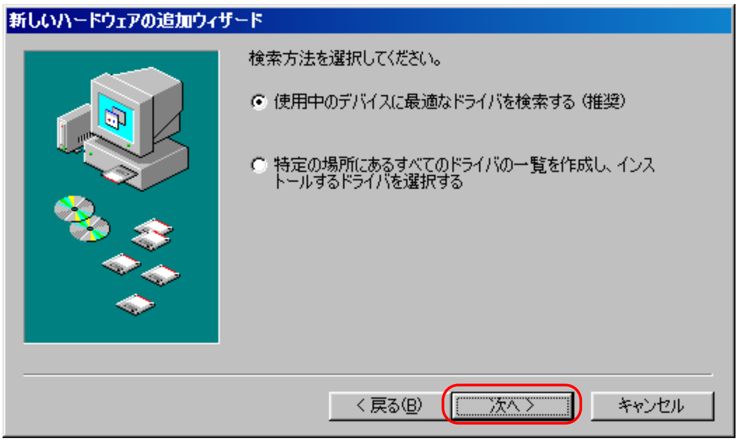
８　「FUJITSU FMPR5110　新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示される



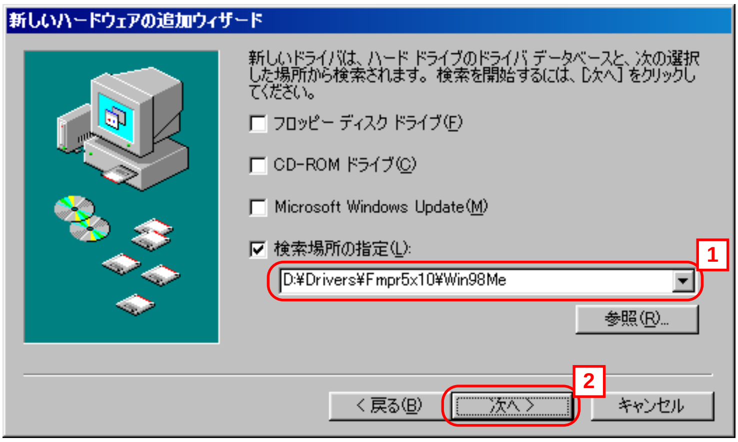
９　「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



１０　「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



１１ 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットし、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする

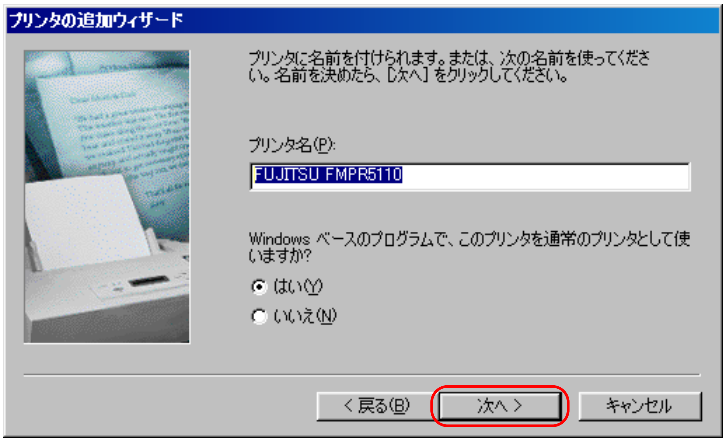


注1）　上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

１２ プリンタドライバが見つかったことを確認して、〔次へ〕をクリックする



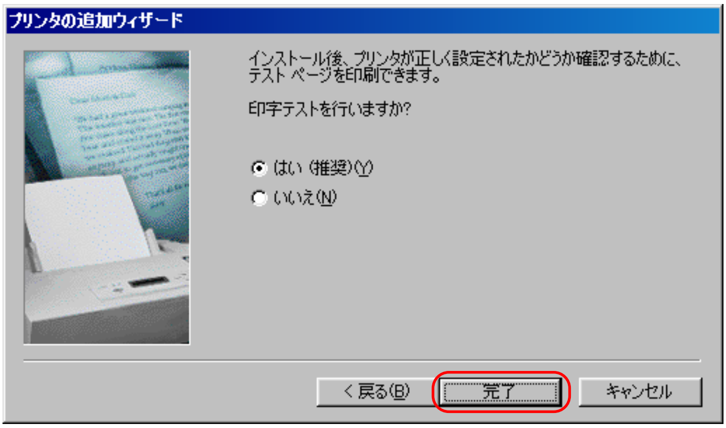
１３　「プリンタ名」に表示されるモデル名を確認し、通常使用するプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・他にインストールされているプリンタが無い場合は、自動的に通常使用するプリンタに設定されます。

１４　テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕をクリックする



ガイド

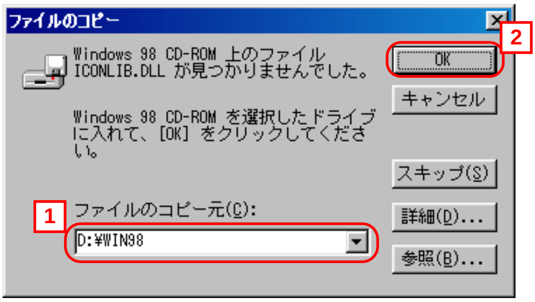
・〔はい（推奨）〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（69 ページ）を参照してください。

１５ ファイルのコピーが開始される

１６ 〔ディスクの挿入〕ウィンドウが表示されたら、Windows 98 システムディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、〔OK〕をクリックする

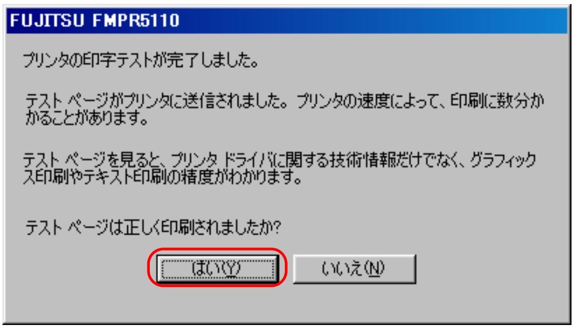


１７ 「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥WIN98」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

１８ 手順 **１４** のテストページ印刷で〔はい（推奨）〕を選択した場合は、以下の画面が表示されます。テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックする



１９ 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする



２０ 「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



◆　プリンタフォルダからのインストール

プリンタドライバのインストールは、以下の手順で行います。

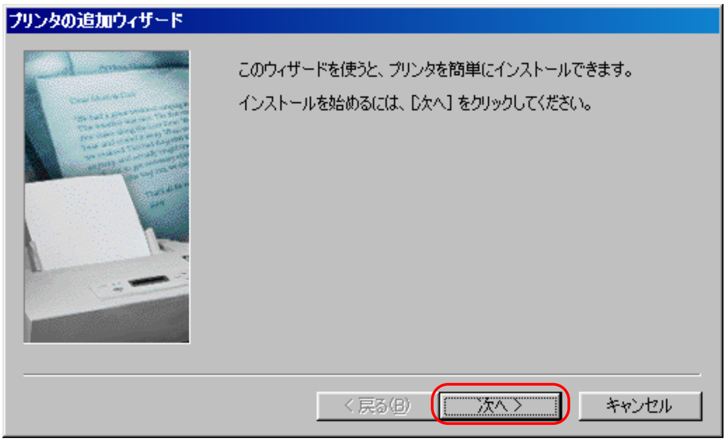
ガイド

・USB インターフェースで接続するときは、「プラグアンドプレイで検出する場合」の手順でインストールしてください。

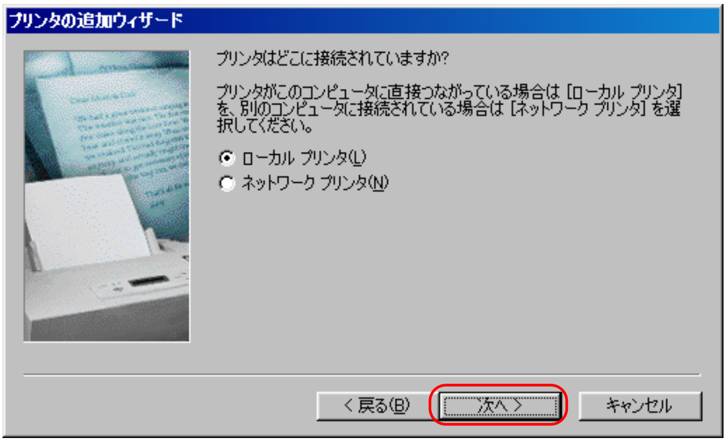
1 Windows 98 を起動する

2 マイコンピュータのコントロールパネルより、〔プリンタ〕をダブルクリックして、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

3 「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



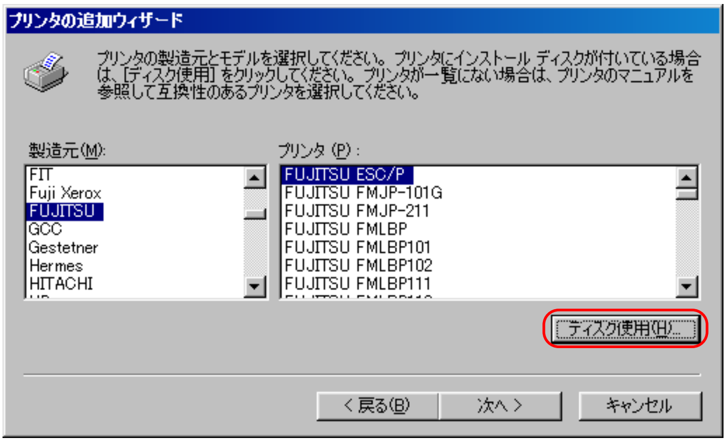
4　「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

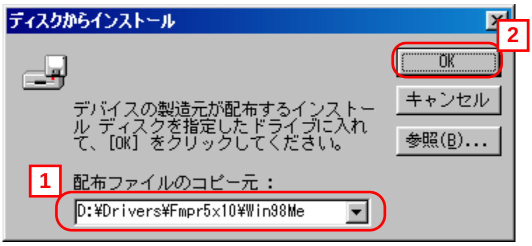
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

5 製造元別のプリンタリストが表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする



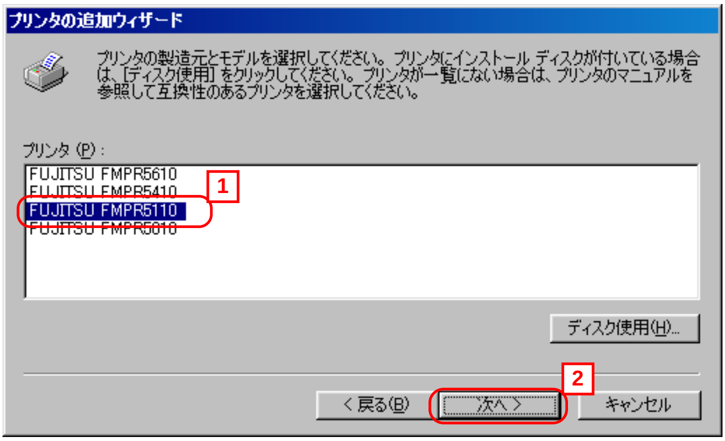
6 「配布ファイルのコピー元」に「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」を選択する

入力が終わったら〔OK〕をクリックする



注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

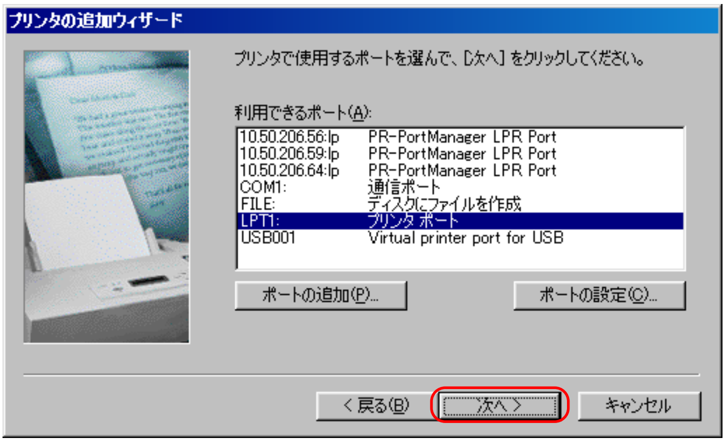
7 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



ガイド

・「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

8 「利用できるポート」から、プリンタを接続したポートを選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。
この場合は、正しいポート設定を行うまでテストページ等の印刷は行わないでください。

9 以降の手順は、プラグアンドプレイで検出する場合の手順 *１３* から *２０* に従って、プリンタドライバをインストールする

FMPR プリンタユーティリティのインストール ---

FMPR ステータスモニタおよび FMPR リモートパネルのインストールは以下の手順で行ってください。

FMPR プリンタユーティリティの機能については、「第３章　FMPR ステータスモニタ」、「第４章　FMPR リモートパネル」を参照してください。

ガイド

- 本ユーティリティは、Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 に対応しています。
- FMPR ユーティリティをインストールするときは、必ず FMPR5110 または FMPR5010 プリンタドライバを先にインストールしてから、ソフトウェアのインストールを行ってください。
- 本ユーティリティを Windows Vista/2008/7/2008 R2 にインストール中、「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示される場合がありますので、〔許可〕または〔はい〕をクリックしてください。

■　初めてインストールするとき

FMPR プリンタユーティリティを初めてインストールするときは、以下の手順で行います。

1 **添付の「FMPR セットアップディスク」をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する**

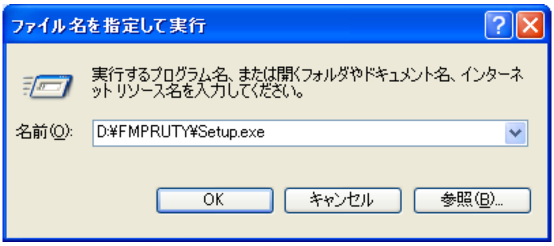
2 **〔スタート〕ボタンをクリックし、スタートメニューから〔ファイル名を指定して実行（R）〕をクリックする**

＜名前＞に「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」を選択します。

入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックしてください。

注1) Windows 7/2008 R2 のときは、〔スタート〕ボタンをクリックし、スタートメニューの〔プログラムとファイルの検索〕に、「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」と入力してください。
Windows Vista/2008 のときは、〔スタート〕ボタンをクリックし、スタートメニューの〔検索の開始〕に、「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」と入力してください。

注2) CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

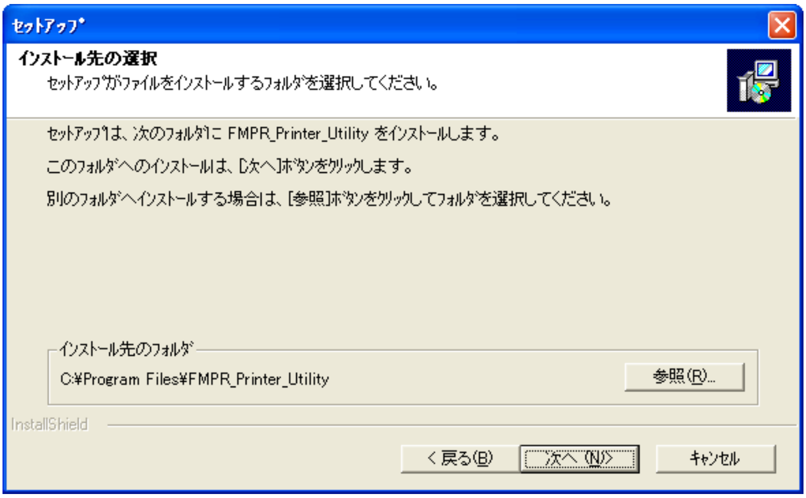


3 **内容を確認し、〔次へ〕をクリックする**



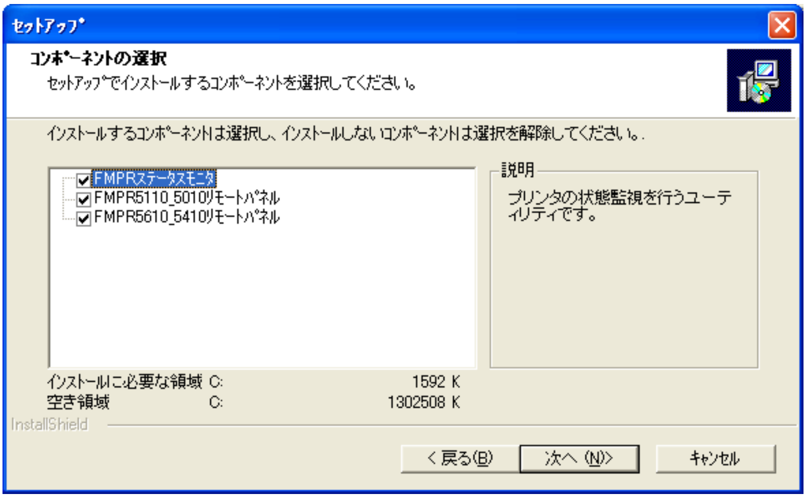
4 プログラムをインストールするフォルダを指定する

フォルダを変更する場合は、〔参照〕をクリックして、フォルダを選択します。
フォルダを指定したら、〔次へ〕をクリックします。



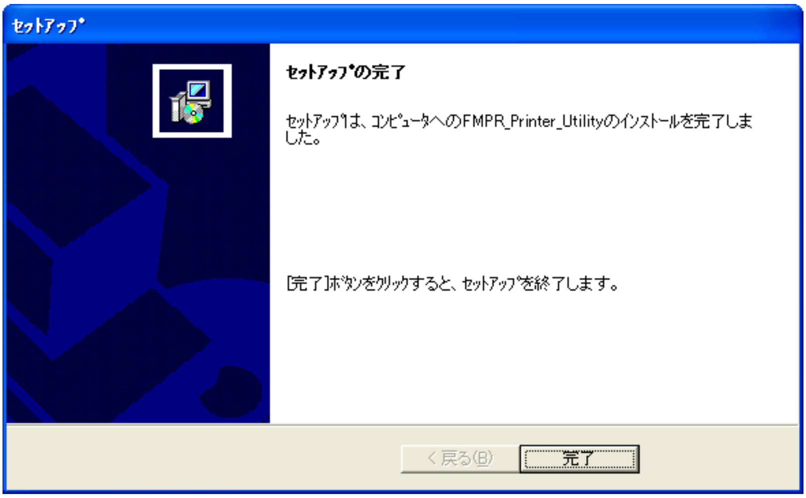
5 インストールするソフトウェアにチェックを付け、〔次へ〕をクリックする

〔次へ〕をクリックすると、インストールが開始されます。



6　〔完了〕ボタンをクリックする

これで FMPR プリンタユーティリティ（FMPR ステータスモニタ、FMPR リモートパネル）のインストールは終了です。



■ FMPR プリンタユーティリティをメンテナンスするとき

インストールされている FMPR プリンタユーティリティをメンテナンス（プログラムの変更・修正・削除）するときは、以下の手順で行います。

1 FMPR プリンタユーティリティ（FMPR ステータスモニタ、FMPR リモートパネル）を終了する

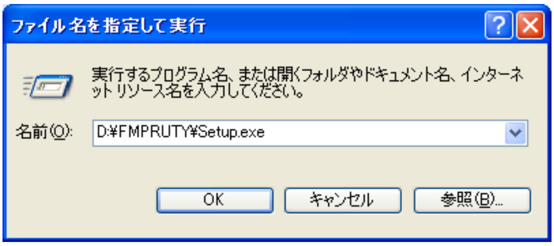
2 添付の「FMPR セットアップディスク」をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する

3 〔スタート〕ボタンをクリックして、スタートメニューから〔ファイル名を指定して実行（R）〕をクリックする

<名前>に「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」を選択します。
入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックしてください。

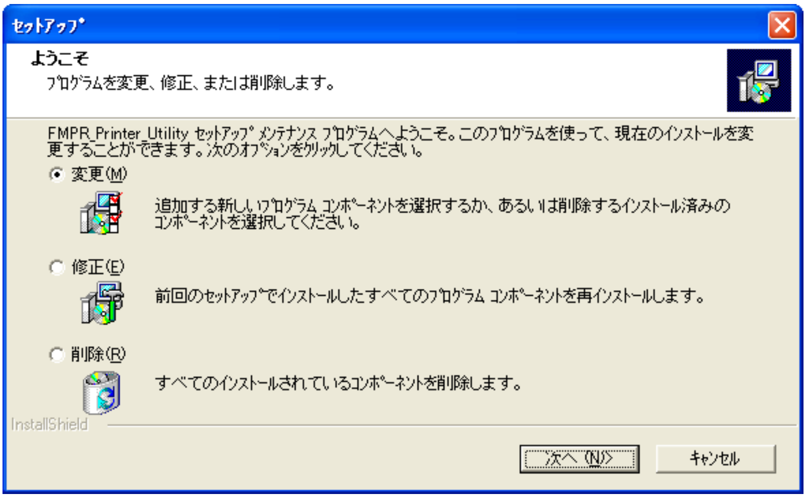
注1）Windows 7/2008 R2 のときは、〔スタート〕ボタンをクリックし、スタートメニューの〔プログラムとファイルの検索〕に、「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」と入力してください。
Windows Vista/2008 のときは、〔スタート〕ボタンをクリックし、スタートメニューの〔検索の開始〕に、「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」と入力してください。

注2）CD-ROMドライブがD:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。



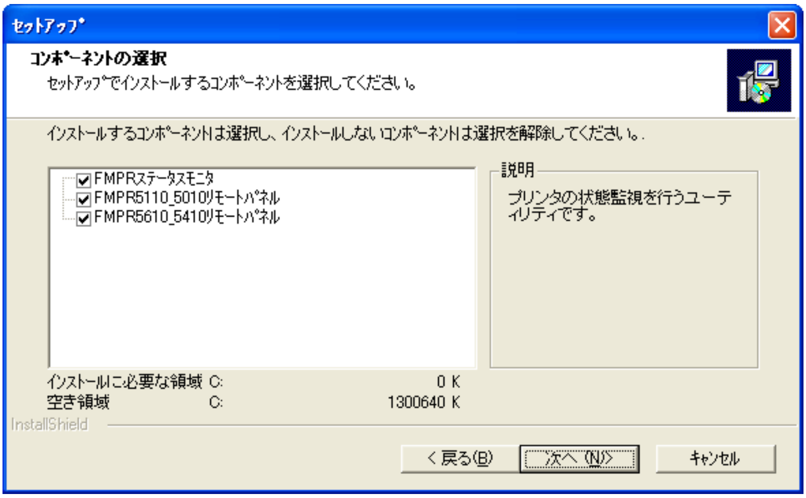
4 オプション選択する

インストール済みの FMPR プリンタユーティリティを変更するときは、「変更」を選択し、〔次へ〕をクリックします。→手順 *5* へ進みます。
前回と同じプログラムを再インストールするときは、「修正」を選択し、〔次へ〕をクリックします。FMPR プリンタユーティリティの再インストールが開始されます。→手順 *7* へ進みます。
インストールされている FMPR プリンタユーティリティを削除するときは、「削除」を選択し、〔次へ〕をクリックします。→手順 *6* へ進みます。



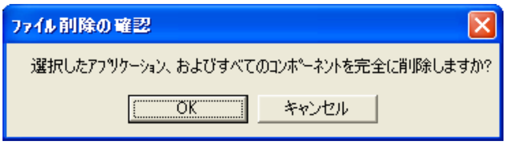
5 変更するプログラムを選択して、〔次へ〕をクリックする

チェックを付けると、プログラムが追加されます。
チェックを外すと、プログラムは削除されます。
〔次へ〕をクリックすると、プログラムの変更が開始されます。→手順 *7* へ進みます。



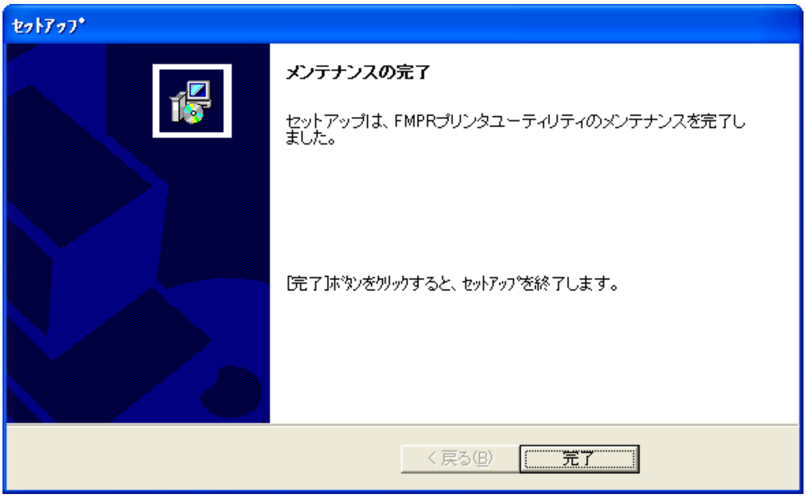
6　〔OK〕をクリックする

プログラムのアンインストールが開始されます。



7　〔完了〕をクリックする

これでFMPRプリンタユーティリティ（FMPRステータスモニタ、FMPRリモートパネル）のメンテナンスは終了です。



第2章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバの設定方法や設定項目について説明します。

プリンタドライバの設定 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 358

Windows 7/2008 R2 の設定画面 ‥‥‥‥‥‥358

Windows Vista/2008 の設定画面 ‥‥‥‥‥368

Windows 2000/XP/2003 の設定画面 ‥‥‥‥377

Windows NT 4.0 の設定画面 ‥‥‥‥‥‥‥386

Windows 98/Me の設定画面 ‥‥‥‥‥‥‥‥396

印刷可能領域 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 404

印刷の向き ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 410

給紙方法 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 411

印刷品質 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 412

用紙の種類またはメディア ‥‥‥‥‥‥‥‥ 413

印字圧 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 413

排出方向 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 414

ユーザー定義サイズ用紙の作成方法 ‥‥‥‥‥ 415

プリンタドライバの設定

ここでは、プリンタドライバの設定画面について説明します。

■ Windows 7/2008 R2 の設定画面

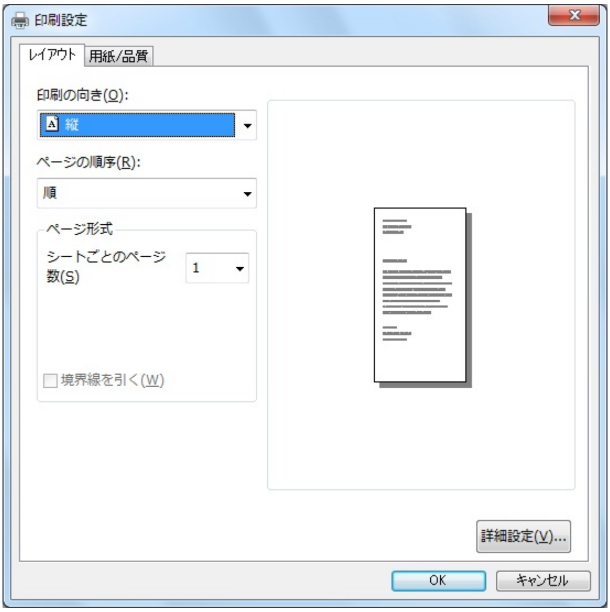
Windows 7/2008 R2 でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」で行います。

各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
  * アプリケーションソフトによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G の Windows 7 の画面を例に説明しています。FUJITSU FMPR5010 をお使いの場合は、”FMPR 5110”を“FMPR5010”と読み替えてください。

◆　アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法、またはプロパティの設定を変更する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパッドで印刷設定を変更する方法を例に説明します。

1　ワードパッドのアプリケーションメニューから、〔印刷〕を選択する

2　印刷画面が表示されたら、設定を変更したいプリンタを選択し〔詳細設定〕を選択する

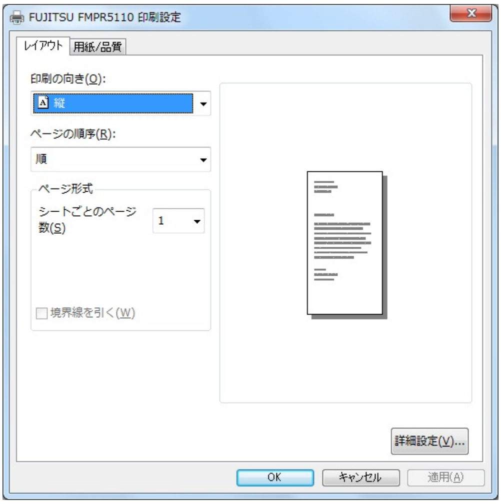
3　目的の項目を含むタブ、または〔詳細設定〕ボタンをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

4　〔OK〕をクリックし、〔印刷設定〕ウィンドウを閉じる

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

◆ 〔スタート〕からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 〔プリンタ〕フォルダを開く

ガイド

- Windows 7/2008 R2 では、〔スタート〕〔デバイスとプリンター〕の順に選択します。

2 FUJITSU FMPR5110 プリンタのアイコンを右クリックし、〔印刷設定〕を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、〔詳細設定〕をクリックし、設定を変更します。
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。

ガイド

- 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
  (1) 「レイアウト」「用紙/品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
  (2) 〔詳細設定〕の場合、「FUJITSU FMPR5110 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
- 設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆ プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 **〔スタート〕から、〔デバイスとプリンター〕の順に選択する**

2 **FUJITSU FMPR5110 プリンタのアイコンを右クリックし、〔プリンターのプロパティ〕を選択する**

3 **目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

ガイド

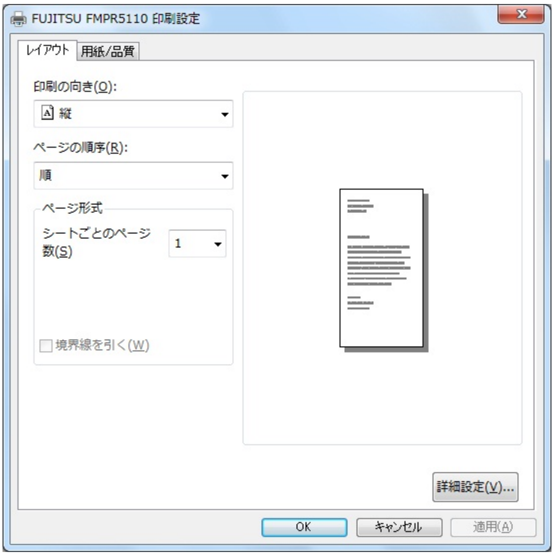
- 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
  (1) 設定を変更した後、〔デバイスの設定〕タブの〔FUJITSU FMPR5110 デバイスの設定〕を右クリックします。〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンが表示されますので、クリックします。（〔デバイスの設定〕タブのみ有効）
- 設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆ ダイアログ一覧

ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR5110、FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
〔全般〕，〔共有〕，〔ポート〕，〔詳細設定〕，〔色の管理〕，〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows 7/2008 R2 オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- （注 1）とあるダイアログは「印刷」または「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。
（注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで表示されます。

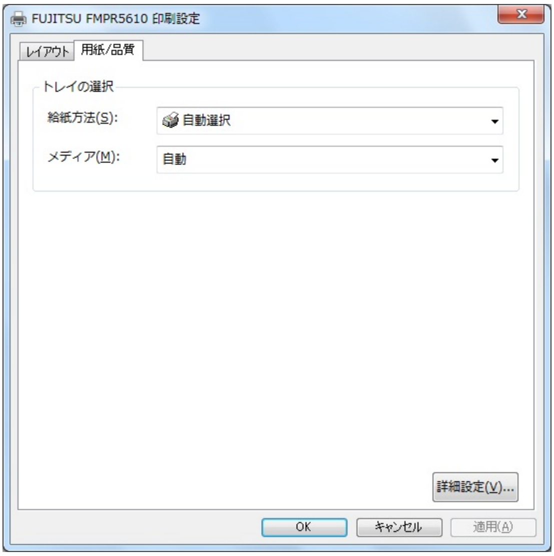
〔レイアウト〕（注 1）



印刷の向き、ページの順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ数	1 枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

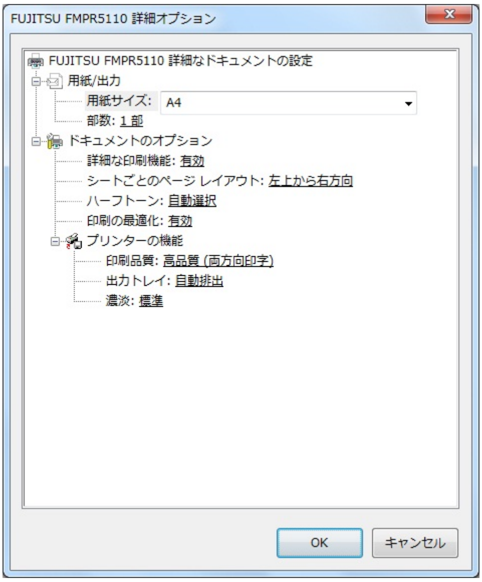
〔用紙/品質〕（注１）



給紙方法の設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。給紙方法については、「給紙方法」（411ページ）を参照してください。
メディア	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ装置側の用紙厚調整の設定がオートに設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動　：用紙厚を自動で調整します。 ・１枚厚 ～ ８枚厚　：用紙厚を指定の厚さに設定します。 ・ﾌﾟﾘﾝﾀ設定優先　：プリンタで設定されている用紙厚に従います。

〔詳細〕（注 1）



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備　考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	印刷部数を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が無効になります。
	シートごとのページレイアウト	〔レイアウト〕タブの〔シートごとのページ数〕で[1]以外を選択した時のページ割付け方法を選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。

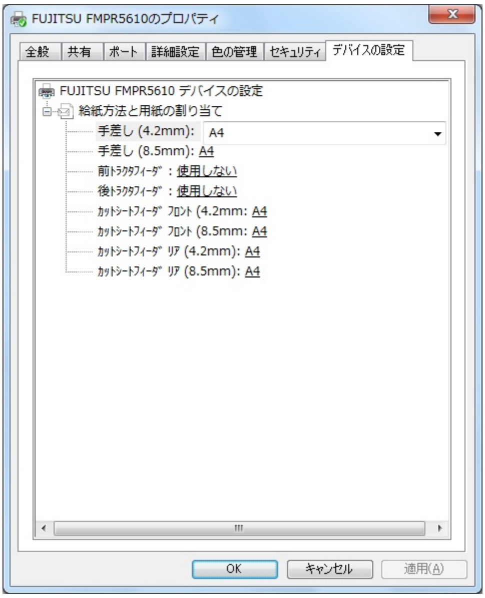
設定項目	設定内容		備　考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	印刷品質(注1)	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向印字）： 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）： 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）： 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）： 高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音（両方向印字）： 低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音（片方向印字）： 低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）： 印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）： 印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
		出力トレイ	用紙の排出方法を設定します。 ・自動排出： プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出： 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出： リアスタッカに排出します。

設定項目	設定内容		備　考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	濃淡 (注 2)	印字圧の設定をします。 ・標準： 標準の印字圧で印刷します。 ・高複写： 高複写の印字圧で印刷します。 ・プリンタ設定優先： プリンタで設定されている印字圧に従います。

注1）　プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

注 2）　「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

〔デバイスの設定〕（注 2）



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズが印刷設定プロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印刷中に給紙口が切り替ったり、行ずれや印字切れが発生することがあります。 本設定を必ず行い、印刷設定プロパティの設定を一致させてください。

■ Windows Vista/2008 の設定画面

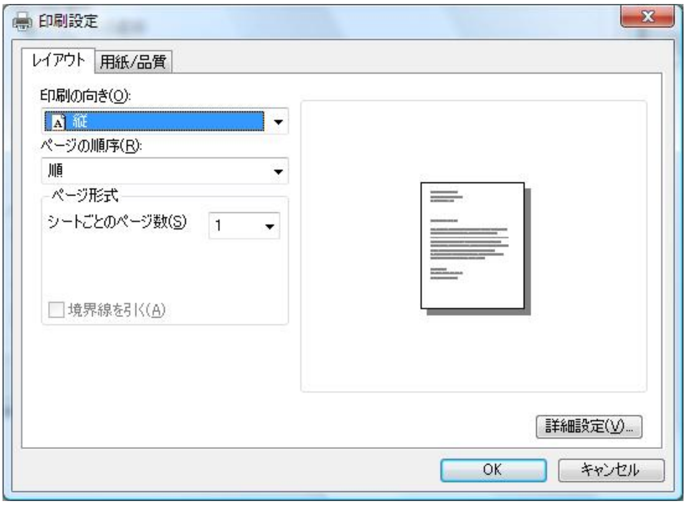
Windows Vista/2008 でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」で行います。

各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
  * アプリケーションソフトによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G の Windows Vista の画面を例に説明しています。FUJITSU FMPR5010 をお使いの場合は、"FMPR5110" を "FMPR5010" と読み替えてください。

◆　アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

＊ アプリケーションソフトによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法、またはプロパティの設定を変更する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパッドで印刷設定を変更する方法を例に説明します。

1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2 印刷画面が表示されたら、設定を変更したいプリンタを選択し〔詳細設定〕を選択する

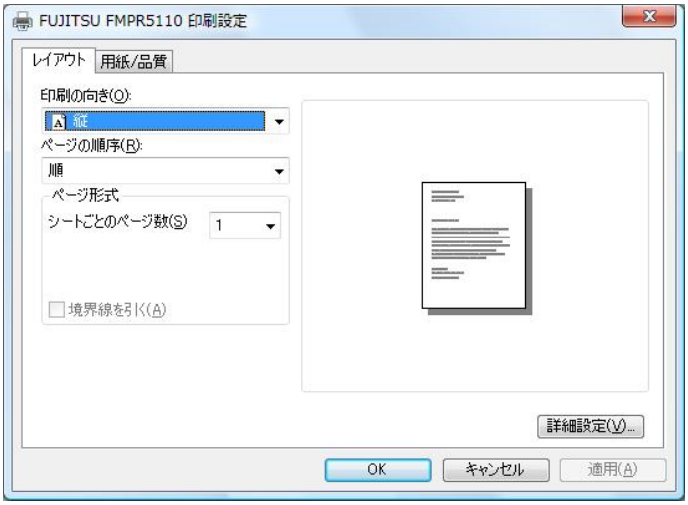
3 目的の項目を含むタブ、または〔詳細設定〕ボタンをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

4 〔OK〕をクリックし、〔印刷設定〕ウィンドウを閉じる

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

◆ 〔スタート〕からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 〔プリンタ〕フォルダを開く

ガイド

- Windows Vista では、〔スタート〕〔コントロールパネル〕〔ハードウェアとサウンド〕〔プリンタ〕の順に選択します。
- Windows Server 2008 では、〔スタート〕〔コントロールパネル〕〔プリンタ〕の順に選択します。

2 FUJITSU FMPR5110 プリンタのアイコンを右クリックし、〔印刷設定〕を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、〔詳細設定〕をクリックし、設定を変更します。
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。

ガイド

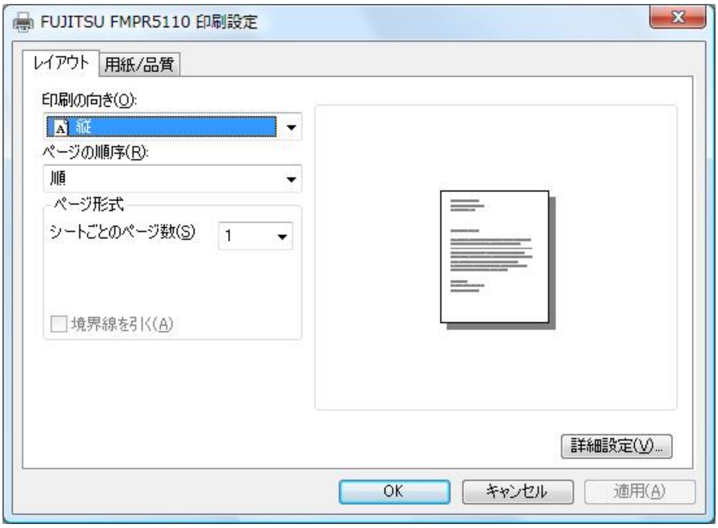
- 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
  (1) 「レイアウト」「用紙/品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
  (2) 〔詳細設定〕の場合、「FUJITSU FMPR5110 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
- 設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆ ダイアログ一覧

ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR5110 または FUJITSU 5010 プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。〔全般〕、〔共有〕、〔ポート〕、〔詳細設定〕、〔色の管理〕、〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows Vista/2008 オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- （注 1）とあるダイアログは「印刷」または「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。（注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで表示されます。

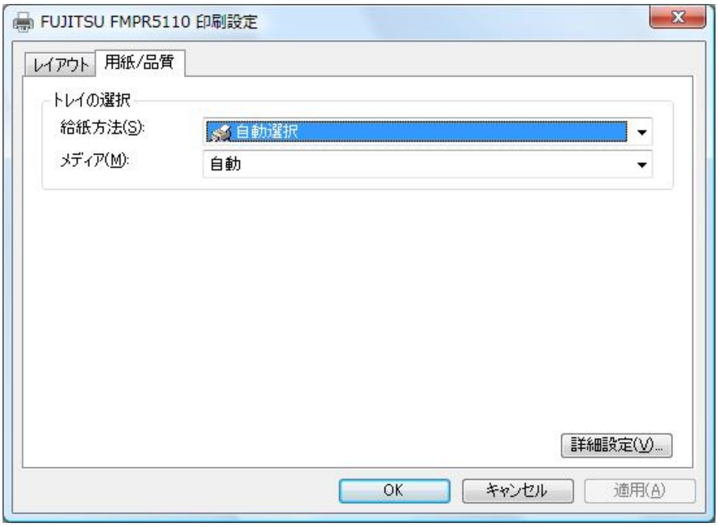
〔レイアウト〕（注 1）



印刷の向き、ページの順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ数	1 枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

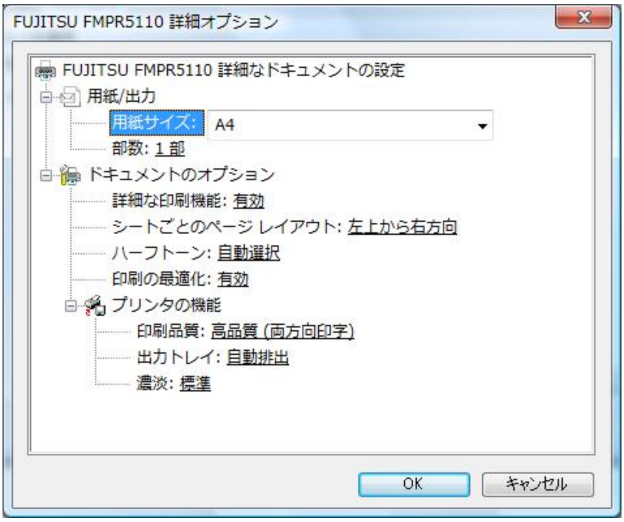
〔用紙/品質〕（注 1）



給紙方法の設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。給紙方法については、「給紙方法」（411ページ）を参照してください。
メディア	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ装置側の用紙厚調整の設定が自動に設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動　：用紙厚を自動で調整します。 ・1 枚厚 ～ 8 枚厚　：用紙厚を指定の厚さに設定します。 ・ﾌﾟﾘﾝﾀ設定優先　：プリンタで設定されている用紙厚に従います。

〔詳細〕（注 1）



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備　考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	印刷部数を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が無効になります。
	シートごとのページレイアウト	〔レイアウト〕タブの〔シートごとのページ数〕で[1]以外を選択した時のページ割付け方法を選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。

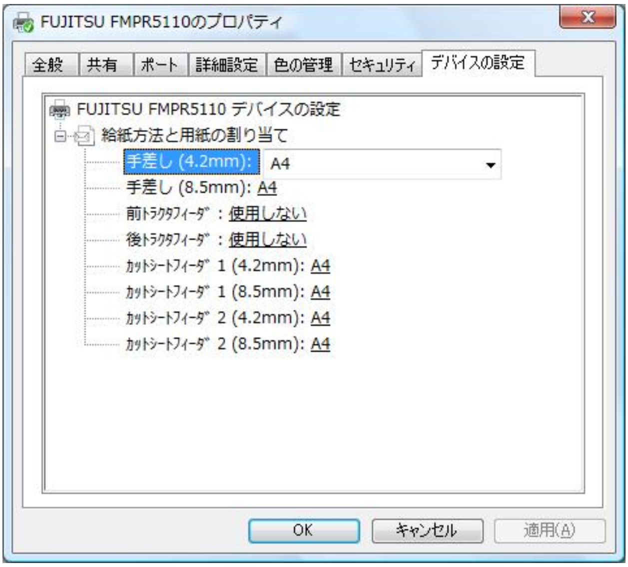
設定項目	設定内容		備　考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	印刷品質 (注 1)	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向印字）： 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）： 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）： 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）： 高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音（両方向印字）： 低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音（片方向印字）： 低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）： 印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）： 印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
		出力トレイ	用紙の排出方法を設定します。 ・自動排出： プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出： 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出： リアスタッカに排出します。

設定項目	設定内容		備　考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	濃淡 (注 2)	印字圧の設定をします。 ・標準： 標準の印字圧で印刷します。 ・高複写： 高複写の印字圧で印刷します。 ・プリンタ設定優先： プリンタで設定されている印字圧に従います。

注 1）　プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらす「片方向印字」となります。

注 2）　「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

〔デバイスの設定〕（注 2）



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と 用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズが印刷設定プロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印刷中に給紙口が切り替わったり、行ずれや印字切れが発生することがあります。 本設定を必ず行い、印刷設定プロパティの設定を一致させてください。

■ Windows 2000/XP/2003 の設定画面

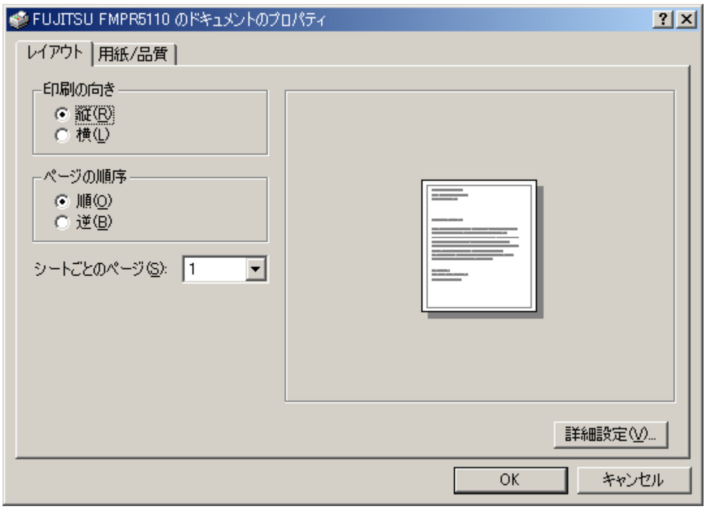
Windows 2000/XP/2003 でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」で行います。

各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
　＊ アプリケーションソフトによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。
・ここでは、FUJITSU FMPR5110G の Windows 2000 の画面を例に説明しています。FUJITSU FMPR5010 をお使いの場合は、”FMPR5110 ”を“ FMPR5010 ”と読み替えてください。

◆　アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。
＊ アプリケーションソフトによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法、またはプロパティの設定を変更する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパッドで印刷設定を変更する方法を例に説明します。

1　ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔ページ設定〕を選択する

2　ページ設定画面が表示されたら、〔プリンタの設定〕を選択する

3　プリンタ名を確認し、〔プロパティ〕を選択する

この画面で表示されるプリンタ名は、プリンタフォルダで「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示されます。
プリンタ名を確認し、設定を変更したいプリンタを選択してください。

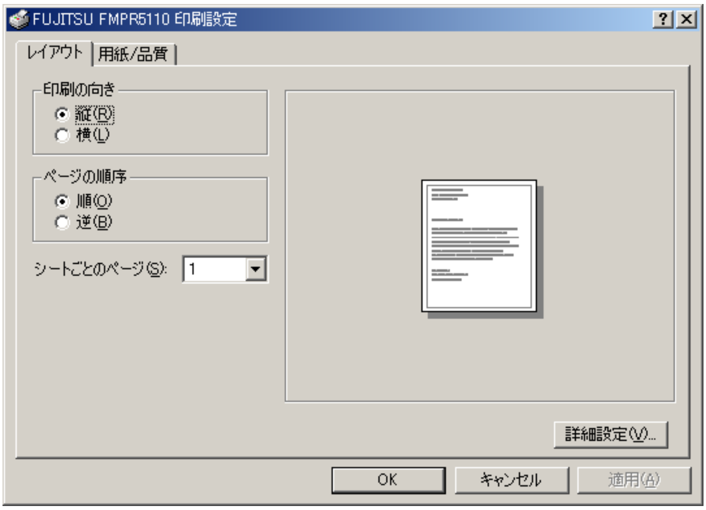
4　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ドキュメントのプロパティ」ウィンドウを終了します。

5　〔OK〕をクリックし、〔ページ設定〕ウィンドウを閉じる

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ページ設定」ウィンドウを終了します。
印刷を行うときは、ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択します。

◆　〔スタート〕からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 **〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する**

2 **FUJITSU FMPR5110 プリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔印刷設定〕を選択する**

3 **目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、〔詳細設定〕をクリックし、設定を変更します。
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。

ガイド

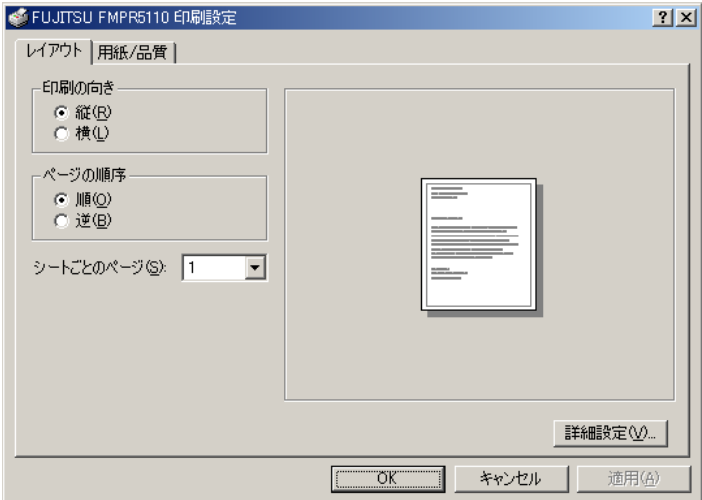
- 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
  - (1)　「レイアウト」「用紙/品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
  - (2)　〔詳細設定〕の場合、「FUJITSU FMPR5110 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
- 設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆ ダイアログ一覧

ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR5110 または FUJITSU 5010 プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
  〔全般〕，〔共有〕，〔ポート〕，〔詳細情報〕，〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows 2000/XP/2003 オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- （注 1）とあるダイアログは「印刷」または「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。
  （注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで表示されます。

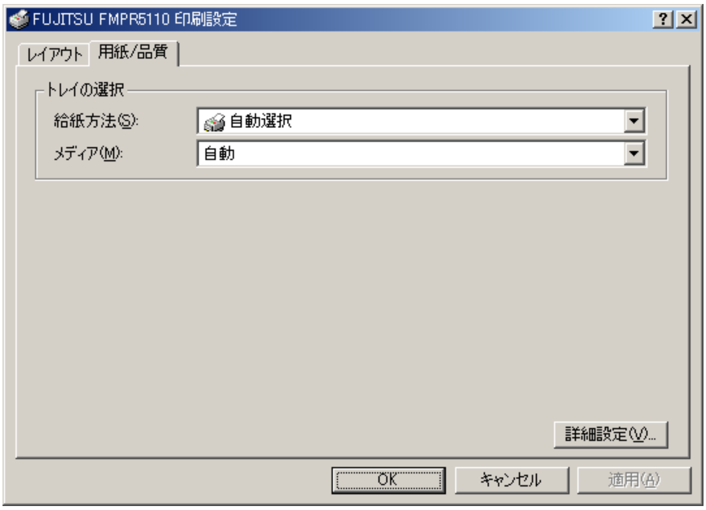
〔レイアウト〕（注 1）



印刷の向き、ページの順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ	1 枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

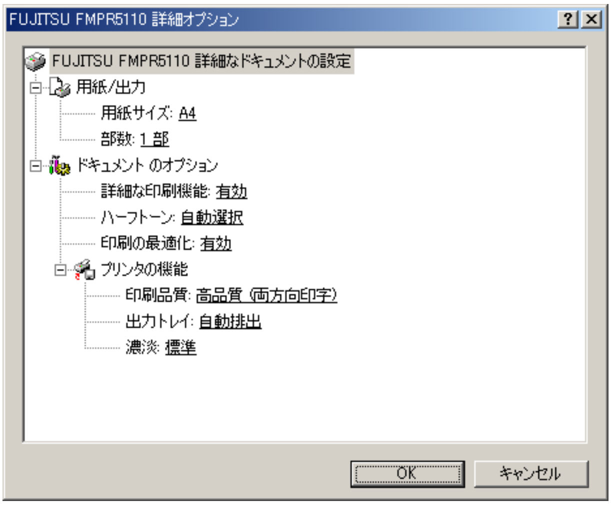
〔用紙/品質〕（注１）



給紙方法の設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。給紙方法については、「給紙方法」（411ページ）を参照してください。
メディア	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ装置側の用紙厚調整の設定が自動に設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動　：用紙厚を自動で調整します。 ・１枚厚 ～ ８枚厚　：用紙厚を指定の厚さに設定します。 ・ﾌﾟﾘﾝﾀ設定優先　：プリンタで設定されている用紙厚に従います。

〔詳細〕（注 1）



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備　考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	印刷部数を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が無効になります。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。

設定項目	設定内容		備　考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	印刷品質(注1)	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向印字）： 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）： 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）： 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）： 高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音（両方向印字）： 低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音（片方向印字）： 低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）： 印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）： 印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
		出力トレイ	用紙の排出方法を設定します。 ・自動排出： プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出： 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出： リアスタッカに排出します。

設定項目	設定内容		備　考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	濃淡 (注 2)	印字圧の設定をします。 ・標準： 標準の印字圧で印刷します。 ・高複写： 高複写の印字圧で印刷します。 ・プリンタ設定優先： プリンタで設定されている印字圧に従います。

注 1)　プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

注 2)　「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

〔デバイスの設定〕（注２）



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズが印刷設定プロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印刷中に給紙口が切り替ったり、行ずれや印字切れが発生することがあります。 本設定を必ず行い、印刷設定プロパティの設定を一致させてください。

■ Windows NT 4.0 の設定画面

Windows NT 4.0 でのプリンタドライバの設定は、「プリンタ設定のプロパティ」、「ドキュメントの既定値」、「プリンタのプロパティ」の 3 つのプロパティで行います。

各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

- 一般ユーザーは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。
  また、サーバー共有のプリンタの全ての設定値をクライアントから変更するには、サーバーとクライアントの両方で管理者権限が必要です。
- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G の Windows NT 4.0 の画面を例に説明しています。FUJITSU FMPR5010 をお使いの場合は、“ FMPR5110 ”を“ FMPR5010 ”と読み替えてください。

◆　アプリケーションからの設定画面（プリンタ設定のプロパティ）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1　ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔ページ設定〕を選択する

2　ページ設定画面が表示されたら、〔プリンタの設定〕を選択する

3　プリンタ名を確認し、〔プロパティ〕を選択する

この画面で表示されるプリンタ名は、プリンタフォルダで「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示されます。
プリンタ名を確認し、設定を変更したいプリンタを選択してください。

4　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ドキュメントのプロパティ」ウィンドウを終了します。

5　〔OK〕をクリックし、〔ページ設定〕ウィンドウを閉じる

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ページ設定」ウィンドウを終了します。
印刷を行うときは、ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択します。

◆　〔スタート〕からの設定画面（ドキュメントの既定値）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

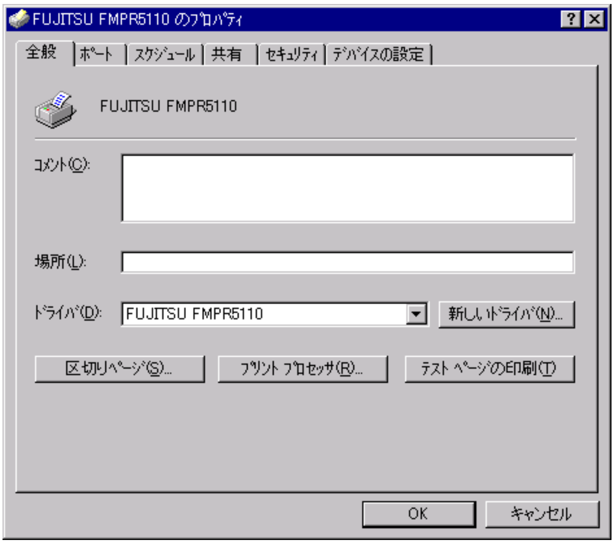
1　〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

2　FUJITSU FMPR5110 プリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔ドキュメントの規定値〕を選択する

3　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆　〔スタート〕からの設定画面（プリンタのプロパティ）



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。
また、給紙口毎の用紙の割り当てなど設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　**〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する**

2　**FUJITSU FMPR5110 プリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する**

3　**目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆　ダイアログ一覧

ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR5110 または FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
  〔全般〕，〔ポート〕，〔スケジュール〕，〔共有〕，〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows NT 4.0 オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- （注 1）とあるダイアログは「プリンタ設定のプロパティ」または「ドキュメントの既定値」でのみ表示されます。
  （注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

〔ページ設定〕（注 1）



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

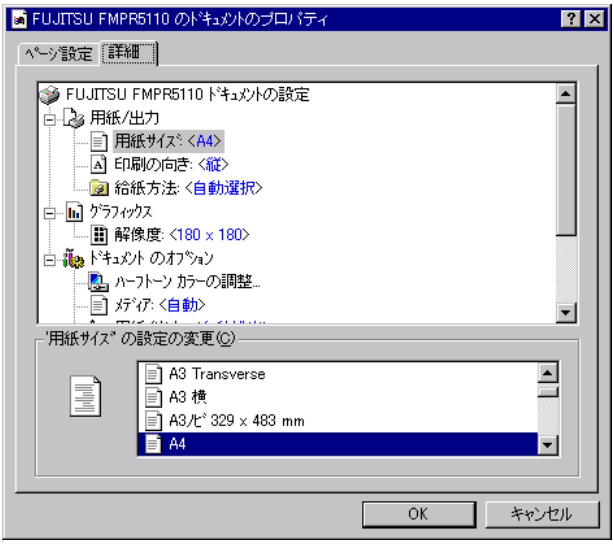
設定項目	内　容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 ・ 選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」（404ページ）を参照してください。 ・ 特別なサイズの用紙を使う場合、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択し、〔用紙〕タブの「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙名を選択してください。用紙の幅と長さは『プリンタ編』「第 4 章 用紙について」の「用紙サイズおよび印字領域」の範囲で使用してください。 ・ 用紙の登録方法については、本ページの「ガイド」を参照してください。
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・ 「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 給紙方法については、「給紙方法」（411ページ）を参照してください。
印刷の向き	印刷の向きを選択します。 ・縦 ：　用紙を縦長に使って印刷します。 ・横 ：　用紙を横長に使って印刷します。 印刷の向きについては、「印刷の向き」（410ページ）を参照してください。

ガイド

・用紙の登録方法は以下の通りです。

1. 「プリンタ」フォルダで「ファイル」-「サーバーのプロパティを選択して、「プリントサーバーのプロパティ」を開きます。
2. 「プリントサーバーのプロパティ」の「用紙」プロパティシートの「新しい用紙を作成する」をチェックします。
3. 用紙名とサイズを入力して、「用紙の保存」をクリックします。

〔詳細〕（注 1）



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備　考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	印刷の向き	印刷の向きを指定します。
	給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 「自動選択」のまま印刷すると、[デバイスの設定]タブで同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 給紙方法については、「給紙方法」（411ページ）を参照してください。
グラフィックス	解像度	解像度を設定します。180×180dpiのみとなります。
ドキュメントのオプション	ハーフトーンカラーの調整	ハーフトーンカラーを設定します。 「ハーフトーンカラーの調整」ボタンをクリックすると「ハーフトーンカラーの調整」ダイアログボックスが表示されます。

設定項目	設定内容	備　考
ドキュメントのオプション	メディア	用紙厚調整の方法を設定します。プリンタ装置側の用紙厚調整の設定が自動に設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動　：用紙厚を自動で調整します。 ・1 枚厚～8 枚厚：用紙厚を指定の厚さに設定します。 ・プリンタ設定優先　：プリンタで設定されている用紙厚に従います。
	用紙/出力	単票用紙の排出方法を指定します。 ・自動排出　：プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出　：単票テーブル側に排出します。 ・後方排出　：リアスタッカに排出します。
	印刷品質 (注 1)	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向印字）： 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）： 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）： 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）： 高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音（両方向印字）： 低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音（片方向印字）： 低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）： 印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）： 印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。

設定項目	設定内容	備　考
ドキュメントのオプション	濃淡 (注 2)	印字圧の設定をします。 ・標準： 標準の印字圧で印刷します。 ・高複写： 高複写の印字圧で印刷します。 ・プリンタ設定優先： プリンタで設定されている印字圧に従います。
	テキストをグラフィックスとして印刷	テキストをグラフィックスとして印刷するかどうかの設定をします。 ・オフ：テキストを設定されているフォントで印刷します。 ・オン：プリンタフォントを使用せず、グラフィックスでテキストを印刷します。
	メタファイルスプーリング	メタファイルのスプーリングの設定をします。 ・オフ：印刷データをスプールしてから印刷します。 ・オン：印刷データを直接プリンタに送ります。

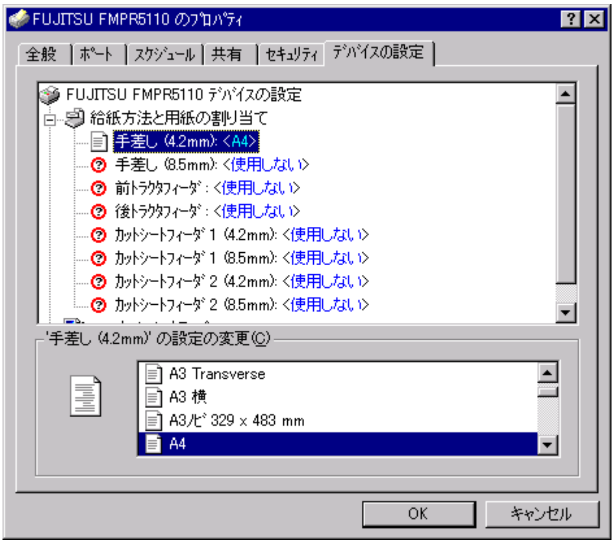
注1)　プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

注 2)　「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

「FUJITSU FMPR5110 ドキュメントの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

〔デバイスの設定〕（注 2）



給紙方法と用紙の割り当て、ハーフトーンの設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ給紙方法がどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。
ハーフトーンセットアップ	「ハーフトーンセットアップ」ボタンをクリックすると「デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

「FUJITSU FMPR5110 デバイスの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

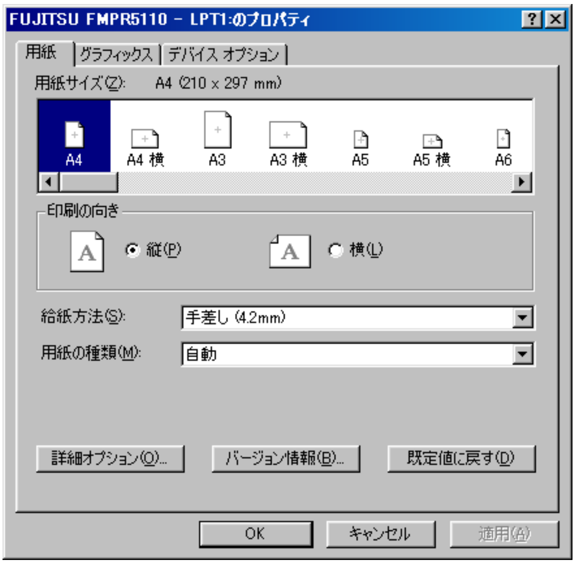
■ Windows 98/Me の設定画面

Windows 98/Me でのプリンタドライバの設定は、「プリンタのプロパティ」で行います。
プリンタのプロパティは、アプリケーションソフトから表示させる方法と、Windows のスタートメニューから表示させる方法があります。
表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- ここでは、FUJITSU FMPR5110G の Windows 98 を例に説明しています。FUJITSU FMPR5010 をお使いの場合は、“ FMPR5110 ” を“ FMPR5010 ”と読み替えてください。

◆ アプリケーションソフトからの設定画面（プリンタ設定のプロパティ）



アプリケーションソフトから印刷を実行するときに表示できる設定画面です。
用紙サイズや解像度などを印刷時に設定できます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパットを例に説明します。

1 **ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔ページ設定〕を選択する**

2 **ページ設定画面が表示されたら、〔プリンタ〕を選択する**

3 **プリンタ名を確認し、〔プロパティ〕を選択する**

この画面で表示されるプリンタ名は、プリンタフォルダで「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示されます。
プリンタ名を確認し、設定を変更したいプリンタを選択してください。

4 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ドキュメントのプロパティ」ウィンドウを終了します。
〔規定値に戻す〕のあるウィンドウでは、これをクリックすると現在設定中のウィンドウの内容を標準値に戻します。

5 〔OK〕をクリックし、〔ページ設定〕ウィンドウを閉じる

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ページ設定」ウィンドウを終了します。
印刷を行うときは、ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択します。

◆ 〔スタート〕からの設定画面（プリンタのプロパティ）



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。
また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR5110 または FMPR5010 プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
  〔全般（または情報）〕，〔詳細〕，〔共有〕タブの内容については、Windows 98/Me オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

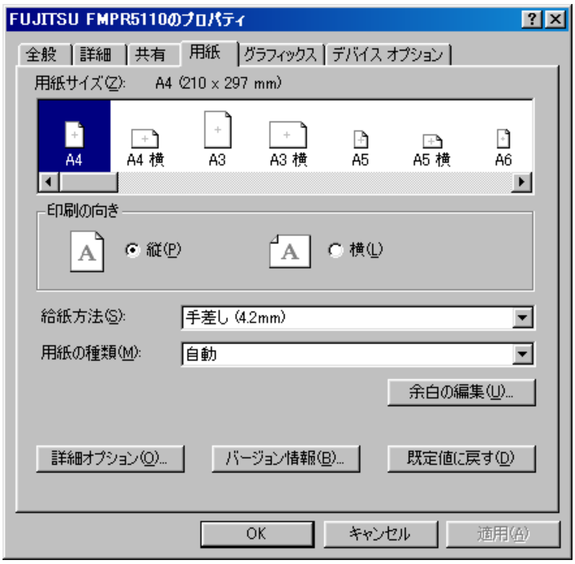
2 FUJITSU FMPR5110 プリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔既定値に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

◆　ダイアログ一覧

〔用紙〕



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内　容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 ・特別なサイズの用紙を使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。用紙の幅、長さについては、『プリンタ編』「第４章　用紙について」の「用紙サイズおよび印字領域」の範囲で使用してください。 ・複数のユーザー定義サイズの用紙を使いたい場合は、プリンタドライバをユーザー定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。  ・選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」（404ページ）を参照してください。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを選択します。 ・縦　：　用紙を縦長に使って印刷します。 ・横　：　用紙を横長に使って印刷します。 詳細は「印刷の向き」（410ページ）を参照してください。
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。詳細は「給紙方法」（411ページ）を参照してください。
用紙の種類	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ装置側の用紙厚さ調整の設定が自動に設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動　：用紙厚を自動で調整します。 ・1 枚厚～8 枚厚　：用紙厚を指定の厚さに設定します。 ・プリンタ設定優先　：プリンタで設定されている用紙厚に従います。
余白の編集	余白の編集を行います。 選択した用紙サイズに最適な値が設定されています。 設定を変更すると印刷位置がずれる場合があります。 本機能はアプリケーションソフトからは設定できません。
詳細オプション	単票用紙の排出方法を指定します。 ・自動排出　：　プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出　：　単票テーブル側に排出します。 ・後方排出　：　リアスタッカに排出します。
バージョン情報	本プリンタドライバに関する情報を表示します。
標準に戻す	現在開いているプロパティ内のすべての設定を標準の状態に戻します。

〔グラフィックス〕



解像度やディザパターンなどを設定します。

設定項目	内　容
解像度	印刷するデータの解像度を次の中から指定します FMPR5110 および FMPR5010 プリンタドライバは、180×180dpi のみとなります。
ディザリング	ディザリングとは、中間色をドットの組み合わせで表現することです。選んだディザリングの設定によって、グラフィックイメージがどの程度に細かく印刷されるかが決まります。 なし　：　ディザリングをおこないません。 粗く　：　グラフィックイメージを粗いパターンで表現します。 細かく　：　グラフィックイメージを細かいパターンで表現します。（既定値） ラインアート　：　グラフィックイメージを線の太さで表現します。印刷をするグラフィックイメージの、黒・白・グレーの間にはっきりした境界線がある場合に指定してください。 誤差拡散法　：　はっきりした境界のない写真や絵を印刷するときに指定します。
濃度	濃度を変えると、印刷濃度が調整できます。

〔デバイスオプション〕



印刷品質の設定を行います。

設定項目	内　容
印刷密度 (注 1)	印刷密度(印字圧)の設定をします。 ・標準　：標準の印字圧で印刷します。 ・高複写　：高複写の印字圧で印刷します。 ・プリンタ設定優先　：プリンタで設定されている印字圧に従います。
印刷品質 (注 2)	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向印字）　：高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）　：高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）　：高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）　：高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音（両方向印字）　：低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音（片方向印字）　：低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）　：印字方向は両方向、印字品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）　：印字方向は片方向、印字品質はプリンタの設定に従います。

注 1)　プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

注 2)　「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

印刷可能領域

このプリンタドライバで使用できる用紙サイズおよび印刷範囲は、次のようになっています。

◆　用紙サイズ

単位：mm

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
A3 ﾉﾋﾞ	329.00	483.00	―	―
A4 ﾉﾋﾞ	224.00	355.00	355.00	224.00
B4(JIS)	257.00	364.00	364.00	257.00
B5(JIS)	182.00	257.00	257.00	182.00
レター	215.90	279.40	279.40	215.90
リーガル	215.90	355.60	355.60	215.90
郵便はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
封筒(長形 5 号)	―	―	185.00	90.00
封筒(長形 4 号)	―	―	205.00	90.00
封筒(長形 3 号)	―	―	235.00	120.00
封筒(長形 2 号)	―	―	277.00	119.00
封筒(角形 8 号)	―	―	197.00	119.00
封筒(角形 7 号)	―	―	205.00	142.00
封筒(角形 6 号)	―	―	229.00	162.00
封筒(角形 5 号)	―	―	240.00	190.00
封筒(角形 4 号)	―	―	267.00	197.00
封筒(角形 3 号)	―	―	277.00	216.00
封筒(角形 2 号)	―	―	332.00	240.00
封筒(洋形 7 号)	―	―	165.00	92.00
封筒(洋形 6 号)	―	―	190.00	98.00
封筒(洋形 5 号)	―	―	217.00	95.00
封筒(洋形 4 号)	―	―	235.00	105.00
封筒(洋形 3 号)	―	―	148.00	98.00
封筒(洋形 2 号)	―	―	162.00	114.00
封筒(洋形 1 号)	―	―	176.00	120.00
封筒(US10)	―	―	239.00	105.00
封筒(German Type)	―	―	220.00	111.00
名刺	55.00	90.00	―	―

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
10×11inch 連続紙	254.00	279.40	－	－
12×11inch 連続紙	304.80	279.40	－	－
15×11inch 連続紙	381.00	279.40	－	－
縦 1ｲﾝﾁ(25.4mm) 連続紙	381.00	25.40	－	－
縦 2ｲﾝﾁ(50.8mm) 連続紙	381.00	50.80	－	－
縦 3ｲﾝﾁ(76.2mm) 連続紙	381.00	76.20	－	－
縦 3 1/3ｲﾝﾁ(84.7mm) 連続紙	381.00	84.67	－	－
縦 3 2/3ｲﾝﾁ(93.1mm) 連続紙	381.00	93.14	－	－
縦 4ｲﾝﾁ(101.6mm) 連続紙	381.00	101.60	－	－
縦 4 1/3ｲﾝﾁ(110.1mm) 連続紙	381.00	110.06	－	－
縦 4.5ｲﾝﾁ(114.3mm) 連続紙	381.00	114.30	－	－
縦 4 2/3ｲﾝﾁ(118.5mm) 連続紙	381.00	118.53	－	－
縦 5ｲﾝﾁ(127.0mm) 連続紙	381.00	127.00	－	－
縦 5 1/3ｲﾝﾁ(135.5mm) 連続紙	381.00	135.46	－	－
縦 5 2/3ｲﾝﾁ(143.9mm) 連続紙	381.00	143.93	－	－
縦 6ｲﾝﾁ(152.4mm) 連続紙	381.00	152.40	－	－
縦 7ｲﾝﾁ(177.8mm) 連続紙	381.00	177.80	－	－
縦 8ｲﾝﾁ(203.2mm) 連続紙	381.00	203.20	－	－
縦 9ｲﾝﾁ(228.6mm) 連続紙	381.00	228.60	－	－
縦 10ｲﾝﾁ(254.0mm) 連続紙	381.00	254.00	－	－
縦 10.5ｲﾝﾁ(266.7mm) 連続紙	381.00	266.70	－	－
縦 11ｲﾝﾁ(279.4mm) 連続紙	381.00	279.40	－	－
縦 12ｲﾝﾁ(304.8mm) 連続紙	381.00	304.80	－	－
縦 13ｲﾝﾁ(330.2mm) 連続紙	381.00	330.20	－	－
縦 14ｲﾝﾁ(355.6mm) 連続紙	381.00	355.60	－	－
ユーザー定義サイズ（注1）	55.00～420.00	25.40～420.00	－	－

注1）　デフォルト値（mm）は、用紙幅が55.00、用紙長が25.40です。

注2）　プリンタドライバのバージョンによっては、連帳用紙名が異なる場合があります。

注3）　Windows NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2でのユーザー定義サイズ用紙はプリンタフォルダを開いて、〔ファイル〕メニューの〔サーバーのプロパティ〕または〔プリントサーバーのプロパティ〕で作成します。

ガイド

ユーザー定義サイズ用紙について

・用紙幅はプリンタにセットできる用紙の最大幅（約 420.0mm まで）設定できますが、印刷可能範囲内（最大 345.5mm）で使用してください。最大印刷可能範囲を越えると、正しく印刷されない場合があります。

・ユーザー定義サイズ用紙を使用する場合、オペレーティングシステムの演算誤差により用紙送りの累積で印字ずれが発生する場合があります。
その場合は、ユーザー定義サイズ用紙の高さ（Windows のバージョンによっては長さと表示されます）を調整するか、複数ページを１つの単位とした用紙を作成してください。

・ユーザー定義サイズ用紙の作成方法については、本章の415ページを参照してください。

◆　印刷領域

単位：mm

給紙方法	余白（既定値）	
	上端	下端
手差し（4.2mm）	4.23	4.23
手差し（8.5mm）	8.47	4.23
前トラクタフィーダ	0.00	0.00
後トラクタフィーダ	0.00	0.00
カットシートフィーダ１（4.2mm）	4.23	4.23
カットシートフィーダ１（8.5mm）	8.47	4.23
カットシートフィーダ２（4.2mm）	4.23	4.23
カットシートフィーダ２（8.5mm）	8.47	4.23

単位：mm

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
A3	5.08	5.08
A3 横	37.32	37.32
A4，A4 横	5.08	5.08
A5，A5 横	5.08	5.08
A6，A6 横	5.08	5.08
B4(JIS)	5.08	5.08
B4(JIS)横	5.08	13.48
B5(JIS)，B5(JIS)横	5.08	5.08
レター	5.08	5.08
リーガル	5.08	5.08
郵便はがき	5.08	5.08
往復はがき	5.08	5.08
封筒(長形５号)	12.00	12.00
封筒(長形４号)	12.00	12.00
封筒(長形３号)	12.00	12.00
封筒(長形２号)	12.00	12.00
封筒(角形８号)	12.00	12.00
封筒(角形７号)	12.00	12.00
封筒(角形６号)	12.00	12.00
封筒(角形５号)	12.00	12.00
封筒(角形４号)	12.00	12.00
封筒(角形３号)	12.00	12.00
封筒(角形２号)	12.00	12.00
封筒(洋形７号)	12.00	12.00
封筒(洋形６号)	12.00	12.00
封筒(洋形５号)	12.00	12.00
封筒(洋形４号)	12.00	12.00
封筒(洋形３号)	12.00	12.00

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
封筒(洋形２号)	12.00	12.00
封筒(洋形１号)	12.00	12.00
封筒(US10)	12.00	12.00
封筒(German Type)	12.00	12.00
名刺	5.08	5.08
10×11inch 連続紙	0.00	0.00
12×11inch 連続紙	0.00	0.00
15×11inch 連続紙	0.00	35.56
縦 1ｲﾝﾁ(25.4mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 2ｲﾝﾁ(50.8mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 3ｲﾝﾁ(76.2mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 3 1/3ｲﾝﾁ(84.7mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 3 2/3ｲﾝﾁ(93.1mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 4ｲﾝﾁ(101.6mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 4 1/3ｲﾝﾁ(110.1mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 4.5ｲﾝﾁ(114.3mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 4 2/3ｲﾝﾁ(118.5mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 5ｲﾝﾁ(127.0mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 5 1/3ｲﾝﾁ(135.5mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 5 2/3ｲﾝﾁ(143.9mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 6ｲﾝﾁ(152.4mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 7ｲﾝﾁ(177.8mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 8ｲﾝﾁ(203.2mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 9ｲﾝﾁ(228.6mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 10ｲﾝﾁ(254.0mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 10.5ｲﾝﾁ(266.7mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 11ｲﾝﾁ(279.4mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 12ｲﾝﾁ(304.8mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 13ｲﾝﾁ(330.2mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 14ｲﾝﾁ(355.6mm) 連続紙	0.00	35.56
ユーザー定義サイズ	5.08	5.08

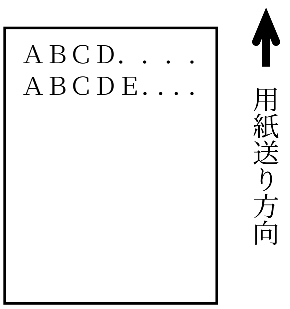
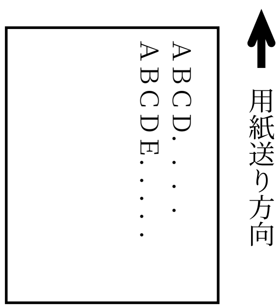
注１）　上端、下端余白は給紙方法によって異なります。
注２）　プリンタドライバのバージョンによっては、連帳用紙名が異なる場合があります。

お願い

- 封筒を使用する場合の余白量については、『プリンタ編』「第 4 章　用紙について」（99 ページ）の用紙規格に合わせて調整してください。
- 「縦 1ｲﾝﾁ(25.4㎜) 連続紙」～「縦 14 ｲﾝﾁ(355.6㎜) 連続紙」の連続紙については、用紙幅を全て 15inch に規定してありますので、使用する場合には『プリンタ編』「第 4 章　用紙について」（99 ページ）の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端余白を適宜設定してください。また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダ、フッタの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダ、フッタの位置を調節して印刷してください。

印刷の向き

印刷方向は、プリンタドライバの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようになります。

印刷方向：縦	印刷方向：横
	

ガイド

・ アプリケーションにより、Windows画面への表示方法や印刷方法が異なる場合があります。

給紙方法

印刷のときに、どこから用紙を給紙するかを指定します。次のいずれかを指定することができます。

- **手差し（4.2㎜）**
  単票テーブルから給紙します。
  吸入した用紙の上端余白量は、4.2㎜となります。
- **手差し（8.5㎜）**
  単票テーブルから給紙します。
  吸入した用紙の上端余白量は、8.5㎜となります。
- **前トラクタフィーダ**
  単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。
  用紙吸入直後の上端余白量は4.2㎜となります。
- **後トラクタフィーダ**
  プリンタ後面に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。
  用紙吸入直後の上端余白量は4.2㎜となります。
- **カットシートフィーダ１（4.2㎜）**
  １ビンに設定されているカットシートフィーダから給紙します。
  吸入した用紙の上端余白量は、4.2㎜となります。
- **カットシートフィーダ１（8.5㎜）**
  １ビンに設定されているカットシートフィーダから給紙します。
  吸入した用紙の上端余白量は、8.5㎜となります。
- **カットシートフィーダ２（4.2㎜）**
  ２ビンに設定されているカットシートフィーダから給紙します。
  吸入した用紙の上端余白量は、4.2㎜となります。
- **カットシートフィーダ２（8.5㎜）**
  ２ビンに設定されているカットシートフィーダから給紙します。
  吸入した用紙の上端余白量は、8.5㎜となります。

ガイド

・プリンタの機能設定の上端余白量指定をセットアップ優先にしている場合は、プリンタの共通設定の上端余白量で設定してある余白量になります。（『プリンタ編』「第２章　プリンタの機能とその使い方」「機能設定を変える」（42ページ参照）。正しい印刷結果を得るには、プリンタの機能設定を給紙方法に合わせる必要があります。

・Windows NT4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2の給紙方法には、「自動選択」が追加されますが、使用する給紙方法とは異なった給紙方法が指定される場合があります。印刷に使用する用紙に合わせ、自動選択以外の給紙方法を指定してください。

印刷品質

印刷の品位を設定します。

- **高品質（両方向印字）**
  高品質モードで両方向印字を行います。

- **高品質（片方向印字）**
  高品質モードで片方向印字を行います。

- **高速（両方向印字）**
  高速モードで両方向印字を行います。

- **高速（片方向印字）**
  高速モードで片方向印字を行います。

- **低騒音（両方向印字）**
  低騒音モードで両方向印字を行います。

- **低騒音（片方向印字）**
  低騒音モードで片方向印字を行います。

- **プリンタ設定優先（両方向印字）**
  印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。

- **プリンタ設定優先（片方向印字）**
  印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。

ガイド

・プリンタドライバのプロパティによる印刷方向指定は、プリンタの印刷方向指定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

用紙の種類またはメディア

印刷する用紙の厚さに応じて設定します。

- **自動**
  プリンタ装置が用紙の厚さを自動的に判断します。

- **１枚厚、…　８枚厚**
  印刷する用紙の厚さを指定します。

  注）「自動紙厚調整」ランプ（35 ページ）が消灯しているときは、本設定は無効です。

- **プリンタ設定優先**
  プリンタで設定されている用紙厚に従います。

印字圧

印字圧を設定します。
お使いの OS により、印刷密度または濃淡と表示されます。

- **標準**
  標準の印字圧で印刷します。

- **高複写**
  高複写の印字圧で印刷します。

- **プリンタ設定優先**
  プリンタで設定されている印字圧に従います。

ガイド

- 「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。
  「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

排出方向

用紙の排出方向を設定します。

お使いの OS により、排出装置や用紙/出力、出力トレイと表示されます。

- **自動排出**
  プリンタ装置の設定に従って、用紙を排出します。

- **手前排出**
  単票テーブルに用紙を排出します。

- **後方排出**
  リアスタッカに用紙を排出します。

ユーザー定義サイズ用紙の作成方法

ここでは、ユーザー定義サイズ用紙を作成する方法について、Windows XP Professional の画面を例に説明します。

ガイド

・ご使用の Windows のバージョンによっては、作成手順や表示内容が異なる場合があります。そのときは、表示内容に従って作成して頂くか、お使いの Windows の取扱説明書、ヘルプを参照してください。

・Windows Vista/2008 では、下記手順で〔サーバーのプロパティ〕を選択してください。
 (1) ビルトインアカウントの Administrator や[ユーザーアカウント制御（UAC）]を無効でログオンしているときは、〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択してください。
 (2) Administrator グループのアカウントでログオンしているときは、〔ファイル〕メニューから〔管理者として実行〕の〔サーバーのプロパティ〕を選択してください。
 〔ファイル〕メニューの〔サーバーのプロパティ〕では、ユーザー定義サイズ用紙を作成することができません。また、「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されたときは、〔続行〕をクリックしてください。

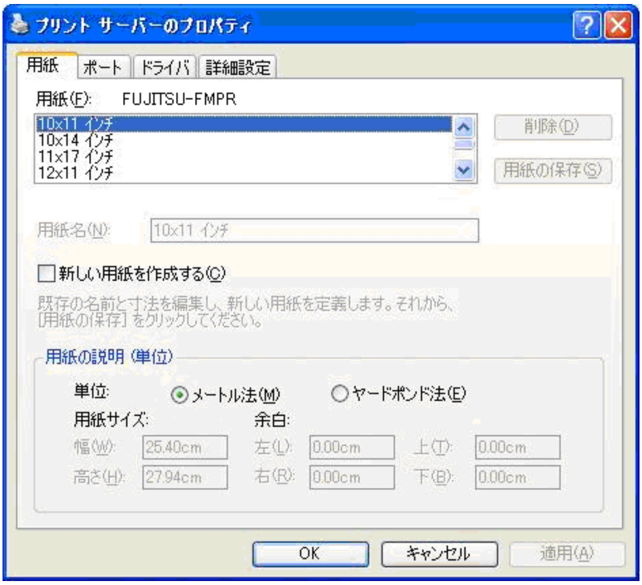
・Windows 7/2008 R2 で、ユーザー定義サイズ用紙を作成するときは、〔プリントサーバーのプロパティ〕の〔用紙〕タブで〔用紙設定の変更〕ボタンをクリックしてください。
 ** ビルトインアカウントの Administrator でログオンしているときや、[ユーザーアカウント制御（UAC）]を「通知しない」設定にしているときは、本ボタンは表示されません。

1 〔スタート〕→〔〔プリンタと FAX〕の順にクリックする

注1）プリンタフォルダを開く方法は、Windows 毎に異なります。
　　プリンタフォルダを開く方法は、「第1章　ソフトウェアの概要」－「プリンタドライバのインストール」の各 Windows の「プリンタフォルダからのインストール」を参照してください。

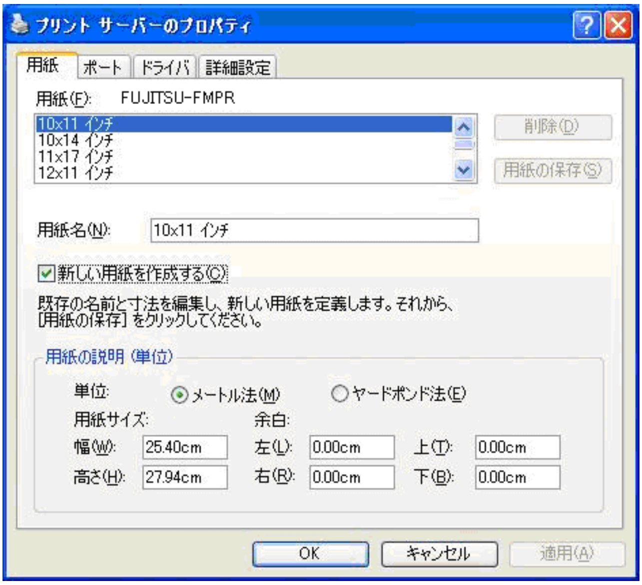
2 〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択する

注1）Windows 98/Me のときは、プリンタプロパティの「用紙サイズ」から「ユーザー定義サイズ」を選択します。



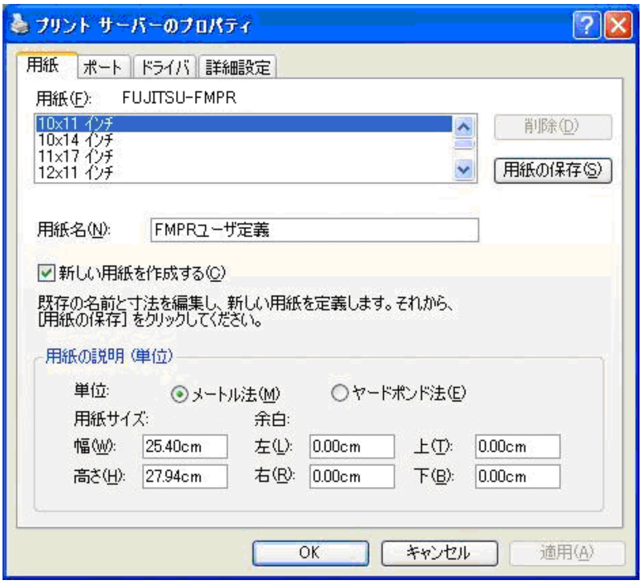
3 〔新しい用紙を作成する〕をチェックする

「用紙の説明」や「寸法」のグレーアウトが解除されます。



4 〔用紙の説明〕に作成する用紙名を入力する

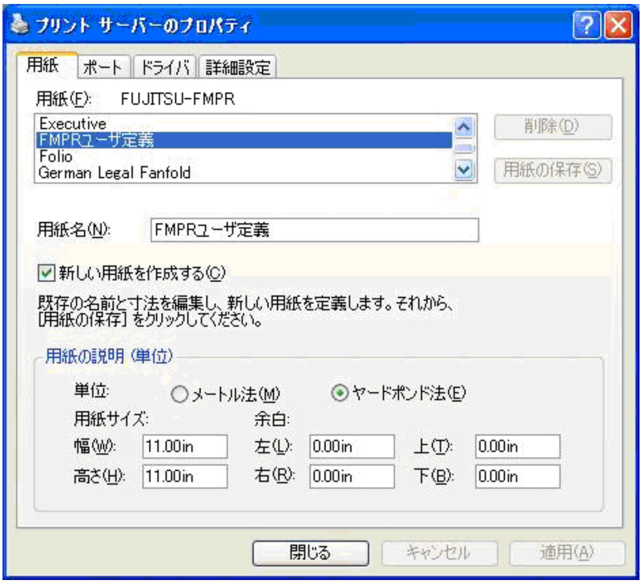
ここでは、「FMPR ユーザ定義」と言う名前の用紙を作成します。
用紙名は、ユニークな名前を付けることができます。



5 〔単位〕を選択し、用紙の幅と高さを入力する

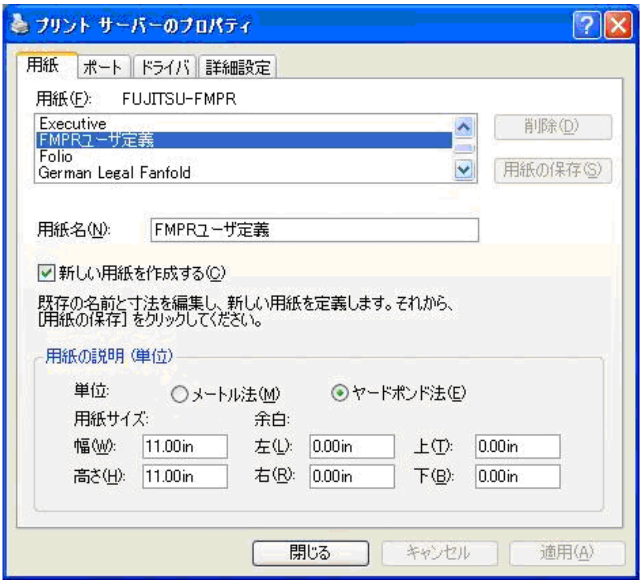
ここでは、幅 11 インチ、高さ 11 インチの用紙を作成します。

注1）「余白」を設定しても、正しく反映されない場合があります。
　　アプリケーションの〔ページ設定〕で余白を編集してください。
注2）作成可能な用紙幅、高さについては、『プリンタ編』「第4章　用紙について」、
　　または本章の「印刷可能領域」を参照してください。



6 **〔用紙の保存〕をクリックする**

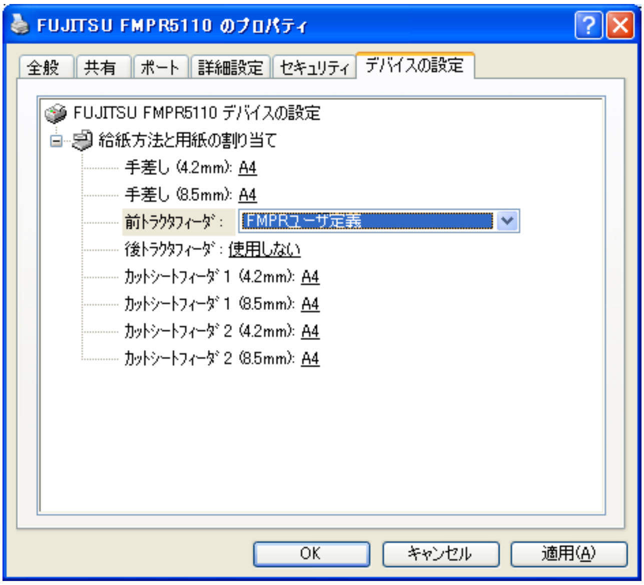
「用紙の説明」に入力した用紙名が、「用紙」欄に追加されます。



7 **〔OK〕をクリックし、〔サーバーのプロパティ〕を閉じる**

8 **インストールされているプリンタドライバを右クリックし、プロパティを開く**

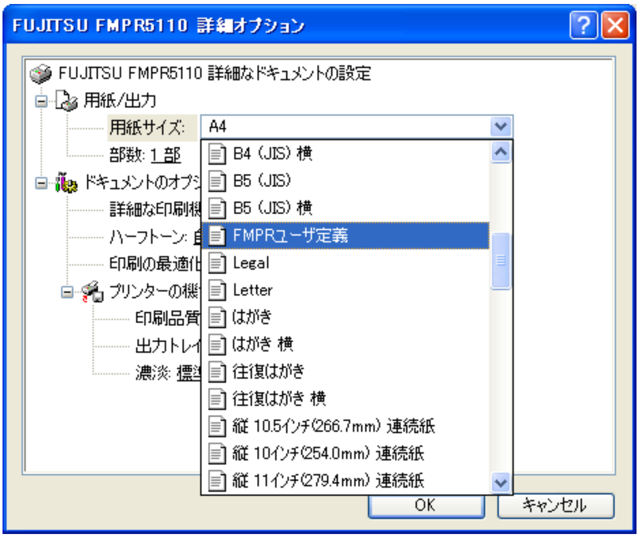
9 **「デバイスの設定」を選択して、使用する給紙口に作成した用紙サイズを設定する**



10 インストールされているプリンタドライバ右クリックし、〔印刷設定〕から〔詳細設定〕選択する

「用紙サイズ」に作成したユーザー定義サイズ用紙がリストされていることを確認します。

注1）作成したユーザー定義サイズ用紙が設定可能範囲外のときは、「用紙サイズ」に表示されません。
再度、「サーバーのプロパティ」を開いて、作成したユーザー定義サイズ用紙の幅または高さを変更するか、新しい用紙を作成してください。



ガイド

- 3 ページで用紙長が 10,11,13,14,16 または 17 インチになる特殊な連続帳票用紙は、ユーザー定義サイズで設定すると誤差が発生して印字ずれとなる場合がありますので、ドライバで指定できる用紙サイズ（3 ページで用紙長が 13 インチの場合は「縦 4 1/3inch 連続紙」）を設定してください。
- 連帳の用紙長はできるだけインチ単位で設定してください。例えば用紙長 4.5 インチの連続帳票用紙において 11.4cm を用紙の高さに設定すると、プリンタのドットピッチ(1/180 インチ)に従いドットに変換され、807 ドット(Windows 2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 では少数点以下第一位切り捨て）となるため、4.5 インチの 810 ドットとは合わなくなります。

第3章

FMPR ステータスモニタ

この章では、FMPR ステータスモニタについて説明します。

FMPR ステータスモニタのインストール ······· 422
FMPR ステータスモニタの機能 ················ 422
FMPR ステータスモニタの起動 ·············423
ステータス表示ウィンドウ ················424

FMPR ステータスモニタのインストール

『ソフトウェア編』－「第１章　ソフトウェアの概要」－「FMPR プリンタユーティリティのインストール」（350 ページ）をお読みください。

FMPR ステータスモニタの機能

ここでは、FMPR ステータスモニタの機能について説明します。
FMPR ステータスモニタは、プリンタ装置の状態（ステータス）を表示するユーティリティプログラムです。
プログラム起動時は最小化（タスクトレイ内のアイコン表示）されており、印刷中にエラーが発生すると、ポップアップ表示（ウィンドウ表示）されます。
Windows の印刷ジョブがないときは、最小化されているアイコンをポップアップさせたときにプリンタの状態を取得し、表示します。（プリンタの状態が変わっても、FMPR ステータスモニタの表示は自動的には更新されません。）

■ FMPR ステータスモニタの起動

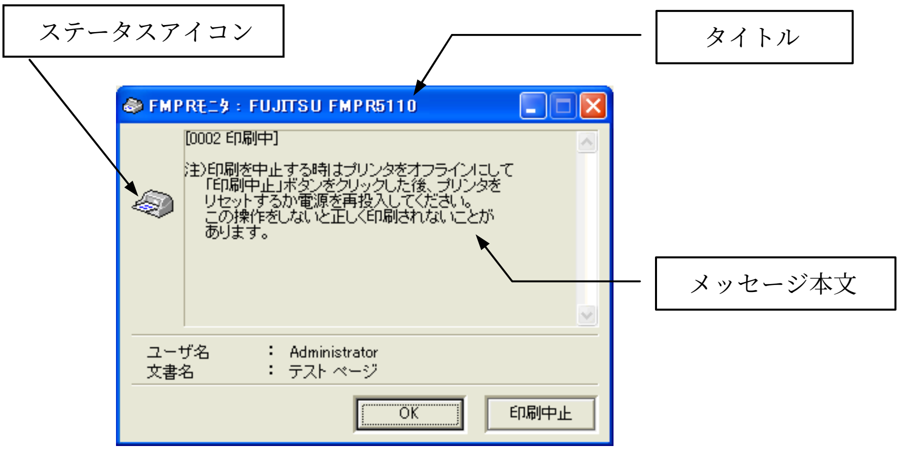
FMPR ステータスモニタをインストールすると、Windows の「スタートアップ」に登録されます。Windows を起動すると、FMPR ステータスモニタは自動的に起動されます。
ただし、印刷を実行しても、自動的には起動しません。FMPR ステータスモニタを利用するには、印刷実行前にあらかじめ FMPR ステータスモニタを起動しておく必要があります。
FMPR ステータスモニタを表示させるには、プリンタとの接続インターフェースを双方向通信に設定する必要があります。プリンタドライバで双方向通信機能を有効に設定してください。

お願い

- FMPR ステータスモニタを使用するときは、FMPR5110 または FMPR5010 プリンタを「通常使うプリンタ」に設定し、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- FMPR ステータスモニタは、パラレルまたは USB インターフェース接続時に使用してください。以下の環境では、FMPR ステータスモニタを使用できません。
  1. プリンタドライバのポート設定がパラレルまたは USB ポート以外の場合
  2. USB 変換ケーブルで接続している場合
- FMPR ステータスモニタを使用するときは、プリンタの『エラー監視機能』を「有効」に設定してください。
  設定方法は、『プリンタ編』－「第２章　プリンタの機能とその使い方」－「機能設定を変える」（42 ページ）、または『ソフトウェア編』－「第４章　FMPR リモートパネル（427 ページ）をお読みください。
- FMPR ステータスモニタを使用しているときに、プリンタエラーにより印刷をキャンセルするときは FMPR ステータスモニタの〔印刷中止〕ボタンをクリックしてください。
  FMPR ステータスモニタが起動されている状態で、プリンタフォルダから印刷をキャンセルすると、その後プリンタをリセットしてもデータが削除されず、プリンタが正常に動作しなくなる（プリンタの電源再投入で復旧）場合があります。

■　ステータス表示ウィンドウ

◆　ポップアップ表示



表示項目	内　　容
タイトル	FMPR モニタ：プリンタ名
メッセージ本文 （注）	［ステータス番号　プリンタ状態名］ プリンタ状態の説明 処置方法
ステータスアイコン	 印刷中、または印刷可能状態であることを示す。（エラーなし状態）  印刷中、または印刷可能状態であることを示す。（ワーニングメッセージ有り※）  エラー発生状態であることを示す。（復旧可能なエラー）  エラー発生状態であることを示す。（復旧不可能なエラー）  エラー発生状態であることを示す。（ハードエラー） ※ワーニングメッセージについて 印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。
ユーザ名	印刷要求を行ったユーザ名
文書名	印刷中の文書名（印刷ジョブ名）
OK ボタン	［OK］ボタンを押下することにより、本ウィンドウは最小化されタスクトレイ内にアイコンとして格納される。
印刷中止ボタン	ステータス表示中の印刷ジョブの印刷中止を行う場合に押下する。 「印刷中止」ボタンを押下することにより、該当印刷ジョブの印刷中止を行い、本ウィンドウを消去する。

注）　ステータス番号、プリンタ状態名、プリンタ状態の説明の一覧については、『ソフトウェア編』－「付録　FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表」(465 ページ) を参照してください。

◆ アイコン表示



表示項目	内　　容
ステータスアイコン	 印刷中、または印刷可能状態であることを示す。 （エラーなし状態）  印刷中、または印刷可能状態であることを示す。 （ワーニングメッセージ有り※）  エラー発生状態であることを示す。 （復旧可能なエラー）  エラー発生状態であることを示す。 （復旧不可能なエラー）  エラー発生状態であることを示す。 （ハードエラー） ※ワーニングメッセージについて 　印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。
ツールチップ表示	マウスポインタをタスクトレイ内のステータス表示アイコンに合わせることにより、ツールチップによる動作概要表示が行われます。

◆ アイコン表示時のマウス操作

左ボタンダブルクリック　：　ステータス表示をポップアップ

右ボタンシングルクリック　：　ポップアップメニューの表示を行う。メニュー内の選択項目を以下に示す。

〔元のサイズに戻す（R）〕　マウス左ボタンダブルクリックと同じ機能である。

〔印刷中止（C）〕　印刷中止ボタンと同じ機能である。

〔ステータス表示の終了（X）〕　FMPRステータスモニタプログラムを終了する。

第4章

FMPR リモートパネル

この章では、FMPR リモートパネルについて説明します。

FMPR リモートパネルのインストール ・・・・・・・・・ 428
FMPR リモートパネルの機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 428
FMPR リモートパネルの起動 ・・・・・・・・・・・・・・・429
プリンタの機能設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・432

FMPR リモートパネルのインストール

『ソフトウェア編』－「第１章　ソフトウェアの概要」－「FMPR プリンタユーティリティのインストール」（350 ページ）をお読みください。

FMPR リモートパネルの機能

ここでは、FMPR リモートパネルの機能について説明します。
FMPR リモートパネルは、プリンタの機能設定と印字ヘッド消耗状況を管理するユーティリティソフトです。

ガイド

・エミュレーションモードやインターフェースなどの一部の設定は、FMPR リモートパネルから行うことはできません。一部の項目の設定は、プリンタのオフラインセットアップをお使いください。オフラインセットアップの方法は、『プリンタ編』「第２章プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定を変える」(42 ページ)を参照してください。

■ FMPR リモートパネルの起動

1 〔スタート〕→〔すべてのプログラム〕→〔FMPR ﾌﾟﾘﾝﾀﾕｰﾃｨﾘﾃｨ〕→〔FMPR5110_5010 ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾈﾙ〕の順にクリックする

ガイド

- お使いのオペレーティングシステムによっては、〔スタート〕→〔プログラム〕→〔FMPR ﾌﾟﾘﾝﾀﾕｰﾃｨﾘﾃｨ〕→〔FMPR5110_5010 ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾈﾙ〕の順にクリックしてください。

2 プリンタを選択し、〔OK〕をクリックする



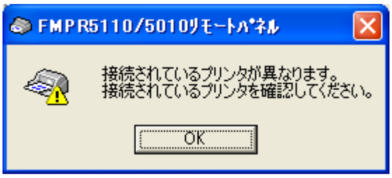
お願い

- FMPR リモートパネルは、パラレル、USB または LAN（オプションの FMPR-LN1/FMPR-LN1G 使用時）接続時に使用してください。
- FMPR リモートパネルをパラレル、USB で接続する場合は、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
  LAN インターフェース（オプションの FMPR-LN1G 使用時）は、プリンタドライバの双方向通信機能を無効に設定してください。
- 以下の環境では FMPR リモートパネルを使用できません。
  - プリンタドライバのポート設定が、パラレル、USB、LAN（オプションの FMPR-LN1G 使用時）以外の場合
  - パラレル→USB など変換ケーブルで接続している場合

ガイド

- リモートパネルがご使用いただけないプリンタには、警告マークが付加されて表示されます。
  警告マークの付いていないプリンタを選択してください。

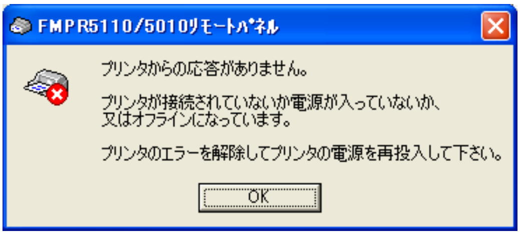
- リモートパネル起動時に、選択したプリンタと異なるプリンタが接続されていたときは、下記メッセージが表示されます。〔OK〕をクリックして、再度接続されているプリンタを選択してください。



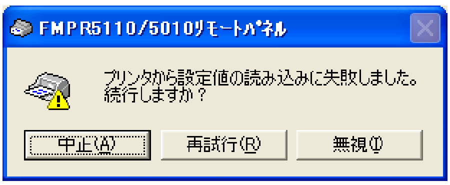
- LAN インターフェース（オプションの FMPR-LN1/FMPR-LN1G 使用時）で使用するときは、PR-PortManager で作成した LPR ポートでデフォルトのポート名(xxx.xxx.xxx.xxx:1p(注 1)) としてください。デフォルトのポート名以外に設定されている場合や IPP ポート、Windows Standard TCP/IP ポート、Windows LPR ポートでは動作しません。

  注 1：xxx.xxx.xxx.xxx には IP アドレスが入ります。

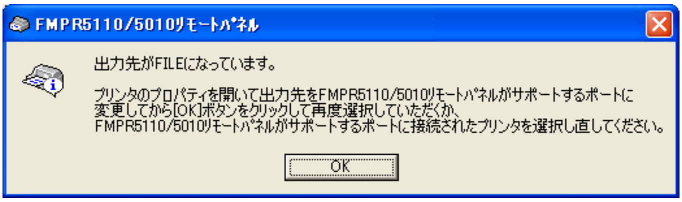
- FMPR5110_5010 リモートパネルは、プログラム起動時に、プリンタ装置から機能設定情報を読み込みます。プリンタからの情報読み込みに失敗すると、下記のようにメッセージが表示されますので、〔OK〕をクリックしてください。



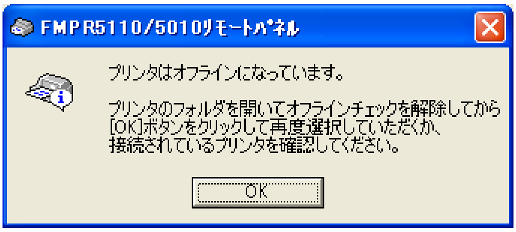
  下記メッセージが表示されますので、FMPR5110_5010 リモートパネルの使用を中止する場合は〔中止〕をクリックしてください。
  プリンタからの情報読み込みをやり直す場合は〔再試行〕をクリックしてください。
  プリンタからの情報を読み込まないでリモートパネルを起動する場合は〔無視〕をクリックしてください。



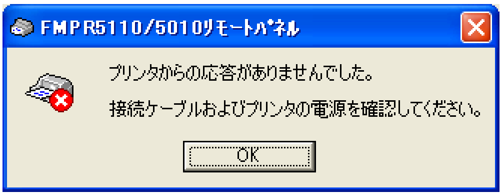
・接続ポートが異なるときは、下記メッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックして、接続を確認してください。



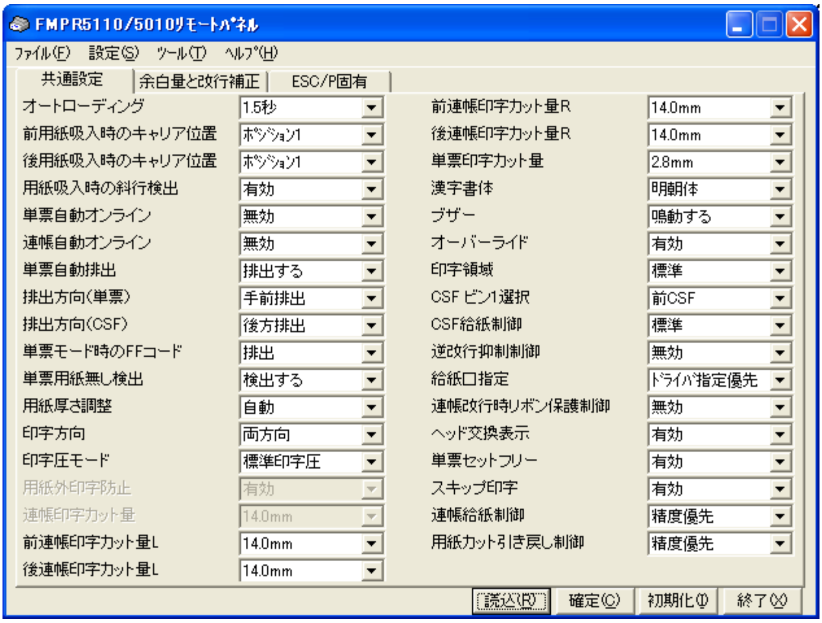
・ USB インターフェースで接続しているとき、プリンタの電源が入っていないか、プリンタフォルダのプリンタドライバがオフライン状態のときは、下記メッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックして、接続を確認してください。



・ LAN インターフェース（オプションの FMPR-LN1G 使用時）のとき、プリンタの電源が入っていないか、接続されていないときは、下記メッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックして、接続を確認してください。



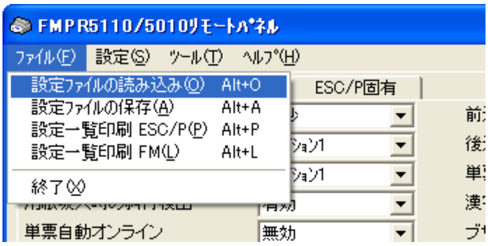
■　プリンタの機能設定



〔FMPR5110_5010 リモートパネルの起動画面〕

◆　メニューの説明

【ファイル】メニュー



・設定ファイルの読み込み（O）　Alt＋O

ディスクに保存されている設定値ファイルを読み込み、リモートパネル上の各項目の設定値表示を設定値ファイルの内容に更新します。

・設定ファイルの保存（A）　Alt＋A

リモートパネル上の各項目の設定値表示内容を、設定値ファイルとしてディスクに保存します。

・設定一覧印刷 ESC/P（P）　Alt＋P

ESC/P モード設定値の一覧印刷を行います。

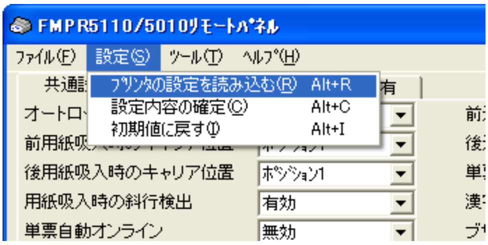
・設定一覧印刷 FM（L）　Alt＋L

FM モード設定値の一覧印刷を行います。

・終了（X）

リモートパネルを終了します。

【設定】メニュー



・プリンタの設定を読み込む（R）　Alt+R

　プリンタ装置から設定値を読み込み、リモートパネル上の各項目の設定値表示をプリンタの設定値に合わせます。

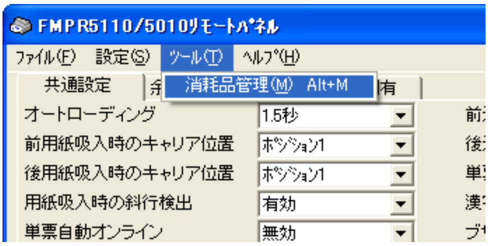
・設定内容の確定（C）　Alt+C

　リモートパネルで設定した内容をプリンタに送信します。

・初期値に戻す（I）　Alt+I

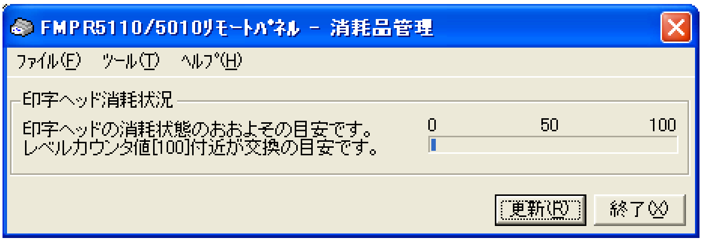
　リモートパネル上の設定値表示を工場出荷時の値に戻します。
　また、プリンタ装置の設定を初期値にします。

【ツール】メニュー



・消耗品管理（M）　Alt+M

プリンタ装置から、消耗品使用状況に関する情報を取得し、消耗品管理ウィンドウを表示します。

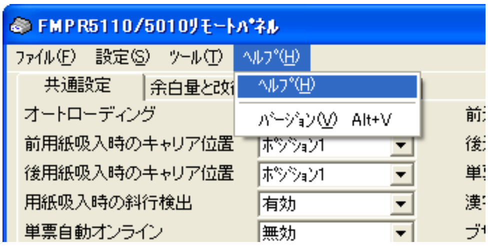


〔消耗品管理ウィンドウ〕

ガイド

・消耗品管理ウィンドウ起動時に、プリンタ装置から消耗品情報を読み込みます。プリンタからの情報読み込みに失敗すると、応答無しメッセージが表示されますので、〔OK〕ボタンをクリックしてください。

【ヘルプ】メニュー



・ヘルプ（H）

　リモートパネルのヘルプを起動します。

・バージョン（V）　Alt+V

　リモートパネルのソフトウェアバージョンを表示します。

◆　ボタンの説明

【読込（R）】

　“設定”メニューの「プリンタの設定を読み込む（R）」と同等機能です。

【確定（C）】

　“設定”メニューの「設定内容の確定（C）」と同等機能です。

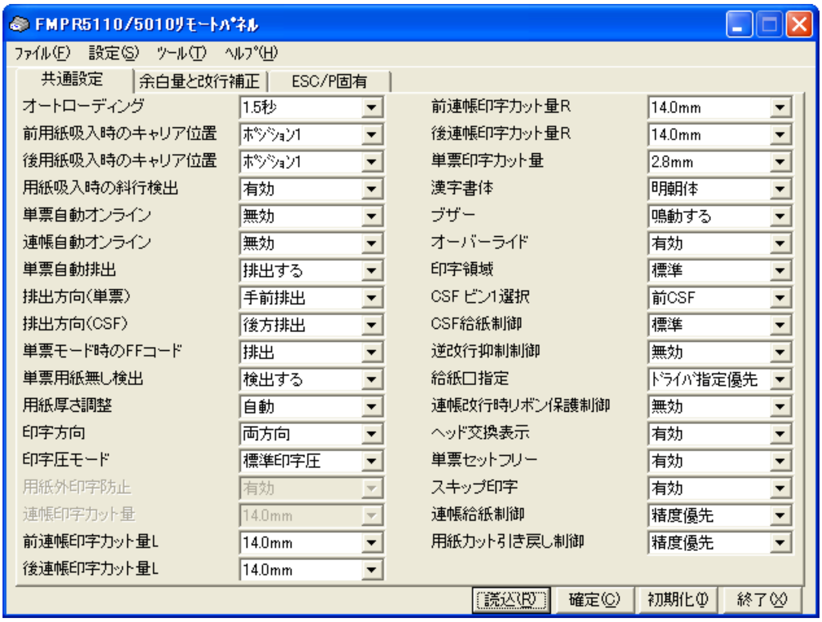
【初期化（I）】

　“設定”メニューの「初期値に戻す（I）」と同等機能です。

【終了（X）】

　リモートパネルプログラムを終了します。

◆　共通設定の設定



〔共通設定〕シートでは、オートローディング（用紙吸入開始時間）や印字方向など、装置機能に関する共通項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第２章プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定の種類」－「各モード共通の設定項目」(46ページ)をご覧ください。

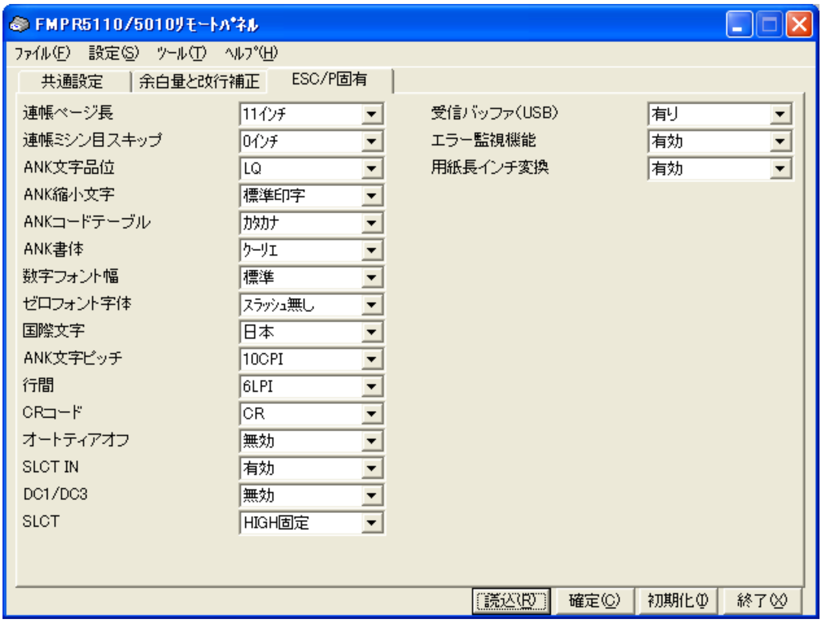
◆ 余白量と改行補正の設定



〔余白量と改行補正〕シートでは、余白量と改行補正量に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第 2 章プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定の種類」−「各モード共通の設定項目」(46 ページ)をご覧ください。

◆ ESC/P 固有の設定



〔ESC/P 固有〕シートでは、ESC/P モード固有項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第 2 章　プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定の種類」－「ESC/P モードの設定項目」(55 ページ)をご覧ください。

第5章

こんなときは

この章では、プリンタドライバなどソフトウェアに関する
トラブルシューティングや留意事項について説明します。

ソフトウェアに関する留意事項 ･････････････ 442
　　プリンタドライバをインストールする前に
　　　プリンタとパソコンを接続したとき ･････442
　　セットアッププログラム実行中に
　　　エラーが表示されたとき ････････････････452
　　Windowsをアップグレードするとき ････････453
プリンタがうまく動かないとき ･････････････ 454
　　プリンタがうまく動かないとき ････････････454
　　給紙口/用紙名を正しく設定する ･･････････455
　　用紙サイズを正しく設定する ･････････････458

ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、プリンタを使用しているときに発生するソフトウェアの留意事項について、現象と対処方法を説明します。

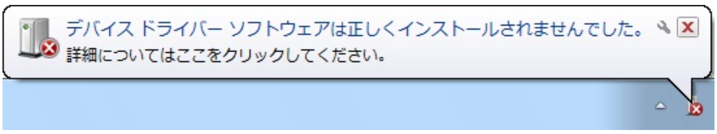
■ プリンタドライバをインストールする前に プリンタとパソコンを接続したとき

Windows 7/2008 R2 で、プリンタドライバをインストールする前に、プリンタとパソコンを USB またはパラレルインターフェースケーブルで接続してしまい、「このデバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されたときは、下記の手順でプリンタドライバをインストールし直してください。

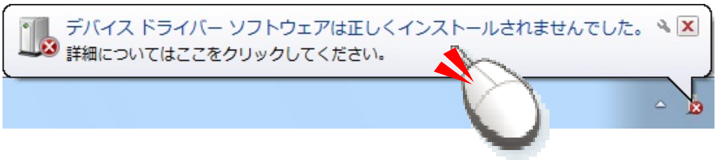
以下の手順では、FMPR5110G を例に説明しています。
FMPR5010 プリンタをお使いの場合は、“ FMPR5110 ”を“ FMPR5010 ”と読み替えてください。

◆ Windows 7 のとき

Windows 7 では、事前にプラグアンドプレイの準備をせずにプリンタとパソコンを接続すると、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されます。
この場合には、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。



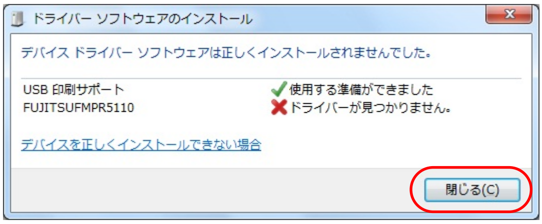
1 **「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されている吹き出しのスペース(空白部)を左クリックします。**
エラーの詳細が表示されますので、内容を確認し、〔閉じる〕ボタンをクリックします。



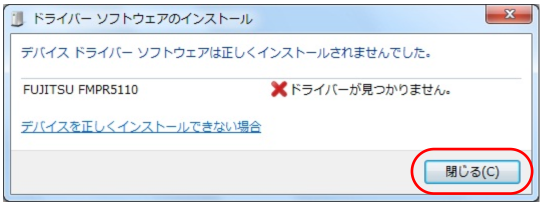
ガイド

・吹き出しをクリックすると、下記画面が表示されます。
内容を確認したら、〔閉じる〕ボタンをクリックしてください。

① USB インターフェースのとき



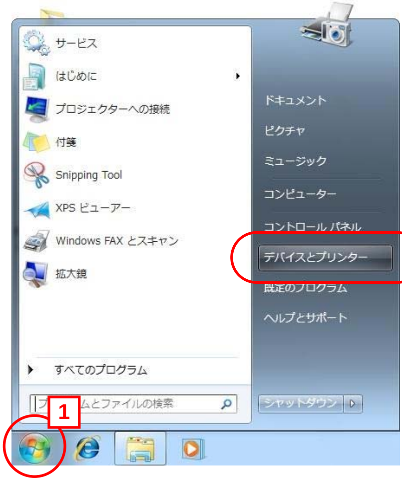
② パラレルインターフェースのとき



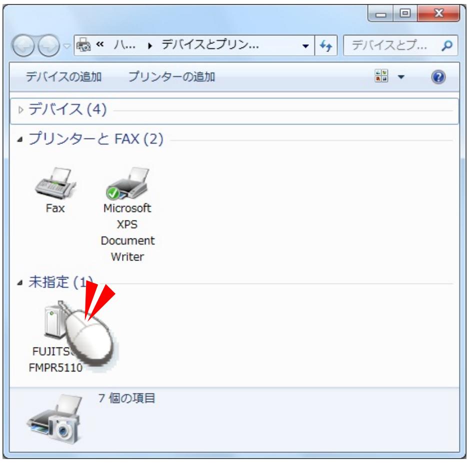
・プリンタは、”FUJITSU FMPR5110”として表示されます。
FMPR5010 プリンタをお使いの場合は、“FMPR5110”を“FMPR5010”と読み替えてください。

2 **『ソフトウェア編』「第 1 章 プリンタドライバのインストール」「Windows 7/2008 R2 のとき」の手順 *1* から手順 *10* に従って、プリンタドライバをインストールします。**

3 〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択します。



4 〔デバイスとプリンター〕フォルダの「未指定」部に表示されている、接続したプリンタのアイコンを右クリックしてメニューを開きます。



ガイド

・パラレルインターフェースで接続したときは、機種名が表示されます。
・USB インターフェースで接続したときは、「USB Printer」と表示されます。

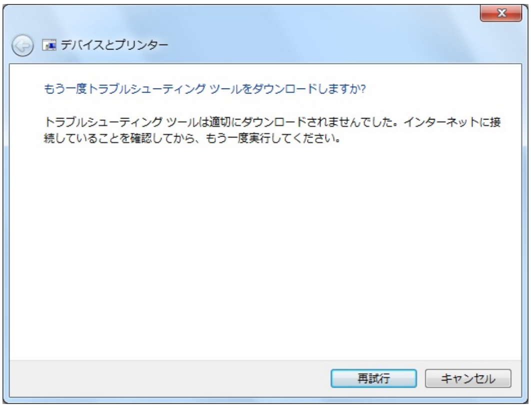


5 表示メニューから、「トラブルシューティング」を選択します。



ガイド

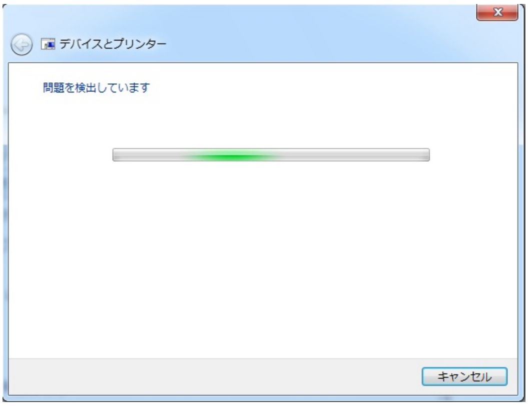
・お使いの環境によっては、「トラブルシューティング」を実行したときに、下記画面が表示される場合があります。



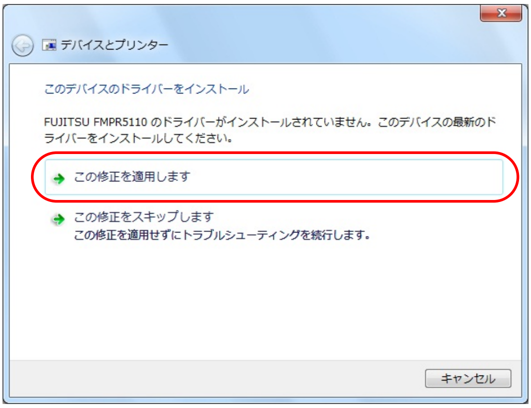
本画面が表示されたときは、次の順序で設定を変更してください。

1. 上記画面の〔キャンセル〕をクリックし、「トラブルシューティング」を一旦終了します。
2. 〔スタート〕→〔コントロールパネル〕を選択し、「システムとセキュリティ」内にある「問題の発見と解決」をクリックします。
3. 「コンピューターの問題のトラブルシーティング」画面が開きますので、本画面の一番下にある「Windows オンライントラブルシューティングサービスから最新のトラブルシューティングツールを取得する」のチェックを外します。
4. 画面右上の〔閉じる〕ボタンをクリックし、「コンピューターの問題のトラブルシーティング」画面を閉じます。
5. 本項の手順 *3* から再度実行します。

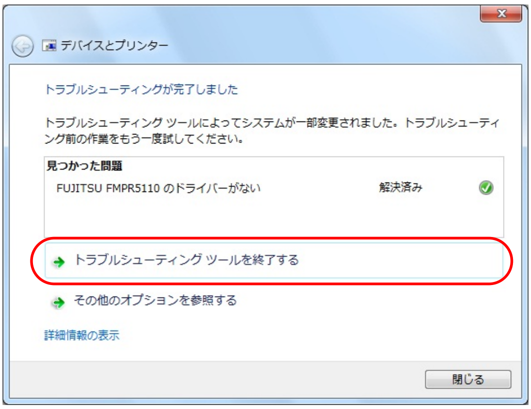
6 **デバイスに関する情報を収集します。**



7 **接続されているプリンタのプリンタドライバが見つかりますので、「この修正を適用します」をクリックします。**



8 **プリンタドライバのインストールが完了します。**
「トラブルシューティング ツールを終了する」または〔閉じる〕ボタンをクリックします。

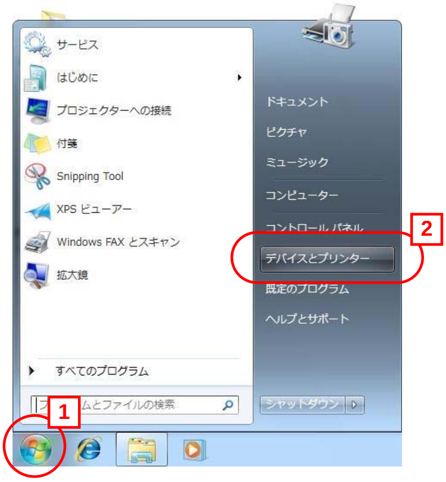


9 **再度、〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択し、「プリンターと FAX」部にプリンタアイコンが追加されていることを確認します。**
これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



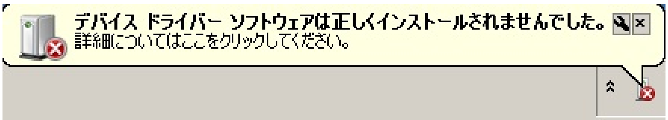
✎ ガイド

・〔デバイスとプリンター〕を開く順序は、下記の通りです。



◆ Windows Server 2008 R2 のとき

Windows Server 2008 R2 では、事前にプラグアンドプレイの準備をせずにプリンタとパソコンを接続すると、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されます。
この場合には、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。



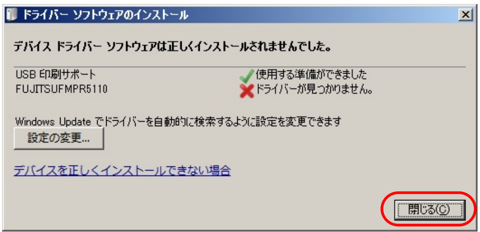
1 **「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されている吹き出しのスペース(空白部)を左クリックします。**
エラーの詳細が表示されますので、内容を確認し、〔閉じる〕ボタンをクリックします。



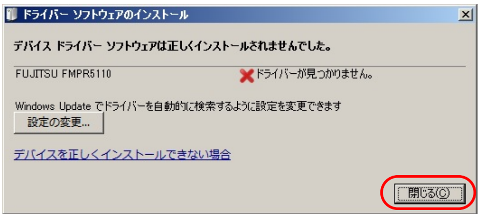
ガイド

- 吹き出しをクリックすると、下記画面が表示されます。
  内容を確認したら、〔閉じる〕ボタンをクリックしてください。

  ① USB インターフェースのとき

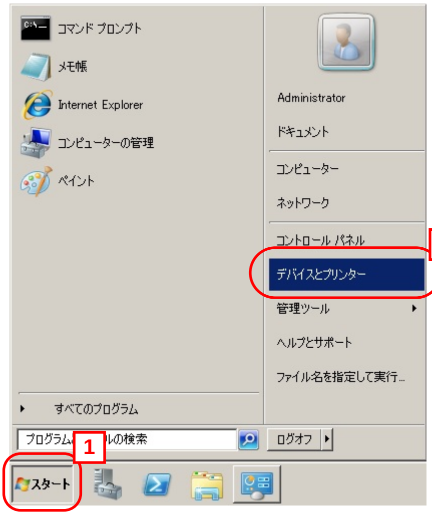


  ② パラレルインターフェースのとき

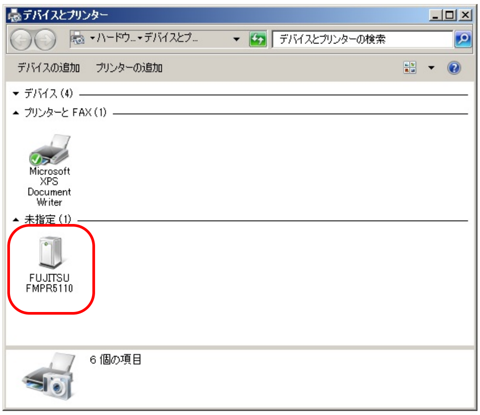


- プリンタは、”FUJITSU FMPR5110”として表示されます。
  FMPR5010 プリンタをお使いの場合は、“FMPR5110”を“FMPR5010”と読み替えてください。

2 〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択します。



3 〔デバイスとプリンター〕フォルダの「未指定」部に接続したプリンタが表示されていることを確認します。

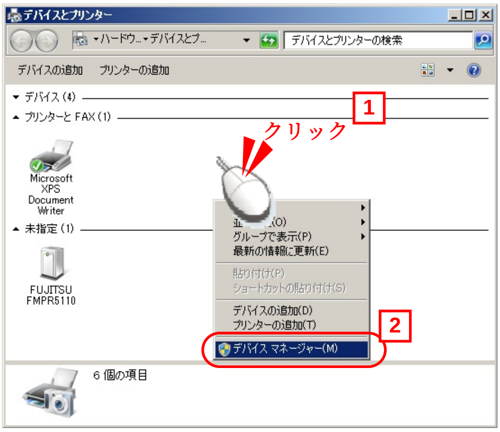


ガイド

- パラレルインターフェースで接続したときは、機種名が表示されます。
- USB インターフェースで接続したときは、「USB Printer」と表示されます。

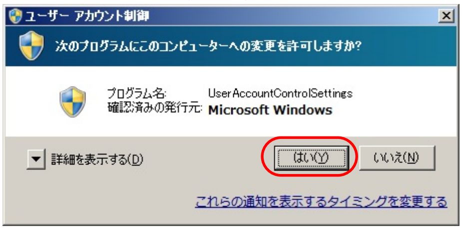


4 〔デバイスとプリンター〕フォルダの、空白部分をマウスの右ボタンでクリックし、表示メニューから「デバイスマネージャー」を選択します。

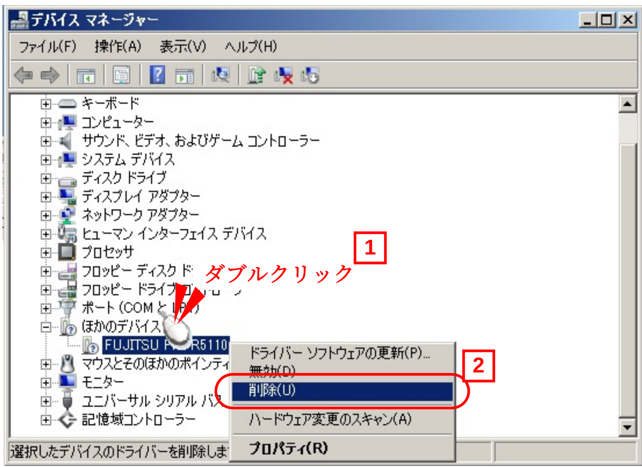


ガイド

・[ユーザーアカウント制御]ダイアログに、「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたときは、〔はい〕をクリックします。



5 「デバイスマネージャー」が起動します。
「 ほかのデバイス」をダブルクリックして、表示されたプリンタ(接続したプリンタ)をマウスの右ボタンでクリックし、表示メニューから、「削除」を選択します。



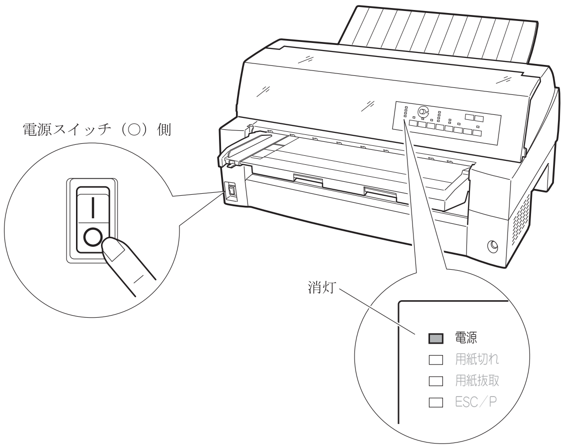
6 「デバイスのアンインストールの確認」画面が表示されますので、〔OK〕ボタンをクリックします。



ガイド

- 〔OK〕ボタンをクリックしたら、デバイスマネージャー画面右上の〔閉じる〕 をクリックして、デバイスマネージャーを終了します。

7 プリンタの電源を ○ 側に倒し、電源を切ります。



8 Windows Server 2008 R2 を再起動します。
これで、プリンタドライバをインストールする前に、プリンタとパソコンを接続したときのトラブルシューティングは完了です。

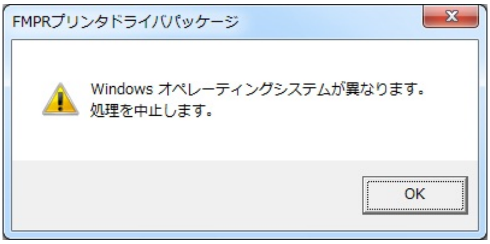
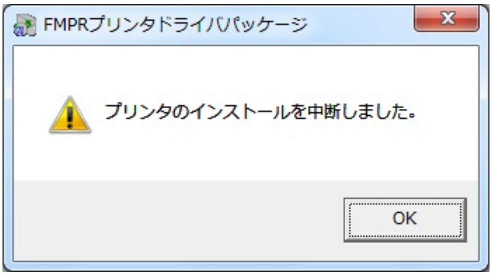
9 『ソフトウェア編』「第１章 プリンタドライバのインストール」「Windows 7/2008 R2 のとき」の手順1から手順12に従って、プリンタドライバをインストールします。

10 再度、〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択し、「プリンターと FAX」部に、プリンタアイコンが追加されていることを確認します。
これで、プリンタドライバのインストールは完了です。

■　セットアッププログラム実行中にエラーが表示されたとき

Windows 7/2008 R2 で、セットアッププログラム実行中にエラーが表示されたときは、「対処」に記載された方法でご対応ください。

◆　現象と処置内容

<table>
<tr><th>現　象</th><th>対　処</th></tr>
<tr><td>セットアッププログラムを実行したら下記画面が表示されました。

</td><td>セットアッププログラムが、Windows 7/2008 R2 以外のオペレーティングシステムで実行されました。
セットアッププログラムを起動したオペレーティングシステムを確認してください。
セットアッププログラムは、Windows 7/2008 R2 専用です。</td></tr>
<tr><td>セットアッププログラムを実行したら下記画面が表示されました。

</td><td>セットアッププログラム実行中の[Windows セキュリティ]画面で、「このドライバーソフトウェアをインストールしない」などを選択しました。
再度、セットアッププログラムを実行してください。</td></tr>
</table>

■ Windowsをアップグレードするとき

現在お使いの Windows オペレーティングシステムを、Windows 7/2008 R2 へアップグレードするときは、プリンタドライバおよび FMPR プリンタユーティリティを削除してからアップグレードしてください。
アップグレード終了後、再度プリンタドライバおよび FMPR ユーティリティのセットアップを行ってください。
プリンタドライバおよび FMPR プリンタユーティリティがインストールされた状態で Windows のアップグレードを行うと、アップグレード前のプリンタドライバや FMPR プリンタユーティリティが登録されたままとなり、正しい印刷が行えない、FMPR プリンタユーティリティが提供している機能が使用できないなどの現象が発生する場合があります。

プリンタがうまく動かないとき

ここでは、プリンタを使用しているときに発生する現象のうち、セットしている用紙とプリンタドライバの設定について説明します。

■　プリンタがうまく動かないとき

印字中に以下の現象が発生した場合は、セットしている用紙とプリンタドライバの設定が合っていない可能性があります。
保守員をコールされる前に、処置内容に従ってプリンタドライバが正しく設定されているかお確かめください。

◆　現象と処置内容

現　象	処　置　内　容
印刷指示で給紙口が切り替わってしまう	「給紙口/用紙名を正しく設定する」(455ページ)でプリンタドライバの設定を確認してください。
印刷指示で用紙なしになってしまう	
印刷するたび、プリンタ側で給紙口を切り替えないと印刷できない	
印刷指示で用紙なしになり、オンラインＳＷを押すとカットシートフィーダまたは手差しから印刷する	
用紙の右側が印刷されない	
印字が左右に約5㎜ずれる	
連続帳票用紙カット後の印刷開始位置がずれる	「用紙サイズを正しく設定する」(458ページ)でプリンタドライバの設定を確認してください。
連続帳票用紙カットを押してもミシン目がカット位置にこない	
連続帳票印刷の開始位置がずれる	
ページ長がおかしい	
連続帳票を複数枚印刷していくうちに印字位置がずれる	

■ 給紙口/用紙名を正しく設定する

用紙サイズが既知で、そのサイズが既にプリンタドライバに登録されているときは、以下の手順で選択設定してください。
プリンタドライバに未登録のときや、用紙サイズがわからないときは先に「用紙サイズを正しく設定する」(458ページ)以降を確認してください。
ここでは、FUJITSU FMPR5110 プリンタドライバを例に説明しています。FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバをお使いの場合は、“ FMPR5110 ”を“ FMPR5010 ”と読み替えてください。

◆ 給紙方法と用紙名の設定

以下の手順でプリンタドライバの給紙方法と用紙サイズ(用紙名)を正しく設定してください。

ガイド

・ここでは、以下の場合を例に説明します。
OS　　　　：Windows XP
給紙方法　：前トラクタ
用紙サイズ：縦 10.5ｲﾝﾁ(266.7mm) 連続紙

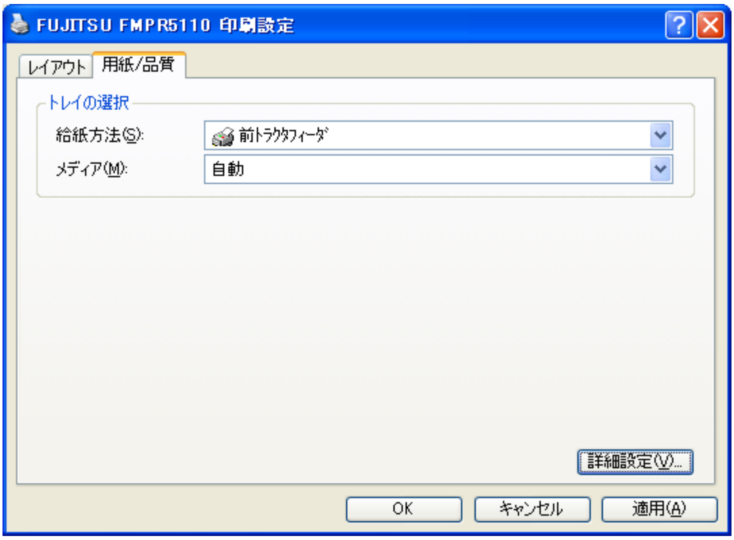
＊ プリンタドライバのバージョンによっては、用紙サイズが「縦 10.5inch 連続紙」と表示されます。

・設定項目右横の「 」ボタンをクリックすると、一覧が表示されます。

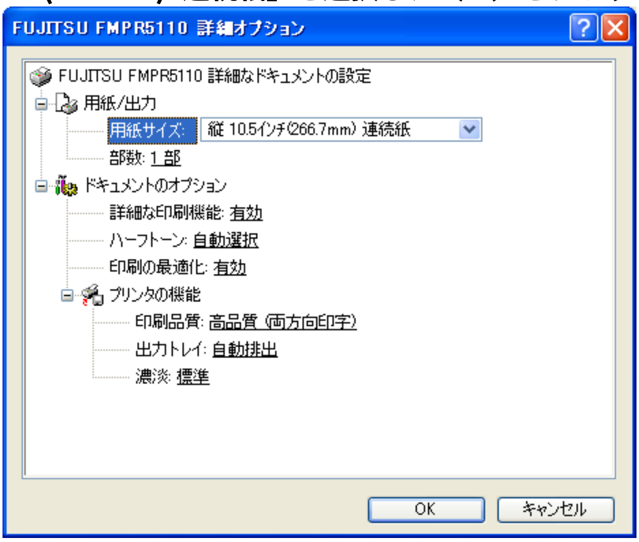
1 **〔スタート〕→〔プリンタとFAX〕の順にクリックし、プリンタフォルダを表示する**

2 **FMPR5110 プリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、〔プロパティ〕を選択する**

3 **〔印刷設定〕をクリックし、「用紙/品質」タブを表示させ、”給紙方法 ” から、” 前トラクタフィーダ ” を選択する**



4 **〔詳細設定〕ボタンをクリックし、”用紙サイズ ”から、「縦 10.5 ｲﾝﾁ(266.7mm) 連続紙」を選択し、〔OK〕をクリックする**

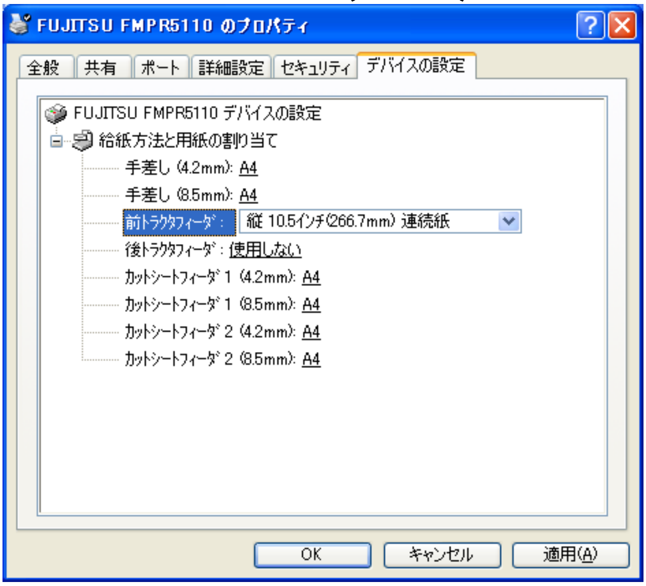


ガイド

- 〔OK〕をクリックすると、印刷設定画面に戻ります。
  再度、〔OK〕ボタンをクリックし、印刷設定画面を閉じ、FUJITSU FMPR5110 のプロパティ画面に戻ります。
- プリンタドライバのバージョンによっては、用紙サイズが「縦 10.5inch 連続紙」と表示されます。

5　**「デバイスの設定」タブを選択する**

6　**”給紙方法と用紙の割り当て”から、「前トラクタフィーダ」をクリックし、「縦 10.5 ｲﾝﾁ(266.7㎜) 連続紙」を選択する**



ガイド

・プリンタドライバのバージョンによっては、用紙サイズが「縦 10.5inch 連続紙」と表示されます。

7　**〔OK〕をクリックし、「FUJITSU FMPR5110 のプロパティ」閉じる**

■　用紙サイズを正しく設定する

ここでは、印刷に使用する連帳用紙の用紙サイズ確認手順と、プリンタドライバへの設定手順を説明します。

◆　用紙サイズの確認

プリンタドライバに未登録のときや、用紙サイズがわからないときは以下の手順で、確認してください。

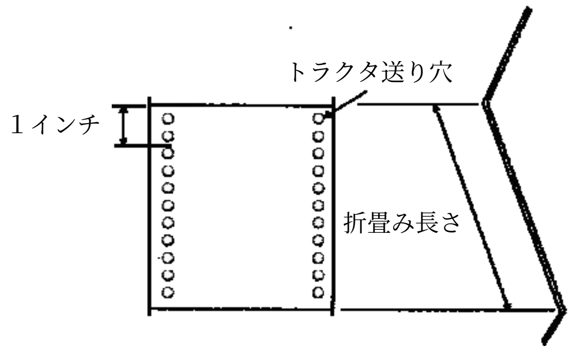
ガイド

・連帳用紙の用紙サイズは、特例を除きセンチメートルまたはインチ(１ｲﾝﾁ＝2.54㎝)で設定します。

・印刷に使用する用紙の設定相違や用紙長に誤差があると、印刷位置がずれますので注意してください。

1　用紙長さ（高さ）を確認する

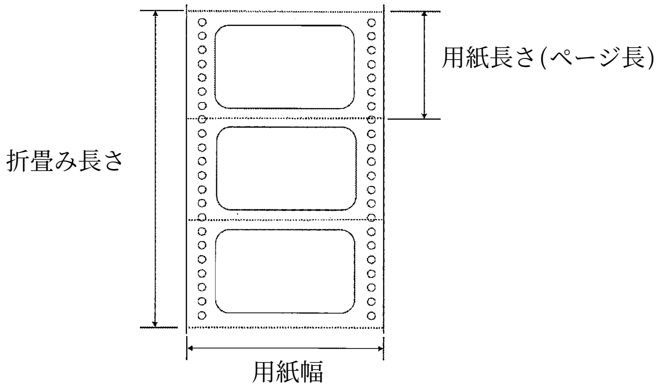
手順１：折り畳み長さと１ページの長さが同じとき
　　　　折り畳み長さに入る用紙の送り穴数を数えます。
　　　　送り穴数を２で割り、用紙長さ（高さ）を求めます。
　　　　用紙長さ(高さ)＝折畳み長さ(インチ)＝用紙送り穴数÷２



ガイド

・上図の場合、用紙長さ（高さ）は 5.5 インチ（11 穴÷2）となります。
　メートル法では、13.97ｃｍ（5.5 ｲﾝﾁ×2.54）となります。

手順２：折り畳み長さの中に複数ページあるとき
　　　　折り畳み長さ内のページ数を数えます。
　　　　折り畳み長さをページ数で割り、用紙長さ（高さ）を求めます。
　　　　　用紙長さ（高さ）＝折り畳み長さ÷ページ数

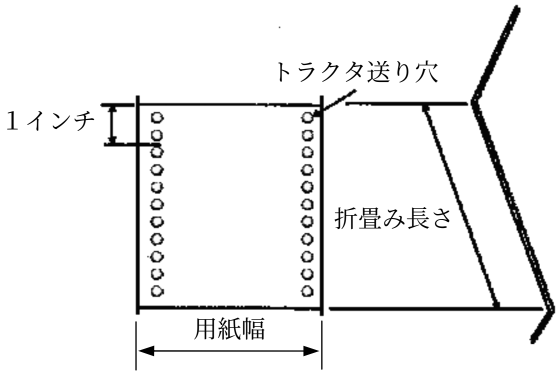


ガイド

・通常、連帳用紙は１ページ毎に横ミシン目が入れてあり、ミシン目で分割されるページ数を確認します。
・上図の用紙長さ（高さ）の求め方は、以下の通りです。
　メートル法では、小数点以下第３位を切り上げてください。
　用紙長さ（高さ）＝折り畳み長さ÷ページ数
　　　　　　　　　＝１１インチ÷３ページ
　　　　　　　　　＝１１／３
　　　　　　　　　＝３＋２／３インチ
　　　　　　　　　＝（３＋２／３）×２．５４
　　　　　　　　　＝９．３１３３・・・　ｃｍ
　　　　　　　　　＝９．３２ｃｍ

2 用紙幅を確認する

用紙幅を測定します。
ヤードポンド法で設定するときは、インチに換算します。



ガイド

・用紙幅の求め方は、以下の通りです。
　　　用紙幅(インチ) ＝ 用紙幅測定値(cm) ÷ ２．５４
　上図の場合、用紙幅測定値を 20cm とすると、用紙幅は７．８７インチとなります。

３ 以下の手順で、FUJITSU FMPR5110 プリンタドライバの用紙サイズ設定を確認する

手順１：標準で登録されている用紙で使用できるものが無いか確認します。FUJITSU FMPR5110 プリンタドライバでは、下表の用紙を基本サイズとして用意しています。また、11 インチの用紙長を幅×長さで表わした、「10 x 11 inch 連続紙」、「12 x 11 inch 連続紙」、「15 x 11 inch 連続紙」の３種類を用意しています。

・測定した用紙長とプリンタドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表

測定した用紙長	プリンタドライバの基本サイズ	新しい用紙サイズ	
		単位：メートル法	単位：ヤードポンド法
１インチ	縦 1ｲﾝﾁ(25.4mm) 連続紙	2.54 cm	1.00 in
２インチ	縦 2ｲﾝﾁ(50.8mm) 連続紙	5.08 cm	2.00 in
2+1/6 インチ	―	5.51 cm	2.17 in
2+1/3 インチ	―	5.93 cm	―
2.5 インチ	―	6.35 cm	2.50 in
2+2/3 インチ	―	6.78 cm	2.67 in
３インチ	縦 3ｲﾝﾁ(76.2mm) 連続紙	7.62 cm	3.00 in
3+1/6 インチ	―	8.05 cm	3.17 in
3+1/3 インチ	縦 3 1/3ｲﾝﾁ(84.7mm) 連続紙	8.47 cm	―
3.5 インチ	―	8.89 cm	3.50 in
3+2/3 インチ	縦 3 2/3ｲﾝﾁ(93.1mm) 連続紙	9.32 cm	3.67 in
４インチ	縦 4ｲﾝﾁ(101.6mm) 連続紙	10.16 cm	4.00 in
4+1/6 インチ	―	10.59 cm	4.17 in
4+1/3 インチ	縦 4 1/3ｲﾝﾁ(110.1mm) 連続紙	11.01 cm	―
4.5 インチ	縦 4.5ｲﾝﾁ(114.3mm) 連続紙	11.43 cm	4.50 in
4+2/3 インチ	縦 4 2/3ｲﾝﾁ(118.5mm) 連続紙	11.86 cm	4.67 in
５インチ	縦 5ｲﾝﾁ(127.0mm) 連続紙	12.70 cm	5.00 in
5+1/6 インチ	―	13.13 cm	5.17 in
5+1/3 インチ	縦 5 1/3ｲﾝﾁ(135.5mm) 連続紙	13.55 cm	―
5.5 インチ	―	13.97 cm	5.50 in
5+2/3 インチ	縦 5 2/3ｲﾝﾁ(143.9mm) 連続紙	14.40 cm	5.67 in
６インチ	縦 6ｲﾝﾁ(152.4mm)連続紙	15.24 cm	6.00 in
７インチ	縦 7ｲﾝﾁ(177.8mm) 連続紙	17.78 cm	7.00 in
８インチ	縦 8ｲﾝﾁ(203.2mm) 連続紙	20.32 cm	8.00 in
９インチ	縦 9ｲﾝﾁ(228.6mm) 連続紙	22.86 cm	9.00 in
10 インチ	縦 10ｲﾝﾁ(254.0mm) 連続紙	25.40 cm	10.00 in
10.5 インチ	縦 10.5ｲﾝﾁ(266.7mm) 連続紙	26.67 cm	10.50 in
11 インチ	縦 11ｲﾝﾁ(279.4mm) 連続紙	27.94 cm	11.00 in
12 インチ	縦 12ｲﾝﾁ(304.8mm) 連続紙	30.48 cm	12.00 in
13 インチ	縦 13ｲﾝﾁ(330.2mm) 連続紙	33.02 cm	13.00 in
14 インチ	縦 14ｲﾝﾁ(355.6mm) 連続紙	35.56 cm	14.00 in

手順２： 適切な用紙名が無かった場合は、新しい用紙（任意の用紙サイズ）を作成し、幅と長さ（高さ）をセンチメートル単位またはインチ単位で設定・登録します。
ただし、前表の中でヤードポンド法の欄が「ー」となっている用紙長は必ずセンチメートル単位で登録してください。
新しい用紙の作成方法は、「新しい用紙（任意の用紙サイズ）の設定方法（462ページ）、または『ソフトウェア編』「第２章 プリンタドライバの設定」「ユーザー定義サイズ用紙の作成方法」（415 ページ）を参照してください。

ガイド

- 用紙長の設定に誤差があったり、メートル法／ヤードポンド法の選択が誤っていると、複数ページ印刷する間に誤差が累積し印刷位置が上下方向に徐々にずれていきますので注意が必要です。
- データの作成が正確である場合、実際の印刷領域より狭くならない用紙幅を設定したり、用紙長のみで表現される用紙を選択してもかまいません。その場合、実際の用紙幅を超えた文書の印刷指示があると、はみだした領域の印刷は行われません（用紙外印字防止機能が有効のとき）。
- プリンタドライバのバージョンによっては、連帳用紙名が異なる場合があります。

  例）　縦 1ｲﾝﾁ(25.4㎜) 連続紙　⇒　縦 1inch 連続紙
- 登録済の用紙サイズであっても、運用時にわかりやすくするために同サイズで別名（お使いの伝票名など）の用紙として追加登録してください。

◆　プリンタドライバの基本サイズの設定方法

「給紙口/用紙名を正しく設定する」(455ページ)の手順で設定してください。
プリンタドライバの基本サイズに無い用紙長(前表のプリンタドライバの基本サイズで「－」表示の用紙)のときは、「新しい用紙(任意の用紙サイズ)の設定方法」(462ページ)、または『ソフトウェア編』「第2章　プリンタドライバの設定」「ユーザー定義サイズ用紙の作成方法」(415ページ)を参照して、印刷に使用する用紙を追加してください。

◆　新しい用紙(任意の用紙サイズ)の設定方法

新しい用紙の作成とプリンタドライバへの設定は、下記手順で行います。
ここでは、FUJITSU FMPR5110 プリンタドライバの Windows XP の画面を例に説明します。FUJITSU FMPR5010 プリンタドライバをお使いの場合は、“ FMPR5110 ”を“ FMPR5010 ”と読み替えてください。

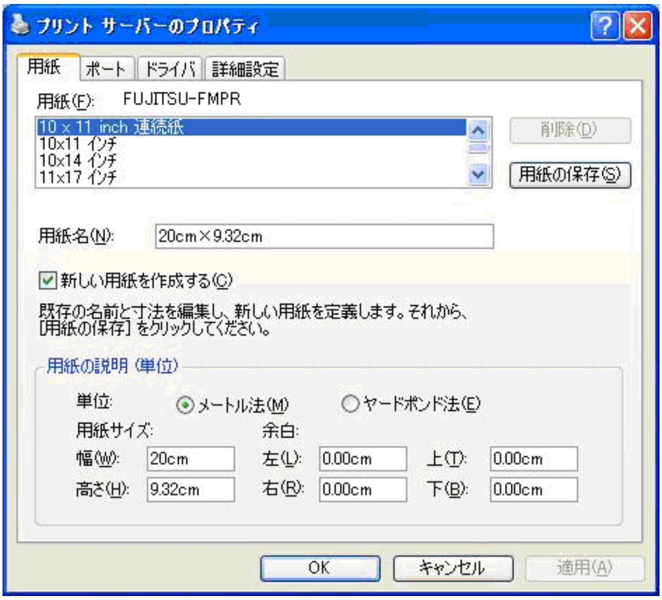
1　**〔スタート〕→〔プリンタとFAX〕の順にクリックし、プリンタフォルダを表示する**

2　**〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択する**

3　**「新しい用紙を作成する」をチェックする**

「用紙名」や説明のグレーアウトが解除され、用紙名が入力できる状態になります。
ここでは、「20cm×9.32cm」という名前の用紙を作成します。

4　「用紙の説明(単位)」で、”メートル法”を選択し、〔幅〕および〔高さ〕を入力する



ガイド

- 〔高さ〕は用紙長となります。
  一部の長さに限り、メートル法で入力してください。
- 〔高さ〕には、小数点以下第３位を切り上げ、「測定した用紙長とプリンタドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表」（460ページ）に示す、小数点以下第２位の値で入力します。
- 「余白」を設定しても、正しく反映されない場合があります。アプリケーションの〔ページ設定〕で余白を編集してください。
- 作成可能な用紙幅、高さについては、オンラインマニュアル(Index.pdf)の『プリンタ編』　「第４章　用紙について」、または『ソフトウェア編』「第２章 プリンタドライバの設定」の「印刷可能領域」を参照してください。

5　「用紙の保存(S)」をクリックし、作成した用紙を保存する

作成した用紙を保存したら、〔OK〕をクリックして〔プリントサーバーのプロパティ〕を閉じます。

6 新しく作成した用紙を FUJITSU FMPR5110 プリンタドライバに設定する

FUJITSU FMPR5110 プリンタドライバへの設定方法は、「給紙口/用紙名を正しく設定する」(455ページ)を参照してください。



ガイド

・新しく作成した用紙が設定可能範囲外のときは、「用紙サイズ」に表示されません。
再度、「サーバーのプロパティ」を開いて、作成した用紙の幅または高さを変更するか、新しく用紙を作成してください。

付　録

FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表 ・・・・・・・ 466

FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表

ｽﾃｰﾀｽ番号	プリンタ状態名	プリンタ状態の説明
0002	印刷中	印刷中です。
0300	オフライン	プリンタがオフラインです。
0301	用紙なし (カットシートフィーダ)	選択されているカットシートフィーダに用紙がありません。
0302	用紙なし	用紙がありません。
0303	単票抜き取り待ち	排紙した用紙が単票テーブルに残っています。
0305	連帳後退エラー	後退させる用紙が長過ぎます。
0306	用紙吸入エラー	用紙が正しく吸入できませんでした。
0307	吸入ジャム(手差し)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0308	吸入ジャム (カットシートフィーダ)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0309	吸入ジャム(トラクタ)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0310	カバーオープン	トップカバーが開いています。
0402	排出ジャム(手差し)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0403	排出ジャム (カットシートフィーダ)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0404	排出ジャム（トラクタ）	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0406	印字桁ずれ	印字の桁ずれを検出しました。
0407	用紙厚異常	このプリンタで使用できない厚さの用紙に印刷しようとしています。
0700	ROM/RAM アラーム	ROM/RAM の異常を検出しました。
0702	斜行ユニットアラーム	斜行ユニットホームポジション検出に失敗しました。
0703	HCPP アラーム	HCPP ホームポジション検出に失敗しました。
0704	APTC アラーム	ＡＰＴＣホームポジション検出に失敗しました。
0705	LRES アラーム	印字キャリアホームポジション検出に失敗しました。

ｽﾃｰﾀｽ番号	プリンタ状態名	プリンタ状態の説明
0706	SP モータファンアラーム	SP モータファンの異常を検出しました。
0708	CSF モータアラーム	CSF モータのドライバで異常を検出しました。
0709	リボンモータアラーム	リボンモータのドライバで異常を検出しました。
0710	OVERLOAD アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0711	LOW VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0712	HIGH VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0713	ヘッドアラーム	印字ヘッドのドライバで異常を検出しました。
0714	LF アラーム	LF モータ及びトラクタモータのドライバで異常を検出しました。
0715	SP アラーム	スペースモータのドライバで異常を検出しました。
1500	応答なし	プリンタからの応答がありません。

ガイド

・エラーが発生したときは、ステータスウィンドウ内のメッセージに従って、エラーを解除してください

索　引～プリンタ編

E

ESC/P モードの制限事項 196
「ESC/P」ランプ 35

H

HEX ダンプ印字 160

J

JIS-90第一水準漢字一覧表 222
JIS-90第二水準漢字一覧表 225

あ

アフターサービス 167

い

異常電流検出 64
一般用紙
　単票・カットシートフィーダ 124
　手差し単票 119
　前・後連帳 112
イメージ印字 186
印字位置がページによってズレる 156
印字位置の問題点 155
印字開始位置（行方向）の微調整 97
印字開始位置について 96
印字桁数 186
印字結果の問題点 153
印字速度 186
印字中の問題点 152
印字動作 186
印字ヘッド 11
印字ヘッド昇温検出 64
印字方式 186
「印字モード」スイッチ 39
印字領域
　一般用紙 112
　一般用紙
　　単票・カットシートフィーダ 124
　　手差し単票 119
　宅配伝票
　　手差し単票 123
　　前連帳 118
　タック用紙 116
　はがき
　　単票・カットシートフィーダ 126
　　手差し単票 121
　はがき用紙 113
　封筒
　　単票・カットシートフィーダ 126
　封筒用紙 114
インターフェース 187
インターフェース仕様 191

う

「後トラクタ」ランプ 35
後連続帳票用紙の置きかた 81
うまく動かないとき 149

え

エラー表示機能 65

お

オプションの概要 170
オプション品
　プリンタケーブル 32
オンライン状態 36
「オンライン」スイッチ 37
オンラインマニュアル
　—の使いかた xvi
　—の見かた xv
「オンライン」ランプ 35

か

カードガイド 11
外観図
　カットシートフィーダ取り付け時 . . . 190
　標準 189
「改行」スイッチ 38
外径寸法 187
「改ページ」スイッチ 39
各部のはたらき 11
各部の名称 10
カット位置に送る 62
カットシートフィーダ（FMPR-CF1G） . . 170
カットシートフィーダ使用時の不具合 . 156

カットシートフィーダの取り付け
　プリンタ後部 175
　プリンタ前部 171
カットシートフィーダの取り外し 178
「カットシートフィーダ」ランプ 35
稼動音 187
紙厚調整の動作タイミング 95

き

機能設定
　変えかた 42
　種類 46
　設定を工場出荷値に戻す 46
キャラクタコード一覧表
　ESC/P モード 214
　FM モード 213
「給紙口」スイッチ 40
行間ズレを直す 59

こ

交換
　リボンカセット 135
「高速」ランプ 35
「高複写」スイッチ 40
「高複写」ランプ 35
コマンド一覧表
　ESC/P モード 208
　FM モード 200

さ

サブガイド 11

し

実力値について 98
「自動紙厚調整」スイッチ 40
「自動紙厚調整」ランプ 35
自動検出機能 64
重量 187
手動紙厚調整ダイヤル 41
仕様 186
使用環境 187
使用上のお願い 8
消費電力 187
使用方法について 9
消耗品について 163
消耗品の廃却 165

初期状態
　ESC/P モード 198
　FM モード 197

す

スイッチ 37
スタッカ容量 186

せ

清掃のしかた 161
設置する 13
設置場所について 8
線のりとじ 110

そ

操作パネル 11
操作パネルの機能 34

た

耐用期間 187
宅配伝票（手差し単票） 123
宅配伝票（前連帳） 118
タック用紙 .... 103，106
タック用紙（前・後連帳） 116
ダブルギャザー 110
単票（カットシートフィーダ） 124
「単票セットフリー」スイッチ 40
「単票セットフリー」ランプ 35
単票テーブル 11
単票テーブルのセット 15
単票テーブルの取り扱い 16
「単票手差し」ランプ 35
単票特殊紙 105
単票普通紙 104
単票用紙がつまったとき 142
単票用紙吸入時の不具合 150
単票用紙のセット
　カットシートフィーダ取り付け時 89
　単票セットフリーオフ時 86
　単票セットフリーオン時 82

て

定期交換部品について 164
「低騒音」ランプ 35
手差し単票用紙 119
テスト印字 158

「手前排出」スイッチ 38
「手前排出」ランプ 35
電源コードの接続 21
電源コネクタ 12
電源仕様 187
電源スイッチ 11
電源投入時の不具合 149
電源について 8
「電源」ランプ 35
電源を入れる 22
電源を切る 23
点のりとじ 110

と

特長 5
とじ穴の開けかた 127
ドット径 186
ドットピッチ 186
トップカバー 11
トラクタユニット 11
トラクタユニット(FMPR-TU8G) 170
トラクタユニット（後側）
　取り付けかた 30
　取り外しかた 29
トラクタユニット（前側）
　取り付けかた 28
　取り外しかた 27
トラクタユニットの位置を決める 26

は

はがき 105
　単票・カットシートフィーダ 126
　手差し単票 121
はがき用紙 102
はがき用紙（前連帳） 113
パソコンとの接続 18

ひ

非漢字一覧表 216
「微小改行」スイッチ 41

ふ

封筒 107
　手差し単票 121
　単票・カットシートフィーダ 126
封筒用紙 114
複写能力 186
プラテンロール 11
プリンタ LAN カード
　ご使用方法 179
　搭載方法 180
　取り外し 182
プリンタ USB ケーブル（XL-CBLU2G） .. 170
プリンタがうまく動かないとき 149
プリンタケーブル（FMV-CBL716） 170
プリンタケーブルコネクタ 11
プリンタドライバの入手方法 166
プレプリント用紙を使用するとき 128
フロントカットシートフィーダコネクタ .. 11

へ

ヘビーデューティ検出 64

ま

「前トラクタ」ランプ 35
前連続帳票用紙の置きかた 75

ゆ

有寿命部品について 163
輸送するとき 162
輸送用固定材の取り外し 14

よ

用紙厚の調整 93
用紙送り 186
用紙外印字防止機能について 58
用紙ガイド 11
「用紙カット」スイッチ 37
「用紙吸入／排出」スイッチ 37
用紙吸入量の調整 61
「用紙切れ」ランプ 35
用紙サイズ
　一般用紙
　　単票・カットシートフィーダ 124
　　手差し単票 119
　　前・後連帳 112
　タック用紙 116
　はがき
　　手差し単票 121
　　単票・カットシートフィーダ 126
　はがき用紙 113
　封筒
　　単票・カットシートフィーダ 126
　　手差し単票 121

封筒用紙 114
用紙使用上のご注意 100
用紙づまりのとき 137
後連続帳票用紙 139
カットシートフィーダ 146
手差し単票 142
前連続帳票用紙 137
リアスタッカ部 144
用紙無し検出 64
用紙に関するご注意
単票セットフリーオン時 85
「用紙抜取」ランプ 35
用紙の形状 130
用紙のセット 70
単票用紙
カットシートフィーダ取り付け時 89
単票セットフリーオフ時 86
単票セットフリーオン時 82
連続帳票用紙後
トラクタ給紙の場合 76
前トラクタ給紙の場合 70
用紙のとじ方法
単票（カットシートフィーダ） 125
手差し単票 120
用紙の取り扱い上のご注意 131
用紙枚数
手差し単票 120
用紙右端位置に関する注意
単票セットフリーオン時 85

ら

ラベルの貼付け強度 116
ランプ 35

り

リアカットシートフィーダコネクタ 12
リアスタッカ 11
リアスタッカの取り付け 17
リアスタッカ部に用紙がつまったとき、または用紙が排出しきれずにローラ部に残ったとき 144
「リセット」スイッチ 41
リボン 187
リボンカセットの交換 135
リボンカセットホルダ 11
リボンカセットを取り付ける 24

れ

連続使用について 164
連続帳票特殊紙 101
連続帳票普通紙 100
連続帳票用紙 108
ミシン目の入れ方 111
用紙の構成枚数 108
用紙の寸法 108
用紙のとじかた 110
連続帳票用紙がつまったとき 137
連帳用紙吸入時の不具合 151
連続帳票用紙のセット
後トラクタ給紙の場合 76
前トラクタ給紙の場合 70
連続帳票用紙をカット位置に送る 62

索　引～ソフトウェア編

C

CD-ROM の内容 238

E

ESC/P 固有の設定 439

F

FMPR プリンタユーティリティ 235
FMPR モニタ状態表示一覧表 466
FMPR モニタの機能 422
FMPR リモートパネルのインストール ... 428
FMPR リモートパネルの起動 429
FMPR リモートパネルの機能 428

W

Windows をアップグレードするとき 453

い

印刷可能領域........................ 404
印刷の向き.......................... 410
印刷品質............................ 412
印刷領域............................ 407
印字圧.............................. 413
インストール
　FMPR ステータスモニタ 422
　Windows 2000 のとき 303
　Windows 7/2008 R2 のとき 241
　Windows 98 のとき 336
　Windows Me のとき 323
　Windows NT4.0 のとき 316
　Windows Server 2003 のとき 279
　Windows Server 2008 のとき 255
　Windows Vista のとき 267
　Windows XP のとき 291
　プラグアンドプレイで検出する場合
　　Windows 2000 304
　　Windows 7/2008 R2 242
　　Windows 98 338
　　Windows Me 324
　　Windows Server 2003 280
　　Windows Server 2008 256
　　Windows Vista 268
　　Windows XP 292
　プリンタフォルダからのインストール
　　Windows 2000 309
　　Windows 7/2008 R2 248
　　Windows 98 346
　　Windows Me 332
　　Windows NT4.0 317
　　Windows Server 2003 283
　　Windows Server 2008 261
　　Windows Vista 273
　　Windows XP 295

き

起動
　FMPR ステータスモニタ 423
給紙方法 411
共通設定の設定 437

く

〔グラフィックス〕 402

し

〔詳細〕 364, 373, 382, 392

す

ステータス表示ウィンドウ 424

せ

接続方法
　パソコン 237
セットアッププログラムのエラー
　現象と処置内容 452

そ

ソフトウェアに関する留意事項 442
ソフトウェアのインストール 240
ソフトウェアの留意事項
　Windows 7 のとき 442
　Windows Server 2008 R2 のとき 448

て

〔デバイスオプション〕 403
〔デバイスの設定〕 ...367, 376, 385, 395
添付ソフトウェアの機能 234

と

動作環境
　添付ソフトウェア 236
　プリンタ 236

は

排出方向........................... 414

ふ

プリンタがうまく動かないとき........ 454
　新しい用紙(任意の用紙サイズ)の
　　設定方法 462
　給紙方法と用紙名の設定 455
　現象と処置内容 454
　プリンタドライバの基本サイズの
　　設定方法 462
　用紙サイズの確認 458
プリンタドライバ................... 234
プリンタドライバ................... 442
プリンタドライバのインストール
　Windows 2000 のとき............... 303
　Windows 7/2008 R2 のとき.......... 241
　Windows 98 のとき................. 336
　Windows Me のとき................. 323
　Windows NT4.0 とき................ 316
　Windows Server 2003 のとき........ 279
　Windows Server 2008 のとき........ 255
　Windows Vista のとき.............. 267
　Windows XP のとき................. 291
プリンタドライバの設定............. 358
　Windows 2000/XP/2003 の設定画面... 377
　Windows Vista/2008 の設定画面..... 368
　Windows NT4.0 の設定画面.......... 386
　Windows 98/Me の設定画面.......... 396
　Windows 7/2008 R2 の設定画面...... 358
プリンタの機能設定................. 432
プリンタユーティリティ
　FMPR プリンタユーティリティの
　　メンテナンス 354
プリンタユーティリティのインストール
　FMPR プリンタユーティリティの
　　インストール 350

へ

〔ページ設定〕 390

ほ

ボタンの説明 436
　確定 436
　終了 436
　初期化 436
　読込 436

め

メディア 413
メニューの説明 433
　設定 434
　ツール 435
　ファイル 433
　ヘルプ 436

ゆ

ユーザー定義サイズ用紙の作成方法 415

よ

〔用紙〕 400
〔用紙/品質〕 363, 372, 381
用紙サイズ 404
用紙の種類 413
余白量と改行補正の設定 438

れ

〔レイアウト〕 362, 371, 380

水平漢字プリンタ-15 FMPR5110G/5010
オンラインマニュアル
B5WY-1231-04 Z0-00
発行日　　2010 年 8 月
発行責任　富士通株式会社